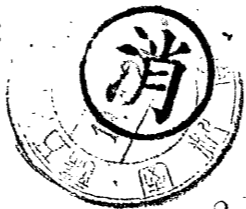


M23 14521-9

機密

米國共產黨調書

昭和十六年二月



8361

外務省亞米利加局第一課

木一  
25

調一0154

0191

363  
G17a  
b.k

序

本調査ハ昭和十四年(一九三九年)九月在紐育總領事館ニ於テ作成シタルモノナリ、爾來既ニ一年有  
半ヲ閱シ修正又ハ増補ヲ加フヘキ點モ多々存スヘキモ米國共產黨ノ組織並ニ活動ノ全般ヲ識ルニ好箇  
ノ資料ト存セララルルニ付不取敢本調査ヲ上梓セリ。

昭和十六年二月

亞米利加局第一課

外務省  
米-25  
圖書館  
119-9

調一0154

0192

緒言

本調査殆ント完成セル八月下旬突如獨蘇不可侵條約締結セラレ更ニ引續キ蘇聯邦カ獨逸ト共同シテ波  
蘭分割ノ舉ニ出ツルニ及ヒ從來蘇聯邦カ「ファシズム」諸國特ニ獨逸ノ侵略行爲ニ對スル「デモクラ  
シー」諸國共同戦線ノ中心勢力ナリトノ建前ニテ蘇聯邦ノ防衛ヲ爲シ來タレル米國共產黨ノ政策乃至綱  
領ハ右新事態ニ對應シ修正ヲ加ヘラルヘキコトハ當然ナリ。  
然レ共獨蘇ノ親善關係カ何時迄繼續スヘキヤ豫斷シ得サルト共ニ他面過去及現在ニ於ケル組織及綱領  
ヲ明カニスルハ今後蘇聯邦ノ新ナル對外政策並ニ右ニ關聯シ米國朝野ノ蘇聯邦又ハ米國共產黨ニ對  
スル態度ノ變化等ニ應シ共產黨ノ黨是又ハ活動綱領ノ上ニ招來セラルヘキ變化ヲトスル上ニ不可缺ノ  
資料タルコト勿論ナルヲ以テ大體過去一年間ニ互リ調査セル結果ヲ其ノ儘茲ニ載録セリ。尤モ新事態  
ニ應シ既ニ生シタル變化乃至之カ可能性等ニシテ分明シ居ルモノハ出來得ル限り之ヲ補足シ置キタ  
リ。

昭和十四年九月

在紐育日本帝國總領事館

米 國 共 産 黨 調

目 次

第一章 沿 革	一頁	第二項 「セクション・オーガニゼーション」	四二頁
第二章 概 説	一三	第三項 市又ハ郡支部	四四
一、「コミンテルン」乃至蘇聯邦政府トノ關係	一三	第四項 州 支部	四六
二、米國共産黨當面ノ目標	一五	第五項 區 支部	五五
三、具體的工作方法	一八	第五節 全國代表會議	五七
四、米國共産黨運動ノ限界	二〇	第六節 全國委員會	五九
五、米國共産黨ノ組織大要	二三	第七節 政治委員會	六一
第三章 共産黨ノ組織及活動	二四	第八節 執行委員會	六三
第一節 米國共産黨現勢	二四	第九節 全國統制委員會	六四
第二節 入黨手續及黨費分擔	二八	第十節 米國共産黨本部	六六
第三節 米國共産黨ノ資金關係	三一	第一項 略 説	六六
第四節 各級地方支部	三六	第二項 共産黨本部建物内ノ配置	七一
第一項 「プランナ」	三六	第三項 總務部	七四
		一、會計事務	七四
		二、庶 務	七五
		三、役 員	七五

第四項 組織部	七七
一、概 説	七七
二、黨員増加	七七
三、機 構	七九
(1) 中央本部	七九
(イ) 全國組織委員會	八〇
(ロ) 労働組合組織委員會	八〇
(ハ) 失業者組織委員會	八一
(ニ) 黒人部組織員	八一
(ホ) 婦人委員會	八一
(ヘ) 各級支部ニ於ケル組織部ノ機構	八二
(2) 各級支部ニ於ケル組織部ノ機構	八二
第五項 「フランクシヨ」部	八五
第一、概 説	八五
第二、一般團體ニ對スル本部ノ工作方針	八六
第三、労働組合ニ對スル本部ノ特殊工作	九〇
第四、宗教ニ對スル「フランクシヨ」部ノ特別工作	一〇六
第五、「フランクシヨ」部役員	一〇七
第六、黨「フランクシヨ」部工作シツプル主要團體	一〇八
第六項 啓發宣傳部	一四五
第一、出版物關係工作	一四六
一、共產黨ノ直接發行スル定期刊行物	一四七
二、黨以外ノ出版物ニ對スル工作	一五三

第七項 教育部	二〇八
第一、概 説	二〇八
第二、機 構	二〇九
第三、具體的工作狀況	一一一
一、Workers Book Shop	一一一
二、Workers Library Publishing Company	一一三
三、中等學校大學及專門學校内ニ於ケル活動	一一五
四、外國語「ヒューロー」又ハ委員會	一一三
第八項 外國語「ヒューロー」又ハ委員會	一一三
第一、概 説	一一三
第二、機 能	一一三
第三、一般的構成	一一六
第四、各種外國語全國「ヒューロー」構成	一一七
第九項 「ヒューロー」部	一一一
第一、概 説	一一一
第二、機 構	一一三
第三、國內擾亂工作ノ主要目標方法及具體的先例	一一七
第十項 政務部	二四二
第一、概 説	二四二
第二、組 織	二四三
第三、米國共產黨ノ政黨運動	二四四

(一) 黨外團體ノ定期刊行物及黨ノ直接間接ノ支配ヲ受ケ居ル定期刊行物	一五三
(二) 黨ノ直接間接支配ヲ受ケ居ル出版	一五三
(一) 記者及作家ニ對スル工作	一六三
(1) John Reed Club	一六五
(2) League of American Writers	一六六
(3) American Newspaper Guild	一七四
(4) Federated Press (F.P.)	一七八
(5) Crusader News Agency	一八〇
(6) Federal Writers Projects	一八〇
(7) Book & Magazine Guild	一八三
第二、演劇關係工作	一八七
(1) Workers Cultural Federation	一八七
(2) New Theatre League	一八九
(3) Federal Theatre Project	一九二
第三、活動寫眞關係	一九五
第四、「ラヂオ」關係	一九七
(一) 共產黨ノ利用シツプル「ラヂオ」網	一九七
(二) 共產黨ノ「ラヂオ」機體工作	二〇〇
(三) 「フニアル・セキター・プロヂェクト」	二〇〇
(四) 「ラヂオ」部	二〇三
第五、美術ニ對スル共產黨ノ工作	二〇三
第六、音樂關係	二〇七

第四、聯邦議會及政府諸機關内ニ於ケル共產黨ノ勢力乃至工作	二五一
第十一項 立法部	二六三
一、概 説	二六三
二、職 員	二六三
三、National Lawyers Guild	二六四
第十二項 農業部	二六九
一、概 説	二六九
二、事務所及役員	二七〇
三、農業關係外團體	二七〇
第十三項 黒人部	二七一
第一、概 説	二七一
第二、黒人工作ノ綱領	二七二
第三、黒人部ノ構成	二七四
第十四項 婦人委員會	二七八
第一、概 説	二七八
第二、機 構	二七九
一、任 務	二八三
第三、黨婦人委員會ノ支配ヲ受ケル諸團體	二八四
第十五項 青少年部	二八五

# 米國共產黨調書

## 第一章 沿革

米國ニ於ケル共產運動ノ起原ハ約六十五年前、米國最初ノ「マルキスト・グループ」カ米國労働運動ノ組織ニ當リ重要ナル役割ヲ演シタル時ニ遡ルコトヲ得ヘシ。然レ共當時ノ「マルキスト」ハ「マルクス」主義ノ理論ヲ労働運動ノ經濟的・政治的實際問題ニ適用スルコト能ハサリキ。其ノ理由ハ資本家ニ對シ労働階級ヲ煽動スルノミニシテ輿論ノ支持ヲ得ルニ必要ナル政治的手腕ヲ缺キ居タルタメナリ。更ニ現代ニ至リ共產黨カ正式ニ組織セラレタル事情ヲ見ルニ、獨立セル政治組織トシテノ共產黨ノ成立ハ「レーニズム」カ漸次社會黨運動(Socialist Party Movement)即チ進歩的乃至左翼的労働運動ニ注シ入セラルル事ニヨリ行ハレタリ。社會黨中ノ過激分子ハ二十世紀當初ノ十年間ニ頗ル活動的トナレリ。一九〇九年ニハ同黨最初ノ分裂ヲ招キタルカ一九一二年ニ至リ再ヒ重大ナル分裂ヲ惹起セリ。

(註) 第二次分裂ヲ惹起セル主要人物ノ一人ハ「ウィリアム・ヘイウッド」(William Haywood)「Big Bill」ナルカ同人ハ「I. W. W.」ヲ組織シテ社會黨ニ對抗セシメテ其後共產黨ヲ組織セラレ之ニ入黨スルマデ約十二年間「I. W. W.」會長トシテ辣腕ヲ振ヒタリ。「モスコ」ニテ客死シ「クレムリン」宮ニ葬ラレ居レリ。

社會黨ニトリテ最モ重大ナル分裂ハ一九一九年ニ起レル第三次分裂ナルカ其ノ結果社會黨ハ今尙恢復シ得サルカ如キ致命的打撃ヲ受ケ他方共產黨ノ誕生ヲ見ルニ至レリ。

社會黨ノ第一次乃至第二次分裂ヲ惹起セル極左派ハ「イデオロギー」的ニ未タ發達シ居ラサリシ爲「I.

W・W」ノ如キ「サンデカリズム」ニ趨ルカ或ハ漸次社會黨ニ復歸スルニ至ルカ如キ状態ナリシカ一九一九年ノ第三次分裂ニ當リテハ斯カルコトナカリキ。即チ當時ノ極左派ハ既ニ露國革命ノ成功並ニ之ニ伴フ「コミンテルン」及蘇聯邦共產黨ノ成立ニ依リテ「レーニズム」革命理論ノ成果ヲ目撃シ國家ノ任務、「プロレタリア」ノ獨裁、労働組合等ノ根本問題ニ關スル從來ノ誤謬ヲ清算シ居レリ。換言スレハ漠然タル左翼的社會主義及單ナル「プロレタリア」的好戰態度ヲ脱シ「レーニズム」ナル革命理論ノ根底ヲ把握スルニ至レリ。

斯クシテ「イデオロギー」的ニ強化セラレタル社會黨内ノ革命的左翼分子ハ遂ニ夫レ自身ノ黨トシテ共產黨ヲ組織スルニ至レリ。而シテ右革命分子ハ當初共產黨(Communist Labor Party)(一九一九年八月三十一日設立)及共產黨(Communist Party)(一九一九年九月一日設立)ノ二團體ヲ分立セリ。右ハ些細ナル理論上ノ相違ニ基キタルモノナリシカ結局十五ヶ月後即チ一九二〇年十二月初旬「ルーゼンバーグ」(Charles E. Ruthenberg)指導ノ下ニ合同セリ。「ルーゼンバーグ」ハ右新共產黨ノ最初ノ書記長トナリ一九二七年三月死スル迄其ノ地位ニアリテ黨ノ擴大強化ヲ計レリ。

(註)「ルーゼンバーグ」ハ一八八二年七月九日、オハイオ州グリーランド市ニ生レタル革命家ニシテ生涯匪懈志ニ燃ユ努力ヲ惜マサリキ。彼ハ共產黨ノ指導的地位ヲ得ルニ至ル迄労働運動中ノ凡ニ重大ナル事件ニ關シ主要ナル役割ヲ演ゼシカ一

九二七年三月二日四十五歳ニシテ没シ他ノ多クノ革命家達ト相違シテ「ルーゼンバーグ」宮ニ葬ラレ居レリ。  
右共產黨ノ成立ニ對シ時ノ米國政府ハ強硬ナル彈壓政策ヲ採レリ。一九一九年ハ「ストライキ」ノ數ノ多キコトニ於テ米國史上未曾有ノ年ニシテ國ヲ舉ケテ混沌タル状態ニアリキ。茲ニ於テ「ウイエルソン」政府ハ「ストライキ」煽動者ニ對シ強壓ヲ加ヘタルカ之カタメ投獄セラレタルモノ四、一三八名、追放

一九二〇年

セラレタル者五〇五名ニ及ヘリ。右ノ如キ彈壓ハ實ニ共產運動ニトリ火ノ洗禮トモ謂フヘク之ニヨリテ黨ハ地下ニ潛リ却テ其ノ團結力及闘争心ヲ鞏固ナラシメ黨員モ亦約一萬名ニ達セリ。

「ルーゼンバーグ」カ共產黨内ノ一派ヲ合同セシメ其ノ書記長トナルルハ斯ル事態ノ下ニ於テナリ。一九二一年ニ至リ共產黨ハ産業組合教育聯盟(Trade Union Educational League)(註一)ヲ吸收スル事ニ依リ又同年夏ノ社會黨ノ再分裂(註二)ニ當リ「トラヒテンバーグ」ノ如キ有力ナル指導者並ニ其ノ指導下ニアル社會黨員ヲ入黨セシムルコトニ依リ大ニ黨勢ヲ擴大強化セシカ斯ノ如ク共產黨カ社會主義者或ハ労働運動指導者ヲ獲得スル都度之等指導者ヲ幕フ一群ノ配下ヲモ獲得セルハ銘記スヘキ事ナリ。尙一九二一年ノ後半ハ共產黨ノ基礎工作ヲ終エタル時代ニシテ現在ノ黨指導者ハ當時既ニ黨内ニ活躍シ居リタリ。尤モ當時ノ共產黨ハ要スルニ未タ革命宣傳團體ニ過キサリキ。

(註一)本聯盟ノ指導者ハ當時(J. W. Johnstone, J. Manley 及 S. T. Hammersmark ナリシカ右ノ内「ジョンストン」及「ハマースマルク」兩名ハ今尙共產黨員トシテ「マンレイ」州ニテ活躍中ナリ。

(註二)此ノ分裂ノ結果社會黨ハ(Engelsh, Lore 及 Alexander Trachtenberg ノ如キ有力ナル指導者ヲ失ヒタルカ右ノ内「トラヒテンバーグ」ハ今尙共產黨ノ有力者ニシテ他ノ二名ハ引退或ハ轉向セリ。

共產黨カ完全ナル労働階級ノ指導者タル爲ニハ單ニ革命的煽動教育ヲ實施スル外、更ニ彼等ノ目前ノ經濟的、政治的要求ノタメノ闘争ニ關與シ之ヲ指導援助スルヲ要スルコト勿論ナリ。而シテ此ノ任務ヲ效果的ニ遂行スル爲ニハ當時ノ共產黨ハ過去ニ於ケル幾多ノ誤レル方針ヲ打破シ且共產黨ノ根本的的革命理論ノ適用ニ當リテ極メテ非實際的ナリシ方法ヲ改良スル要アリキ。而シテ右適用方法ノ基本的缺陷ハ一般的ニ米國左翼ノ派閥主義的傾向ニ基クモノナリ。即チ左翼熱練労働者ハ同シク左翼的ナル不熱練労働者ニ對シテ何等ノ同情ヲ有セス白人ハ同一組合内ニ於テ黑人ニ反對シ基督敎

三

徒ハ猶太人ニ對立シ又同シク基督教徒間ニ於テモ「プロテスタント」ハ「カソリック」ニ對シ敵對的ニシテ更ニ農民ハ産業労働者トノ間ニ何等境遇上ノ共通點ヲ見出シ得サル事等ニアリ。此ノ派閥精神ノ可及的除去即チ凡ユル労働者、黑人、白人、熟練、不熟練、猶太人、基督教徒(凡ユル宗派ヲ含ム)、農夫及産業労働者ヲ協和セシムルコトカ共產黨ノ任務ナリキ。換言スレハ之等ノ者ニ共通ノ階級意識ヲ持タシムルコトニ依リテ相互ニ融和團結セシムルコトヲ必要トセリ。斯クテ共產黨ハ革命的宣傳ナルモノカ労働者ノ日常生活ノ闘争ニ結ヒ付ケラルル場合ニ始メ大衆ヲ啓蒙シ組織スルコトノ可能ナルヲ悟リ労働者ノ目前ノ要望ト關係ナキ革命的「スローガン」ヲ一時放棄スルコトニ決セリ。

- A、目前ノ政治的要求實現ノタメノ闘争ヲ輕視シ之ニ對スル主義上ノ反對。
- B、議會政治反對。即チ政府ノ選舉ニ參加スルコトノ拒否(共產主義者ハ政府選舉ニ參加スルコトハ抑々目前ノ經濟的政治的利益ヲ達成スルノ道ナルコトヲ指摘セリ)。
- C、複合組合主義(Dual Unionism)。即チ産業別組合主義ニ反對シ同業組合主義ヲ主張セルコト。共產主義者ハ産業別組合主義ニ依リ熟練、不熟練ノ労働者間ニ存在スル反目ヲ除去スル要ヲ力説セリ。
- D、自由主義者、平和論者、黑人等ノ如キ本來自然ノ味方ト提携セザリシコト。(共產主義者ハ其ノ後此ノ點ニ全力ヲ集中シ「共同戰線」運動ヲ創始スルコトニ依リテ之カ誤ヲ訂正セリ)。
- E、神ノ殺害(God Killing)。即チ反宗教運動ノ行過キ(共產黨ハ右カ餘リニ反對ヲ招キタルコトヲ

悟リ、遂ニ之ヲ放棄セリ。而シテ教會ノ平和運動ニ對スル關心ヲ利用シ蘇聯カ世界平和ノ擁護者ナリ信セシムルコトニ依リ基督教團體ノ内部ニ深く喰ヒ入り始メタリ)。

右派閥主義ノ抑制及大衆的行動ニ對スル共產黨ノ主要ナル第一歩ハ一九二一年十二月労働者黨(Workers Party)ヲ組織セルコトナルカ右労働者黨ナルモノハ共產黨カ當時未タ法律的地位ヲ認めラレ居ラザリシカ故ニ爲シ得ザリシコトヲ代行スルタメニ案出セラレタルモノナリ。而シテ共產黨自體ハ猶引續キ地下團體トシテ存在シ當時一般ニ「No.1」ト呼ハレ、労働者黨ハ「No.2」ト呼稱セラレタリ。斯カルニ重ノ存在ハ一九二三年ノ後半ニ至リ地下共產黨モ解散セラレ、其黨員カ労働者黨員トシテ合法的活動ニ主力ヲ傾注スルニ及ヒ消滅セリ。

爾來右労働者黨ハ選舉闘争ニ參加シ一九二四年ニハ黨最初ノ候補者ヲ立タシメ、又黑人問題及農業問題ニモ重大ナル關心ヲ拂フニ至レリ。一九二五年八月労働者黨ハ労働(共產)黨(Workers (Communist) Party)ナル名稱ヲ採用シ一九二九年三月米合衆國共產黨(Communist Party of the United States of America)ト改稱シ現在ニ及ヘルカ一般ニ「Party」ト呼ハレシマツ。

扱テ前述ノ通り共產黨ハ一九二一年産業組合教育聯盟(Trade Union Educational League-TUEL)ヲ合併シ此ノ時ヨリ産業組合闘争ニ活潑ナ役割ヲ演シ始メタルカ右産業組合運動參加ハ黨ノ指導者間ニ軋轢ヲ醸スコトトナレリ。即チ産業組合ノ重要性並ニ之カ運營方法ニ關シ意見ノ相違ヲ生セシカ一九二三年ニ至リ右軋轢ハ漸ク重大性ヲ加ヘ黨ノ一切ノ工作ニ對シ大ナル妨害トナレリ。

而シテ共產黨ハ(The Ruthenberg-Lovestone-Winstone-Pepper 派)並ニ(The Bittelman-Browder-Dunne-Foster)派ノ二派ニ分レ、一九二三年ヨリ一九二九年ニ至ル六年間激烈ナル内訌ヲ續ク黨派的軌



轍ハ一切ノ黨細胞内ニ迄及ヘリ。  
斯クシテ黨内ニハ二ツノ候補者豫選委員會併存シ又黨ノ規律ハ黨派の規律ヨリモ輕視セラレ黨ノ利害ヨリハ黨派の利害カ重視セララルニ至レリ。  
右二派ノ所屬員ニハ屢々若干ノ入替アリタルモ鬪争ハ依然トシテ繼續セラレタリ。而シテ其ノ論争問題ハ産業組合問題ノミナラス米國經濟及政治情勢ノ見透、共同戰線術、社會黨及他ノ自由主義團體ニ對スル方針、共產黨組織ノ型式、黑人及宗教團體等ニ互レモ終始論争ノ中心ヲナセルハ産業組合問題ナリキ。

六年ニ互ル内訌ニヨリテ黨ノ存在ハ常ニ危險ニ曝サレ其ノ活動ハ阻止セラレ、且黨員ハ漸減シテ一九二九年ニハ七、〇〇〇人ニ下ルニ至レリ。  
斯ノ如キ内部鬪争及之ニ伴フ凋落ニモ拘ラス米國共產黨ハ「ボルシェヴィズム」ノ方向ニ着々前進ヲ續ケ又「コミンテルン」トノ關係ヲ益々密接ニナラシメ行キタリ。  
右内訌「マルクス」主義理論ヲ最モヨク實際問題ニ適用スル方法ニ關スル争——ノ前提ヲナセル主ナル要件ハ

- (イ) 一九二三年乃至一九二六年間ノ國內ノ好景氣ニ依ル大衆ノ勞働運動ニ對スル無關心。
- (ロ) 黨ノ構成上單一性ノ缺除。即チ「ルーゼンバーグ」——「ラプストン」——「ワインストン」——「ペバー」派ハ元來外國語「グループ」(教育部參照)出ノ社會黨員ニシテ勞働組合主義ニ對シテハ經驗モナク又信念モ有セザリキ。反之「ビタルマン」——「ブラッダー」——「デュン」——「フォスター」派ノ大部分ハ會テ「I.W.W.」ニ屬セシ勞働組合主義者ナリ。

之ニヨリテ見ル如ク右二派ノ對立ハ夫々彼等ノ過去ノ經驗ニ基因スルモノナリ。

(ハ) 黨内ニ於ケル非共產主義分子ノ存在。黨結成ノ當初ヨリ混入シ居リシ相當多クノ非共產的分子カ黨派の内訌ヲ一層激化セシメタリ。「ピツチルマン」——「ブラッダー」——「デュン」——「フォスター」派ハ一九二三年ヨリ一九二四年ニ互リ共產黨中央委員會ノ多數ヲ支配セルカ、其後一九二四年ヨリ一九二八年ノ間ニ於テハ「ルーゼンバーグ」——「ラプストン」——「ワインストン」——「ペツバー」派カ多數トナレリ。

而シテ恰モ「一九二三年ヨリ一九二九年ニ互リ」コミンテルン」ハ所謂「戰術的違却」ナル政策ヲ採リ世界革命運動ヲ暫時放棄シテ勞働組合ノ内部侵蝕ニ専念スヘキコトヲ訓令シ特ニ「レーニン」ハ米國共產黨ニ對シ如何ナル手段ヲ講スルモ「A.D.I.」ノ組織内ニ潛入シテ内部崩壊ヲ計ルヘシト命シタリ。然ルニ「フォスター」派ハ右穩健政策ニ反對シ黨時ノ黨書記長「ルーゼンバーグ」ノ政策ヲ攻撃セルカ一九二五年ノ全國中央委員會々議ニ於テ「フォスター」ハ四十票對二十一票ニテ「ルーゼンバーク」ヲ敗リ黨書記長ニ選舉セラレタルカ「モスコ」ハ「ルーゼンバーグ」カ「コミンテルン」ノ政策ニヨリ忠實ナリトノ理由ニテ右投票ノ結果ヲ覆スカ如キ訓令ヲ發シタリ。斯クテ黨ハ混亂ニ陥リ加フルニ當時ノ好況ニ禍セラレテ一路凋落ノ途ヲ辿レリ。

一九二七年「ルーゼンバーグ」ノ死後書記長ニ選舉セラレタル「ラヴストーン」(Jay Lovestone)ハ「ルーゼンバーグ」ノ妥協的政策ヲ踏襲シ、當時極端ナル革命論ヲ唱ヘ居リシ「トロツキー」派ヲ黨内ヨリ追放シ更ニ同年六月彼ハ「米國ノ資本主義ハ興隆ノ過程ニアリ」ト言明セシカ當時ノ「モスコ」ハ右ヲ信シ居レリ。サレト一九二八年、勞働組合赤色「インターナショナル」(Red International of Labor's Unions)

會長「ロソヴスキ」(Lousky) カ米國ニ派遣セラレ實情檢討ノ結果、米國共產黨カ「A. P. L」ノ内  
部穿孔工作ニ失敗シ却テ組合ヨリ放逐セラレ居ル事實ヲ發見シ、之ヲ攻撃セリ。「フォスター」ハ「ロ  
ソヴスキ」カ米國共產黨ニ對シ革命的労働運動ノ組織ヲ要求シ居ルモノト解釋セルニ反シ「ラヴス  
ト」ハ「フォスター」ノ見解カ誤レル旨ヲ主張セリ。

一九二九年「ラヴスト」ハ九二票對八票ニテ「フォスター」ヲ破リ書記長ニ當選セシカ「ロソヴスキ」  
ノ報告ニヨリテ米國共產黨ノ實情ヲ知レル「モスコ」ハ「ラヴスト」ヲ異端者ナリトシテ「フォスタ  
ー」ヲ當選セシムル様電訓セリ。斯クテ「フォスター」ハ書記長ニ選舉セラレ翌一九三〇年ニハ「モスコ  
ー」ノ命ニ依リ新ニ設立セラレタル全國會長ニ推サレ又當時其ノ片腕ナリシ「ブラウダー」カ書記長ト  
ナレリ。茲ニ於テ「ラヴスト」ノ支持者ノ大部分ハ「モスコ」ノ激怒ヲ恐レテ彼ヲ見捨テ「コミンテル  
ン」ノ寵愛深キ「ビッテルマン」ハ「ブラウダー」ハ「ジュン」ハ「フォスター」派ニ忠誠ヲ誓ヒタルカ  
等ニ伍シ黨ノ支配的地位ヲ占メ居レリ。

尙黑人ノ指導者トシテ有力ナル James Ford ハ一九二九年當時迄中立的立場ニ在リシカ(註)「ビッタル  
マン」ハ「ブラウダー」ハ「ジュン」ハ「フォスター」派カ「コミンテルン」ノ支持ヲ受ケ居ルコト明瞭  
トナルニ及ビ「フォード」及其ノ輩下二五〇名カ黨ヨリ追放セラレ「フォスター」ハ「ブラウダー」ノ天  
下トナレリ。

(註) 黑人ノ如キ有力ナル團體ヲ敵トスルコトハ何レノ派ニトリテモ不利ナルヲ類ハスモノ有ラザリキ。

前記「ラヴスト」ノ分裂ヲ轉機トシテ共產黨ハ只管統一ト擴大ヲ目的トシテ前進セシカ爾來黨指導者  
ニハ重要ナル變化ナク唯數名ノ有力者ヲ増加セルニ過キサリキ。(Gil Green ハ其ノ一人ナリ) 現在黨  
ノ指導者ハ E. Browder; Ogin; Green; Stachel; Bitelman; Weiner; Urumbein; Anter; Bedacht;  
Weinstone; Hathaway; Ford; Minor; Dunne; Trachtenberg; Gebert; Benjamin ニシテ以上ノ外黨  
ノ全國委員會(National Committee)中ニハ約二十二名ノ重要ナル領袖アルモ右ハ何レモ當時ヨリ黨  
ノ指導的地位ニ在リタルモノナリ。

一九二九年ノ「ラヴスト」ノ追放ニ伴フ「フォスター」ハ「ブラウダー」派ノ勝利ハ當時ノ共產黨ニ重大  
ナル影響ヲ及ホセシカ、恰モ此頃共產黨ニ重大影響ヲ與ヘタル他ノ事件起レリ。即チ米國史上未曾有  
ノ好況ノ終末ヲ告ケタル株式市場ノ崩壊ニシテ之ニ依リテ招來セラレタル深刻ナル不況ハ共產主義培  
養ノ理想的條件トナリキ。

不景氣ニ伴フ失業率ノ増加ヲ利用シ共產黨ハ首都及大都市ニ於テ「飢饉行進」(Hunger March)ヲ組織  
シテ社會不安ヲ煽リ大資本主義組織其ノモノヲ攻撃シ銀行家及産業資本家ハ國富ノ奪掠者ナルト同時  
ニ労働階級ノ搾取者ナリトシテ非難セリ。

而シテ労働階級ノ革命ヲ實現セントスル如キ努力ハ一九三二年十一月「ルーズヴェルト」カ大統領  
ニ選舉セラレテ遂ニ進歩的ナル「ルーズヴェルト」政府ノ幾多ノ改革政策ハ從來共產黨ノ攻撃  
ノ對象タリシ多數ノ社會的不正竝ニ缺陷ヲ除去正シ(註)延ヒテハ労働者ノ革命的闘争心ヲ弱化スル  
モノナルコト明カナルニ至リ、共產黨ハ黨トシテ何等カ戰術的變化ノ必要ヲ痛感スルニ至レリ。

(註) 例ハハ政府ハ國費ヲ以テ數百萬ノ家族ヲ救済スル救濟制度ヲ實施セルノミナラス W. P. A 及 P. A ノ如キ官營事業ヲ  
起シ失業率ニ戰テ與フル制度ヲ創設セリ。

茲ニ於テ「コミンテルン」ハ米國共產黨ノタメ一般的「内部穿孔工作」(Boring from within)ナル新戦  
略ヲ案出セシカ右ハ労働、教育、文化及平和運動ノ内部ニ侵蝕シテ其ノ支配力ヲ獲得セントスル手段  
ニシテ、共產黨員ハ自由主義運動ヲ攻撃スル代リニ共產主義運動ニ有利ナリト認メラルル一切ノ團體  
ニ自ら潛入シ之カ内部支配ヲ策スルモノナリ。其ノ好例ハC・I・O (Congress for Industrial Orga-  
nizations) ニシテ本團體内ノ少数派タル共産分子ハ優秀ナル政治的手腕、組織及議事ニ關スル知識ヲ  
利用シC・I・O加盟組合ノ大半ヲ支配スルコトヲ得タリ。  
而シテ之等黨員ノ如ク執拗ナル努力ヲナス意志ヲ以テスレハ労働問題ニ限ラズ教育事業、平和運動其  
他凡ユル分野ニ於ケル一切ノ自由主義運動ヲ支配シ得ルハ當然ナルヘシ。  
更ニ「コミンテルン」ハ一九三五年ノ第七回世界大會ニ於テ一切ノ民主主義國家(英米佛等)ノ輿論ヲ  
動員シテ蘇聯ノ外敵(當時ノ日、獨、伊)ニ當ラシメル方針ヲ決定シ直ニ該決議ニ基キタル訓令ヲ「コ  
ミンテルン」各國支部ニ發セシカ、其ノ要旨ハ輿論ヲ動員シテ「平和及民主主義擁護」ノタメノ共同戦線  
(United Front for Peace and Democracy)ヲ結成スヘシト謂フニ在リキ。米國共產黨ハ右訓令ニ從ヒ  
直チニ一切ノ國內問題ヲ犧牲ニシ日獨伊ノ三國ニ對スル米國輿論ノ惡化ニ專念セリ。尙蘇聯ヲ援助ス  
ル該計畫ヲ更ニ容易ナラシムルタメニハ「ルーヴヱルト」政府ノ好意ヲ繋クコトノ得策ナルヲ認識シ  
一九三六年ノ選舉ニ當リ共產主義者及彼等ノ支配下ニ在ル一切ノ労働團體ヲシテ「ルーヴヱルト」ヲ  
支持セシメタリ。「ルーヴヱルト」ノ再選後モ、共產黨ハ黨機關紙及他ノ宣傳機關ヲ動員シテ「ルー  
ヴヱルト」ノ政策ヲ禮讚シ政府トノ親善關係強化ニ努メタル爲爾來共產主義運動ハ輿論ノ非難ヲ免  
レ得ルニ至レリ。

「ルーヴヱルト」ノ國內政策カ現在ノ段階ニ於ケル米國共產黨ノ社會改造方針ニ最モ有利ナル故ノミ  
ナラス共產黨ハ「ルーヴヱルト」ヲシテ蘇聯ノ假裝敵國タル日本及獨逸ヲ絶エス壓迫セシムル報酬  
シテ彼ヲ全幅的ニ支持スヘキコトヲ默約シ居ルモ同然ナリ。  
而シテ「ルーヴヱルト」ニ對スル支持ヲ確保スル策トシテ共產黨ハ一方ニ於テハ共同戦線運動諸團體  
ヲ通シ彼ノ外交政策ヲ禮讚且宣傳シ、他方ニ於テハ救済金ノ増額及私營企業ニ於ケル労働條件ノ改善  
工作ヲ指導援助スルコトニ依リテ労働組合並ニ失業者ノ信賴ヲ維持スル手段ヲ探レリ。斯クテ共產黨  
ハ之等大衆ノ輿論ヲ組織化シ「ルーヴヱルト」ノ外交政策ニシテ且共產黨自體ノ任務タル日、獨攻撃  
ヲ全幅的ニ支持セシムルヲ得タリ。  
「平和及民主主義擁護」ノタメノ共同戦線「工作」ニ付テハ本報告ノ他ノ部ニ於テ詳論スヘキモ要スルニ該  
工作ノ主要目的ハ蘇聯ノ假裝敵國ニ對シ米國民ノ反感ヲ煽リ、且蘇聯邦ヲ以テ世界平和ヲ求ムル指導  
的勢力ナリト宣傳スルニアリキ。  
而シテ右工作ハ過去五年前ノ巧ミナル宣傳工作ニヨリテ大ナル成功ヲ收メ、米國人ニ獨逸ニ對スル憎  
惡心ヲ植エツケ且蘇聯ヲ以テ「ナチス」獨逸ニ對スル堡壘ナリト信セシムルニ略々成功シツツアリタル  
ニ鑑ミ、米國共產黨ハ今次ノ(一九三九年八月)獨逸不可侵條約締結ニヨリ全ク面目ヲ失スルニ至レリ。  
現在米國ノ共產黨ハ「スターリン」「ヒトラー」ノ協定ヲ以テ「平和擁護」ノタメノ「決定的勝利」ナリト  
説明シツツアルカ他方蘇聯邦カ「ナチス」ト通商條約ヲ締結シ獨逸ノ戰爭遂行ニ必要ナル麥、石油其ノ  
他ノ原料品ヲ供給シツツアルニ鑑ミ米國共產黨カ從來主張シ來レル獨逸製品「ボイコット」運動ヲ理由  
ツケルコト極メテ困難トナリ從テ漸次之ヲ停止スルニ至ルベシ。

「スターリン」「ヒトラー」協定ノ結果、米國共產黨ハ幾千ノ黨員及幾萬ノ「Fellow Travellers」ヲ失ヒツツアルガ、一方從來共產黨ノ政策ニ協力シ來タレル自由主義者及平和主義者ノ幻滅モ亦極メテ大ナリ。更ニ共產主義ヲ信奉スルコトニヨリ「ナチス」獨逸ニ對スル共同戦線運動ヲ成功セシムル希望ヲ持チテ多年陰ニ陽ニ共產黨ヲ支持シ來タル猶太人ニシテ今後共產黨ヲ脱退或ハ共同戦線運動ヲ離ル者幾千ヲ以テ數ヘラルルニ至ルヘシ。尙現在共產黨全國委員會委員ノ絶對多數ヲ占ムル猶太人ナルカ蘇聯邦カ「ナチス」獨逸ヲ實際ニ援助スルコト明瞭トナリタル曉ニ於テ此ノ内幾人脱黨スヘキヤハ猶暫ラク事態ノ推移ヲ俟タカレハ豫斷シ得サルモ大體ニ於テ反「ナチス」ノ故ニ黨及其外廓團體ト行動ヲ共ニシ來タリタル猶太人並ニ其ノ他ノ左翼分子ハ漸次社會黨乃至第四「インター」ノ陣營ニ趨ルモノト認メラル。

更ニ一般輿論並ニ官邊ノ共產運動ニ對スル態度ハ、獨蘇ノ同盟的關係カ進展スルニ至ラハ急激ナル變化ヲ蒙ルヘキコト勿論ナリ。即チ共產黨カ共同戦線運動ニ於テ異常ナル成功ヲ收メ得タルハ其ノ工作宜シキヲ得タルニ基クコト勿論ナルモ、更ニ右運動カ當國輿論ノ絶對多數ヲ常ニ且無條件ニ支配シツツアル親英論者ノ反「ファシズム」政策並ニ當國ニ於ケル金融界、言論機關、文化施設等ニ絶大ナル勢力ヲ有スル猶太人ノ反「ヒトラー」政策ト偶々符合セルニ依ルコト極メテ大ナリ。否寧ロ蘇聯邦ノ外交政策ニ從テ米國共產黨ノ蘇聯邦衛政策カ英國及猶太人ノ敵ヲ攻撃スル限リニ於テ官邊及一般輿論ノ寛容乃至支持ヲ與ヘラレタリト見ルコト妥當ニシテ隨テ右條件欠如スルニ至ラハ輿論及官邊ノ共產黨ニ對スル一般態度ハ之ヲ資本主義ノ敵トシテ取扱フニ至ルモノト認メラル。

尙蘇獨ノ友好關係カ眞ニ繼續發展スルニ至ラハ「コミンテルン」ハ對「ファシズム」共同戦線ヲ修正スル要アルヘク、從テ米國共產黨モ現在ノ如キ「スローガン」ヲ修正スルニ至ルヘキコト勿論ナリ。更ニ獨逸ヲ中心トシ米國ノ對蘇關係惡化スルニ至ラハ米國共產黨ハ蘇聯邦衛ノ見地ヨリ國內重要産業ノ「サボタージ」等ノ所謂社會革命目的ノ工作ニ重點ヲ置クニ至ルヘク、右ニ對シ官邊ノ共產黨ノ壓迫行ハレ、斯クテ米國共產黨ハ再ヒ地下ニ潛リ之ニ代リテ社會黨カ擡頭スヘク、何レニスルモ米國共產黨運動ハ新段階ニ入ルコトナル可シ。

## 第二章 概 説

米國共產黨ノ構成並ニ活動ノ詳論ニ入ルニ先タチ「コミンテルン」乃至蘇聯トノ關係、目的、過渡的目的及工作方法等ノ概要ヲ説明スヘシ。

### 一、「コミンテルン」乃至蘇聯政府トノ關係

米國共產黨カ「コミンテルン」乃至蘇聯政府ノ在米代辦機關ナリトノ非難ハ早クヨリ反共團體、聯邦議會ニ於ケル保守の分子等ニ依リ叫ハレ居タルカ特ニ最近ニ至リ米國下院、非「アメリカニズム」調査「ダイス」委員會ニ於テ本件カ多數證人ニ依リ問題トセラレタルニ鑑ミ、一九三八年六月紐育市ニ於テ開催セラレタル第十回黨大會ハ黨憲法ヲ修正シ「米國共產黨、コミンテルン米國支部」(The Communist Party of the U.S.A.—The American Section of the Communist International) ナマケ稱ヲ「米國共產黨、コミンテルン加盟」(The Communist Party of the U.S.A.—Affiliated with the Communist International) ト變更シ「コミンテルン」ニ對スル隸屬關係ヲ「カモンテラージュ」スルニ努ムルトコロアリタルモ依然トシテ米國共產黨ハ精神のニモ機構のニモ「コミンテルン」ノ米國支部

ニシテ黨ノ重要ナル政策綱領ニ關シテハ一切「モスコ」ノ指揮命令ニ服シ居リ、基本的問題ニ關シ「コミンテルン」ノ意思ニ反シテ行動スルカ如キハ想像タニシ得サルハ他ノ各國ニ於ケル共產黨ト同様ナリ。而シテ「コミンテルン」ノ意見ナルモノハ形式論ハ別トシ實際上ハ「スターリン」ノ獨裁決定スルトコトナルヘキヲ以テ米國共產黨ハ結局ニ於テ米國ニ於ケル「スターリン」政府ノ防衛機關タルハ議論ノ餘地ナキトコロナリ。

而シテ米國共產黨ニ對スル「コミンテルン」乃至蘇聯政府ノ指揮命令ハ直接米國共產黨「コミンテルン」又ハOGPUトモ謂ハル「在米」エージェンツ「現在三名ト稱セラル。本年二月頃迄「エージェンツ」ノ首位ニ在リタル在社青蘇聯總領事館副領事 Alexander Ocharov、後任ニハ Ivan Shbaefナル者三月頃來米シ、「アムトルグ」ニ籍ヲ置キ首席「エージェンツ」ノ役割ヲ演シ居ル趣ナリ。他ノ一名ハ勞動運動工作特ニ Sitdown Strike ヲ指揮シツツアル Joseph Kowalski ナリト謂ハル。及在米蘇聯通商機關タル「アムトルグ」會社ノ三者ニ對シ同時ニナササル趣ニシテ右「コミンテルン」ノ在米「エージェンツ」及「アムトルグ」會社幹部ハ右訓令ニ接シタルトキハ之ヲ實行スルニ必要ナル具體案決定ノタメ黨本部ニテ開催セラルル政治委員會會議ニ參加シ、必要ナル資金及専門的智識ヲ供給スル等之ヲ援助スルト共ニ他面右「モスコ」ノ訓令カ共產黨ニ依リ忠實ニ實行セラルルヤ否ヤヲ常ニ監視シツツアリト謂ハル。而シテ米國共產黨運動ニ供給セラレツツアル「モスコ」ノ資金ノ正確ナル額並ニ其ノ経路ヲ知ルコトハ殆ント不可能ナルカ首席「コミンテルン」ノ手ヲ經テ「アムトルグ」會社ヨリ共產黨ニ對シ毎月六萬弗、C.I.O.系勞動組合其ノ他共產黨外郭團體ノ主要ナルモノニ對シ毎月十萬弗供給セラレツツアリトノ説アルモ共產黨及外郭團體收入推算高ト其活動ヨリ推測

セラルヘキ支出高トヲ比較考量スルトキ「モスコ」ノ資金援助ハ更ニ莫大ナルヘント推定セラレ居レリ。

要之米國共產黨ハ其ノ活動ノ重要部面ニ關シテハ悉ク「コミンテルン」乃至蘇聯政府ノ政策並ニ方針ニ追隨シツツアルコトヲ知ルヘク之ヲ證スヘキ最近ニ於ケル適例ハ獨蘇不侵略條約ノ締結ノ際ニ於ケル共產黨ノ態度ナリ。後述スル如ク米國共產黨ノ基本的「スローガン」ハ「ファシズム」反對「デモクラシー」擁護ナル處「ファシズム」ノ張本獨逸ト蘇聯トノ組合ハ共產黨ノ現在ニ於ケル活動綱領ノ根底ヲ破壊スルモノナルカ一般米國市民ノ質問ニ對シ共產黨並ニ其ノ機關紙ハ明確ナル説明ヲ與ヘサリキ。然ルニ兩三日後ノ八月二十五日夜以後黨領袖機關紙ハ積極的ニ之カ説明ニ乗出スニ至レルカ右ト同時ニ世界各國共產黨モ亦同趣旨ノ説明ヲ一齊ニナシタル事實ニ鑑ミ「モスコ」ヨリ各國共產黨ニ對シ同一訓令カ發セラレ之ニ基キタルコト異論ノ餘地ナキ次第ナリ。

#### 二、米國共產黨當面ノ目標

共產黨ノ終局ノ目的カ米國ニ於ケル無産階級ニ依ル社會革命ノ成就又不變ノ目的トシテ蘇聯邦防衛ニ在ルコトハ論ヲ俟タサルトコロナルカ右終局ノ乃至不變ノ目的達成ノタメ過渡的ノ手段トシテ現在ニ於テハ革命理論ヲ一時背後ニ秘シ「デモクラシー」ノ擁護、「ファシズム」排撃ヲ「スローガン」トシ、共產主義トハ二十世紀ノ「アメリカニズム」ニシテ最モ進歩セル「デモクラシー」ナリト説明シツツアリ。

而シテ右「ファシズム」反對ノ理論ハ抑々蘇聯最大ノ敵カ日、獨、伊、等ノ「ファシズム」諸國ナル特殊事情ノ下ニ案出セラレタルモノニシテ從テ今後蘇聯那ノ外交關係ノ推移ト共ニ可變的ノモノナルコト

勿論ナルカ現在ニ於テハ右理論ハ同時ニ米國內ニ於テ共產黨ノ活動發展ニ最モ有利ナル「ニューデー」政策ニ反對ナル諸勢力ヲ攻撃スル上ニモ極メテ適切ナリ。仍テ從來米國共產黨ハ「ファシズム」排撃「デモクラシー」擁護ナル「スローガン」ノ下ニ黨ノ二大目的ヲ同時ニ遂行シ來タル次第ナリ。左ニ右事情ニ關シ分説スヘシ

(一) 蘇聯防衛

米國共產黨ノ蘇聯那防衛ナル使命達成ノ方法ヲ理論的原則的ニ言ヘハ米國內ニ於テ蘇聯邦ノ立場ヲ積極的ニ擁護宣傳スルト共ニ米國ノ精神的物質的勢力ヲ動員シテ蘇聯ノ假裝敵國ニ對スル反對ノ空氣ヲ作り當該國ト米國ノ關係ヲ惡化セシメ之ニ壓迫ヲ加ヘントスルニ在リ。而シテ右原則ニ基キ蘇聯ノ現實ノ假想敵ハ獨、伊、日等ノ所謂「ファシズム」諸國ナルヲ以テ英米佛等所謂「デモクラシー」諸國ヲ糾合シ之ニ當ラシムルタメ共產黨ハ反「ファシズム」「デモクラシー」擁護ナル「スローガン」ノ下ニ過去數年ニ亘リ一切ノ工作ヲ續ケ異常ナル效果ヲ擧ケ來タレリ。而シテ之カ具體的工作方法タル共同戰線ノ戰術ニ關シテハ以下ニ於テ述フヘシ。尙本報告殆ント完了ニ際シ突如獨蘇不侵略條約締結セラレ最早ヤ蘇聯ハ獨逸ヲ敵ト看做ササルニ至リタルヲ以テ前記原則ニ照シ米國共產黨モ除キ獨逸ニ對スル攻撃ヲ緩和セサルヲ得サルニ至ルヘク反之蘇聯カ新ニ最大ノ敵ト目スヘキ國——右ハ恐ラク日本一國トナルヘシ——ニ對シ攻撃ノ全銳鋒ヲ向クルコトナルヘシ。尤モ其ノ際反「ファシズム」ノ「スローガン」ニテハ不適當ナルヘキヲ以テ蘇聯防衛ナル目的ニ關スル限リ何等カ他ノ「スローガン」ヲ案出シ國內平和團體、宗教團體等ヲ糾合シ對日經濟制裁運動等ヲ強化スルモノト認メラル。

(二) 共產階級ニ依ル社會革命

現在米國ノ強力ナル經濟的社會的機構ニ鑑ミ急速ニ之カ實現ヲ期スルコト不可能ナルト共ニ一九三五年「コミンテルン」第七回大會以來蘇聯防衛目的ニ重點ヲ置クコトナリタル關係モアリ、本件目的ノ遂行ニ關シテモ社會革命的過激工作ヲ一先ツ中止シ專ラ國內自由主義分子ノ糾合、反動勢力ノ破壊ニ努ムルコトトナリタリ。仍テ前出蘇聯防衛目的ノ遂行ニ關スルト同一「スローガン」タル「デモクラシー」擁護、「ファシズム」反對ノ旗印ノ下ニ且穿孔工作 (Boing from within) ノ技術ニ依リ、労働組合、文化教育施設、政府機關等ニ共產黨ノ勢力ヲ徐々ニ扶植シ内部ヨリ之ヲ支配シ他日目的達成ノ基礎ヲ確立セントスルニ在リ。特ニ民主黨ノ内左翼派ト保守派トヲ分裂セシムヘキ楔ヲ打込ミ之ヲ分解セシムルコトニ留意シツツアリ。蓋シ共產黨カ革命目的ニ實質的一步前進ヲナシ得ルタメニハ先ツ米國政治諸勢力ノ根本的再調整ヲ成就スル要アレハナリ。而シテ右再調整ハ民主黨ヲ分裂セシムルコトニ依リ比較的容易ニ之ヲ達成シ得ヘントスルモノナリ。即チ民主黨分裂ノ曉ニハ全國的農民労働黨 (National Farmer-Labor Party) カ出現スヘシト期待シ居リ、斯カル際共產黨ハ關係労働組合ヲ通シ農民労働黨内ニ支配的勢力ヲ確立スルコトヲ得ヘシ、而シテ右政黨ヲ支配スルニ至ラハ共產黨ハ之ヲ通シ資本主義機構ニ不利ナル立法及過重ナル課税ニ依リ資本主義的生產組織ノ能率低下ヲ招來スルニ專念スヘク例ヘハ社會保險及失業救済ノ無限ノ増額ニ依リ幣制ノ破壊延イテ國民經濟組織ノ混亂ヲ圖リ他面政府救済金交付ニ依リ労働黨ハ更ニ政治基礎ヲ強化シ得ヘント爲スモノナリ。

要スルニ健全通貨並ニ資本主義制度ノ各部面ニ對スル不斷ノ「サボタージ」ニ依リ資本主義ヲ破

一八  
産ニ導キ、右段階ニ至リタルトキ共産黨ハ最も闘争的、團結的且統制力アル團體トシテ政府ノ機能ヲ奪取シ、所謂無産階級ノ革命ヲ成就セントスルモノナリ。現在共産黨カ「ルーズヴェルト」ノ「ニュー・ディール」政策ヲ全幅的ニ支持シ且外廓團體其ノ他可及の多數者ヲシテ之ヲ支持セシメント努力シツツアルハ「ニュー・ディール」政策カ重税及政府補助事業ニ依ル民間企業ノ壓迫、理由ノ如何ニ拘ラス勞働爭議ニ際シ勞働者側ヲ支持、極端ナル赤字財政ニ依ル公債ノ累積、失業救済ノ不斷ノ増額及政府ニ於ケル生存權保障ノ義務等ノ主張ニ依リ失業者ヲ益増長セシメツツアルコト其ノ他各種ノ社會主義的政策力遂ニ資本主義ノ窒息セシムルニ至ルヘキコトヲ確信シ居レハナリ。

### 三、具體的工作方法

共産黨カ前記二大目標遂行ノタメ現在用ヒ居ル手段ハ前章ニ於テ述ヘタル「内部穿孔」(Boring from within)並「デモクラシー及平和擁護」ノ共同戦線「(United Front for Peace and Democracy)」ノ二種ノ戰術ナリ。而シテ右戰術ハ前述ノ如ク沿革的ニハ之カ適用ノ目的ニ差異アルモ偶々蘇聯ノ敵カ「フアンズム」諸國ナルコト及「ニュー・ディール」政策カ國內反動勢力ノ反對ヲ受ケ居ル特殊相關關係ノ下ニ於テ右兩戰術ヲ巧ニ結合シテ大ナル效果ヲ擧ケツツアリ。

右戰術ニ依ル工作方法ハ周知ノコト乍ラ之ヲ略説スレハ左ノ如シ、即チ共産黨カ支配利用セントスル各種團體乃至各種運動ニ對シ少數且熱心有能ナル黨員ヲ普通ノ會員トシテ潛入セシメ、右黨員ハ黨籍ヲ秘シ「デモクラシー」ノ使徒タル假面ノ下ニ後述スヘキ「Fractions Department」ノ指揮ノ下ニ其ノ全能力及必要ニ應ジ黨ヨリ支給セラルル資金ヲ以テ當該團體ノ發展並ニ會員個人ノ私事ノタメニモ日夜奔走シ徐々ニ其ノ信任ヲ博シ他ノ會員ヲ自己ノ主張ニ傾カシメ同團體内ニ於テ不可缺ノ人物

視セララルニ努ムルモノナリ、而シテ如何ナル團體ニ於テモ眞ニ熱心ナル會員ハ極メテ少數ニシテ大部分ハ定期會合ニスラ出席スルヲ厭フコト常ナルヲ以テ斯カル熱誠且信頼シ得ル會員ヲ發見スルトキ大多數ノ會員ハ甘んシテ自己ノ主張ヲ代辯セシメントスルニ至ル。斯クテモ尙彼ハ自ら表面ニ立ツコトヲ極力避ケ世間的ニ知名ノ士ニシテ且御シ易キ人物ヲ代表者ニ推シ自ラハ其ノ背後ニ在リテ該團體ノ方針ヲ左右スルニ努ムルモノナリ。斯ル程度ニ内部工作進捗スルニ至リテ始メテ共産黨領袖ハ彼ニ對シ同團體内ニ於ケル特定ノ工作ヲ要求スルニ至ル次第ナリ。而シテ右工作トハ共産黨本部ニ於テ「モスコ」ノ訓令ニ基キ案出セル具體的行動綱領ニシテ或ハ「フアンズム」諸國ニ對スル「ボイコット」運動、西班牙共和政府ニ對スル武器輸出禁止撤廢ニ關スル議會請願、日本ニ對スル軍需品輸出禁止運動、W.P.A.ニ對スル政府豫算削減反對運動決議案ノ提出通過ヲ計ラシムル等ノ如シ。右戰術ハ豫想以上ニ成功シ現在米國ニ於ケル「デモクラシー」自由及平和ヲ追求スル凡百ノ諸團體、勞働組合、文化及教育施設、新教各派教會等ハ何レモ内部的ニ浸蝕セラレ、會員ノ多數カ意識セサル間ニ當該團體ハ共産黨ノ政策方針ニ追隨スル政策方針ヲ決定シツツアリ。斯クテ共産黨ハ現在米國ニ於ケル「フアンズム」反對、「デモクラシー」擁護、侵略國ニ對スル軍需品供給反對等ノ全國的運動ノ中心の原動力又ハ之ニ關係アル諸團體ノ參謀本部ノ役割ヲ演シ得ル地位ニ在リ。斯クテ米國共産黨ノ勢力ハ正規黨員七萬五千ニ對シ所謂共同戦線工作ニ關スル限り數十倍乃至數百倍ノ輿論ヲ左右シツツアリ。之カ具體的一例トシテハ本年ノ聯邦議會ニ對スル共産黨外部團體タル「アメリカン、リーグ、フオア、ピース、アンド、デモクラシー」ノ工作ニ係ル對日軍需品「エンバゴ」陳情運動ヲ擧ケ得ヘシ。右陳情ハ新聞ノ報道ニ依レハ五千萬ノ米國市民ヲ包含スル各種團體

ノ代表者ノ署名ヲ蒐メ得タリト主張シ居ル處、右各種團體ヲ構成スル五千萬ノ市民カ全部之ニ同意ヲ與ヘタルニ非サルハ勿論ニシテ關係各團體ハ其ノ會員トシテ潛入シ居ル一握ノ共產黨員ノ必死的不斷ノ工作ニ依リ夫々右陳情支持ノ決議ヲ採決シ之ニ基キ代表者ノ署名トナリタルモノナルモ、兎モ角形式的ニ見ルトキハ五千萬ノ市民カ右對日「エムバーゴ」ヲ支持セルカノ如キ印象ヲ與フヘク又共產黨トシテハ右ニテ充分目的ヲ達スル次第ナリ。

#### 四、米國共產黨運動ノ限界

前述ノ如ク米國共產黨ハ米國內ニ於ケル蘇聯ノ防衛目的ニ關シテ最近數年間ニ顯著ナル成果ヲ舉ケタルモ米國ニ於ケル社會革命ノ達成目的ニ關シテハ殆ント可能性ナシト認メラル。其ノ主タル理由ハ中産階級ノ全部並ニ勞働階級ノ大部ヲ含ム米國市民ノ大多數ハ資本主義制度ニ愛着ヲ有スルト共ニ個人主義カ今猶其ノ國民性ノ基調タルコトニ在リ。  
中産階級ハ米國人口ノ約半數ヲ占ム。而シテ之ヲ構成スル主要ナルモノハ自由職業者、自作農、熟練職工、中小商人及製造業者、高級事務員等ナルカ何レモ若干ノ財産ヲ所有シ又ハ所有スルニ至ルヘキ希望ヲ有ス。而シテ如何ナル不況ニ直面スルモ各人ハ社會ニ於テ均等ナル機會ヲ有スルコトヲ確信シ居リ從テ左右何レノ極端ナル社會思想國家思想ニモ反對スルモノナリ。一九三二年及三六年ノ大統領選舉ニ於テ「ルーズヴェルト」ヲ支持セルカ右ハ其ノ後「ルーズヴェルト」カ實行シツツアルカノ如キ經濟及政治組織ノ急激且社會主義的變革ヲ希望セシカ故ニハ非ス。寧ロ農業地方ヨリ發シ一九二九年ニ至リ全般のトナリタル經濟恐慌ノ主タル受難者トシテ彼等ハ政權ノ改變ニ依リ米國ノ制度ニ對スル信頼ヲ恢復シ以テ再ヒ以前ノ資本主義的好況時代へ復歸センコトヲ希望シタルカ爲ナリ。

中産階級ハ何レノ國ニ於テモ同様ナルヘキモ特ニ米國中産階級ハ急激ナル變革ヲ嫌ヒ就中勞働階級乃至他ノ何レノ小數派ニモ依リ獨裁政治ニ反對スルモノナリ。又産業ニ對スル政府ノ干渉乃至政府事業ノ民間企業トノ競争ノ範圍ハ極力之ヲ縮小セラルヘキコトヲ主張シ、現ニ外國ニ於テハ殆ント認メラレ居ル鐵道國有ニ對シテスラ反對シツツアリ。斯クテ米國中産階級ハ景氣ノ如何ニ拘ラス共產主義ニ對シ難攻不落ノ堡壘ヲナスモノナリ。斯クテ共產黨ノ工作對象ハ下層階級即チ一般勞働者、大都市ニ於ケル貧民、貧農、南部地方ニ於ケル小作人等ニ限ラルル處之ニ對スル工作モ學校教育、宗教其ノ他ノ要素ニ依リ制限ヲ受ケツツアリ。即チ普通學校ニ於ケル「アメリカニズム」ノ教育ハ左右何レノ「イズム」ニモ反對スヘキコトヲ強ク教育シ又「カソリック」教會ハ「マルキシズム」ノ最モ鬪争的反對勢力ナルカ下層階級ニ信者ノ大部分ヲ有ス。無教育ナル白人及黑人ノ小作人數十百萬ヲ有スル南部諸州ハ共產黨ニトリ極メテ有望ナル地域ナルカ同地方ニ於テモ州法ハ共產黨員ノ工作ニハ極メテ不利ナル規定ヲ設ケ居リ黨員ハ安心シテ工作シ得サルコトトナリ居レリ。  
斯クテ全米一億二千五百萬ノ人口中共産黨ノ「革命目的」ニ興味ヲ有スヘシト認メラル可能性ノ最大限度ハ五百萬ヲ超エサルヘシトノ説アリ。

現在米國市民ノ經濟構成ヲ見ルニ定職ヲ有シ自活シ得ル者ノ總數ハ約四千九百五十萬余ナリ。右ノ内一千五百五十萬ハ各種専門職業ニ従事スル者、熟練職工及大小ノ事業主ナリ。更ニ四百萬ハ全米ノ農場約六百八十萬中自活シ得ルモノノ數ナリ。斯クテ右合計約二千萬ハ共產黨ノ革命理論ニハ絶對ニ興味ヲ有セサル者ト見テ可ナリ。右四千九百萬余中勞働組合ニ組織セラレ居ル勞働者ノ數ハ七百六十六萬余(C.I.O.及A.F.L.ノ主張スル組合員數合計)ト稱セララルモ右ノ内約二百五十萬ハ



定期的ニ組合費ヲ納付セサル趣ナリ。而シテ残りノ約一千八百萬ハ組織セラレサル高級労働者及各種職業ニ従事シ居ルモノヲ含ムモ其ノ大部分ハ事務員(White Collar Workers)ニシテ自由主義乃至人道主義ニハ共鳴スルモ資本主義制度其ノモノニ對シテハ大體ニ於テ深キ愛着ヲ有スルモノナリ。仍テ茲ニ揭ケタル約四百九百萬余ノ中階級の又ハ職業的ニ概論シテ共產黨ノ革命理論ニ興味ヲ有スヘシト思ハルルハ組合労働者ノ一部ニ過キサルヘシ。而シテ共產黨カ社會革命目的ニ關シ一應工作對象トナシ得ヘシト認メラルル前記五百萬中ニハ

(1) 失業者一千萬余中約百萬(右ハ失業者工作ノタメ共產黨カ組織セル「ワーカーズ、アライアンズ」ノ會員約八十萬ヲ基礎トセルモ政府ノ救済制度及景氣ノ如何ニヨリテハ相當増減ノ可能性アリ)

(2) 組合労働者七百六十萬余中約百萬。

(3) 貧農及小作人中約三百萬ヲ豫定セルモノナリ。右ハ大體ニ於テ過少ヨリハ寧ロ過大ノ見積ト認メラルルカ更ニ右可能性アル分子ニ對スル工作ニ於テモ前述ノ如ク「カンソック」教會、「アメリカン、リジョン」、「ボーイ、スカウト」、「ガール、スカウト」等ノ各種反共團體ノ妨害ヲ蒙ルト共ニ更ニ米國下院非「アメリカニズム」調査委員會ノ活動、外國宣傳員登錄法ノ施行等ニ依リ其ノ工作ハ愈々困難トナリツツアリ。

要之共產黨ノ社會革命目的ノ達成ハ米國ノ社會的經濟的機構及之ニ基調スル政治理念ニ鑑ミ殆ント其ノ可能性ナシト斷言シ得ラルルカ更ニ最近ニ於ケル獨蘇不可侵條約締結ノ結果最近數年間「ヒトラー」政權反對ノ故ニ黨員「フェロー、トラヴヱラー」又ハ外郭團體ノ會員トナリテ精神的並ニ財政的

ニ極メテ大ナル支持ヲ與ヘ來リタル猶太人ノ同情ヲ失フコトナリ、雖テ「デモクラシー」及平和擁護ノ共同戦線ニ於テ築キ來タリシ指導的地位ヲ喪失スルニ至ルベシト認メラルル次第ナリ。尙之等左翼猶太人ノ同情ハ第四「インク」ナシヨナル「社會黨等ニ分散セラルルコトナルヘシ。尙最後ニ注意スヘキハ「ファシズム」排撃「デモクラシー」擁護ノ「スローガン」ニテハ最早ハ蘇聯防衛ノ目的ヲ達シ得サルニ至レル米國共產黨ハ蘇聯ノ主タル敵國——恐ラクハ日本——國トナルヘシ——

ニ對シ攻撃ヲ集中シ對日經濟制裁運動工作等ニ専心スルコトト認メラルルカ更ニ蘇聯ノ外交上ノ敵カ英佛從テ米ヲモ包含スルニ至ランカ恐ラク米國內ニ於ケル産業組織ノ怠業ニ全力ヲ集中シ間接ニ蘇聯防衛ノ任務遂行ニ努ムル外ナキニ至ルヘシ。現ニ書記長「アール、ブラウダー」ハ「ダイス」委員會ニ於ケル發言中ニ於テ米國カ蘇聯ニ對シ侵略的戰爭ニ入ルガ如キ場合、共產黨ハ一切ノ手段ヲ竭クシテ之ヲ防止スヘク、場合ニ依リテハ内亂ヲモ辭セスト揚言シ居レリ。

### 五、米國共產黨ノ組織大要

黨憲法ニ從ヘハ米國共產黨ノ最高權力機關ハ全國代表會議及之カ選任スヘキ全國委員會(曾テハ中央執行委員會ト稱セリ)ナリ。然レ其實際上ノ權力機關ハ更ニ全國委員會カ選任スヘキ九名ヨリ成ル政治委員會乃至更ニ政治委員會カ選任スヘキ憲法ニ明定セラレ居ラサル機關タル三名ヨリ成ル執行委員會ナリ。而シテ右政治委員會乃至執行委員會ハ在米「コミンテルン」代表(OGPU代表トモ稱セラル)及「アムトルグ」會社關係者ト密接ナル連絡ヲトリ其ノ指導監督ノ下ニ「モスコ」ノ訓令ニ基キ事實上黨ノ政策綱領ヲ決定シ單ニ形式ヲ整フルタメ全國委員會更ニ其ノ上位、全國代表會議ノ議ニ付スルモノナリ。

然レ共右諸委員會ハ要スルニ委員會ニシテ根本政策及之カ實施要項ノ決定並ニ之カ執行ノ監視等ハ爲シ得ルモ現實ノ執行機關トシテハ不適當ナリ。仍チ全國委員會乃至政治委員會ハ執行機關トシテ教育部其他ノ各部及之ヲ補佐スヘキ各種諮問委員會ヲ設置スルモノトス。而シテ右各部及各種諮問委員會ハ全國委員會政治委員會ノ指揮下ニ所謂共產黨本部ノ實體ヲ構成スルモノニシテ本調書ニ於テ主力ヲ注キタルハ右各部ノ組織及活動ニ關スルモノナリ。

共產黨ノ地方別團體モ亦同様ニ形式的ニハ委員會制度トナリ居ルモ其ノ實權ハ少數ノ執行委員乃至黨本部ノ代表者タル常務執行職員ニ依リ運用セラル。而シテ地方的團體ハ「ブランチ」、「セクション」市又ハ郡、州及區(全米ニテ三十五)等各種團體ニ分タレ、「ブランチ」ヲ基底トシ順次ニ「ピラミッド」型ヲ形成シ最上位タル黨本部ニテ統轄セラルルモノトス。而シテ黨憲法ニ於テハ「ブランチ・オーガニゼーション」等ノ字句ヲ使用シ居ルモ本調書ニ於テハ俗稱ニ從ヒ「ブランチ」(支部)等ノ字句ヲ使用セリ。

### 第三章 共產黨ノ組織及活動

#### 第一節 米國共產黨現勢

米國共產黨員數ハ新黨員ノ加入、舊黨員ノ脱退等ノタメ大體ノ數ヲ知り得ルニ止マル次第ニシテ現一九三八年末日ニ於テ登錄セラレタル黨員數ハ九萬ト發表セラレ居ルモ右ノ中ニハ未屆ニテ脱黨シ又ハ會費不納ノモノ多數ヲ含ミ居ル次第ニシテ現實ノ黨員ハ右ヨリ遙カニ少キモノト認メラル。現ニ本年七月發行ノ「パーティー・ビルダー」ニ於テハ現在黨員ヲ七萬五千トシ米國共產黨創立二十週年記念日タル本年(一九三九年)九月一日ニ猶二萬五千名ノ新黨員ヲ募集シ黨員ヲ十萬トスル目標ノ下ニ全米約三千ノ「ブランチ」ニ對シ各平均約十名ノ新黨員募集ヲ德意シツツアリ。客年五月ノ黨全國大會ニ於ケル發表ニテハ黨員六萬トナリ居ルニモ鑑ミ大體現在黨員ハ七萬五千餘ト謂フカ妥當ナルヘシ。

右七萬五千名ノ黨員ノ職業的、地域的、人種的構成分布状態ハ左ノ如シ。

#### (一) 地域的分布

後出共產黨各級支部「ブランチ」ノ部ニテ述フルカ如ク五十萬以上ノ大都市十四ニ於テ共產黨ノ「ブランチ」數三割八分餘黨員ノ六割カ集中シ居レリ。更ニ右大都市十四ヲ含ミ人口五千以上ノ都市總人口六千五百萬)ニ於テ「ブランチ」總數ノ約八割カ組織セラレ居リ。米國人口ノ他半ハ農村田舎ニ分散シ居ル處人口五千以下ノ郡邑ニシテ「ブランチ」ヲ有スルハ三〇〇ニ過キス。

尙地方的ニ見レハ黨員ノ最モ多數ナルハ紐育州、「カリフォルニア」州、「イリノイ」州、「オハイオ」州、「ワシントン」州、東部「ペンシルヴァニア」州、「ミシガン」州、「ミネソタ」州、西部「ペンシルヴァニア」州及「ポストン」市ナリ。

又一九三八年ニ於テ黨員ノ增加率大ナリシモノハ「ワシントン」州(五七%)、「ミシガン」州(四〇%)、「オハイオ」州(三四%)、加州(三二%)ナルカ右ニ次キ一九三八年ニ於ケル平均增加率二二%ヲ超エタルハ「アイオワ」州、「ネブラスカ」州、「ケンタッキー」州、「ミネソタ」州、上部「ミシガン」、「インディアナ」州、「テネッシー」州及「アラバマ」州ノ趣ナリ。

#### (二) 社會的產業的構成

一九三八年末ノ登録總數九萬(但シ脱黨者ヲ含ム)ニ依レハ重工業及輕工業關係勞働者一四八%  
(一九三九年ニ於テ各一三%ノ増加率ヲ示シ居ルカ纖維工業、石油工業、化學工業部門ニ於テハ減少  
セリ)、殘五二%ハ事務員、教師、自由職業家、農夫、家婦、學生ノ順序ノ黨員ナリ。  
又勞働組合ノ見地ヨリ見レハ全黨員ノ半數ハC.I.O.、A.F.L.及獨立ノ勞働組合(Railway Bro-  
therhoods; Intl Ladies Garment Workers Union 等)ノ組合員ナルカ家婦、農夫、小規模小賣商人  
及特殊ノ自由職業家等ノ如ク大體所屬スヘキ組合ヲ有セサル黨員ヲ控除スルトキハ勞働組合加入ノ  
黨員率ハ一層大ナルヘシ。

(三) 男女ノ別

一九三八年末登録ニ依レハ女子ノ數ハ全黨員ノ三三%ナリ。而シテ其ノ大部分ハ工場勞働者ニシテ  
他ハ家婦ナリ。

(四) 年齢別

絕對的數字ヲ有セサルモ四十歳以下ノ黨員ノ増加率ハ四十歳以上ノモノニ比シ著シク大ナル趣ナ  
リ。

(五) 種族別

共產黨員ニ猶太系カ非常ニ多數ナルハ定評ナルカ正確ナル統計ナシ。紐育州支部ニ於テハ八割強全  
米ニテハ五割強カ猶太系ナリトノ説アリ。又「ミニユッツヒ」協定以來本年三月頃迄ニ約一萬名以上ノ  
黨員増加セリト謂ハルルカ右ハ獨逸、「チッコ」等ヨリ避難シ來タル猶太人カ大多數ヲ占ムル趣ナ  
リ。又避難猶太人ノミナラス在來ノ「チッコ」人、「スロヴァキア」人、波蘭人等モ獨伊ノ祖國侵略ニ

刺戟セラレ共產黨ニ加入スルモノ増加シ來タル氣運ニ乘シ黨本部ニ於テハ一九四〇年ノ選舉期迄  
ニ之等民族層ヨリ多數ノ黨員ヲ得ヘク工作シツツアリ。

次ニ「ニグロ」黨員ハ浮動性最モ大ナル趣ナリ。現ニ一九三八年ニ於テハ前年ニ比シ黨全體トシテハ  
二二%平均増加率ヲ示セルニ對シ「ニグロ」ハ僅カニ七%ナリ。然モ同年ニ於テ「ニグロ」ノ新加入者ハ  
四八二〇ニシテ同年一月ノ實數ニ對シ九割六分ノ増加率ナルモ(同期ニ於ケル白人ノ増加率ハ五割  
ノ由)他面脱黨者カ極メテ多數ナリシタメ結局ノ増加率ハ前記七分トナレル趣ナリ。而シテ一九三  
八年ニ於テ白人黨員ノ浮動率六七二%ニ對シ「ニグロ」ニ於テハ九二・七%ナリ。一九三八年ニ於テ  
「ニグロ」黨員ノ増加(入黨者數カ脱黨者數ヨリ大ナルモノ)セルハ費府、「オハイオ」州、「イリノ  
イ」州ヲ最大トシ、「ミネソタ」州、「ワシントン」州、「テキサス」州、「ケンタッキー」州、「インディアナ」  
州、「アイオワ」州、「アラバマ」州各州ニ於テモ若干ノ増加ヲ見タル趣ナリ。又同期ニ於テ脱黨者數カ入黨  
者數ヨリ多カリシハ紐育市、「ピッツバーク」市、「デトロイト」市ヲ最大トシ「ニュージャージー」州、「カ  
ネチカット」州、「オクラホマ」州、「フロリダ」州各州モ若干減少セル趣ナリ。  
而シテ「ニグロ」黨員ヲ黨内ニ止メ得サル主ナル理由ハ「ニグロ」勞働者ノ直面スル經濟上ノ具體的問  
題解決ノタメ就職ノ斡旋或ハ「ユニオン」、「ショップ」等ニ於ケル「ニグロ」勞働者支持ノ鬭争力不充  
分ナルコト(此ノ點ハ白人黨員ノ脱黨者多數ニ付テモ同様ナル趣ナリ)「ニグロ」民族内左翼陣營ノ分  
裂(右ハ主トシテ「トロッキイスト」派ノ工作ニ基ク)等ニ在ル趣ナリ。

第二節 共產黨入黨手續及黨費分擔

憲法第三條乃至第五條ニ明定セラルルトコロナルカ一應其ノ要旨ヲ左ニ説明スヘシ

(1) 資格

十八歳以上ノ市民又ハ歸化ノ意思ヲ表明スル外國人ニシテ勞働階級ニ忠誠ナル者ハ其ノ他一切ノ條件ニ拘ラス資格者ナリ。

(2) 入黨手續

入黨申込書(氏名、住所、職業、給料又ハ地位、人種、家族關係、宗派、政治關係等ノ書込欄アリ)ニ署名シ保證人トシテ二名ノ黨員ノ署名ヲ附シ原則トシテ其ノ住居地又ハ其ノ關係シツツアル組合又ハ工場等ニ於ケル「ブランチ」ニ提出スルモノトス。尤モ上級黨委員會又ハ全國本部ニ提出スルモ差支ナク右ノ場合ハ當該「ブランチ」ニ廻付セララルル趣ナリ。申込書ニハ又左記文句カ印刷シアリ。

The undersigned declares his adherence to the program and statutes of the Communist Party of the United States of America and agrees to submit to the discipline of the Party and to engage actively in its work.

「ブランチ」カ右申込書ヲ受領セルトキハ保證人ノ身許並ニ本人ノ身許ヲ審査シタル上「ブランチ」ノ通常例会ニ諮リ多數決ニ依リ許否ヲ決ス。入黨ヲ許可セルトキハ其ノ旨直屬上級團體ニ報告シ順次上級團體ヲ經テ黨本部ノ組織部ニ報告スルモノトス。

入黨ヲ許サレタルトキ新黨員ハ左記宣誓ヲ爲スロトヲ要ス。

I pledge firm loyalty to the best interests of the working class and full devotion to all progressive movements of the people. I pledge to work actively for the preservation and extension of democracy and peace for the defeat of fascism and all forms of national oppression, for equal rights of the Negro people and for the establishment of socialism. For this purpose, I solemnly pledge to remain true to the principles of the Communist Party, to maintain its unity of purpose and action, and to work to the best of my ability to fulfil its program.

入黨ヲ許サレタルトキハ入黨金(普通五十仙、失業者十仙)及一ヶ月分ノ黨費ヲ納入シ黨員手帖(Membership Book)ヲ受ケルモノトス。

(3) 黨費及制宛金納付ノ義務

黨員カ入黨ノ際宣誓セル各項ノ義務中最モ重要ナルハ黨費納付ノ義務ナリ。即チ二ヶ月間滞納スルトキハ不良黨員トシテ通告セラレ、三ヶ月ニ及フトキハ其ノ旨公表セラレ且當該「ブランチ」ノ黨費徴収委員ニ於テ直接督促ス、滞納四ヶ月ニ及フトキハ除名セラルルモノトス。「ニグロ」黨員其ノ他大都會ノ黨員中ニ脱黨者多キハ結局共產黨ノ甘言ニ期待ヲ掛ケ入黨スルモ直接個人的又ハ自己階級ニ對スル實益ナキタメ黨費納付ノ熱意ヲ欠クニ基クモノ多シト言ハル。

左ニ黨費制、宛金等ノ分擔額ヲ示スヘシ。

(イ) 黨費

黨費ハ全國大會ニ於テ收入、地位等ヲ考慮シ各種黨員ノ分擔割合ヲ決定スルモノトス。現行分擔額ハ左表ノ如シ。

- A 家婦、失業者及月收四十七弗以下ノモノ  
毎月十仙。
  - B 月收四十七弗以上八十弗以下ノモノ  
毎月二十五仙。
  - C 月收八十弗以上百十二弗以下ノモノ  
毎月五十仙。
  - D 月收百十二弗以上百六十弗以下ノモノ  
毎月一弗。
  - E 月收百六十弗以上ノモノ  
毎月一弗ノ外二百六十弗ヲ超ユル毎十弗又ハ其ノ端數額毎ニ五十仙ノ割合ニテ特別黨費ヲ課セラル。
- (ロ) 割宛金 (Assessment) (憲法第五條)  
四ヶ月毎ニ黨員ハ前記普通黨費ノ外最近ノ四ヶ月ニ納付セル黨費總額ノ四分ノ一ノ額ヲ International Solidarity Fund トシテ納付ス。右ハ各國共產黨援助基金トシテ全國委員會ニ於テ保管使用スルモノトス。  
全國大會又ハ全國委員會ハ右以外ノ特別割宛金ヲ設定スルコトヲ得ルモ地方支部ハ右權能ヲ認メラルコトナシ。
- (ハ) 納付ノ方法  
黨費割當金ノ納付ハ黨ニテ發行スル特定ノ「スタンプ」購入ノ方法ニ依ル。而シテ納付ノ事實ハ黨員手帖ニ記入セラルルモノトス。  
尙參考迄ニ黨員ノ納付スル黨費ノ共產黨ノ各種團體ニ分割セラルル割合ヲ示セハ左ノ如シ。(憲法第四條第三項及第四項)  
(イ) 二十五% — 當該「プランチ」ハ  
(ロ) 三十五% — 全國本部ハ  
(ハ) 四十% — 關係ノ州、郡、市及「セクション」ノ各團體間ニ分割ス。右割合ハ州大會ニ於テ決定スルモノトス。  
又手數料ノ半額ハ全國委員會ニ他ノ半額ハ州支部ニ歸屬スルモノトス。

### 第三節 米國共產黨ノ資金關係

共產黨ハ常ニ其ノ財政ノ貧弱ナルコトヲ宣傳シ居ルモ事實共產黨及其所屬團體ニ依リ行ハルル諸種ノ活動事業ヲ一瞥スルノミニテ右ノ如キ黨幹部ノ言明カ偽ナル明カナリト一般ニ主張セラレツツアリ。消息ニ通セル人々ノ調査ニ依レハ新聞單行本「パンフレット」類ノ出版事業ノミニテモ百萬弗乃至二百萬弗ヲ使用シツツアル趣ナリ。  
然レ共其ノ真相ハ容易ニ判明セザルタメ「ダイス、コミットイ」ハ黨會計ノ全貌ニ關スル實證ヲ掴ミ且蘇聯ヨリ米國共產黨ニ對スル資金援助ノ事實並ニ其ノ經路等ヲ明確ナラシムルコトヲ其ノ第二次調査ノ主要任務ノ一トナシツツアリ。

一九三九年九月「ダイス、コミットテイ」ハ共産黨ノ會計帳簿四十三冊ヲ押收シ部分の検査ヲ行ヒタルカ其ノ結果共産黨ハ一九三七年及三八年ノ兩年ニ亘リ總額一〇、一六四、〇〇〇弗ノ經費ヲ有セルコトヲ發見シ、之ニ依リ委員長「マーティン、ダイス」ハ若シ帳簿全部ニ亘リ充分ナル検査ヲ行フ場合米國共産黨カ一九三〇年以來毎年約五百萬弗ヲ費セル事實判明スルナラント斷言セリ。

三三

共産黨書記長「アール、ブラッダー」ハ黨員ヨリノ歳入ハ年二十萬弗ニシテ全國本部ノ歳支出豫算ハ右ト殆ンド同額ナル旨並ニ缺損アル場合ハ「シンバイザ」等ヨリノ寄附ニ依リ償ヒ居ルガ故ニ外國ヨリ財政的援助ヲ受クルガ如キコト絶對ナキ旨ヲ證言セルモ右ハ以下ニ述フルカ如キ黨關係主要人物等ノ證言ニ依リ完全ニ覆ヘサレタリ。

會テ黨書記長ノ地位ニ在リタル Benjamin Gitlow ハ一九二二年ヨリ一九二九年ノ期間中「モスコ」ヨリ年額十萬弗乃至二十五萬弗ノ補助ヲ受タル旨、又右活動資金ノ外莫大ナル特殊機密費ヲ「モスコ」ヨリ受領シ其ノ内十萬弗ハ Mine Workers of America ヲ支配スルタメノ工作費トシテ與ヘラレタル旨、又 Friends of the Soviet Union 主催ニテ一九二二年「ロシヤ」飢饉救恤金百萬弗ヲ一般米人ヨリ據金セルガ右金額ハ「コミンテルン」所屬團體ニ分配セラレ其ノ最大分配額ヲ受ケタルハ共産黨ニシテ宣傳費ニ費消セル旨、又尙金額不明ナルモ多額ノ資金カ米國內ニ於ケル OGPU 及「アムトウ」會社幹部等ニ依リ使用セラレタル旨、並ニ共産黨ノ斡旋ニテ「アムトウ」會社其他在米蘇聯機關ニ就職シ高給ヲ受クル者ハ其ノ俸給ノ一部ヲ黨會計ニ拂込ムコトヲ要求セララル旨等ヲ證言セリ。

「アール、ブラッダー」ノ實弟「ウイリアム、ブラッダー」ハ一九三七年ヨリ三八年ニ亘ル二ケ年間に於テ紐育前共産黨支部會計主任トシテ同支部ノ資金一、三〇二、〇〇〇弗ヲ取扱ヘルカ右資金ハ同人ノ名儀ニテ the Amalgamated

Bank of New York 及 the Manufacturers Trust Company of New York ニ預金ナル旨證言セリ。

又共産黨ノ出版社「International Publishers」會テ多額ノ缺損ヲ生シタルカ社長 A. A. Heller カ之ヲ負擔セル旨、又 Heller ハ「歸化」ロシヤ人ニシテ世界大戰ノ際、酸素製造業ニ依リ資財ヲ作レリト稱セララルカ左傾的ニシテ黨ノ弗箱ノ一ナル旨、又同人ハ一九一九年、米國內ニ於ケル蘇聯通商代表並ニ當時不承認ナリシ在紐育蘇聯大使館通商關係主任タリシカ當時「モスコ」ヨリ米國ノ實業界ヲシテ蘇聯邦承認ヲ支持セシムル工作ノ使命ヲ與ヘラレタル旨、又「スベイン」内亂期間中同人ハ黨ニ依リ設立セラレタル the North American Committee to Aid Spanish Democracy ノ購買「エーゼント」ノ一トシテ一般米人ヨリ募リ得タル六十三萬弗ノ現金及三十三萬弗ノ物資ヲ取扱ヒタル旨、並ニ裕福ニシテ巨額ノ資金ヲ所持スルモ嫌疑ヲ受クルコトナキ同人ハ「モスコ」ヨリ米國共産黨ニ對スル資金流入ノ「エーゼント」ノ一人ナリシコト等ノ證言アリタリ。

「モスコ」ヨリ資金ヲ受ケルタメニハ米國共産黨ハ諸種ノ方法及道程ヲ迪レルカ何等カノ方法ニ依リテ米國官憲ノ干渉ナクシテ右資金ヲ導入セントシテ「アール、ブラッダー」ハ國務省ノ了解取付ノ工作方ヲ會テ Dr. J. B. Matthews (「アメリカン、リीड、フォア、ピース、アンド、デモクラシー」前會長現任ハ「ダイス」委員會調査員)ニ求メタルコトアル旨「マッシュ、ニューズ」カ確認セリ。

又米國共産黨及「モスコ」間ノ聯絡ヲ計リツツアリタルハ在華府蘇聯大使館内ノ一婦人秘書タリトノ證言モアリ。

一九二七年「ロンドン」官憲カ蘇聯通商機關「アルコス」ニ手入セシ際、押收セラレタル一文中ニ辯護士 Joseph B. Bodsky ノ姓名及紐育ノ住所カ發見セラレタルカ更ニ資金送付ニ關スル左ノ如キ符牒

三三

様ノ文句カ記入セラレ居タル旨證言セラレタリ。"Place to send party and other funds" 尙委員會ニ於ケル證言中ニハ右ノ趣旨トハ反對ニ蘇聯邦ハ米國內ニ於ケル蘇聯邦防衛乃至共產黨活動資金ヲ米國內ニ於テ調達シ居ル旨ヲ指摘セルモノアリ。而シテ其ノ方法トシテハ米國ハ歸化セル蘇聯人ノ財産ノ欺取、米國ニ於テ募集セラレタル蘇聯飢饉救恤金、「アムキノ」會社ノ蘇聯「フィルム」配給上映ニ依ル益金（年百萬弗ト稱ス）等ヲ當國內ニ於ケル活動ニ充ツルモノトナス。

要之、「アムトルグ」及OGPUノ秘密「エージェント」ヲ通シテ米國共產黨カ蘇聯ヨリ資金ヲ受領セル事實ニ關シテハ多數ノ證言アリタルカ、黨カ其ノ財政上ノ記録ヲ晦マサントシテ帳簿ヲ偽リ、姓名ヲ偽リ且小切手ヲ使用セスシテ、多ク現金主義ニ依ル等ノ欺瞞的手段ヲ弄シ居ル爲「ダイス、コミッテイ」ニ依リ特ニ雇傭セラレタル會計検査係ハ終ニ何等ノ確證ヲ握ルコト能ハサリシ趣ナリ。

「ダイス、コミッテイ」ノ共產黨資金關係調査ハ右ノ如ク確證ヲ擧ケ得ザル状態ニ在ル處目下聯邦探偵局（Federal Bureau of Investigation）ハ多數ノ著名ナル犯罪調査ノ經驗アル數名ノ會計検査係ヲ使用シ且陸海軍情報部「エージェント」數名ヲ支持ニ依リ調査ヲ進メツツアリトノ確實ナル情報ヲ得タル處、右調査ノ結果ハ單ニ資金關係ノミナラス之ヲ通シテ共產黨活動ノ全貌カ變テ曝露セララルルニ至ルヤモ知レト認メラル。

右F・B・Iカ變テ確證ヲ握リ得ルニ至ラハ蘇聯邦カ米國內ニ於テ赤化運動ヲナサストノ米蘇協約ヲ破リテ年約五百萬弗餘ノ資金ヲ共產黨ニ對シ供給シツツアル事實判明スルニ至ルヤモ圖ラレス。

F・B・Iノ會計検査係目下多數ノ都市ニ於テ極秘裡ニ活動シ居ル趣ナルカ先ツ郵便物規則違反或ハ所得稅脱稅等ノ如キ黨主要人物ノ犯罪行為ヲ告發スルニ充分ナル確證カ悉ク擧カリ且「ルーズヴェルト」政府ノ對左翼運動ニ對スル方針ノ根本的變更ヲ待チテ一齊ニ曝露又ハ處分ノ處置ニ出ツルニ非スヤト認メラル。

而シテ偶々蘇聯カ獨逸ト提携シ且「ポーランド」ニ侵入セルタメ一般米國輿論ノ對蘇聯邦及對共產黨ニ對スル從來ノ寛容的態度カ漸次變更ヲ受ケ且「ルーズヴェルト」大統領モ亦親英主義ノ米國ニ於テハ獨蘇協約ノ結果共產黨乃至左翼ノ支持カ却テ重荷トナリツツアルヲ感シ漸次左翼「ブレン・トラスト」ヲ疎シシ始メタリトノ風説カ傳リ始メタルトキニ於テF・B・Iカ真劍ニ右秘密活動ヲ開始セルモノナリ。右事實ハ一方ニ於テF・B・Iカ從來兎角ノ風評アリタルニ拘ラス共產黨手入ヲ爲ササリシハ左翼ノ支持ヲ偏重セル「ルーズヴェルト」政府ノ反對ニ依リシモノナルコトヲ證スルト共ニ他方ニ於テ蘇聯カ英國ノ敵側ニ立ツ場合ニ於テハ左翼偏重ノ「ルーズヴェルト」政府ト雖モ共產黨乃至左翼運動ヲ彈壓セサルヲ得サル當國ノ親英的事情ヲ物語ルモノナリト謂フヘシ。

尤モ右ノF・B・I秘密調査ノ結果カ如何ニ利用セララルヤハ今後ニ於ケル英蘇關係ノ進展ニ係ルトコロ大ナルヘク即チ若シ英國ヲ支持スル爲ニ蘇聯トノ外交及通商關係ヲ破棄スル必要アラハF・B・Iニ依リ蒐集セラレタル實證ハ極メテ有効トナル可ク又若シ局面展開シテ蘇聯カ英國側ニ靡クカ如キ事態發生セハ目下蒐集セラレ居ル實證ハ秘密裡ニ取扱ハレ戰時ノ際軍部ノ權威者等ニ依リ「サポーター」對策ノ一助トナサルルニ過キサル可シ。

米國ハ壓倒的ニ親英ナレハ蘇聯外交政策カ英國ト爭ヲ生セサル限り米國共產黨カ蘇聯外交政策ノ有用ナル一道具タリ得ルコトヲ「モスコ」モ「コミンテルン」モ今回ノ蘇聯對外政策ノ一結果トシテ明カニ承知シ居ル可シ。

### 第四節 各級地方支部

#### 第一項 「ブランチ」

共産黨組織ニ於ケル細胞トモ稱スヘキ最下級團體ハ憲法第七條第一項及同細則ニ於テ規定セラレ居ル如ク三種ノ「ブランチ」ナリ。尙「ブランチ」ハ米國共産黨本部同様公然タル團體ニシテ後述スルカ如キ或ル種團體内ニ潜在シ居ル少数共産黨員ノ「グループ」タル所謂「ブラクシオン」ノ如ク秘密ノモノニ非ス。而シテ全米ニ於ケル右三種ノ「ブランチ」數ハ約三千ニシテ共産黨員ノ原則トシテ何レカノ「ブランチ」ニ分屬スルコトヲ要求セラル。故ニ「ブランチ」ハ直接黨員指導養成ノ機關トシテ最も重要ナルノミナラス更ニ共産黨カ一般大衆ニ直接人的ニ接觸工作スル機關トシテ重要ナリ。

#### (1) 「ブランチ」ノ種類

##### Shop Branch

單一ノ工場、商店、鑛山、船舶、「ドック」、事務所等内ニ於ケル黨員ヲ以テ組織ス。但シ七名ヲ下ルコトヲ得ス。本「ブランチ」ハ其ノ存在シ居ル團體ノ内部侵蝕 (boying from within) ノ中心トナス。

##### Industrial Branch

同一地域内ニ於ケル同一種類ノ産業部門ニ屬スル工場ニシテ「ショップ・ブランチ」ヲ有スルニ至ラサル且同一地域内ニ在ル工場内ニ働キ居ル共産黨員ヲ以テ組織セラル。但シ單一工場内ニ組織セ

ラルヘキ「ショップ・ブランチ」カ原則ニシテ、本「ブランチ」ハ單一工場内ニ於ケル黨員數七名以下其ノ他特殊ノ事情ヨリ來ル過渡的組織ナリ。本「ブランチ」モ亦當該團體ノ内部侵蝕ヲ主要目的トス。

##### Neighborhood (or Street) Branch

一定地域内ニ居住スル黨員ヲ以テ組織セラル。而シテ右黨員ハ主トシテ「ホワイトカラー」、家婦、失業者等ナルモ前記「ショップ・ブランチ」乃至「インダストリアル・ブランチ」ヲ有セサル地域ニ於テハ工場労働者ヲモ包含スルコトアリ。又單位地域ノ大キサハ人口及黨員ノ多少ニ應シ市、町、區、街等ノ一又ハ數箇ヲ包含スルモノトス。

尙「ブランチ」ノ呼稱標準ハ必スシモ一定セス數字ヲ以テ呼フモノモアレハ (例ハン Branch 2—紐育市東側下町ノ或ル「ブランチ」) 或ハ Scottsboro Branch (443 Lenox Avenue) ノ如ク呼フモノモアリ。

(註) 右各種「ブランチ」所屬黨員カ其ノ生活ノ本據ヲ移轉スル場合ニハ「ブランチ」本部ヨリ移轉證明書ヲ受ケルヲ要シ移轉書ヲ有セサル移轉先ニテ「ブランチ」ニ加入スルコトヲ得ルモノトス。移轉證明書ヲ受ケルニハ會費其ノ他ノ滯納金ヲ完納スルヲ要ス。而シテ右證明書ノ寫ハ該「ブランチ」ヨリ州又ハ區委員會ヲ通シ移轉先「ブランチ」乃至上級團體ニ送付セラル。又黨員カ他ノ州ニ移轉スルトキハ移轉證明書ノ寫ハ全國委員會ヲ通シ移轉先「ブランチ」ニ送付セラル。又一時旅行ノ場合一月以内ナラハ當該「ブランチ」ニテ許可スルヲ得ルモ、一月ヲ超ユル場合ニハ當該「ブランチ」ノ推薦ニ基キ直屬上級ノ黨委員會ニテ決定ス。而シテ黨員ニシテ何レノ「ブランチ」ニ屬セサルタメニハ全國委員會又ハ州支部委員ノ特別ノ許可ヲ受ケルコトヲ要ス。

#### (2) 「ブランチ」ノ機能

「ブランチ」ハ共産黨組織ノ細胞ニシテ黨員ニ對スル直接指導教育ノミナラス新會員ノ募集、共産黨ニ對スル同情者ノ獲得等ノ見地ヨリ一般大衆ニ直接工作スヘキ機能ヲ有ス。



故ニ「ブランチ」ニ關スル共產黨ノ方針ハ先ツ所屬黨員ニ對シ共產黨ノ主義綱領ヲ教育シ且地方的問題ニ關シ啓發援助スルニ在リ。之カタメ隔週毎ニ(大體火曜日夜)「ブランチ、ミーティング」ヲ催シ所屬黨員ハ必ス出席スヘキ義務アリ。會費徴收、寄附金募集、出版物押賣等ノ外黨員教育ノタメノ討論ヲ行ヒ「ブランチ」執行委員會々長之カ指導ノ任ニ當ル。

三八

次ニ「ブランチ」ノ機能ハ一般大衆ニ直接接觸シテ具體的問題ニ關シ黨ノ主義方針ヲ提示シ之ニ賛成協力セシムルニ在リ。之カ爲「ブランチ」ハ「ブランチ、ミーティング」ノ次週ノ毎火曜日夜ニ定例ノ公開「ブランチ、ミーティング」ヲ催シ又ハ更ニ廣範圍ノ民衆大會ヲ臨時開催ス。所屬黨員ハ出席ヲ要求セラルルモ義務的ニハ非サル趣ナリ。

而シテ「ブランチ」(乃至各級地方支部)ハ其ノ管轄内ノ地方的問題ニ關シテハ黨ノ方針決定ニ違背セサル限リ獨斷處理スルコトヲ認メラレ居レリ(憲法第六條第三項)。當該地域ニ於ケル黨員關係問題ノ處理ノミナラス進歩的各種團體並ニ其ノ幹部ニ對スル工作、反「ファシズム」共同戰線工作等ノ中心トナリツツアリ。即チ「ブランチ」ハ當該地方ニ於ケル左翼乃至反「ファシズム」運動ノ原動力並ニ中心機關タルコトヲ要求セラルルモノナリ。

右ニ機能ヲ果スタメ「ブランチ」ハ更ニ會報(Branch Bulletin)、「リーフレット」ヲ發行シ或ハ黨ノ上級團體ニテ出版スル「パンフレット」、新聞、書籍ノ頒布ニ努ムルモノトス。尙本年春ノ全國委員會會議ニ於テ工場、商社學校等内ニ於ケル少數共產黨員「グループ」ニ依ル秘密不完全ナル「ショップ、ペーパー」ヲ廢止シ其ノ代リ「ブランチ」ヲシテ有力ナル地方的新聞(neighborhood or community paper)ヲ出版スヘキコトヲ決定シテ以來「ブランチ、ブュレティン」ノ重要性大トナリ上級地方支部ハ

黨本部ノ命令ニ依リ之カ發達ヲ援助スルコトヲ要請セラレツツアリ。尙「ブランチ」ノ勢力猶弱ナル場合ハ其ノ上級團體タル ward, assembly district 乃至 county 單位ノ支部即チ「セクション」支部等ニ於テ地方新聞ヲ發行シ右「ブランチ」ハ之ヲ購買シ且資料供給等ニ依リ援助スヘキコトトセラル。

左ニ「ブランチ、ブュレティン」及ヒ之ニ代ルヘキ下級黨委員會ノ「ブュレティン」ニ關スル黨本部ノ方針ヲ略説スヘシ。右ハ單ニ「ブュレティン」ニ關スル方針ノミナラス「ブランチ」乃至下級黨委員會等直接大衆ニ接觸スル黨支部ニ對スル共產黨ノ根本方針ヲ示シ居ルモノト認メラルヲ以テナリ。

(イ) 州及「セクション」支部ハ必要ナル職員ヲ増置シテ管下「ブランチ」ノ地方新聞發行ニ關シ援助指導ヲ與フヘキコト、特ニ從來「ショップ、ペーパー」ノ發行ニ携ハレル黨員ヲ之ニ配スルコト。

(ロ) 既ニ「ブュレティン」ヲ發行シ居ル「ブランチ」ハ全國委員會ノ決定ニ鑑ミ之カ改良ヲ審議スヘキ未タ發行シ居ラサル「ブランチ」ニ於テハ上級支部當局ノ援助ノ下ニ「ブュレティン」發行ノ手續、内容、經費等ヲ檢討スヘキコト、更ニ責任アル黨員一名ヲ編輯員トスヘキコト。

(ハ) 定期發行タル以上「ブランチ」經費中ニ特別費目ヲ設クルカ或ハ維持費ヲ設置スヘキコト。

(ニ) 當該地方ニ於テ黨ノ意見ヲ代表スルモノナルヲ以テ其ノ内容ハ嚴ニ黨ノ方針ヲ反映スルコトヲ要ス。此ノ點ニ關シテハ特ニ上級委員會ニ於テ檢閲スルコトヲ要ス。

(ホ) 更ニ理想トシテハ共產黨ノ見解ヲ大衆ニ知ラシムルト共ニ地方的又ハ全米的特定ノ問題ニ關シ大衆ヲ糾合シテ團結行動ヲ採ラシムル役割ヲモ演スヘキコトヲ期待セラル。依ツテ「ブリティン」ハ單ニ社説ニ於テ批評スルノミナラス行動綱領並ニ之カ遂行ノ具體的方法ヲ示スコトヲ要ス。從ツ

三九

編輯當局ハ地方事情ニ良ク通曉シ居ルコトヲ要スヘク地方的具體的問題ニ關スル智識ヲ補強スル手段トシテ「ブランチ」會員ノ寄稿並ニ批評ヲ歡迎スヘキモノトセラル。

(3) 「ブランチ」ノ機關

各「ブランチ」ハ毎年執行委員會ヲ選舉スルモノトス。右委員會ニハ通例 Chairman; Secretary; Treasurer; Fractions Secretary; membership director (or Organizer); Educational Director ナルモ更ニ literature director (Literature Committee), Women's Chairman (Women's Commission) 等ヲ置ク場合アリ。尤モ「ブランチ」ノ存在スル地方ノ特殊事情並ニ「ブランチ」ノ大小等ニ應ジ會長、書記、會計係、組織員以外ノモノハ之ヲ置カス、他ノ者ヲシテ其ノ任務ヲ代行セシムルコトヲ得ルコトナリ居レリ。又 Fractions Secretary ハ表面ニハ顯ハレサル役員ニシテ書記ノ補佐等ノ名目トナリ居ル趣ナリ。

執行委員會ノ職能左ノ如シ。

- (イ) 「ブランチ」會合ニ提出スヘキ日程及提案ヲ作成ス。參考迄日程ノ内容及順序ヲ示セハ左ノ如シ。前會合ノ議事録朗讀、會費支拂、黨關係刊行物ノ押賣 (Literature Committee ナルモノヲ會員ヨリ任命ス)、新會員ノ紹介、執行委員會ノ報告(前會ニ於ケル決定ノ復習、割宛金及會員ニ對スル新任務ノ通報、新刊圖書及新聞並ニ他機關トノ通信ニ關スル報告)、會員ノ福利問題、黨員ノ教育ヲ目的トスル一般の討論等。
- (ロ) 委員會ノ活動並ニ「ブランチ」ノ會計ニ關スル定期報告。
- (ハ) 「ブランチ」ノ決定及上級黨機關ノ指令ノ執行。

(ニ) 次回「ブランチ」會合ヲ俟タス至急處分ヲ要スル事項ニ關スル決定。右ノ場合ハ次回ノ會合ニ報告シ其ノ事後承諾ヲ得ルコトヲ要ス。

執行委員會ノ外各「ブランチ」ハ必要ニ應ジ所要ノ役員ヲ選舉スルコトヲ得。例ハハ Literature Committee 會費徵收ノ補助員、「ブランチ」ビュレタン「編輯員等ノ如シ。右ハ年一回乃至二回特別「ブランチ・ミーティング」ニ於テ選舉スルモノトス。

(4) 「ブランチ」ノ現勢

現在共產黨員ハ約七萬五千ニシテ右黨員ハ原則トシテ全米約三千ノ「ブランチ」ニ分屬シ居ル處(「ブランチ」平均黨員數約二十五人)「ブランチ」ノ分布狀態左ノ如シ。  
人口五千以上ノ都市ハ全米ニテ一八三三アリ(其ノ總人口六千五百萬)、右ノ内四七五即チ全體ノ二割六分ノ都市ノミカ「ブランチ」ヲ有シ居レリ。更ニ右ノ内人口五十萬以上ノ都市一四アル處右ハ何レモ各若干ノ「ブランチ」ヲ有シ「ブランチ」ノ數一、一五三所屬黨員數四萬五千ニシテ黨員ノ過半数ハ右一四都市ニ集中シ居レリ。  
又十萬乃至五十萬ノ人口ヲ有スル都市七九中七〇都市ニ於ケル「ブランチ」數三六二ナリ。  
人口十萬以下五千以上ノ都市中「ブランチ」ヲ有スルハ三九一ニシテ「ブランチ」數約一〇〇〇ナリ。  
人口五千以下ノ都市ニテ「ブランチ」ヲ有スルハ約三百都市ニシテ其ノ「ブランチ」數ハ四、五百ニ過キス、從ツテ人口五千以上ノ大都市内ニ「ブランチ」及黨員ノ大部分組織セラレ居リ。人口五千以下ノ都市ニテ代表セララル都鄙農村地方ハ全米ノ人口ノ半数ヲ代表スルニ拘ラス「ブランチ」及黨員數

極メテ少数ナルコトヲ知ル可シ。

第二項 「セクション・オーガニゼーション」(市、又ハ郡ノ一部行政  
區劃單位ノ支部)

憲法第七條第二項及細則ニ詳細ナル規定アリ。要スルニ「プランチ」ト州支部トノ連絡團體ニシテ右  
レニ比シテモ重要性少シ。

(一) 管轄地域

「セクション」支部ハ市又ハ州ニ於ケル一以上ノ行政區劃内ニ存在スル一切ノ「プランチ」ヲ統轄ス。  
而シテ右管轄地域ノ範圍ハ上級黨委員會之ヲ決定ス。

實際問題トシテ紐育市ノ如ク人口稠密ナル地方ニ於テハ「セクション」ノ範圍ガ一行政區劃(Ward)  
ナル場合アルモ人口稀薄ナ州ニ於テハ數郡カ一「セクション」ヲ構成スル場合アリ。紐育市ハ六十二  
ノ「セクション」ニ分タル居ル趣ナリ。

全米ニ於ケル「セクション」ノ正確ナル數ハ不明ナルモ約三二〇ナリトノ説アリ。從テ「セクション」  
ハ平均九乃至一〇「プランチ」ヲ包含スルコトナル。

尙「セクション」支部ノ名稱ハ原則トシテ其ノ地理的名稱ニ依リ居ル趣ニシテ例ヘン

The Harlem Section—1688 Madison Avenue, N.Y.C.

The Fifth Assembly District Section—400 West 46th St., N.Y.C.

然レ共紐育市其ノ他人口稠密ノ地方ニ於テハ又番號ニテ呼稱スルコトアル趣ニシテ例ヘン

Section 20, Communist Party, N.Y.—417 E. 85th St., N.Y.C.

Section 29, Communist Party, N.Y.—44 Avenue C, N.Y.C.

(二) 組織

(1) 「セクション」代表者大會 (Section Convention)

「セクション」支部ニ於ケル最高ノ機關ナリ。年一回開催セラレ、役員ノ選舉、政策ノ決定、上級黨  
代表大會ヘノ代表選舉等ヲ行フ。「セクション」大會ニ出席スル代表者ハ管内各「プランチ」ヨリ黨  
員數ニ應ジ選出セララルモノトス、其ノ基準ハ「セクション」委員會ニ於テ上級委員會ト協議決定  
ス。

又 Section Organizer 及必要ニ應ジ後出 Section Committee ヲ選任ス。

(2) Section Council

「セクション」代表者大會ノ代行機關ニシテ同シク各「プランチ」ヨリ黨員數ニ比例シ選出セラルヘ  
キ代表者ヲ以テ構成セラル、代表者ノ任期ハ一年ナリ次回大會ニ至ル迄之ニ代リ政策ノ決定、上  
級黨大會ヘノ代表者選出ノ權限ヲ有ス。

少クトモ三月ニ一回「セクション」所屬黨員ノ總會ヲ開催シ事務報告ヲ爲ス。

又少クトモ三月毎ニ會計報告書ヲ作成シ管下各「プランチ」及上級黨委員會ニ提出スルモノトス。  
大會トノ差異ハ代表者數カ更ニ少數ニテ半ハ常設的ナル點ニ在リ、月一回會合スルコトナリ居  
レリ。然レ共本「カウンシル」ヲ有セサル場合多シ。

(3) Section Committee

前記「セクション・カウンシル」ヲ設ケサル場合「セクション」大會ノ代行機關トシテ同大會ニ依リ任

命セラルルモノナリ、其ノ權限ハ「セクション・カウンシル」ト同様ナリ。

(4) Section Executive Committee

前記「セクション・カウンシル」又ハ「セクション・コミッティー」ト雖モ月一回會合スルニ止マリ常務執行ニハ猶不充ナルヲ以テ右各機關ハ其ノ代行機關トシテ其ノ所屬員中ヨリ本「コミッティー」ヲ選任ス、但シ直屬上級委員會ノ同意アル場合當該「セクション」所屬員外ヨリ之ヲ選任スルコトヲ認メラル。

本委員會ノ構成人員數ハ不定ナルモ大體左記ノ如キ職名ノ委員ヲ含ム、但シ同一人ニテ二役ヲ兼ネ又ハ其ノ何レカヲ置カサルコトヲ得ル趣ナリ。

- (Section) Chairman; Secretary; Organizer; Treasurer; Educational Chairman or Director;
- Fractions Secretary; Women's Chairman (of Women's Commission); Literature Director (of Literature Committee)

兎モ角右委員ハ常務一切ヲ處理スル執行機關ニシテ實質上獨裁機關ナルコト黨ノ他ノ支部又ハ本部ニ於ケルト同様ナリ。本委員會ハ原則トシテ無給ナリ。有給ノ職員トシテハ書記一名位ニシテ他ニ勞力ヲ必要トスル場合ハ青少年ノ有志ノ黨員ヲ使用スル趣ナリ。

第三項 市又ハ郡支部

憲法第七條第三項及細則ニ明定セララル。

市又ハ郡支部ハ一市内又ハ一郡内ニ「セクション」支部カ二以上アル場合之等支部ノ活動ヲ調整スルタメ設置セララル中間の機關ニシテ本質的存在理由ハ「ブランチ」又ハ州支部ニ比シ少ナシ。本級支部ハ

更ニ州支部ノ統制下ニ入ルコト勿論ナリ。

但シ本級支部ノ特殊使命ハ前記ノ通り管下「セクション」ノ活動ヲ市乃至郡全體ノ見地ヨリ調整指導スル外聯邦乃至州、市、郡等ノ公職選舉並ニ市及郡内ノ行政時事問題ニ積極的ニ活動スルコトニ在リ。其ノ組織左ノ如シ。

(一) 市 支部

(1) City Council

所謂市支部ノ最高機關ニシテ管内各「セクション・カウンシル」又ハ直接ニ管内全「ブランチ」ニ依リ選出セララル委員ヲ以テ構成ス。其ノ數ハ一定セス。

(2) City Executive Committee

前記「シター・カウンシル」ハ常務執行機關トシテハ不便ナルヲ以テ其ノ代表機關トシテ執行委員ヲ選任シ之ヲシテ常務ヲ專行セシメツツアリ。

而シテ右委員ハ通常 City Secretary; Organizing Secretary; Finance Secretary ノ三名ナルカ地方ニ依リ其ノ數ヲ増加シ居ル趣ナリ。

(二) 郡 支部

(1) County Council

一郡内ニ二以上ノ「セクション」支部アリテ之ヲ統制スル必要アリト認メタルトキ上級團體タル州委員會ニ於テ「カウンティー・カウンシル」ヲ選任スルモノナリ。其ノ權限等ハ「シター・カウンシル」ト同様ナリ。

(2) County Executive Committee  
之カ選任方法、權限等ハ市執行委員會ノ場合ト同様ナリ。  
第四項 州 支 部 (State Organization)

憲法第七條第四項及同細則ニ明定セラル。

州支部ハ原則トシテ共產黨本部ノ直下ニ在リテ(例外的ニハ州本部ト本部トノ間ニ「ディストリクト」支部アリ)州内共產黨各級支部ヲ統轄スルモノニシテ極メテ重要ナル地位ニ在リ。

一、州代表者會議 (State Convention)

州支部ノ最高機關ナリ、二年毎ニ開催セラル、州内ニ於ケル下級支部又ハ「ブランチ」ニ依リ夫々黨員ニ比例シテ選出セラルル代表者ノ大會ナリ、代表ニ選舉セラルルニハ一年以上黨員タルコトヲ要スルモ右制限ハ州委員會ノ決定ヲ以テ具體の場合ニ關シ緩和スルコトヲ得、右大會ニケ月前ニ州内ノ下級各團體ハ大會ノ議題トナリ居ル州委員會 (State Committee) 提出ノ重要決議案並ニ其他ノ問題ヲ審議シ必要ト認ムル決議案ヲ採擇シ又ハ前記決議原案ニ對スル修正案ヲ採擇シ之ヲ大會ノ議ニ附スル權利及義務ヲ有ス。

二、州 委 員 會 (State Committee)

二年後ノ次回州代表者會議ニ至ル迄之ニ代リテ大會ノ決議ヲ執行シ其ノ他州支部ノ活動一切ヲ代行セシムルヲ州大會ニ於テ選出セラルルモノナリ、右被選任資格ハ原則トシテ一年以上黨員タルコトヲ要ス、又右委員ノ數ハ全國委員會ト諮リ大會ニ於テ決定スルモ當該州ニ於ケル黨員ノ多少ニ依リ大ナル差アリ。

本委員會ハ少クトモ毎二月ニ一回會合ス、本委員會ハ全國委員會ノ同意ヲ經テ州支部ノ機關紙ヲ發行スルコトヲ得、例ハ「紐育州支部」"State Affairs"ノ如シ。

又州内ニ於ケル各種公職ノ選舉及行政事務ニ關スル共產黨ノ活動ヲ處理監督ス  
本委員會ハ其ノ自己ノ權限行使ヲ援助セシムルヲ以下ニ述フルカ如キ各種ノ委員會ヲ選任ス。

三、州 執 行 委 員 會 (State Executive Committee)

州委員會モ原則トシテ二月ニ一回會合スルニ止マリ常務執行ニハ不充分ナリ、仍テ其ノ委員中ヨリ執行委員會ヲ選任スルコトヲ認メラル、執行委員會ハ州委員會ノ全權限ヲ代行スルモノトス。共產黨本部又ハ他ノ支部ノ場合ニ於ケルト同様本委員會ハ實質上獨裁的ニ黨務ヲ處理シ最重要ナル地位ニ在リ。

四、會計検査委員會 (Auditing Committee)

州委員會ニ依リ選出セラル、州會計係ノ帳簿ヲ毎月一回検査ス、又公認計理士ヲシテ之等帳簿ノ検査報告書ヲ作成セシメ之ヲ州委員會及特ニ招集セラルル代表者會議ニ提出セシム。

五、監督委員會 (Disciplinary Committee)

州内ニ一千名以上ノ黨員存スル場合州委員會ハ「ディスプリナリー・コミティー」ヲ選任スルコトヲ要ス。

本委員會ノ任務ハ黨規違反事件ヲ査問シ其ノ決定及勸告意見ヲ州委員會ニ報告スルモノトス。黨員一千名以下ノ州ニ於テモ州委員會カ必要ト認ムルトキハ此ノ種委員會ヲ設置スルコトヲ

得。

六、臨時州代表者會議

州委員會ノ多數決、州内黨員ノ三分ノ一ヲ代表スル「プランチ」ヨリノ書面申請又ハ全國委員會ノ決定アル場合州委員會ハ臨時州代表者會議ヲ開催スルコトヲ要ス、前二者ノ場合ニ於テハ全國委員會ノ同意ヲ經テヲ要ス。

七、州支部ノ職員

州支部ハ常設的事務所即チ State Headquarters ヲ有シ執行委員會ヲ補佐スヘキ常置職員若干名ヲ有ス。State Chairman, Secretary, Treasurer, Organizer, Fractions Secretary, Education Director 等ノ外 Political Secretary, Literature Committee, Women's Commission, Negro Commission, Trade Union Chairman, Farm Chairman 等ヲ置クコトヲ得、而シテ其ノ大部分ハ執行委員乃至州委員ヲ以テ兼任セシムルコト多キ趣ナリ。

尙有給ノ職員ハ極メテ少ク、大部分ハ右ノ通り各種委員ノ奉仕ニ依リ事務ヲ處理シ居ル趣ナリ。左ニ州支部ノ現實ノ構成ニ關スル輪廓及概念ヲ得ルタメ判明シ居ル各州ノ職員並ニ州委員會委員名等ヲ列記スヘシ。

紐 育 州

(一) 職 員

Israel Amter (State Chairman), Charles Krumbein (State Secretary), Isidore Begun (State Educational Director); W. E. Browder (State Finance Secretary); H. I. Cottrill (Executive Secretary of Jewish Bureau); Max Fimmel

(Legal Counsel); Mary Bronson (Secretary); Mortimer Don (英米法德意露 State Affairs 調査長); Timothy Holmes (Head of State Negro Commission); Rose Worths (Head of State Trade Union Commission); Max Steinberg (State Organizational Secretary); Sadie Van Veen (Head of State Women's Commission);

尙其他ノ州支部ニ於ケル主要幹部左ノ如シ。

Frank Herron (Executive Secretary of Erie County); Henry Forbes (Executive Secretary of N.Y. County); John Little (Executive Secretary of State Y.C.I.); Jose Santiago (Executive Secretary of Lower Harlem); William Lawrence (Executive Secretary of Kings County); A. W. Berry (Chairman of Upper Harlem); Phillip David (Executive Secretary of Bronx County); Leonard Lamb (Executive Secretary); Mae Gordon (Executive Secretary of Capitol District); Edward Bender (Executive Secretary of Queens County); Fred Brehl (Member of N.Y. State Farm Commission); Frank Herron (Executive Secretary of Erie County);

(一) 州委員會委員百六十七ノ一部

Israel Amter, Charles Krumbein, Isidore Begun, H.I. Cottrill, Irene Browder, William E. Browder, Carl Brodsky, James Forst, Simon Gerson, Paul North, Sam Bantus A.W. Berry, Charles Simons, Sadie Van Veen, Max Steinberg, Henry Forbes, Rose Worths, Peter Cochione, Paul Creshe, Vera Saunders, John Little, Paul Connor, Harry Graham, George Lohr, Ben Davis, Carl Vetro, Jim Barker, Ann Rollins, Frank Herron (Organization Secretary).

「イタナドカマン」系

(一) 職 員

Otis Archer Hood (State Chairman), Phil Frankfeld (State Secretary)

(一) 州委員會委員ノ一部

Otis Hood, Phil Frankfeld, Arthur Emmet, Michael Tuznizian, Hyman Gordon, Marnal Blanc, Ortway Southard, Hugo Depregory, Ronald Thompson, Frank Asher, Fanny Hartman, Mary E. Moore, Alfred Perro, John Webber, Debber, David Grant, Joseph Figueroa, Jack Green.

「イタナドカマン」州

(一) 職 員  
Jim Egan (State Chairman); Pat Tooley (State Secretary); Sam Adams 及 Martin Young (State Organizer)

(二) 其の他、領袖並ニ州務員會務員ノ一節  
Carl Reeve (Ella Reeve Bloor ノ子); Ella Reeve Olinholz Bloor; Tony Mamerich; Frank Cook; Marie Cooke; Fred Abbott; Ike Kraslow; Morton Winters; Dave Davis; Charles Spenser; Dan Shinger; Earl Van; Russell Watson; Mac Harris; E. Soloway; Frank Hellman; Thomas Nabried

「ローレンス」州

(一) 職 員

Anna Burlak (State Secretary); C. Ralph (State Organizer); Morris Kominsky (State Educational Director)

「リネア」州

(一) 職 員

H. Sazer; Lena Davis 及 Eric Lindstrom (State Organizer)

「ケンネコ」州

(一) 職 員

John Williamson (State Chairman); Helen Allison (State Secretary); Herbert Goldfrank (State Organizer); Andrew R. Onda (Cuyahoga County Secretary); Maude May White 及 Frank Rogers (Cleveland Organizer); Joe Dallet 及 John Gates (Youngstown Organizer); David Gordon (Toledo Organizer); M.J. Berry (Mansfield Organizer); John Hirsch (Organizer; Hungarian Branch); Frank Cook 及 Jack Cooper (Young Communist League Organizer)

(一) 州務員會務員ノ一節

D. Courtes; John Willhacker; Yeta Land; I.O. Ford; Joe Nails; Carl Winter; John Steuben; Phil Bart; Mat Argrakes; Fred Borer

「ウィントン」州

(一) 職 員

William Weinstone (State Secretary); James Anderson (Secretary; Trade Union Department); Rifka Meyenberg (Detroit Organizer); James Allen (Organization Secretary)

(一) 其の他、領袖

Merrill C. Work; John Williamson

「カンサス」州

(一) 職 員

Max Salzman (State Secretary)

(一) 州務員會務員

P.M. Dunan; Max Salzman; Leo Blanken; A.J. Fritter; Margaret Stevens; John Hester; Helen Hester; William Burnley; Ed. Cassell; Laverne F. Pratt; Ernest McNutt; Dr. Henry Luch; Lawrence Fought; James Pennington

「ミネソタ」及「ケンタッキー」州

職 員

Louis Sass (District Secretary); Morris Raport (District Organizer); James Murphy (Section Organizer); Harry Jackson (Glickson) (Lumber Organizer)

「ペンタナ」州

職員及領袖

Arvo Fredrick (State Chairman); Leo Garnet (State Secretary); W.F. Denne (State Organizer); Joseph Makin; Charles Taylor

「アライバ」州

(一) 職員

Robert Hall (State Secretary); Jim Mallory (State Organizer); Andy Brown (District Organizer-District No. 17).

(二) 州務員(事務員)一部

Jane Speed; Larry Brown; Wallace Spradley; Frank Curry; John Parker.

「ケンタッキー」州

職員

D.L. West (State Chairman); Norman Link (State Organizer).

「メソチガン」州

職員

T.G. Buckley (State Organizer).

「ミネソタ」州

Jim Porter (State Organizer).

「インディアナ」州

Miles Blansett (State Chairman); Phil Bart (State Secretary); Andre Reemes (State Organizer); J. Lawson 及び Ethel Stevens (Section Organizer).

「テキサス」州

(一) 職員及領袖

Martin Chanogy (Secretary); Ed Shoer, J.A. Renis, Sam Leibowitz, Sam Levin, Jack Menard, Mildred Egan, I. Leenov, Emanuel Levin.

「ネブラスカ」州

Earl Dixon (Secretary); Carl Weiner (「ヤンク・ナッシュビル」州事務員)

「ペンシルバニア」州

Donald Burke (State Secretary); Martin Dewey (Regional Director).

「テキサス」州

Michael Russo (State Chairman); I. Wolsey (State Secretary); William C. Taylor (Organizer).

「カリフォルニア」州

Paul Crouch (State Organizer).

「フロリダ」州

James Allander (State Organizer).

「オハイオ」州

Robert Wood (State Chairman); Joe Clerk (St. Secretary).

「ペンシルバニア」州

Ted Welman (St. Secretary); Earl Welsh (St. Organizer).

「マサチューセッツ」州

Alfred Wagenknecht (St. Secretary); Bud Reynolds (District Organizer-District No. 21).

「テキサス」州

Homer Brooks (St. Secretary).

「フロリダ」州



A.E. Williams (State and District Organizing Director); Jack Strong (St. Secretary); Alex Trainor 及 Bob Davis (Organizer).

「インディア」州

(一) 職員

Morris Childs (State Secretary); Katherine Erlich (Membership Director); Ed Brown (Organizational Director); Beatrice Shields (Field Organizer); Jack Martin (Educational Director); William Gebert (District Organizer); Elmer Johnson (Cook County Secretary); Ray Ransborough 及 Bill Carter (Organizer); Jack King (Secretary of Young Communist League).

(二) 他ノ領袖及州委員会委員ノ一部

Mineola Ingersoll, Elizabeth Johnstone, Dolly Russak, Gilbert Roche, Bob Foley, Harry Shaw, Jack Johnstone 及 Sam Hammersmark.

「ネブラスカ」州

Ed Richards (State Secretary).

「オハイオ」州

Ned Sparks (State Secretary); Gene Denis (State Organizer); Fred Bassett Blair 及 Harold Christie (Organizer).

「ミネソタ」州

Nat Ross (State Secretary); Erick Bert (Organizing Secretary); Sam Darcy (加州ニテ起訴中); Niel Hickey; Leo Kosti; Pat McGran.

北「テキサス」州

Alfred Knutsen (State Secretary).

南「テキサス」州

Alfred Benas, C.H. Sharp.

「カリフォルニア」州

(一) 職員

Anita Whitney (State Chairman); William Schneiderman (State Secretary); Louise Todd (State Organization Director); Al Richmond (Propaganda Director).

(二) 州委員会委員

Anita Whitney, William Schneiderman, "Pop" Hanoff, Oleta O'Connor, George Pauner, L. Ward, Frank Spector, Betty Gannet, Paul Chie, Patsy Perry, Rose Busch, Walter Lambert, Aubrey Grossman, Louis Goldblatt, Emma Cutler, Carol Barnes, Harrison George, Ray Studt, Violet Orr, Mimi Carson, 齋藤 (Saito).

第五項 區支部 (District Organization)

憲法第七條第五項及同細則ニ明定セラル。

共産黨員少キ州例ヘハ一州内ニ於ケル黨員カ紐育市内ノ一「ブランチ」ノ黨員ニ過キサル如キ場合ニ於テモ共産黨本部直下ノ獨立最高ノ地方支部トシテ取扱フコトハ經濟的ニモ實際的ニモ不便多キヲ以テ斯カル場合ハ全國委員会ニ於テ二、三州ヲ以テ一單位ノ最高地方支部タラシメ得ルコトトセリ是即チ區ナリ。

右ノ場合區内ノ各州委員会ハ區委員会(管下各州内ニ於ケル各黨團體ニ依リ選舉セラレ且之ヲ代表ス)ノ管轄下ニ在ルモノトス。

斯ル州支部ノ地位ハ大ナル州ニ於ケル群又ハ市支部ト殆ント同様ナリ。

區代表者會議、區委員会其ノ他ノ委員会ノ選出方法、權限等ハ凡テ前記州ノ場合ト同様ナリ。

尙實際上區ノ管轄地域必スシモ二州以上ノ地域ヲ完全ニ包括スルトハ限ラス。場合ニ依リテハ一州ノ

一部ノミニテ一區ヲ構成セシメ他ノ部分ハ隣接州ト合シテ一區ヲ成サシムルカ如キ場合アリ。而シテ憲法上ハ州カ最高地方支部ニシテ區ハ變別的ノモノトシテ規定セラレ居ルモ現在一州ニテ最高地方支部ヲ構成スルハ二十州ニ過キス。他ノ二十八州ハ分合シテ十五區ヲ構成シ居レリ。仍テ現在共產黨ハ全米ヲ三十五區ニ分チ一州ノミニテ獨立ノ最高地方支部ヲ構成スル場合ニ於テモ便宜上之ヲ第何區ト稱シ居レリ。

五六

左ニ全米三十五區ノ管轄地域及區本部所在地ヲ表示ス。

- District No. 1—Headquarters, Boston, Mass.; Massachusetts, Rhode Island, Vermont, Maine, New Hampshire.
- District No. 2—Headquarters, New York City; Greater New York City and Yonkers and vicinity.
- District No. 3—Headquarters, Philadelphia, Pa.; Delaware, eastern Pennsylvania.
- District No. 4—Headquarters, Buffalo, N.Y.; western New York, a section around Erie, Pa.
- District No. 5—Headquarters, Pittsburgh, Pa.; western Pennsylvania.
- District No. 6—Headquarters, Cleveland, Ohio; State of Ohio.
- District No. 7—Headquarters, Detroit, Mich.; Lower Peninsula of Michigan.
- District No. 8—Headquarters, Chicago, Illinois; State of Illinois.
- District No. 9—Headquarters, Minneapolis, Minn.; all of Minnesota.
- District No. 10—Headquarters, Omaha, Neb.; State of Nebraska.
- District No. 11—Headquarters, Bismarck, N. Dakota; State of North Dakota.
- District No. 12—Headquarters, Seattle, Wash.; Washington, Oregon, Idaho.
- District No. 13—Headquarters, San Francisco, Calif.; California, Nevada, Arizona.
- District No. 14—Headquarters, Newark, N.J.; New Jersey, Delaware.
- District No. 15—Headquarters, New Haven, Conn.; Connecticut.
- District No. 16—Headquarters, Charlotte, N.C.; North Carolina, South Carolina.
- District No. 17—Headquarters, Birmingham, Ala.; Alabama, Georgia, Mississippi.
- District No. 18—Headquarters, Madison, Wis.; Wisconsin.
- District No. 19—Headquarters, Denver, Col.; Colorado, New Mexico.
- District No. 20—Headquarters, Houston, Tex.; Texas.

- District No. 21—Headquarters, St. Louis, Mo.; Missouri, Arkansas.
- District No. 22—Headquarters, Charleston, W. Va.; West Virginia.
- District No. 23—Headquarters, Louisville, Ky.; State of Kentucky.
- District No. 24—Headquarters, New Orleans, La.; Louisiana.
- District No. 25—Headquarters, Jacksonville, Fla.; State of Florida.
- District No. 26—Headquarters, Sioux Falls, S. Dak.; South Dakota.
- District No. 27—Headquarters, Escanaba, Mich.; Upper Peninsula of Michigan.
- District No. 28—Headquarters, Indianapolis, Ind.; Indiana.
- District No. 29—Headquarters, Richmond, Va.; State of Virginia.
- District No. 30—Headquarters, Butte, Mont.; State of Montana.
- District No. 31—Headquarters, Oklahoma City, Oklahoma; State of Oklahoma.
- District No. 32—Headquarters, Des Moines, Iowa; State of Iowa.
- District No. 33—Headquarters, Chattanooga, Tenn.; State of Tennessee.
- District No. 34—Headquarters, Baltimore, Md.; Maryland, District of Columbia.
- District No. 35—Headquarters, Salt Lake City, Utah; State of Utah.

### 第五節 全國代表會議 (National Conventions)

形式的ニハ米國共產黨ノ最高機關ニシテ憲法第八條第一項乃至第四項並ニ同細則ニ詳細ナル規定アルモ左ニ略説ス。

一、構成

原則トシテ二年毎ニ一回開催セラレ代表者ハ州又ハ區大會ニ於テ黨員ノ數ニ比例シ選舉セラル。然レ共各州又ハ各區ニ對スル現實ノ割當ノ基礎ハ後出National Committeeニ於テ決定スルコトトナリ居ル外更ニ代表ノ被選舉資格ハ二年以上黨員ニシテ成績良好ナルモノト謂フニ止マリ然モ右二年ノ制限ハ全國委員會ノ決定ヲ以テ之ヲ排除シ得ルコトトナリ居レリ。仍テ後出政治委員會乃至更ニ獨

五七

裁機關タル執行委員會ハ右全國委員會ヲ通シ會議ノ構成ヲ其ノ欲スル如ク左右シ得ル余地アル次第ナリ。  
代表ノ數ハ一定シ居ラサルモ一九三八年五月紐育市ニ於テ開催セラレタル第十回全國代表會議ニハ全米三十五區ヨリノ代表者約千五百名カ出席セリ。尙右會議ニハ外ニ一般黨員二萬五百人ノ傍聴者アリタル趣ナリ。

二、權 限

共產黨ノ政治的及組織上ノ問題ニ關スル決定ヲ爲ス、右決定ハ黨及黨員ヲ拘束スルモノトス、但シ代表會議ノ選任スヘキ全國委員會ハ次回大會ニ至ル間緊急ナル必要アルトキハ右決定ヲ修正執行スルコトヲ得ルコトナリ居レリ。  
而シテ實際上ハ全國代表會議ニテ論議決定セラルヘキ事項ハ事前ニ全國委員會ニ依リ決定セラルモノナリ、更ニ右全國委員會モ其ノ代行機關タル政治委員會ノ事前ノ決定ニ對シ形式的決定ヲ與フルニ過キササルコトハ前出概説ニテ述ヘタルトコロナリ。要スルニ米國共產黨ノ眞ノ最高權力ハ後出ノ政治委員會ニ在リテ即チ政治委員會ハ「モスコ」ノ訓令ニ基キ政策綱領ヲ事實上獨裁的ニ決定シ單ニ「デモクラシー」ノ形ヲ整フルタメ形式的ニ之ヲ全國委員會ヲ經テ全國代表會議ノ議ニ付スルニ過キス。

尙全國代表會議ニ提出セラルヘキ決議原案ハ全國委員會ニ於テ作成シ豫メ州支部又ハ區支部ヲ通シ管内各級黨團體ニ通報スルモノトス。而シテ大會前二ヶ月間内ニ黨各支部ハ夫々ノ會合ヲ催シ右決議案其ノ他委員審議案ニ關シ討議ヲ重テ決議案乃至修正案ヲ作成シ之ヲ大會ノ議ニ附スル權利義務ヲ有ルコト勿論ナリ。  
全國代表會議ハ又其ノ代行機關タル National Committee 及 National Chairman, General Secretary ヲ選出ス。

第六節 全國委員會 (National Committee)

全國代表會議ノ代行機關ニシテ半ハ常設的ノ黨最高機關ナリ、憲法第八條第四項乃至第七項ニ詳細ナル規定アリ。

一、構 成

全國代表會議ニ於テ選任セラルル委員及補缺委員(發言權ヲ有スルモ投票權ヲ有セズ)ヲ以テ構成セラル。其ノ數ハ各會議ニ於テ決定セラル、又被選任資格者ハ三年以上黨員トシテ活動セルモノタルヲ要ス。

規定上ノ制限ナキモ大體全米三十五區ヲ代表スル如ク選出セラルル趣ナルカ實際ハ紐育市在住者多數ヲ占メ居リ、且實權ハ結局後出政治委員會委員ヲ兼ヌヘキ少數ノ手ニ在ル趣ナリ。  
現在ノ委員ハ左記六十二名ナルカ右ノ内ニハ若干ノ補缺委員ヲ包含シ居ルモノト認メララルモ何レカ然リヤ未タ確カメ得ス。

William Z. Foster; Earl Browder; William Weiner; Charles Krumbein; Israel Amter; Max Bedacht; Phil

Frankfeld; Alexander Bittelman; Rebecca Grecht; Martin Young (C&K & Leon Platt); Fred Brown (C&K & Alpi); William W. Weinstein; Morris Childs; Carl Ross (C&K & Rosenboom); Herbert Benjamin; V. J. Jerome (C&K & Romaine); Thomas Nahred; Morris Raport (C&K & Rappaport); William Schneiderman; Rose Worts; Nat Ross (C&K & Rosenbaum); Gh Green (C&K & Greenfield); Moissaye J. Oghin; Max Saltzman; Alex Markoff; J. Mindell; John Sloan; Alfred Wagenknecht; Roy Hudson; Jack Sachel; James W. Ford; Clarence A. Hathaway; A. J. Barry; Margaret Cowl (Mrs. C. Krumbeln); Gene Dennis; Anna Burak; Robert Minor; Ella Reeve Bloor; Patrick Toohy; John Williamson; Robert Hall; W. J. Binkley; Homer Brooks; W. K. Gebert; Jack Johnstone; Angelo Herndon; Sam Darcy; William F. Dunne; Ray Hamborough; Steve Nelson; Maudie White; Henry Winston; Joe Clark; Robert Wood; Jim Porter; Peter Cacchione; Earl A. Welch; Alexander W. Trainor; Louise Thompson; Harrison George; Alex Trachtenberg; Elizabeth Gurley Flynn.

六〇

### 二、権限

次回全国代表會議ニ至ル迄共產黨ノ最高機關トシテ黨憲法ノ擁護、全國代表會議ニテ決定セラレタル一般政策ノ執行、外部ニ對シ黨ヲ代表シ黨各般ノ問題ニ關シ必要ナル決定ヲ爲スモノトス、右ノ内黨憲法ニ明定シアルモノ左ノ如シ。

(1) 米國共產黨ハ「コミンテルン」及之ヲ通シ各國共產黨ニ加盟シ居リ「コミンテルン」世界大會ニ參加スルコトナリ居ル處右代表ハ本委員會ニ依リ指定セラル。

又右世界大會ノ決議及決定ヲ米國共產黨カ採擇執行スベキ否ヤハ全國委員會又ハ本委員會ニ依リ決定セララルコトナリ居ル處實際ハ本委員會ニ依リ行ハルモノトス(尤モ更ニ實際問題トシテハ政治委員會ニ依リ行ハル)

(2) 其ノ權能行使ヲ分擔援助セシムルタメ各種ノ部(後出共產黨本部)及委員會ヲ組織監督ス、而シテ實際上ノ黨務ハ結局右各部及委員會カ後出ノ政治委員ノ指揮監督ノ下ニ之ヲ處理スルモノト

一、ス。

(3) 共產黨ノ政治的、組織的活動ノ處理、黨機關紙又ハ機關雜誌ノ編輯部員ヲ任免ス。

(4) 黨全體ニ影響アル各種工作ヲ組織指導ス、會計報告書ヲ作成シ全國代表會議ニ提出ス。黨ノ人事及會計ヲ統制ス。

(5) 臨時州代表會議又ハ臨時全國代表會議ヲ召集ス。

(6) 然レ共本委員ト雖モ其ノ委員數多ク、且成ルヘク全米各州區ノ代表ヲ網羅スル建前上頻繁ニ會合スルコト困難ニシテ大體毎四月ニ一回會合スルニ過キス、依テ黨務ノ處理ヲ更ニ効果的ナラシムルタメ之カ代行機關トシテ委員中ヨリ政治委員會ヲ選任シ且必要ナル部、委員會並ニ書記ヲ選任ス、斯クテ黨務ハ大體右政治委員會ニ依リ決定セラレ、本全國委員會ハ其ノ會議ニ於テ右ニ關スル報告ヲ受ケ事後承諾ノ形式ヲ整フルニ過キスト謂ハル、尤モ各委員ハ常時書面ニ依リ重要ナル黨務ニ關スル報告ヲ政治委員會ヨリ受クル趣ナリ、斯クテ共產黨ノ政策ノ決定乃至之カ執行ハ事實上ハ少數者ノ手ニ委ネラルルコトナルヲ知ルヘシ。

### 第七節 政治委員會 (Political Committee)

憲法第八條第七項ニ規定セラル。

前出全國委員會ノ部ニ於テ述ベタルカ如ク全國委員會ノ代行機關ニシテ且實質上共產黨ノ最高權力機關ナリ。

一、構成

六一

全國委員會ニ依リ委員中ヨリ選任セラル、而シテ其ノ數ハ全國委員會ノ決定スルトコロナリ。  
政治委員會委員ノ被選任資格ハ全國委員會委員タルノ外五年以上黨員タルコトヲ要求セラルル處更  
ニ實際上ハ共產黨ノ所謂首腦部(インナー、サークル)ヲ構成スル約二十名ノ内ヨリ選ハルル趣ナ  
リ。

右二十名ハ何レモ黨ノ要人ニシテ現在黨本部ノ部、委員會其ノ他重要地位ヲ占メ居ル趣ナリ、而シ  
テ全國委員會構成員中ノ他ノ四十名ハ實際上政治委員會委員ニ選任セラルル見込ナキ趣ナリ。  
現在ノ委員ハ左ノ九名ナリト謂ハル。

- William Z. Foster (全國會長、其ノ他)
- Earl Browder (全國書記長、政治部長等)
- Clarence Hathaway (啓蒙宣傳部長、"デイリー、ワーカー"紙主筆等)
- Charles Krumboltz (會計部長、紐育州支部書記長等)
- James W. Ford (黑人部長、其ノ他)
- Israel Arter (教育部副部長、紐育州支部會長)
- Gil Green (青年部長、コロンビア、コミュニスト、リーグ全國會長等)
- Jack Stachel (フランクシモン部長、其ノ他)
- Robert Minor (「ユニオン」部長、其ノ他)

二、權 限

形式的ニハ全國委員會ノ代行機關ナリ、即チ四月毎ニ開催セラルル全國委員會總會ノ開催セラレ居  
ラサル間同委員會ノ決定並ニ同委員會カ全國代表會議ヨリ委任セラレ居ル黨務全般ヲ執行ス、而シ  
テ之カタメ採擇スルコトアルヘキ決定ニ關シテハ全國委員會ニ報告シ其ノ事後承諾ヲ求ムルコトヲ

要ス。

又實際上ニ於テハ形式ヲ整フルタメ黨務ノ處理振ニ關シ絶ヘス全國委員會委員ニ書面ヲ報告スル趣  
ナリ。

本委員會ハ毎週一回會合シテ黨務萬般ニ關スル重要問題ヲ審議決定スル外、右委員ハ何レモ後出黨  
本部ノ各部ノ部長、特殊委員會ノ會長等ヲ兼テ居ルヲ以テ相互ニ擔任各部ノ事務ニ關シ報告打合等  
ヲナシ黨本部各部ノ活動ニ關シ連絡協力ノ圓滑ヲ圖リツツアリト稱セラル。

第八節 執行委員會 (Executive Committee)

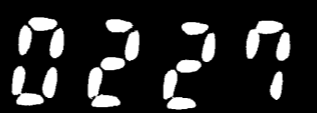
憲法上ニ明定セラルル機關ニハ非サルモ政治委員會ニ依リ選任セラレ緊急處分ヲ要スル問題ヲ代理處  
理スル機關ニシテ實質上ハ更ニ極メテ重要ナリト謂ハル。

一、構 成

- 政治委員會ニ依リ委員中ヨリ選任セラルル現在委員ハ左ノ三名ナリト謂ハル。
- Earl Browder (前出)
- Jack Stachel (前出)
- Clarence Hathaway (前出)

二、權 限

政治委員會ハ毎週一回會合スル建前ナルヲ以テ次回ノ會合ヲ待テ得サル如キ緊急問題ヲ代テ處理ス  
ル爲、毎日一回會合シテ日々起リ來タル重要ナル事務ヲ審議裁決ス、而シテ右事務處理ノ外眞ニ本  
委員會ノ重要性ハ前記構成員ノ顔振ヨリ明カナル如ク黨ノ最重要人物ニシテ「コミンテルン」ノ信頼



最モ厚キ少数者ノ會合ニシテ如何ナル秘密ト雖モ黨内外ニ漏ルルコトヲ懸念スル要ナク、依テ在米「コミンテルン」代表者一現在三名アリト謂ハルルカ其ノ一人ハ本年春轉任セル在紐育蘇聯總領事館副領事 A. Ovchornov 後任 Ivan Shibaef (現在「アムトルグ」ニ藉ラ置ク趣)ナリ及「アムトルグ」會社關係者ヲモ加ヘ「モスコ」ノ訓令乃至政策ニ基テ共產黨乃至外廓團體ノ行動綱領ニ關シ常時忌憚ナキ意見ノ交換ヲ行ヒ、更ニ之カ實施ニ要スヘキ經費ノ支辨方法等ヲモ考慮シ政治委員會ノ審議ノ基礎的具體案ヲ作成スルニ在リ。

六四

### 第九節 全國統制委員會 (National Control Commission)

黨憲法第九條及第十條第三項等ニ規定アリ。

本委員會ハ要スルニ黨紀肅正ノ機關ニシテ黨ノ統制及規律ノ維持強化、全國委員會及其ノ事業ノ會計檢査ヲ圖ル目的ヲ以テ全國委員會ニ依リ設置セララルル機關ナリ。

#### (一) 權 限

前記目的遂行ニ關聯シ黨ノ統制規律又ハ道德ニ抵觸スル行爲、階級意識ノ缺如及階級的敵ニ對シ共產主義的態度不明瞭等ノ行爲、階級的敵ノタメ「スパイ」、裏切其ノ他「エージェンツ」トシテノ行爲等黨ノ規律違反ノ所爲ニ對シ審査及決定ヲナスモノトス、而シテ本委員會ハ下級支部ノ決定ニ對シ關係者ヨリ控訴アリタル場合及全國委員會ヨリ廻付セララルル場合ノ外本委員會自體カ必要ト認ムル場合ニハ其ノ權限ヲ發動スルコトヲ得。

本委員會ノ決定ハ全國委員會又ハ政治委員會ノ承認ヲ俟テ初メテ效力ヲ生スルモノトス、故ニ要ス

ルニ黨ノ規律問題ニ關シ全國委員會ノ補助機關ナリ又本委員會委員ハ全國委員會ノ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得、但シ投票權ヲ有セス。

尙本委員會ハ尠クモ月一回會合スルコトヲ要ス。

#### (二) 構 成

本委員會ノ委員ハ全國委員會ニ依リ選任セララルルモノニシテ委員ノ數モ亦同委員會ニ依リ決定セララル、而シテ本委員會ノ決定ハ前述ノ通り全國委員會又ハ政治委員會ノ承認ヲ俟テ始メテ實施セララルモノニシテ、從テ眞ノ實權者ハ政治委員會ニシテ本委員會ハ實質上ハ其ノ下ニ在リテ會計並ニ黨紀違反事件ニ關スル事實ノ審査及處分ノ原案ヲ作成スルニ過キス、而シテ實際上ニ於テハ、(1)各「ブランチ」ニ於テ六月毎ニ行ハルル黨員手帳ノ檢査ノ結果ニ關スル報告(黨費滯納數、「ブランチ」定期會合出席ノ割合)ニ基キ總務部乃至組織部ニテ作成スヘキ報告書、(2)黨本部總務部會計課ニテ作成スヘキ黨本部並ニ各級支部ノ會計報告書ヲ審査シ其ノ結果ヲ形式的ニ政治委員會乃至全國委員會ニ報告シ黨規律違反事件アルトキハ之ニ對スル處分案ヲ作成シ政治委員會ニ提出スルモノナリ。從テ之ヲ構成スル委員ハ前記諸委員會ノ委員ニ比シ重要性尠シ、委員ノ數ハ現在二十二名ニシテ其ノ内ニハ左記數名アリトノ情報ヲ有スルモ未タ確言シ得ス。

Joseph Lash (New York)

「アムトルグ」「スチム」ハ「エニオン」全國書記長、「アメリカン」ユース、コンGRESS」ノ幹部ナリ。

Michael Gold (New York)

「ニヒル」ユース」誌寄稿記者、作家ニシテ著名ナル黨員ナリ。

Charlotte Jodes (New York)

六五

「紐育」ブーカース、スカーレルン教師タリ。  
 Murray Byrne (New York) 同シテ紐育「ブーカース」スカーレルン教師タリ。  
 Henry Winston (New York) 「ヒツロ」共産黨員、作家、「ヤンク」、コミニスト、リーア全国書記ナリ。  
 John Gates (Pittsburgh) 「オハイオ州」ヤンクスマウン「ニ」於テ鐵工業従業員ノ組織員ナリ。  
 Edward E. Strong (Birmingham) 共産黨外務團體タル「ナショナル」ニツロ、コンダレス「ニ」青年部長ナリ。  
 Philip Cabot (Boston) 一九三八年度ニ於テハ紐育「ブーカース」スカーレルン教師タリキ。  
 Granville Hicks (New York) 「ヒツロ」ニツロ「ニ」記者ニシテ著名ノ共産黨員ナリ。(然レ共産黨不可侵條約ニ對スル米國共産黨幹部ノ態度ニ憤激シ九月下旬脱黨ヲ聲明セ。）

### 第十節 米國共産黨本部

#### 第一項 略 説

概説及前記各節ニ於テ解説ヲ試ミタルカ如ク、米國共産黨ノ最高機關ハ二ケ年毎ニ開催セララルル全國代表會議及之カ代行機關タル全國委員會ナルカ、實際上黨務ノ遂行ハ更ニ全國委員會ノ代行機關タル政治委員會乃至執行委員會ニ依リ行ハルコト、及政治委員會乃至執行委員會ト雖モ尙委員會制ニシテ政策乃至綱領ノ決定ニハ支障ナキモ、之カ執行ニハ不適當ナルヲ以テ全國委員會及政治委員會ハ共

産黨ノ政策及綱領ヲ施行セシムルタメ自己ノ補助機關トシテ行政的各部及更ニ其ノ補佐機關トシテノ各種諮問委員會ヲ設置シ得ルコトナリ居レリ、而シテ右各部及諮問委員會ハ全國委員會ノ補助機關ニシテ從テ國家組織ニ於ケル議會ニ對スル政府ノ如キ獨立性ナキモ、大體ニ於テハ全國委員會ノ委員長及書記長ヲ首班トスル一種ノ行政府ノ觀念トシテ大過ナカルヘシ。

嚴密ニ論スレハ全國委員會、政治委員會及執行委員會モ所謂共産黨本部ニ包含セララルヘキモ前記了解ノ下ニ本調書ニ於テハ便宜上以下ニ掲クヘキ各部及各種諮問機關ノミヲ綜合シテ共産黨本部トシテ解説スル次第ナリ。  
 尙以下ニ掲クヘキ各部中黨ノ出版物等ニ依リ間接ニ共産黨カ其ノ存在ヲ認メ居ルハ啓發宣傳部、教育部、組織部等ニ過キサル處其他ノモノニ付テモ各種ノ方法ニ依ル照合(「チエック・アップ」)ノ結果其ノ存在ヲ確メ得タル次第ナリ。

左ニ各部(及各種諮問委員會)ノ名稱ヲ掲クヘシ。

總務部 (General Office)、組織部 (Organization Department)、「フラクション」部 (Fraction Department)、教育部 (Education Department)、公衆部 (Publicity and Propaganda Department)、「エフォツ」部 (Efforts Department)、政治部 (Political Department)、立法部 (Legal Department)、農業部 (Farm Department)、黒人部 (Negro Department)、婦人部又ハ婦人委員會 (Women's Commission)、青少年部 (Youth Division)。  
 而シテ右各部ノ諮問機關タル特殊委員會ニ付テハ以下各部ノ項ニ於テ了知アリタシ。  
 尙全國委員會ニハ會長及書記長アリテ同委員會ヲ司宰スルト共ニ米國共産黨ヲ外部ニ對シ代表シツツアリ、現在會長ハ「ウキリアム・フォスター」ニシテ書記長ハ「アール・ブラウダー」ナルカ參考迄ニ右兩人ノ略歴ヲ左ニ掲クヘシ。

William Z. Foster (全国委員長)

共産黨全国委員長、全国委員会及政治委員会委員等ニシテ極メテ重要ナル地位ニ在ルカ其人ハ最近、Peggs From a Workers' Life"ナル自叙傳ニ於テ約半世紀ニ亘ル労働左翼運動中、鑛山、工場、船舶等ニ於ケル其ノ工作ヲ叙述シ居...

一九一九年、十數ノ外國語語彙ニ所屬スル左翼社會主義者ノ一團ハ「フォスター」ヲ黨首トシテ「アメリカン・ソヴィエット」ヲ建設...

「フォスター」ハ米共産黨ニ於ケル「スターリン」ナリ、「モスコ」ノ信任任ニ厚キタメ一九三〇年書記長ニ就任スルニ至レルハ...

Earl Browder (全国書記長)

「ブラウダー」ハ米共産黨ニ於ケル「スターリン」ナリ、「モスコ」ノ信任任ニ厚キタメ一九三〇年書記長ニ就任スルニ至レルハ...





等ナ主班セル The Syndicalist League of North America ノ一支部ニ加入セリ。  
 然レトモ「アラウダー」ヲ加入セル Syndicalist League ハ其ノ名ノ示スカ加キ過激ナルモノニ非スシテ「カンサス」市其他ニ於ケル  
 A、D、L 加盟組合内ニ左翼細胞ヲ組織スルヲ主タル工作トセリ。一九一七年迄書翰ハ簿記係トシテ眞面目ニ勤務シ夜間ハ革命家  
 トシテ多忙ナル時日ヲ過セルカ歐洲大戦勃發スルヤ反戦運動ヲ開始シ實弟「ウイリアム」(目下共產黨紐約州第十一選挙區支部會  
 長)ヲモ之引込メタリ。兩名トモ「戦争」ハ資本家ニ依ル労働階級ノ大衆殺戮ナリト非難シ兵役ヲ拒否セルヲタメ Plate  
 郡監獄ニ投獄セラレタルカ、六ヶ月後他ノ實弟「Waldo」ヲ加シ三名「アラウダー」兄弟ハ二ヶ年間ノ刑期ニテ Leavenworth 監  
 獄ニ送ラレタリ。尙「アラウダー」カ「マルキシズム」ニ關スル文献ヲ始メテ讀ミタルハ Plate 郡監獄内ニ於テナリト謂ハル。  
 米國ニ於テ共產主義運動ヲ進捗シツツアラウダー「カ」ハ「Leavenworth」ノ監獄ニ在リタル頃ナリ。「アラウダー」ハ  
 控訴出獄セル時社會黨ノ左翼陣營ニ加入セルガ彼ノ事件カ落着セル頃ニハ右左翼陣營ハ Communist Labor Party トナレリ。  
 「アラウダー」ハ一九三〇年米國共產黨書記長トナレルカ夫レ迄ハ黨内ニ於テ顯著ナル活動チナササリシモ當時既ニ重要幹部タリ  
 シ「ウイリアム」ヲオスター「ト」ハ友誼ヲ厚クシ居レリ。右兩名ハ最初「カンサス」市ニ於ケル Syndicalist League ノ集合ニテ議リ  
 タルカ其ノ交際ハ歐洲大戦及收監等ノ事故ニ依リ中絶セリ。其ノ後一九二二年「モスコ」ニ於ケル國際労働會議ニ出席セル際再  
 會シ爾來今日ニ至レリ。  
 尙「オスター」ハ當時共產黨員ニ非スシテ Trade Union Educational League (Trade Union Unity League ノ前身)ノ會長  
 ナリキ。

一九二六年「アラウダー」ハ労働組合會議出席代表トシテ再ビ「モスコ」ニ赴キタルカ其ノ際帝國主義打倒ニ關シ支部人労働者ヲ  
 指導スヘキ使命ヲ與ヘラレタリ。  
 赴支當初、彼ハ蒋介石カ共產黨分子ト提議シツツアルカ協議ノタメ香港ヨリ漢口ニ至ル途次將カ共產黨討伐ヲ決定セ  
 ル事實ニ遭遇シ對峙態度ヲ一變シ「將ハ資本主義者及帝國主義者ノ手先ナリ云々」ト罵倒スルニ至レリ。然レトモ右罵言モ後日米  
 國共產黨間ニ將チ高揚スルニ至レル「アラウダー」ニトリテハ「ノ挿話」ニ過キス。現モ角、一九二八年迄支部ニ在リテ工作セリ。之  
 カタメ同人ハ現在ニ於テ支部問題ニ關シテハ黨内ノ權威者ナリテ自任シ支那語「ケル」ニモ特ニ幹部トシテ名ヲ連ネ居レリ。  
 「アラウダー」カ歸米セルハ米國共產黨内ニ Foster-Gilroy-Lovestone 三巴ノ葛藤カ行ハレ居リシ時ニシテ「ラウ」カ書記長  
 ニ選舉セラレタルニモ拘ラズ「モスコ」ハ彼ヲ斥ケテ「オスター」ニ味方セリ。更ニ「オスター」モ亦「モスコ」ノ意向ニ添ハ  
 サリシ故會長ノ地位ヲ創設シテ之ヲ敬遠シ「アラウダー」カ書記長ニ就任セシメタリ。

「アラウダー」ノ後妻 Irene ハ「ロシヤ」革命當時「ボルシェヴィキ」ニ參加セル婦人辯護士ナルカ「アラウダー」ノ第一回「モスコ」  
 旅行ノ際相識ノ仲トナリ遂ニ結婚セリ。三名ノ子供米國生ハ一名ノミナリ。彼ハ第一回「モスコ」旅行ノ際ハ三等旅客ナリシモ  
 現在ハ贅澤ナル旅行チナシ居リ。共產黨ヨリノ表向還給ハ四十弗ナルニモ拘ラズ「ユンカー」ニ於テ月八十五弗「アパート」ニ住  
 シ居レリ。尤モ原稿料年四千弗ノ收入アリト稱シ居レリ。  
 「オスター」モ「モスコ」ニ於ケル或ル證言ニヨリ「アラウダー」ハ都合悪シキ國家ヲ通過スル際ニハ偽造旅券ヲ用ヒタル趣ナリ。又  
 Ben Gilroy ノ證言ニ依リハ米國共產黨ノ資金ノ一部ハ「モスコ」ヨリ來ルモノニシテ Gilroy 自身右資金ヲ米國ニ持込ミタル  
 事アレハ「アラウダー」モ亦其ノ數度ノ旅行ニ於テ持歸リ居タルコトハ明白ナリト主張シ居レリ。

彼カ幾度「モスコ」ニ赴キタルヤハ黨内ニ於テアラウダーヲ知ル者ナシ。彼ノ家族ハ數年前迄蘇聯ニ在住セルモノニシテ米國ニ在住  
 セルハ「アラウダー」ノ黨幹部期間八ヶ年中四ヶ年ニ過キサル事實ニ徴シ、彼ノ「モスコ」ヘノ旅行回数ハ相當頻繁ナルヲ推測シ得  
 テモラル。要スルニ同人ハ「モスコ」ノ信任厚ク尙暫クハ現在ノ地位ヲ保持スルモノト評セラル。

第二項 共產黨本部建物内ノ配置

米國共產黨全國本部ハ紐育市東第十二丁目三十五番地ヲ正門トシ東第十三丁目五十番地ニ跨ル舊式九  
 階建「ビルディング」ニ在リ。右建物ハ紐育市ニ於ケル赤色地帯ト稱スヘキ「ユニオン、スクエア」ヨ  
 リ「プロック」更ニ下町ニ當リ居レリ。共產黨ハ約十年前ニ右建物ヲ六十五萬弗ニテ買收セリト謂ハ  
 ルルカ外觀垢染ミタル、ガタガタノ建物ナリ。東第十二丁目ニ面スル正門ヲ入レハ舊式ノ「エレヴェー  
 ター」アリ。外來者ハ黑人ノ「エレヴェーター」係ニ依リ指定スル階數ノミニ案内セラレ、而シテ「フロ  
 ー」間ノ階段ヲ利用スルコトヲ許サレス。必ラス右「エレヴェーター」ニ依ラサルヲ得サルニ付キ他ノ  
 一般ノ商社ノ建物ニ於ケルカ如ク監視人ノ目ヲ盜ミテ建物内ノ各階ヲ自由ニ往行スルコトヲ得サル次  
 第ナリ。又本建物内ニ於ケル、共產黨員ノ私用室ノ入口ニハ其ノ氏名ヲ揭示シ居ラス。右ハ曾テ米國  
 檢察當局カ共產黨員狩リヲ爲セル當時ヨリノ傳統ニ依ルモノナリト謂ハル。而シテ所謂共產黨本部ハ

第九階ニ在ルカ他ノ八階モ全部共産黨關係團體乃至學校、機關紙ノ發行等ニ使用セラレツツアリ、即チ共産黨本部ノ外紐育州支部、「ヤング、コミュニニスト、リーグ」、全國本部及紐育州支部、黨機關紙「デーリー、ワーカー」及「サンデー、ワーカー」紙、月刊「コミュニニスト」、「フライハイイト」紙、Edepanin紙等ノ發行所、「ワーカーズ、スクール」ノ本部及教室、「ワーカーズ、ライブラリー」及「ワーカーズ、ブックショップ」等アリ、參考迄ニ建物ノ各階ノ配置ヲ説明スヘシ。

一 階

東第十三丁目ニ面シタル側ニハ「ワーカーズ、ブックショップ」「ワーカーズ、ライブラリー」アリ、而シテ約三分ノ一ハ書庫其他ノ物置ニ使用セラレ  
東第十二丁目ニ面スル側ニハ廣キ物置ノ外「デーリー、ワーカー」紙及「フライハイイト」紙ノ販賣事務所アリ

二 階

第十二丁目ノ側ニハ「ワーカーズ、スクール」ノ教室及會議室ニテ占メララル、但シ一室ヲ建物管理事務所ニ充ツ

第十三丁目ノ側ニハ理髮室、物置等アリ

三 階

「ワーカーズ、スクール」ノ職員及事務室、會議室、教室カ大部分ヲ占メ居レリ、尙「ワーカーズ、スクール」總監督 Bartof (獨蘇不可侵條約締結後間モナク死亡) 及二人ノ補佐並ニ三名ノ書記役ハ本階ニ事務室ヲ有シ居レリ、又第十三丁目側ニハ Ruthenberg Library ノ大事務室アリ。

四 階

「フィンランド」語ノ月刊紙 Edepanin ヲ發行スル Finnish Printing Company カ全階ヲ占メ居レリ、第十二丁目側ハ編輯部及營業部用事務室ニシテ第十三丁目側ハ機械及印刷室ニテ占メラレ居レリ。

五 階

第十二丁目側ハ共産黨紐育州支部ニ依リ占メララル、支部長 I. Anter、支部書記(長) Charles Krumbein 及支部ノ會計係、組織員、教育書記、「フラクシオン」書記等ノ事務室アリ、尙三十八名ノ常雇員及多數ノ短時間ノ使用人又ハ無報酬有志ノ勞務提供者ニテ常ニ出入頻繁ナリト謂ハル。  
第十三丁目側ハ「ヤング、コミュニニスト、リーグ」紐育州支部ニテ占メララル、而シテ支部長 Claudia Jones、執行書記 John Little、常任書記 Sam Banks 其ノ他幹部 Al Steele 及 Adele Porter 等ノ事務室アリ、又常用ノ雇員十二名ノ外常ニ時間極雇乃至有志ノ勞力提供者多數アリ。

六 階

第十二丁目側ハ Morning Freiheit 紙ノ編輯室、編輯長兼共産黨猶太語「ペーロー」局長 M. J. Olin 事務室、猶太語「ペーロー」全國事務所及執行書記 H. I. Correlle ノ事務室、「デーリー、ワーカー」紙營業部、「フライハイイト」紙編輯記者 N. Buchwald ノ事務室等アリ、第十三丁目側ニハ、猶太語「ペーロー」ノ圖書室及書房、「フライハイイト」圖書館ト通稱セラル)アリ。

七 階

「デーリー、ワーカー」、「サンデー、ワーカー」、「フライハイイト」等ノ機關紙ノ印刷場ニ使用セラレ居レリ。



尙若干主要黨員ノ私用室アル趣ナリ。

八 階

「デーリー、ワーカー」及「サンデー、ワーカー」紙ノ編輯室及 Mike Gold 其ノ他主要編輯部員ノ私室ニ依リ全階ヲ占メ居レリ。

九 階

共産黨全國本部及「ヤング、コミュニスト、リーグ」全國本部アリ。

Gil Green, Clarence Hathaway, Earl Browder, W. Z. Foster, James Ford, Jack Stachel, A. Bittelman, R. Minor, Rex David, Murray Byrne, Hal Ross, Angelo Herron, Henry Winston, Grace Hutchins, W. Gelbert 其ノ他ノ數名ノ黨及「リーグ」ノ主要幹部カ私用事務室ヲ有スル外、大型事務室、會議室等ニ分タレ居レリ、私用事務室ハ大體極メテ狹隘粗末ナリト謂ハル、尙本階ニハ全部ニテ約六十名ノ常用雇員カ使用セラレ居レリ、更ニ時間極廉及有志無報酬ニテ勞務提供ノ黨員多數出入シ居ル趣ナリ。

第三項 總務部 (General Office)

本部ハ共産黨本部ノ會計並ニ文書、記録、人事等ノ庶務ヲ掌管スルト共ニ地方支部ニ於ケル之等事務ニ關シ指揮監督スルモノトス、但シ共産黨ノ祕密收入ヲ處理スルコト以外本部ハ共産黨ノ各部中活動ノ内容及重要性ニ最モ乏シキ部ナリ。

一、會計事務

豫算決算及會計報告等ヲ作成ス、但シ經費ノ割當乃至支出決定ハ各部々長、全國委員會、政治委員

會等ニ依リ行ハルモノニシテ本部ハ之ニ關與セス唯各費目カ決定セラレタル如ク正當ニ使用セラレタリヤ否ヤヲ審査シ且之カ書類ヲ作成スルニ過キス。

而シテ右検査及帳簿整理ノタメ數名ノ簿記係及計理士ヲ使用シ居ル趣ナリ、而シテ會計検査ハ黨本部ノ合計ニ止マラス、「デイストリクト」、「セクション」及「ブランチ」支部ニ關シテモ行ハルルトコロニシテ本部乃至上級支部ハ下級支部ノ會計ヲ順次ニ監督指揮スト謂ハル、即チ「ブランチ」ノ會長ハ其ノ會計ニ關シ「セクション」書記ニ毎月一回會計報告書ヲ提出ス、「セクション」書記ハ自身又ハ役員ヲシテ年一回實地検査ヲ行フモノトス、同様ニシテ「セクション」書記長ハ上級ノ市又ハ郡支部ノ書記長ニ對シ、市又ハ郡支部ノ書記長ハ州又ハ「デイストリクト」支部書記長ニ、更ニ州又ハ「デイストリクト」支部書記長ハ共産黨本部ノ總務部ニ對シ毎月報告書ヲ提出シ且夫々其ノ指揮監督ヲ受クルモノトス、而シテ黨本部總務部ニハ地方支部會計検査ノタメ二名ノ監督官ヲ置キ居ル趣ナリ。

二、庶務

共産黨本部ノ文書、記録及一般庶務ヲ掌理シ更ニ地方支部ノ之等事務ヲ指導監督ス。

尙共産黨本部ノ使用人ハ其ノ所屬ノ部如何ニ拘ラス本部ニ於テ之ヲ監督スルモノトス、又本部ハ就職希望者ノ身許調査ヲ爲シ其ノ結果ニ依リ本部ノ反對アルトキハ他ノ主管部ニ於テ希望スルモ原則トシテ之ヲ採用スルヲ得サル趣ナリ。

三、役員

Gilbert Green 部長 (眞ノ名稱ハ Greenfield) ナル趣ナリ。

「ヤング・コミニスト・リーグ」会長、共産黨全國委員會及政治委員ノ委員、共産黨本部青少年部長等ニシテ少壯共産黨幹部中最有力者ナル趣アリ、而シテ「ヤング・コミニスト・リーグ」ハ彼ノ力ニ依リ成長セルモノニシテ彼ハ其ノ優秀ナル幹部ヲ知悉シ居リ之ヲ把握シテ黨ノ要職ニ据ヘツツアリ、即チ彼ハ米國共産黨ノ一分身タル右「リーグ」ニ基礎ヲ置キ其ノ子飼ノ黨員ヲ率キテ黨内ニ漸次其ノ勢力ヲ扶殖シツツアリト謂ハルルカ、從テ「リーグ」會員ハ眞ノ黨員ニ成長スルニ從ヒ同人ノ黨内ニ於ケル勢力、地位ハ向上スルモノト認メラレ、又同人ハ宣傳部長「ハザウエー」ノ無二ノ親友ナル趣ナリ。

Angelo Herndon

部長代理、全國委員會委員、「ヤング・コミニスト・リーグ」前副會長ニシテ「グリーン」ノ補助者ナリ。

William Weirer

National Financial Secretary、全國委員會委員タルノ外、外郎團體タル International Workers Order, Jewish Peoples Com. Against Fascism and Anti-Semitismノ役員ヲ兼テ猶太系共産黨員トシテ極メテ有力者ナリ。

Charles Krumbein

National Treasurer、全國委員會委員、政治委員會委員、組育支部書記長ニシテ極メテ有力ナル黨員ナリ。

Leo Huberman

共産黨秘密資金ノ收入及支出ヲ擔任スル者ナリトノ説アルモモタ「チェック、アツプ」ニシテ得ス。

本部ノ職員中更ニ判明シ居ルハ左記三名ナリ。

Muriel Smith

組育中心トシ「ニー・イン・グラント」其ノ他東部地方ノ會計検査ヲ擔任ス。

Gordon Graham

市俄古中心ニ中部地方ノ會計検査ヲ擔任ス。

Charles Tyler

「ソートレー」中心トシ西部地方ノ會計検査ヲ擔任ス。

#### 第四項 組織部 (Organization Department)

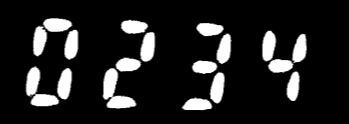
##### 一、概 説

組織部ハ新黨員ノ加入、「ブランチ」及「セクション」ノ新設廢合等黨ノ組織擴大強化ニ關スル一般的事務ヲ主管シ、但シ右任務遂行ニ當リテハ直接工作ニ依リ共産黨ノ勢力ヲ各種團體内ニ扶植スヘキ「ブラクミオン」部、出版物乃至學校教育ノ手段ニ依リ共産黨主義綱領ヲ一般ニ宣傳啓發スヘキ教育部、其ノ他特ニ婦人、労働組合失業者、黒人等ニ對スル工作ノ目的ヲ以テ設置セラレ居ル各部乃至特殊委員會等ト密接ナル連絡ヲトリ其ノ協力援助ヲ受ケ居ルコト勿論ニシテ、實質的ニ見レハ右各種特殊部門ノ活動ニ依リ共産黨ニ傾キツアルモノニ對シ入黨ノ形式的手續ヲ施スニ過キストモ謂ヒ得ヘシ。

##### 二、黨員ノ増加

##### (1) 黨員勸誘運動ノ目標。

- 現在ノ黨員總數ハ約七萬五千名（一九三九年四月末現在）ナルカ大體左ノ如キ目標ヲ立テテ黨員勸誘運動ニ努力シ居レリ。
- (a) 本年九月末迄ニ黨員總數ヲ十萬名ニ達セシムルコト。
  - (b) 一九四〇年ニ於ケル米國共産黨全國大會期日迄ニ黨員總數ヲ十五萬名ニ達セシムルコト。
- 右新黨員勸誘ノ目標ニ向ヒ組織部ハ黒人部婦人部及教育部、各種外語「ビュロー」等ト密接ナル協力活動ヲナシ居ルカ特別ノ注意ヲ拂ヒ居ル労働者階級ハ大體左ノ如シ。
- (a) 黒人——小作人及農業労働者。
  - (b) 移民——歐洲ヨリノ避難猶太人。



(c) 婦人——政府救済事業關係労働者。

(2) 新黨員募集ニ特ニ用ヒ居ル手段。

(a) 懸賞

組織部ハ各「ブランチ」及各黨員ニ對シ特定期間ニ於テ新黨員勧誘ノ懸賞ヲ以テ獎勵シ居ルカ右懸賞ハ二弗價格ノ書籍ヨリ現金二十五弗迄ノ程度ナリ。

(b) 共產黨會長ノ著書「パンフレット」利用。

黨員勧誘ニ當リ少クとも過去三ケ年間黨全國會長「フォスター」ノ各種著書、「パンフレット」等ヲ利用シ來レルカ、特ニC・I・O系ノ製鐵職工等ノ赤化ニ於テ著シ、工業界ニ於ケル黨員獲得運動ヲ補助スル爲、「ウワーカーズ、ライブラリー」ニ依リ出版セラレタル、「フォスター」ノ著書及「パンフレット」ハ關係工作員ヲ通シ無料配布シ居ルカ其ノ中特ニ著シキモノハ單行本「Organizing the Mass Production Industries」並ニ「ケンネル」及「Organizing Methods in the Steel Industry」及「Unionizing Steel」等ナリ。

尙「フォスター」自身ハ屢演説ヲナス以外ニハ個人的ニハ殆ント關係シ居ラス。

(3) 新黨員勧誘ノ方法

先ツ各黨員ノ知己中黨員タル可能性アル者少クとも三名ノ姓名ヲ夫々所屬「ブランチ」ニ通知スヘシトノ訓令カ黨領袖三名(書記長「ブラウダー」、會長「フォスター」及組織部長「アムター」)ヨリ各黨員ニ宛テ發送セラレ、次ニ斯クシテ通知セラレヘキ人物ヲ調査ノ上、若シ直ニ黨員タルノ見込ミアラハ曩ニ之等姓名ヲ通知セル黨員ヲシテ右人物ト個人的交渉ヲ行ハシメ、黨員應募ノ手續ヲ踏マシム。

此ノ際前記黨員ハ自己ノ屬スル「ブランチ」、「セクション」或ハ若シ必要アラハ組織部ノ幹部等ニ援助ヲ仰クコトヲ得ヘシ。

尙黨員ハ各自カ必要トスル文献其他如何ナル資料モ無料ニテ供給セラレ、右方策ハ甚タ有效ニシテ過去數ヶ月間ニ於テ被推薦者數五萬名ニ達シ其ノ中約一萬名カ新黨員ト成レルカ右一萬名ノ過半数ハ歐洲ヨリノ避難猶太人ナル趣ナリ。

三、機構

組織部ハ黨本部内各部ト密接ナル聯絡ヲトリテ組織擴大ニ努メツツアルハ勿論ナルカ更ニ内部的ニ之ヲ補佐スルタメ中央ニ於テハ若干ノ組織委員會アリ、地方支部ニ於テハ専門ノ組織書記並ニ必要ニ應ジ其ノ下ニ組織委員會アリ、左ニ中央地方ノ組織及主要職員ヲ略説スヘシ。

(1) 中央本部

組織部ハ共產黨建物内第九階ニ在リ、部長及補佐ノ外數名ノ書記役ヲ使用シ居レリ、尙本部ハ前記概説ニ於テ述ヘタル如ク他ノ各部ヨリ一般的協力援助ヲ受ケツツアルカ更ニ婦人部、黒人部等ニ於テハ組織部ノ任務ニ屬スル事項ヲモ便宜上大部分處理シツツアリ、又本部内ニハ以下ニ述フルカ如キ各種特殊委員會ヲ設立シテ本部ノ活動ヲ援助セシメツツアリ。

Israel Amter 組織部長

全國委員會及政治委員會委員、紐育支部部長等ニシテ極メテ重要ナル地位ニ在リ、詳細ハ教育部同人ノ項参照アリタシ。

A. A. Zhdano (「ザノツ」ト發音ス)

部長、片腕ヲ以テ組織部内ノ要人ナリ、特ニ婦人委員會及黒人部等トノ聯絡ニ關シ活動ス、講演家及著述家ニシテ其ノ著「Organizational Problems of the Communist Party」ハ「ウワーカーズ、スクール」ノ教科書ナリ。

(イ) 全国組織委員会 (National Organization Committee)

本組織部ノ一般工作ヲ援助スルタメ設立セラレ居ル諮問機關ニシテ各部トノ連絡ニ當リ各部ノ立場ヨリ黨勢擴張ニ關スル意見ヲ聽シ之ヲ組織部ノ方策決定ノ資料ニ供シツツアリ、判明シ居ル委員左ノ如シ。

William Schneideman 委員長、又(全國委員會員ナリ)。

Max Steinberg

William Gebert

同人ハ又一九三八年共產黨全國大會司令委員會員、C. I. O.ヲ特ニ支持スル爲組織セラレタル Fraternal Committee 會長、嘗テ「イリノイ」州支部組織員タリキ、現在ハ組織部本部員ニシテ區組織員及州組織員ノ監督ノ地位ニ在リ。而シテ右任務ヲ果スルタメニ彼ノ配下ノ全米各支部ヲ巡視スル出張組織員若干名アリテ地方ノ特殊集會ニ於ケル演説及記録ノ調査ヲ行ヒ且全般的ニ組織問題カ周知ニ行ハレ居ルヤ否ヤヲ常ニ檢討シ居レリ。

Elizabeth Gurley Flynn

全國委員會員、黨本部内全國婦人委員會員ニシテ黨内ニ於ケル主要婦人ノ一人ナリ、婦人委員會及組織部間ノ聯絡協調ニ當リ居レリ(本人ニ關スル詳細ハ黨婦人部ノ項參照)

Grace Hutchins

(ロ) 労働組合組織委員会 (Trade Union Organizing Committee)

共產黨ノ工作カ労働者ニ最モ重點ヲ立テ居ルハ謂フ迄モナキ所ニシテ從テ組織委員會ノ外特ニ労働組合組織委員ヲ設立シテ労働組合ニ於ケル黨員増加、「プランチ」増設等ノ問題ニ關スル諮問機關ヲラシメ居レリ、委員中判明シ居ル者左ノ如シ

Roy Hudson 委員長

全國委員會員ナリ。

Rose Morris

労働組合運動ニ於ケル婦人ノ闘士トシテ有名ナリ。

(ハ) 失業者組織委員会 (Unemployment Organizing Committee)

共產黨ノ對労働者工作ハ前記労働組合員ニ對スル外、失業者層ニ於ケル工作極メテ活潑ナリ、右ハ基礎鞏固ナル労働組合所屬員ヨリモ失業者ノ方カ急速ニ黨員増加ヲ圖ル上ニ容易ナルヲ以テナリ。

尙本委員會ノ會長タル Herbert Benjamin ハ更ニ失業者ニ對スル工作ノタメノ外廓機關トシテ Workers Alliance ヲ組織シ自ラ之カ書記長兼會計主任ナリ、「ワーカーズ、アライアンス」政府救濟事業ニ使用セララル失業者ヲ共產黨ニ引入レルト共ニ(別項ニ詳述)ソノ運用ニ依リ間接ニ政府救濟事業中主トシテ文化宣傳ニ關係スルモノ例ヘハ「フェデラル、シーヤター、プロジェクト」ノ如キヲ共產黨ノ一般の宣傳工作ニ利用スル職能ヲ果シツツアリ、要スルニ政府ノ費用ニ於テ一ハ共產黨員ヲ増加シ更ニ重要ナルハ救濟事業ノ效果其ノモノヲ共產黨ノ政策、綱領ノ宣布ニ利用シツツアル次第ナリ。

而シテ同人ノ「ワーカーズ、アライアンス」ニ於ケル赤化工作ハ公然ノ秘密ニシテ下院「ダイス」調査委員ニ於テモ多數ノ證人カ之ヲ指摘セリ。

(ニ) 黒人部組織員

黒人部ハ出來得ル限り各自ノ新黨員勸誘ニ努力スルモノニシテ之ハ右各自ノ新黨員勸誘問題ニ關

シテハ他部門ノ如何ナル者ヨリモ之等黒人部員カ遙カニ好成績ヲ收メ居ル事ヲ黨本部カ悟リ居ルカ故ナリ。

黒人間ニ於ケル主要組織部員ハ左ノ如シ。

James W. Ford (黒人部長); William L. Patterson (黒人部男子委員長); Louise Thompson (黒人部婦人委員長); Theodore Bassett; Cyril Briggs; A. Berry; Harry Haywood (以上黒人部男子委員長); Maude White (黒人部女子委員長); Richard Wright (黒人部員ニシテ市俄古市事務所ニ於テ活動シ居レリ、著述家ニシテ其ノ著「Uncle Tom's Children」ハ著名ナリ); Langston Hughes (黒人劇作家及詩人トシテ名アリ、黒人黨員勸誘ニ活潑ナリ)。

(ホ) 婦人委員長

婦人黨員ノ新規募集ニ關シテモ組織部ハ別ニ述フヘキ婦人委員會ノ援助ヲ求ムルコト特ニ大ナリ。

(2) 各級支部ニ於ケル組織部ノ機構

各「ブランチ」、「セクション」ハ州及區支部ニハ「ブランチ」ノ場合ヲ除キ殆ント必ス組織員アリテ新黨員ノ加入勸誘、加入申込者ニ關スル身許調査、手續ノ指導、及履行等ノ事務ヲ司ル、但シ「ブランチ」ノ場合ニハ其ノ規模ニ應ジ専門ノ組織員ヲ置カス「ブランチ」ニ「チェヤマン」其ノ他ノ役員カ事務ヲ代行スル場合アル趣ナリ。

又大都市及労働運動ノ中心地等ニ於テハ地方支部組織員ノ外之ヲ補佐スルタメ組織委員會アリ、委員ノ數ハ小ハ三名ヨリ大ハ五十名ニ及フモノアル趣ナルカ、右委員會ノ任務ハ終局ニ於テハ入黨ニ

導ク目的ノ下ニ左傾労働者間ニ各種集會、講演會、及「クラス」等ヲ組織シテ共產主義ノ宣傳ヲ爲スニ在リ。

紐育市組織委員會ハ五十數名ノ有志黨員ヨリ成リ委員長ハ A. J. Berry (紐育州支部無名ノ職員) ナリト謂ハル。

區又ハ州支部ニ於ケル組織員ノ判明シ居ルモノ左ノ如シ。

Henry Winston (Y.C.C.L. 關係組織員)  
黒人青年ニミチ Y.C.C.L. 幹部、共產黨全國委員會員。其ノ著「Life Begins with Freedom」ハ特ニ黒人間ノ組織ニ利用セラレ居ル。

Mac Weiss (Y.C.C.L. 關係組織員)

著 Y.C.C.L. 州組織員タリ、目下紐育 Y.C.C.L. 組織員、其ノ著「Happy Days for American Youth」ナリ。

Morris Raport 第十二區 (「ソシントン」州及「オレゴン」州) 組織員

一九三六年ノ共產黨全國大會ニ於ケル立法委員會員ニシテ爾來全國委員會員タリ。

James Murphy 第十二區 (「ワシントン」州及「オレゴン」州) ニ於ケル「セクション」組織員。

Gilbert Roche 「メリノイ」州組織員

著「青年黨全國大會」メリノイ州代表トシテ出席シ憲法修正特別委員會員タリシ事アリ。

Sam A. Darcy 第三區 (東部「ミネソタ」州地方) 組織員

全國委員會員、加州警察署ノ尋人、前第十三區 (加州) 組織員及前「ミネソタ」州ニ於ケル區組織員、共產主義宣傳ノ「パンフ」ニテ數冊ヲ著セリ。

Paul Crouch 北「キャロライナ」州組織員

過去ニ於テ大ノ知キ輕歴アリ、米國陸軍ニ勤務中布哇米國軍隊間ニ共產主義ヲ宣傳セントシテ收監セラレシ事アリ、其ノ赤化

運動ニ對シモスコロ「世界共產黨米國支部ノ軍學及軍略教授ナル稱號ヲ贈ラレタリ。 All America Anti-Imperialist League 書記。一九二八年共產黨選舉運動委員。一九二八年十一月華府陸軍省前ニ於テ四人 Leavenworth 釋放示威運動チナ

ニ檢束セラレタリ。米國ニ於ケル全共產黨學校ノ軍事訓練ノ責任者ナリ。

Barl Welsh 第三十三區(「ネネシー」州)組織員。

Andy Brown 第十七區(「アラバマ」州)「チローデア」及「ミシシッピ」三州ニ互ル)組織員。

Jim Malloy 第十七區(「アラバマ」州)組織員。

F. H. Worthan 「ネブラスカ」州組織員

農業部 (Farm Department) ノ前主要人物。組織部員トナレルハ本年ノ春ナリ。

Helen Allison 「ミネソタ」州組織員

「ミネソタ」大學ノ卒業生ニミテ「The Worker in the Northwest」ノ著書アリ。

Erick Bert 「ミネソタ」州組織書記

Walter Noid 第二十區(「テキサス」州)地方組織員

客年黨大會ニ「テキサス」州ヲ代表シ「テキサス」州ヲシテ米國最初ノ全州赤化ノ州タルヘシ云々ト演説シ「センセーション」ヲ惹

起セル人物ナリ。尙人物ニ關シテハ眞偽不明ナリ。

Olis Archer Hood 「イサチューセツ」州支部會長兼組織員

(註)「イサチューセツ」州「ロード・アイランド」州「ヴァーモント」州「メイン」州及「ニュー・ハンプシャイア」州五州ハ米國共產黨

黨管轄第一區ヲ成ス。

Robert Wood 「オクラホマ」州支部會長兼組織員

事務所「Tulsa」市ニ在リ。客年黨全國大會ニ「オクラホマ」州ヲ代表シテ出席セリ。目下州組織員トシテ「オクラホマ」州製油廠

工團ニ活躍ナルノミナラス農業部 (Farm Department) ニ於テモ亦重要ナル人物ニシテ「オクラホマ」州小麥地帯ニ於テ有力ナ

リ。且全國委員會委員ナリ。

C. Ralph 「ロード・アイランド」州組織員

事務所「Providence」ニ在リ。

C. H. Sharp 南「ダコタ」州組織員

客年黨全國大會ニ於ケル立法委員會員ニシテ又主要演説者ノ一人ナリ。

尙右ノ外左ノ如キ人物ノ名カ報告セラレ居レリ。

Rebecca Grecht; William Schneiderman.

第五項 「フラクション」部 (Fraction Department)

第一概 況

米國共產黨カ前述セル共同戦線及内部穿孔ノ戦術ニ依リ數百ノ團體ヲ内面的ニ支配シ其ノ決議ヲ左右シ以テ其ノ政策ヲ黨ノ政策方針ニ順應セシメ居ルハ驚ク許リニシテ小々紐育市場末ノ婦人「クラブ」ヨリ大ハ三百萬ノ會員ヲ有スル「アメリカン・リーグ・フェア・ピース・アンド・デモクラシー」ノ如キ強大ナル外廓團體ニ至ル迄黨「フラクション」工作ノ及ハサル所ナシト謂フモ過言ニ非ス。尤モ此ノ和キ團體カ幾許アリヤ又特定團體ニ對スル黨ノ影響ノ程度如何ハ明確ナラサルモ唯之等團體カ從來ヨリ黨ノ政策ト密接ニ協力セル事實ニ依リ或ハ更ニ之等團體ノ役員中ニ著名ナル黨員及「フェロー・トラヴァー」ノ名ヲ發見スル事ニ依リ黨ノ支配ヲ受ケツツアリト推定セラルル次第ナリ。

而シテ共同戦線運動ニ活躍スル人物ヲ仔細ニ觀察スレハ共產黨ノタメ隠レタル工作ヲナシツツアル「フラクション・エーヂェント」ヲ識別スルコトハ比較的容易ナリ。即チ此ノ種工作員ノ名ハ黨カ興味ヲ有スル數個ノ團體ニ關聯シ發見セラルルヲ常トスルヲ以テナリ。一例ヲ舉クレハ「ニュー・リパブリッ



ク「誌」記者 William P. Mangold ノ如シ。同人ハ數年間「アメリカン・リーグ・オブ・オーストリア・アンド・デモクラシー」ノ會計主任タリシカ本年初メ North American Committee to Aid Spanish Democracy ノ代表トシテ華府ニ顯ハレ當時ノ西班牙共產政府ニ送ルヘキ激勵「メッセージ」ニ下院議員六十名ノ署名ヲ得ルニ成功セリ。同人ハ更ニ共產黨ノ指揮下ニ在リテ「ボイコット」運動ヲ主目的トスル League of Women Shoppers ノ代表トシテ「ボーン」牛乳會社ノ株主總會ニ出席シ工作セル等ノ如シ。

第二、一般團體ニ對スル本部ノ工作方針

一、工作綱領

- (1) 他ノ團體ニ普通會員トシテ潛入シ居ル一名ノ「フラクシオン・エージェント」ト雖モ黨「フラクシオン」ヲ構成シ内部穿孔 (Doring from within) ノ戰術ニ依リ工作スヘキモノトス。
  - (2) 小團體ト雖モ活動目標カ特定スレハ共同戰線運動ニ於テ效果的活動ヲ爲シ得ル可能性アルカ故ニ如何ニ瑣細ニ思ハルル團體ト雖モ之ヲ等閑ニ附スヘカラストセラル。
- 斯クテ「フラクシオン」部ノ幹部及一般部員ハ總テノ團體ニ對シ關心ヲ有スルモノニシテ大小一切ノ團體ノ支配權確立ニ絶ヘス忠實ニ努力スルモノナリ、尤モ「フラクシオン」部カ數年間工作シ來ルルニモ拘ラス之ヲ支配スルニ至ラサル事實モ多數アリ、例ヘハ A. F. L 組合ノ大半及「キヤンピット」系團體等之カ適例ナリ。

二、「フラクシオン」部工作ト一般黨員トノ關係

各黨員ハ出來得ル限り多數ノ黨外團體ニ參加工作スヘキ事ヲ期待セラルルモ右ハ強制義務ニハ非ス。黨外ノ團體ニ加入シ居ル黨員ハ黨員ノ約半數ニ過キスト謂ハル。然レトモ黨主要人物ハ大體五乃至十ノ各種「クラブ」、組合、聯盟等ノ會員トナリ活潑ナル策動ヲ爲シ居レリ。而シテ黨外團體ノ會員トナリ居ル黨員全部カ「フラクシオン」部員タルニハ非ス。又黨外團體ニ加入シ居ルモ「フラクシオン」部員タラサル一般黨員ハ當該團體内ニ於ケル活躍ニ關シテハ各自所屬區支部若クハ「セクシオン」支部内ノ「フラクシオン」書記 (Fraction Secretary) ノ命ニ服従スヘキ義務アリ。而シテ之等黨員ノ姓名ハ當該支部ノ「フラクシオン」部備付ノ名簿中ニ關係團體ノ會員トシテ記入セラレ居ル趣ナリ。

三、具體的工作手段

左ニ掲クルハ黨外團體ノ會員ト成レル黨員ヲ通シテ「フラクシオン」部カ右團體支配權獲得工作ノ爲メ用ヒ居ル常套手段ノ實例ナルヲ以テ本部工作ノ具體的方法ヲ例示スル爲メ煩ヲ厭ハス左ニ解説ス。新ニ黨員トナリ且傍ラ International Ladies Garment Workers Union (I. L. G. W. U) 紐育第二十三區組合員トナルル一女性 Mary Wozznick ナルモノアリ、同女カ入黨シテ間モナク共產黨紐育州南方「セクシオン」支部「フラクシオン」書記 Frank Roder ナルモノ同女ヲ來訪シ次ノ如ク告ケタリ、「同女カ共產黨ノ爲メニ其ノ關係組合支部内ニ於ケル活動ヲ強化センコトヲ徳意シ、右第二十三區ノ全組合員ハ百名内外ナルニ比シ黨員ハ同女ヲモ含ミ僅カニ三名ニ過キサシモ右三名ノ黨員カ若シ協力シテ懸命ニ活動スル場合ニハ前記二十三區ノ極メテ重要ナル地位ニ就キ得ヘキ旨並ニ尙右活動ニ關聯シ如何ナル援助ヲモナスヘキヲ以テ必要ノ場合ニハ常ニ聯絡スヘキ旨云々」ト。更ニ又同「セクシオン」支部ノ Women's Commission 委員モ同女ニ右同様ノ事ヲ述ヘタリ。

カ右集合ニ於テハ「フラクション」部長「スタッチェル」及ヒI.L.G.W.U内ノ「フラクション」書記Martha Ginsburg 其他党内主要婦人等ノ演説アリテ右組合ニ關スル工作問題ヲ討議シ且之等各問題ニ關スル黨ノ論旨ヲ略述スル所アリ。而シテ之等婦人等ハ右組合ノ各支部内ニ於ケル黨ノ活動ヲ知悉スル迄詳細ナル教示ヲ與ヘラレタリ。

八八

尙此種方法ハ労働組合ノ場合ニ限ラス他ノ外廓團體ニ關シテモ同様ニシテ斯クノ如クシテ黨活動ノ領域ハ日々擴大セララル。

右團體ニ對シテハ直接關係シ居ラサルモ同團體内ニ於ケル「フラクション・エージェンシー」及一般黨員ヲシテ常ニ熱心ナル活動ヲ繼續セシメ居レリ。斯クテ同團體ヲシテ黨目的ニ間接ニ協力追隨セシメントスルモノナリ。斯ル内部穿孔ノ教育ヲ受ケタル少數ノ共產黨員ノ組合其ノ他ノ團體内ニ於ケル支配權乗取ノ方法ヲ見ルニ之等黨員タル少數ノ黨員ハ黨トノ關係ヲ絕對ニ秘シ全時間及黨ヨリ供給セラルル資金ヲ費シテ團體ノ發展ノミナラス會員ハ黨トノ關係ヲ絶シテモ骨身ヲ惜マス努力スルモノトス。斯クテ徐々ニ會員中ニ友人ヲ作り又其ノ鍛練セラレタル辯舌及議事進行ニ關スル經驗ハ他ノ會員ノ信賴ヲ博シ該團體内ニ於テ不可缺ノ人物視セララルニ至ル。斯クテ他ノ會員中ニハ彼ノ意見ヲ尊重シ彼ノ主張ヲ支持スルモノ漸次増加ス。茲ニ至リ始メテ共產黨幹部ハ彼等ニ對シテ特定ノ決議案ノ採決、團體規則ノ改正等ヲ實行スヘキコトヲ要求スルモノトス。又一般的ニ論スレハ熱心ナル會員ハ常ニ少數ニシテ大部分ノモノハ會合ニ出席セス又ハ共產黨系會員カ故意ニ討議ヲ延長シ夜間ニ及フカ如キ場合中途ニテ退席スルコト多ク從ツテ殘留者中ニハ共產黨員及「シンバサイザー」多數ヲ占メルニ至ルヘク共產黨員ハ容易ニ決議ヲ左右シ得ル次第ナリ。

次ニ團體内ニ於ケル共產黨員ノ支配力カ或程度確立セル後ニ於テ反對派ノ策動ヲ阻止スル方法ニ關シ曾テ共產黨員トシテ労働組合運動ニ劃策シ現在ハ「反「スターリン」派トシテ共產黨及C.I.Oヲ攻撃シツアル Benjamin Stolberg」ノ労働組合内ニ於ケル共產分子ノ工作ニ關スル所説ヲ左ニ引用ス。

(イ) 共產黨ノ支配下ニ在ル労働組合内ニ於テ共產黨員ハ專制的ニ行動ス、彼等ハ不斷ニ各種會合ヲ催シ諸種ノ決定ヲ爲スカ其ノ際黨員並ニ味方ニハ豫メ通報シ出席ヲ確實ナラシムルモ反對派ノ領袖ニハ之ヲ爲サス、又口傳ヘニ反對派ニ對スル各種ノ誹謗ヲナシ其ノ信用ヲ傷クルニ努ム。又一般労働者各個ニ對シテモ壓迫ヲ加ヘ黨ノ主張ニ盲從セシムルニ努ム。例ヘハ組合内ニ職場斡旋所アル場合反共組合ニハ職場ノ世話ヲ爲ササルカ如シ、又豊富ナル資金ヲ擁シ且一般會員ニ對シテ黨ノ宣傳「パンフレット」、「リーフレット」等ヲ供給シ絶ヘス宣傳工作ス。

(ロ) 組合内ノ問題ニ關シ大ナル紛議例ヘハ役員ノ會計處理振ニ對スル質疑等ノ問題起ルトキ共產黨員ハ「支部ノ自由復活」、「日本「シルク」不買」、「集團保障」、「平和及自由ノ擁護」等ニ關スル漠然タル決議案ヲ突如トシテ提案ス。而シテ組合員ノ或者カ組合自體ノ問題ニ關シ討議ヲ試ミルモノアリヤ「Japanese Spy」、「Hitler Agent」、「Trotskyite Mad Dog」等ノ誹謗ニ依リ之ヲ沈黙セシムルモノトス。

右ハ「anagram」戰術ト稱セララル、即チ組合自體ニ關スル不利ナル問題討議ノ際之ニ他ノ一般的討議ヲ附着セシメ之ニ依リ本案ノ審議ヲ妨害スルモノナリ、他ノ同様ノ戰術ハ「No-accident trick」ト稱セララルモノナリ、例ヘハ共產黨系以外ノ組合員カ職場ノ斡旋ヲセラレサルコトニ付

八九

會合ノ席上不満ヲ述フルカ如キ場合共產黨員タル組合幹部ハ右組合員ニ對シ「日本カ支那ニ於テ空爆ヲナシツアル此際」幹部ヲ攻撃スルハ「誠ニ理アリ」「No accident」ト絶叫ス、右ニ應ジ出席者多數カ一齊ニ「日本ノ「スパイ」ナル誹謗ヲ發シ斯クテ發言者ハ沈黙スルノ已ムナキニ至ルモノトス。

- (ハ) 更ニ他ノ戰術ハ組合ノ内部關係以外ノ問題例ヘハ「平和及「デモクラシー」擁護」ノ如キ問題討議ノため大會ヲ召集ス、而シテ斯ル會合ニ加入シ居ラサル黨員及「シンパサイザー」等多數出席スルヲ常トス、其ノ席上突如トシテ重大ナル組合問題ヲ提案シ組合員ニ非サル出席者ノ聲援ノ下ニ審議ヲ盡クサスニ提案ハ採擇セララルモノトス。
- (ニ) 又組合幹部ノ選舉ノ際共產黨員ハ必要ニ應ジ反對派ヲ抑壓スルため「テロリズム」ヲ發揮ス。
- (ホ) 此上各種ノ手段方法ニ依リテモ尙反對派ヲ抑制シ得サルトキハ「スターリン」張リノ肅清工作ヲナスモノトス。

第三、労働組合ニ對スル本部ノ特殊工作

米國共產黨カ労働大衆ニ特別ノ關心ヲ有スルハ勿論ニシテ「フラクシオン」部ハ特ニ本部内及地方支部内ニ労働組合委員會「Trade Union Commission」ナルモノヲ設ケテ労働組合ニ對スル「フラクシオン」工作ヲ援助セシメツアリ。

(一) 労働組合委員會ノ機能

労働組合委員會ハ諮問機關ニシテ「フラクシオン」部「エファート」部及組織部ニ對シ労働組合ニ於ケル彼等ノ活動工作上ノ最善ノ手段ニ關シ助言ヲ提スルニ在リ。然レ其實際上ハ労働組合委員會少クスルモノナリ。

(二) 労働組合委員會ノ機構

(1) 全國労働組合委員會  
「フラクシオン」本部内ニ設置セラレ三十名ノ委員ヨリ構成セララル。右三十名ノ委員トシテ左記氏名ヲ得タルカ照合シ得サルモノアルモ一應茲ニ列舉ス。

Jack Stachel

「フラクシオン」部長、全國委員會員、政治委員會員等ニミテ極メテ有力ナル者ノ領袖ナリ、過去ニ於テ米國労働運動工作ニ關スル黨案ニ基キ設立セララル「Trade Union Unity League (T.U.U.L.)」ノ全國書記長代理ナリキ。尙右 T. U. U. L. 現在ニ存在セズ。

Roy Hudson

黨全國委員會員ニミテ本件労働組合委員會海員部ノ組織員ナリ、過去ニ於テ左ノ如キ經歷ナリ。「一九三三年 Marine Workers Industrial Union (T. U. U. L.)」所屬全國書記長 U. S. Congress Against War 會員、「Soviet Russia Today」寄附記者「Friend of Soviet Union」全國委員會員。

Donald Henderson

C. I. O. 加盟團體「United Cannery, Agricultural, Packing, and Allied Workers Union」組織者ニミテ會長タリ。同人ハ又黨本部農業部長タリ。詳細ハ同部参照。

Ben Gold

International Fur and Leather Workers Union of the U.S.A. and Canada, (C.I.O.) 會長、有力ナル黨員ニシテ且黨員



カネロフ公ニ罷ト居ベリ、過去ニ於テ左ノ如キ經歷ヲ有シ、Workers Industrial Union 全國書記長、All American Anti-Imperialist League (A.A.A.I.L.) 全國委員長、一九三四年 Friends of Soviet Union 全國委員長。同人ハ一九三八年初頭紐約市ニ於テ Fur Workers Union ノ十五週間ニ亘ルストライキヲ組織セルカ失敗ニ終ベリ。

Maurice Sugar

「カネロフ」市労働組合ニ United Automobile Workers ヲ代表シテ Detroit Attorney ナリ。過去ニ於テ左ノ如キ經歷アリ、海外防衛體 International Labor Defense (I.L.D.) 組織者、World Congress Against War 米國委員ニシテ、一九三三年 Detroit John Reed Club 代表トシテ出席セリ、American Civil Liberties Union 「カネロフ」市支部ノ組織者、National Council Protection of Foreign Born Workers 幹事委員、Prisoners Relief Fund (C.I.P.) 所屬委員。

Lewis Merrill

United Office and Professional Workers Union (C.P.O.) 組合長、労働組合ニ於ケル共產黨工作員ナリ。

Herbert Benjamin

Workers Alliance ノ書記長兼會計主任、露米國委員兼委員長、過去ニ於テ左ノ如キ經歷アリ、リカーンス・フライメンツ・オブ・Unemployed Councils 全國組織員、U.S. Congress Against War 委員。

William K. Gebert

共產黨組織部長、全國委員兼委員長、過去ニ於テ C.P.O. 支持ノ目的ニテ組織セラレタル委員兼會長ナリ、現在ニ同職ニ在リテ想像セラル、而シテ主要 C.P.O. 系組合内ニ於ケル共產黨「フラタシヨム」ノ監察官ナリト云フ。

Marcel Scheer

Federal of Architects, Engineers, Chemists and Technicians 役員。

William F. Dunne

全國委員兼委員長、C.P.O. 系 Mine, Mill and Smelter Workers Union 「P. S. M. S.」 支部書記長、尙過去ニ於テカネロフ市ニ於テ Industrial Workers of World (I.W.W.) 執行委員、David Gornofsky ニ依リ「狼狽」メントリナリト云フノ如キ經歷アリ。

「リカーン」紙上ニ發表セル廉價ニ依リ一九二七年六月労働者ニ於ケル服務三十日及五百弗ノ料率ニ處セラレタリ、一九二八年 All American Anti-Imperialist League 全國委員兼委員長、一九二九年「リカーン」紙上ニ「League of Struggle for Negro Rights 委員、Trade Union Unity League 委員、International Labor Defense 委員。

Isidore Begun

教育者兼教師、Teachers Union 組合支部役員。

Rose Wortis

全國委員兼委員長、本件労働組合委員兼書記、過去ニ於テ Trade Union Unity League 組合支部組織員ナリ。

Michael Quill

Transport Workers Union 組合長、組合市會議員、C.P.O. 幹部ニシテ労働組合工作ニ有力ナル役員ナリ。

Mary Imhoff

United Automobile Workers 「カネロフ」支部役員。

Joseph Curran

National Maritime Union 会長、組合支部 C.P.O. 幹部ナリ。

Mervyn Rathbone

American Communications Association 委員、海員組合内ニ於ケル紛議發生ノ場合共產黨ハ常に彼ナリテ解決セシメ來タリト云フ。

Francis Gorman

Textile Workers Union 組合長。

Morris Mustier

United Furniture Workers 組合。

Jack Russak

Steel Workers Organization Committee 「インディアンナ州 Gary 支部組織員。

Alexander Bitelman

教育部長、全国委員会及政治委員会等。

Sam Wiseman

Workers Alliance 全国副会長。

John A. Brophy

C.I.O.組合中最も有力ナル United Mine Workers 支部会長「ルキンス」次々有力者ニシテ且 C.I.O.全国本部ニ於テ  
C.I.O.組合中最も有力ナル United Mine Workers 支部会長「ルキンス」次々有力者ニシテ且 C.I.O.全国本部ニ於テ  
会長「ルキンス」三名ノ「ブレイム・アラマ」(J. Brophy; Len DeCaux; Lee Pressman)ノ一人ニシテ C.I.O.内ニ於ケ  
ル有力ナル共産黨員ノ政策支持者ナル趣ナリ、過去ニ於テ左ノ如キ經歷アリ、兼テ赴ケル最初ノ米國労働組合代表者、  
Public Ownership League of America 副会長「Committee on Militarism in Education 全国委員」一九二八年 All  
American Anti-Imperialist League 全国委員。

Powers Hapgood

共産黨「メアライキ」組織員ニシテ「ヒム」工場内ニ於テ活動ナリ、又 United Shoe Workers of America 幹部ナリ、  
共ニ於テ左ノ如キ經歷アリ、社会黨全国委員会「American Civil Liberties Union 全国委員会」International  
Labor Defense for Colorado 全国評議員委員、炭坑組合組織員「一九二七年 Sacco-Vanzetti Defense Committee 書記、  
本領事館運動」委員、共ニ数回検束アリ、一九三三年 National Religion and Labor Foundation 委員、Emergency  
Committee for Strikers Relief 委員「US Congress Against War 委員」League Against Fascism 全国書記長。

Wyndham Mortimer

United Automobile Workers ニ於ケル最も有力ナル黨ノ工作員ニシテ過去十數年間共産運動ニ従事セリト謂ハル。

Jerome Davis

A. P. L. 系組合ニシテ共産黨ニ依リ内部内ニ支配セラレ居ル American Federation of Teachers 会長ナリ、同人ハ曾テ  
「ヒール」神學校ノ社会倫理學助教ナリ、毎年夏寒暑ノ觀察旅行團ヲ組織シツツアリ。

Abraham Flaxer

C.I.O.系 State Country and Municipal Workers Union ノ組合長ニシテ早ヨリ労働組合ニ於ケル黨ノ工作員ナリト  
稱ガレタリ。

Ian Deaux

C.I.O.会長「ジョン・ルイス」ノ「ブレイン・トラスト」ノ一人、C.I.O.全国本部ニ於ケル宣傳部長、C.I.O.機關紙 C.  
I.O. News 編輯員、C.I.O.内ニ於ケル最も有力ナル黨員ニシテ其ノ編輯振ハ組合内ニ於ケル黨員又ハ「フェロー・トラヴ  
エロー」派ノ機關紙「ラジメツツ」ヲト謂ハル。

A. P. Randolph

Brotherhood of Sleeping Car Porters ノ組合長ナリ。本組合ハ鐵道従業員組合中共産黨ノ支配力最も強ク且黒人ノミノ組  
合ナリ、本人自身モ黒人ニシテ労働組合内ニ於ケル黒人組織ノ権威者ナリ。

William Weinstone

「カローネル」中、United Automobile Workers ノ工作ニ活動ナリ、共産黨「ミシガン」州支部書記長、黨全国委員会員。

John Anderson

黨「ミシガン」州支部幹部、「デトロイト」ニ在住シ全國通シ組合關係ニ活動シツツアリ。

(註) C.I.O. 會長 John L. Lewis ハ労働組合委員中ニ含まレ居ラス、蓋シルキス「自身ハ共産黨員ニ非スシテ単ニ A.  
F. L. ニ對抗シ自己ノ團體強化ノため共産黨ヲ利用シ來リタルニ過キスト謂ハル、特ニ A. F. L. ヨリ分離當初共産黨ハ C. I.  
O. ニ對シ組織員及財的援助ヲ供給セルノミナラス共産黨「ブラクショ」カ既ニ或程度支配シ居タル太平洋沿岸荷揚人足、  
事務員、毛皮關係労働者ノ組合及「ニュー・バーキルト」等チ A. F. L. ヨリ奪ヒ C. I. O. ニ加盟セシメタル等共産黨ハ

C.I.O.ノ強化擴大ニ貢献セリ、仍テ「ルネスマ」組合内ニ於ケル共産黨員ヲ庇護シツ、アリタルカ現在ニ於テハ組合ノ支配  
權ヲ共産黨ト分有セサルヘカラサル状態ニ至リ却テ迷惑ニ感シ始メタリト謂ハル。  
(註二) C.I.O.系 International Longshoremen's and Warehousemen's Union 会長、西部海岸地方ニ於ケル C.I.O.組  
織部長トシテ C.I.O.ノ強化擴大ニ同時ニ C.I.O.内ニ於ケル共産勢力ノ扶植ニ絶大ナル成績ヲ擧ケツ、アル Harry  
Briggs ハ本件委員委員タリシコトアリシモ近來反共團體特ニ「ダイス」調査委員會ノ攻撃激シクナリ國外追放ノ危険ニ曝  
サレ居ルタメ蒸箱ヲ脱シ表面黨トノ關係ヲカムフラージュシスル必要ニ迫ラレ居ルヲ以テ現在ハ本委員タラスト認メラル、趣  
ナリ。

(註三) 米國労働運動關係コミンテルン「ニューゼント」  
米國內ニ於ケル「コミンテルン」乃至「ゲイ・ペー・ウィー」在米「ニューゼント」三名中ニハ Joseph Kowalski ナルモノアッ  
テ労働運動工作特ニ「座込同盟罷業」ノ指揮者ナリト謂ハル、同人ハ自下「デトロイト」市ニ在リテ United Automobile  
Workers 内ニ於テ活動シツ、アリ、一九二一年共産黨員ナル理由ニ依リ「ロイヤ」ニ送還セラレタルモ一九二三年ニ再渡米  
シ短期間拘留ノ後不正入國ノ罪ニ依リ「アトランタ」市ニ於ケル聯邦監獄ニ送ラレタリ、一九二五年釋放セラレ爾來「コミン  
テルン」「ニューゼント」シテ制裁シ居ルト謂ハル。數度蘇聯ヲ訪問セルカ毎度歸カニ再入國シツ、アル由ナリ。

(2) 地方支部労働組合委員会

前記全國労働組合委員会ノ支配下ニ各區支部労働組合委員会アリ、又其ノ支配下ニ市及郡支部、

「セクション」支部ノ労働組合委員会アリ。

全米三十五區支部ニ各約十名ノ委員ヨリ成ル區支部労働組合アリ、之等委員ハ全國労働組合委員  
會ノ指示ニ基キ主トシテ管下労働組合内ニ工作シツアル黨員中ヨリ區支部執行委員会カ之ヲ指  
名スル趣ナリ。

各市、郡、「セクション」支部労働組合委員会ハ地方區労働組合委員ニ依リ指名セラル。  
又右委員ノ多クハ同時ニ組合内ニ於ケル組織員又ハ黨「フラクション」部員ヲ兼ス。尤モ委員タラス

シテ右組織員ノミノモノモ多數アリ。

要スルニ之等「組織員」ハ組合内ニ於ケル黨員ノ増加「ストライキ」ノ煽動及組織化等ニ直接從事  
スルモノニシテ其ノ任務ハ組織部「エフォート」部ニモ關係スルモノナルカ便宜上本委員會カ直接  
指揮スル趣ナリ。

而シテ右組合員ハ主トシテ組合ヨリノ給料ニテ生活シ工作費ハ黨又ハ「アムトルグ」ヨリ支給セラ  
ルル趣ナリ。

左ノ掲クルモノハ「ダイス」委員會ニ於ケル證言ニ於テ各種労働組合ノ役員、地方連絡員、組織員  
幹部等ノ地位ニ在ルモ同時ニ共産黨ノ工作員又ハ幹部ナルヘシト指摘セラレタルモノナル處恐ラ  
ク前進セル地方支部労働組合委員会及委員会配下ノ組織員ニ該當スルモノト認メラルニ付參  
考迄ニ茲ニ轉載ス。

- Harry Bridges ("Dorgan" 又「鐵道運輸者」) San Francisco—Maritime Union of the Pacific 及 CIO leader
- Philip Murray—Pittsburgh—Mine Worker Union 及 Steel Workers Organization Committee
- Jack Johnstone—Chicago 及 Gary, Indiana—Steel Workers' Organizing Committee (SWOC) director and member
- CIO National Committee
- Ben Carranters—Pittsburgh—negro—SWOC—Moscow ノ前代表
- Mande White—Cleveland—SWOC organizer
- William E. Hill—Pittsburgh "
- Henry J. Johnstone—Gary, Indiana "
- George Powers—Washington—SWOC director
- Tom Meyerson—Pittsburgh—officer of United Mine Workers
- Michael Bevanoff—Pitt, Michigan—CIO 代表兼「ダイス」
- John Shines—Detroit—Fraternal Orders Committee of CIO 代表兼
- Walter Reuther—Detroit—officer of the United Automobile Workers

Jack Morrall:--Boston--Maritime Workers Union  
 Ed Norman:--Tampa--Agricultural Workers Union  
 Joseph Howard:--Birmingham--SWOC organizer (negro)  
 Lloyd Brown:--Pittsburgh--SWOC organizer  
 Jack Russek:--SWOC organizer & member CP district committee  
 Joseph Weber:--South Chicago--SWOC organizer  
 Ethel Stevens:--Gary--SWOC organizer and secretary local CP  
 Jack Teyback:--Chicago--SWOC organizer  
 Jess Gonzales:--Donora, Penn--SWOC Mexican workers organizer  
 Eleanor Rye:--Chicago--SWOC organizer & organizer for National Negro Congress  
 Clarence Irwin:--Pittsburgh--SWOC organizer & adviser to Martin Young--CP district organizer  
 Louis Mayan:--New Castle, Penn--SWOC organizer  
 Tom Shone:--Homestead, Penn--SWOC organizer  
 I. Staver:--Chicago--SWOC organizer  
 Israel Berenstein: William Gebert 世界労働者同盟の代表者として、彼はBlaine Owenの  
 代表者として、SWOCの代表者として、彼はPeople's Press  
 Doyle Garner:--SWOC organizer & reports for People's Press  
 John Schesovisk:--McKeesport, Pa--SWOC organizer & representative IWO  
 John Dutchman:--Lordsville, Pa. " "  
 Charles Henry:--South Chicago--negro " "  
 Ralph Hansen:--Chicago " "  
 Alfredo Ahila:--South Chicago " "  
 John Steuben:--Youngstown, Ohio " "  
 Joseph Monkin:--Pittsburgh " "  
 Mayor Lowery:--Homestead, Pa. " "  
 Ruth Chapa:--Chicago " "  
 Peter Chapa:--Gary " "  
 P. Orhataz:--Johnstown " "  
 Helen Anderson:--Indian Harbor, Ind. " "  
 Norman Ross:--Buffalo & Canada " "

Sally Winters:--Youngstown " "  
 Mike Ostracki:--Gary and Chicago " "  
 George A. Patterson:--South Chicago " "  
 Joseph Cook:--South Chicago " & member of State Committee of CP  
 Ralph Shaw:--Granite City, Ill. " "  
 Mrs. Mireola Ingersoll:--South Chicago " "  
 Tomie Shane:--Pittsburgh " "  
 John Chaney:--Bradock, Pa. " "  
 Alfredo Ahilo:--Chicago " "  
 Sam Abbott:--Chicago--secretary Workers Alliance  
 Vance Ambrose:--Stockton, Calif--Agricultural Workers Union  
 Arthur Henderson:--Gary--SWOC committee  
 Helen Anderson:--Gary--SWOC organizer  
 John W. Anderson:--organizer, president Local 165 UAW, Detroit  
 Robert Brown:--Chicago--SWOC organizer  
 James Burns:--Indianapolis--SWOC organizer  
 Tony Condreva:--Gary " "  
 Robert Oling:--Chicago " "  
 Harry Connor:--Gary " "  
 Robert L. Crudden:--SWOC organizer--correspondent Federated Press  
 Fred P. Danielson:--South Chicago--SWOC organizer & chairman strike committee at Youngstown Company  
 Herman Enkrust:--Indianapolis--SWOC organizer  
 Paul Glaser:--Chicago--attorney for CIO, SWOC & CP, high salaried  
 Ben Green:--Chicago--SWOC organizer  
 Robert Hall:--Birmingham--SWOC organizer & CP district organizer  
 R. W. Hanson:--Chicago Heights, Ill--SWOC organizer  
 Frank Herron:--Gary, Indiana--SWOC organizer  
 Dladimer Janovitz:--Chicago--SWOC organizer  
 Sarrairie Laewe:--Chicago--United Rubber Workers organizer & vice-chairman Illinois Labor Party  
 Leonides McDonald:--Warren, Ohio--negro SWOC organizer

John March :- Chicago—SWOC organizer  
 Miles Marton " "  
 Frank O'Brien " "  
 Tom Perry :- Detroit—United Automobile Workers (UAW)—Local 174  
 Ralph Shaw :- Calumet, Ill.—SWOC organizer  
 Hillard Smith :- Minneapolis—CIO organizer  
 Sam Stone :- Detroit—Local 213—UAW  
 Robert Washington :- Birmingham—SWOC organizer—Moscow Schooled  
 Maria Carra :- San Francisco—Cannery Workers Union  
 John Lapey :- Greeley, Colo.—chairman, United Canning and Agricultural Workers  
 Herman Suyvellor :- San Francisco—chairman, Independent Union Council of San Francisco  
 Louis Goldblatt :- San Francisco—North California CIO director  
 Frank Drumm :- San Francisco—vice president SWOC  
 William Gratton :- San Francisco—editor CIO Labor Herald  
 Clifford Daggett :- secretary New England Boatmen's Union  
 Henry Schmidt :- San Francisco—president Local 1-10 International Longshoremen & Warehousemen's Union  
 Germain Bulke :- San Francisco—vice-president (4-12 local 111111)  
 John Shoemaker :- San Francisco—secretary  
 Eugene Patton :- San Francisco—president Local 1-6 same union  
 Gunnar Michelsen :- Milwaukee—state director CIO  
 Leif Dahl :- Trenton—district president Agricultural Workers Union  
 Thomas Raye :- notorious traveling organizer for National Maritime Union  
 Hayes Jones :- notorious traveling organizer for National Maritime Union  
 Fred D. Smith :- " "  
 Jack Lorensen :- " "  
 Fred Meyers :- " "  
 Ted Lewis :- " "  
 Moe Byne :- " "  
 Smith Hopkins :- " "  
 Charles De Graffe :- " "

James Gavin :- travelling organizer for National Maritime Union  
 Charles Reuben :- " "  
 Patrick Whalen :- " "  
 Harry Alexander :- " "  
 K. K. Owens :- " "  
 Adrian Duffy :- " "  
 Frank Jones :- " "  
 Felix Sren :- " "  
 Albert Lannon :- " "  
 Howard McKenzie :- " "  
 Robert Meers :- " "  
 Conrad Jones :- " "  
 Roland Perry :- " "  
 Joseph Chavez :- " "  
 Pat Lawrenson :- " "  
 Alexander Bell :- " "  
 Albert Rathard :- " "  
 L. Chamberlain :- " "  
 Corby Tahton :- " "  
 James Edwards :- " "  
 George Woolf :- Seattle—Cannery Workers Union  
 Nat Ganley :- Detroit—UAW organizer & strike leader  
 Saul Waldbaum :- Philadelphia—attorney for United Radio Electricians etc. Union  
 Abraham J. Isserman :- Newark—attorney for CIO and for CP District 14  
 Jack Cibel :- Detroit—UAW organizer  
 J. Woolson :- Detroit— " "  
 Lucien Kool :- Boston—United Shipyard Workers  
 Gas Hall :- Warren Ohio—member famous SWOC dynamite crew  
 Arthur Scott :- " "  
 John Barowiac :- " "



Charles Byers:-- Warren Ohio  
 Andrew Marsh:-- "  
 Joe Oravice:-- "  
 Sydney Watkins:-- "  
 Joseph Salerno:-- Boston--Amalgamated Clothing Workers  
 Tom Johnson:--Los Angeles--publisher CIO paper; CP district organizer at Birmingham  
 Joseph Costello:--Haverhill, Mass.--United Shoe Workers  
 Charlotte Sugar:--Roxbury, Mass.--United Rubber Workers  
 Flo Linscomb:--Boston--Office and Professional Workers Union  
 Paul Salager:--Boston--Toy and Novelty Workers Union  
 Sam Sandburg:--Boston--United Shoe Workers  
 Fred Jacoby:--Pittsburgh--Architects, Engineers, etc.  
 Abraham Flaxer:--New York--vice-president, State, County & Municipal Workers of America  
 Jake McKimney:--Youngtown--negro CIO organizer  
 Joseph Cook:--South Chicago--SWOC organizer  
 Louis Majors:--New Castle, Pa.--SWOC organizer  
 Bruce Osborne:--Chicago--SWOC organizer  
 Fred West:--California--Alaskan Cannery Workers  
 Marcela Ryan:--California--Secretary, State Cannery Workers  
 Matt Savola:--Ironwood, Michigan--president, Tinner Workers Union  
 Merrill Jackson:--New York--Agricultural Workers Union organizer  
 J. J. Mitchell:--New York--organizer United Shoe Workers  
 Fredo Casso:-- "  
 Frank Farrell:-- "  
 H. Levin:--Philadelphia "  
 George Carter:--traveling organizer CIO  
 Agapilo Vigil:-- "  
 J. T. Harde:-- "  
 Angie Gonzales:--Tampa--president Tampa local Cannery Workers  
 Pete Zamara:--Cleveland--SWOC organizer

Al Baint:-- Cleveland  
 Pete Saline:-- "  
 Matt Meelan:--Portland, Oregon--Secretary treasurer International Longshoremen's & Warehousemen's Union  
 Michael J. Quill:--New York--president Transport Workers Union  
 Austin Dillonghery (E. S. Hogan):--New York--vice-president (41st Union)  
 John Santon:--New York--general manager-- ( " )  
 Thomas McLanahan:--Brooklyn--organizer ( " )  
 Charina Michelson:--New York--United Retail Employees  
 James Malles:--New York--national organization director for United Radio & Electrical Workers Union (41st Union)  
 Neil Brandt:--New York--organizer  
 Fred Gardner:-- "  
 Fred Hough:-- "  
 Tom Malloy:-- "  
 Logan Burkhardt:-- " international vice-president ( " )  
 Theodore Wright:--New York--organizer ( " )  
 Carl Close:--East Pittsburgh " ( " )  
 Charles Rivers:--Brooklyn " ( " )  
 Mike Petanovitch:--New Britain, Conn.--organizer ( " )  
 Harry Kahner:--Philadelphia--International Union of Marine & Ship-Building Workers  
 Louis Basis:--New York--International Wood Workers  
 Sam Nessin:--New York--regional SWOC Workers  
 John Doherty:--St. Louis--regional SWOC organizer  
 Robert Logsdon:--St. Louis--United Radio etc. organizer  
 Julius Klyman:--St. Louis--vice-president Newspaper Guild  
 Chris Meinkeoph:--St. Louis--SWOC organizer  
 Max Michelsen:--St. Louis--Amalgamated Clothing Workers  
 Norma Smith:--St. Louis--United Automobile Workers  
 Clara Vernich:--St. Louis--CP district organizer & organizer for United Radio Etc.

Thomas McGowan:--Boston--district organizer National Maritime Union  
 Robert Mills:--"  
 Clarence Wardell:--"  
 Paul Emerson:--"  
 Frank Gaffney:--"  
 Ramon Santos:--"  
 John Palmer:--"  
 Mrs. G. Coburn:--"  
 Dave Fishman:--"  
 Justine O'Connor:--"  
 J. Walsh:--"  
 Sydney Stern:--"  
 Joseph Alberts:--"  
 Elizabeth Hayes:--Textile Workers Organization Committee  
 Alton Lawrence:--"  
 Miles Harton:--"  
 Joseph Wright:--New London, Texas--Oil Workers Committee  
 Robert Warren:--"  
 Harry Scher:--New York--Transport Workers Union  
 Robert Sivert:--London, Ohio--SWOC--organizer  
 Seymour Siponin:--Chicago--United Cannery and Agricultural Workers Union  
 Thomas Pite:--Birmingham--SWOC organizer  
 William O'Donald:--Camden, N. J.--Independent Shipbuilders  
 John Mayo:--Pittsburgh--SWOC committee  
 James Lastig:--Brooklyn--United Radio and Electrical Worker  
 James Casper:--Cleveland--SWOC organizer  
 A. O. Johnson:--Birmingham--negro SWOC organizer  
 Clarence Irwin:--New Castle, Pa.--SWOC organizer  
 Jose Hernandez:--Riverside, California--vice-president Agricultural Workers Union

Paul Green:--New York--United Furniture Workers  
 Harry Glazer:--New Orleans--CIO organizer  
 James Eagen:--Pittsburgh--SWOC organizer & CP chairman  
 Vivian Dahl:--Trenton--Agricultural Workers Union  
 Ida Dales:--Texas--CIO organizer  
 John L. Donovan:--Denver--CIO organizer  
 Robert Bourke:--Yonngtown--CIO organizer  
 Fred Beidenkamp:--Coston--CIO organizer  
 Gregory Bardeke:--Herkimer, N. Y.--International Ladies Garment Workers Union organizer  
 William T. Banson:--San Francisco--Office & Professional Workers Union Organizer  
 Sue Adams:--Denver--Federal Employees Union organizer  
 Ben Shanberg:--Springfield, Mass.--ILGWU organizer  
 Don West:--Louisville--Textile Workers Union organizer  
 Francis J. Gorman:--president Textile Workers Union  
 Homer Brooks:--Texas--CP district organizer & organizer for Oil Workers  
 Milton O'Rourke:--El Paso--Oil Workers organizer  
 Al Nygren:--Juneau, Alaska--Mine, Mill & Smelter Workers  
 John Eldeman:--"  
 George Starford:--New York--organizer Agricultural Workers Union  
 Paul Atlas:--Denver  
 Henry B. Garcia:--Fort Morgan, Colorado  
 Warren G. Denton:--San Francisco--Longshoremen's and Warehousemen's  
 Harry Wohl:--Chicago--organizer Newspaper Guild  
 Irvin Meyers:--Chicago--United Office and Professional Workers  
 Meyer Cohen:--Chicago--CIO organizer  
 Irvin Elber:--Chicago  
 Abraham Corman:--president Public Library Employees Union  
 Walter Stack:--San Francisco--Marine Firemen and Engineers Union  
 Pat Callahan:--California--CIO organizer  
 Marie Gannon:--San Francisco--Cannery Workers organizer

Roy Nofz:—Oakland, Calif.—Agricultural Workers organizer  
Sonia Balmun:—San Francisco—Textile Workers organizer  
Jack Bernila:—San Francisco—Cannery Workers organizer  
William Sessions:—Nanning, Calif.—Mine, Mill and Smelter Union  
Joseph Maglicona:—New York—Furniture Workers Union

第四、宗教ニ對スル「フラクシオン」部ノ特別工作

「マルキシズム」ノ對宗教理論ニ鑑ミ共產黨カ世界有數ノ「キリスト」教團タル米國市民ヲ蘇聯防衛乃至社會改造目的ニ利用センガタメニハ先ヅ其ノ反宗教政策ヲ「カムフラージュ」シ更ニ教會指導者ヲ味方ニ引入ルコト絶對要件ナリ、之ガ爲米國共產黨ハ「コミンテルン」トモ折衝ヲ重ネタル結果其ノ反宗教政策ヲ緩和スルト共ニ更ニ黨本部「フラクシオン」部内ニ教會委員會ヲ設置シ特別工作ヲ行フニ至リタル處其ノ結果平和問題、「フシシズム」反對等ノ共同線運動ニ關シ豫期セサル效果ヲ擧ケツツアリ、而シテ「フラクシオン」部内ニ於ケル教會委員會ノ設置ハ前出労働組合ニ對スル工作ト相並ンテ一般「フラクシオン」工作中宗教問題カ特ニ關心ヲ拂ハレツツアル事實ヲ示スモノナリ。

一、反宗教政策ノ緩和

本來共產黨ノ反宗教運動ハ「宗教ハ民衆ノ阿片ナリ」トノ「マルクス」理論ニ基キ宗教ヲ公然攻撃スル形ニ出テタルモ米國ニ於テ公然宗教ヲ攻撃スル時ハ黨ノ主目的タル資本主義破壊ヘ進ム道程ニ一障礙ヲ來スコト明カナリ、仍テ米國共產黨ハ一九三三年頃ヨリ其ノ反宗教運動ヲ緩和セルカ右ハ反宗教運動ノ一時ノ中止ニ過キス而シテ右政策轉換ニ依リ反戰運動ニ興味ヲ有スル自由主義的牧師等ト妥協シ彼等ノ自由主義的、平和主義的、人道主義的關心ヲ蘇聯防衛乃至階級闘争運動ニ利用セン

ト企圖セリ、然ルニ「コミンテルン」ハ一九三三年ヨリ一九三〇年ニ至ル間宗教ニ對スル直接攻撃ノ緩和ニ共鳴セサルノミカ之ヲ是認スルヲモ好マザリキ、然レ共「デモクラシー」諸國ニ於ケル基督敎ノ勢力カ露國ニ於テ「ボルシニヰイズム」ニ容易ニ征服セラレタル基督敎ノソレトハ全然趣ヲ異ニスルコトヲ漸次認メサルヲ得サルニ至リ遂ニ「コミンテルン」ハ資本主義ニ對スル闘争ノ一部トシテノ宗教攻撃ヲ一時中止スル政策ニ同意スルノ止ムナキニ至レリ。

米國ニ於ケル「プロテスタント」宗派ハ其ノ間社會主義ニ共鳴スル態度ヲ執リ労働争議ニ對スル干渉、反資本主義的意見表示、蘇聯承認、反戰思想等ヲ支持シツツアリ、斯クシテ一九三三年共產黨カ「内部穿孔」(Boring from Within) 戰術ヲ採用スルニ及ヒ「プロテスタント」宗派ハ自由主義團體及宗教團體全部ニ對スル共產黨「内部穿孔」戰術ノ最モ有力ナル機關トナレリ。(但シ「ローマン、カソリック」宗派ハ依然共產主義ニ反對ナリ)

二、教會委員會 (Church Committee)

共產黨ハ「プロテスタント」全教派内ニ於ケル其ノ工作ヲ指導強化スルタメ「フラクシオン」部内ニ教會委員會 (Church Committee) ヲ組織シ居レリ、右ハ諸機關タルト共ニ教會關係「フェロー」、トラヴェラー」ニ對スル本部ノ連絡及指導ヲ強化スル役割ヲ演スルモノトス、而シテ共產黨組織内ニ於テモ本委員會ノ存在ハ特ニ秘密ヲ保持セラレ居ルモノノ一ナリ。

Jack Staehel (黨「フラクシオン」部長)

Dr. Harry Ward (「メンナスト」教派 Union Theological Seminary ノ教師ニシテ又 A. L. P. D 全國會長)

Alson J. Smith (トビ・トビ 宗教部長ニシテ「ペンキメ」教派牧師)  
Reverend William Spofford (「ペン・ペン」の China Aid Council 委員ニシテ the Congregational and Christian Churches ノ牧師)

Reverend William Lloyd Innes (「ペン」の Federal Council of Churches 所屬教派 the Presbyterian Church ノ牧師ニシテ「ペン」の會員及議長ナリ)

Rabbi Edward L. Israel (猶太人)

Rabbi Jacob Frankel (猶太人)

確認ナキモ右ノ外本委員會員ト目サル人物左ノ如シ。

Dr. Samuel McCrea Cavert (Federal Council of Churches 委員) Rabbi Stephen Wise, Dr. William H. Brady, Dr. H. Henry Spoer, Dr. Joseph R. Duryee & Reverend James P. Kelley

共産主義カ Methodist, Protestant Episcopal 及 Congregational and Christian 教會内ニ深く侵略セリト稱セララル場合、ソレハ之等教派内ノ全部門即チ社會政策部、傳道部、青年部等ニ共産黨ノ影響カ伸張セルヲ意味スルモノニシテ之等教派ノ全活動事業カ共産主義ノ病毒ニカカルモノト云フヲ得可シ。

尙侵略ノ程度ハ淺ク「ペン」プロテスタント「ノ其他ノ主要ナル教派全部ノ内ニモ黨」ヲラクシヨシ」ハ侵略セルモノニシテ其ノ主ナルモノハ Lutheran Church, Presbyterian Church 及 Dutch Reformed Church ナリ、之等ノ教派カ斯ク左傾運動ニ傾ケルハ the Federal Council of the Churches of Christ in America ヲ支配スル「ペン」トラヴェスター」等ノ指導ニ基ク故ナリ。

但シ「ローマン、キヤソリック」宗派ハ依然共産主義ノ害毒ニ對シ反對ヲ繼續シ來レリ。

三、基督教内ニ於ケル共産黨ノ活動

(一)「プロテスタント」宗派内ニ於ケル左傾運動

目下「ペン」トラヴェスター」及共産黨「ヲラクシヨシ」部員ノ役割ヲ演ジツツアル前掲「プロテスタント」宗派ノ牧師等カ左傾運動ニ最初参加セルハ「ロミンテルン」カ現在「内部穿孔」戰術實行ヲ命ゼシ時ヨリモ少クトモ十年前ニ溯ルモノナリ、尙又前記「プロテスタント」牧師及共産黨主要人物間ノ關係ハ大部分 National Peace Conference ヲ構成スル各種ノ平和團體ニ於テ結ハレタルモノニシテ右 National Peace Conference ハ共産黨ノ影響ヲ各様ニ蒙タル所屬團體約四十二ヨリ成ルモノナリ。

(註) 右 National Peace Conference ノ詳細ニ關シテハ別項参照。

平和運動ニ關シ共産黨員ト親密ナル關係ニ在リタル前掲牧師等ハ又同時ニ夫業者及老年者救済、「ペン」ニ對スル社會的、經濟的、文化的平等待遇、教育施設増加、農園地改良並ニ貧民窟撤廢等ノ社會改造論ヲ主張シツツ「ペン」ニ對シ自由主義的教會團體内ニ於ケル指導的人物ナリキ。

(二)「プロテスタント」内ニ於ケル左傾運動中心團體

「プロテスタント」各教派内ニ於ケル既成自由主義團體ノ内共産主義運動ヲ支持シ居ル諸團體ハ左ノ如シ。

Church League for Industrial Democracy (the Protestant Episcopal Church 教派) The Methodist Federation for Social Service (the Methodist Church 教派) Council for Social Action (the Congregational and Christian Church 教派)

(1) Church League for Industrial Democracy 及 Methodist Federation for Social Service

右二團體ハ「二十二年」ノ「プロテスタント」教派ノ綱領及活動ヲ統合スル機關タル Federal Council of Churches of Christ in America (其ノ勢力ハ二十二教派ノ三千萬名ニ及ブ)ニ所屬スル團體ナルカ由來右二教派ハ Federal Council of Churches 内ニ於ケル左傾的且支配的勢力ヲ有ス、之等二團體ノ左傾牧師等ハ Federal Council of Churches ノ指導的地位ヲ獨占スルト共ニ「共產黨」共同戦線「運動」ノ骨子ヲ成ス諸團體内ニ於ケル黨「フラクシオン」部員トシテ活動シツツマリ、主要ナル「プロテスタント」トラヴェラー「六〇%」ハ「メンヂェスト」教派及 Protestant Episcopal 教派ノ牧師ナルカ然ラサレハ同教派ノ信者ナリ。

Federal Council of Churches ノ方針ヲ左右シツツアル牧師ノ中顯著ナル「フェロー、トラヴェラー」左ノ如シ。  
Bishop Francis J. McConnell (American League for Peace and Democracy (A.L.P.D.) 會員)  
Dr. Harry F. Ward (A.L.P.D. 全國會長)  
Reverend Alson J. Smith (A.L.P.D. 宗教部長)  
Dr. Reinhold Niebuhr (A.L.P.D. 會員)  
Reverend Hernan Reising (「メンヂェスト」共產黨員ヲ援助スル目的ニテ米國共產ニ依リ設立セラレタル North American Committee to Aid Spanish Democracy 全國會長)  
以上五名ハ労働、文化、社會、平和、民權及宗教等ノ團體ヲ含ム多數共產黨外廓團體ノ幹部若シハ職員ナリ。

Dr. John Nevil Sayre

Dr. Samuel McGrea Cavert

Bishop Paul Jones

Dr. Roswell P. Barnes (The Federal Council of Churches of Christ ノ活動事業ノ「メンヂェスト」 Church Committee for China Relief 組織員ノ一人ナリ、最近共產黨「フェロー、トラヴェラー」トシテ名ヲ知ラルルニ至レリ、然レトモ

同入ト若キ「メンヂェスト」 Federal Council of the Churches of Christ in America ナ支體ミ居ル「メンヂェスト」及「プロテスタント」教派ノ他ノ牧師等ニ比スレハ左程有名ナラス)

以上四名ハ表面ハ左傾的ナラサルモ黨員又ハ他ノ「フェロー、トラヴェラー」ト密接ナル協力ナシ、他面反共勢力ノ反對ニ抗シテ共產黨ノ目的ヲ増進セシムルニ必要ナル保守的態度ヲ表面保持シ居レリ。

又 Dr. Ward, Dr. Niebuhr, Bishop McConnell 及ハ皆 Union Theological Seminary ノ教授ナルカ右神學校ハ「共產黨」フェロー、トラヴェラー「養成所」トシテ「赤色」神學校ノ世評アリ。

(2) The Congregational and Christian Churches and their Council for Social Action

本教派ハ Federal Council of Churches of Christ in America ニ所屬セサルモ 共產主義ト密接ナル關聯アリテ共產運動ナルヤ宗教運動ナルヤ其ノ間ノ區別明瞭ナラサル程複雑ニ發達セル組織ヲ有ス。本教派ハ「メンヂェスト」教派ト同一程度ニ左傾的ニシテ恐ラクハ「エビスマロバ」教派ヨリハ左傾的ナル可シ、然レトモ本教派ハ其ノ規模及資金左程大ナラサルカ故ニ其ノ勢力ハ「メンヂェスト」教派ニ及ハサルト共ニ又 Federal Council of Churches of Christ ニ所屬

セナルカ故ニ右「フェデラル・カウンスル」關係者二十二教派三千萬人ニ影響ヲ及ホシ得ル地位ニナキモ猶數百萬ノ關係者ニ勢力ヲ及ホシツツアリ。

本教派ノ顯著ナル左傾主義者及「フェロー・トラヴェラー」ハ左ノ如シ。

Reverend William B. Spoford (最も主要ナル人物ニシテ且共產黨ト最も緊密ナル關係ヲ有ス) ; Professor Arthur F. Holt (Chicago Theological Seminary); Reverend Allan Knight Chalmers;

Reverend Russel J. Clinchy; Reverend Harold Hatcher; Reverend Alfred Schnalcz;

Reverend H. C. Herring; Reverend Alfred W. Swan; Reverend Dwight J. Bradley

右ノ外本教派信者ニシテ共產黨「フェロー・トラヴェラー」トシテ活動シツツアル者多數アルガ

其ノ内或者ハ牧師及門徒ヨリ成ル Council for Social Action of the Congregational and

Christian Churches 會員タリ。

其ノ主要ナル人物左シ如シ。

Reverend Alfred Schnalcz; Katherine Terrill; Marguerite Bro; Reverend Hubert

Herring; Elizabeth Whiting

右 Council for Social Action of the Congregational and Christian Churches 會員ノ大半ハ共產主義者トシテ

ノ非難ヲ免カルルタメ社會黨員ナリト自稱シ居ルモ右團體ノ綱領ハ社會黨ノ政策ヨリハ密口共產黨ノ政策ニ類似セ

ルモノニシテ其ノ主張スル所ハ資本主義制度ノ撤廢、運輸機關及公共事業ノ官有、大私有地ノ廢止及共同農園制度等ナ

リ。

然レトモ其ノ綱領中「中立問題」ニ關シテハ共產黨及其ノ外團體ノ主張トハ相容レサル矛盾ヲ呈シ居レリ、即チ本教派

内ニ於テ最も主要ナル共產黨「ソラッシュ」員タル Reverend William Spoford カ共產黨ノ政策ニ從ヒテ「ソラッシュ」共

産政府及支那援助ヲ主張シ且反「ソラッシュ」運動トシテ「ソラッシュ」諸國家ヲ糾合シテ獨逸ニ當ラシメントスル共產黨

ノ意向ヲ支持セルニ反シ本團體ハ嚴正中立ヲ主張シ居レリ。(然レトモ目下蘇聯ハ「ナチ」獨逸ト不可侵條約ヲ締結セル

故、何レニスルモ漸次右對獨「ソラッシュ」國家糾合政策ハ破壞セヨルハニ、本團體カ共產黨ノ一般政策ニ追隨スルニ

拘ラス對「ソラッシュ」戰爭論ノミチ支持セサル理由ハ本教派内ノ「インセント」ノ大半カ米國ノ嚴正中立政策ヲ傳統的

ニ支持シツツアル事情ヲ知悉シ居ルニ由ルモノト認メラル、而シテ共產黨「フェロー・トラヴェラー」等ハ如何ニ狡猾チ弄

スルモ戰爭ハ之ヲ社會改造論ト調和セシメ得サルヲ以テナリ。但シ Council for Social Action ハ戰爭ヲ認メサルモ他

面ニ於テ獨逸攻撃ニ參加シ侵略國家抑制ノタメ職團力ヲ弱ムル一手段トシテ獨逸「キイコフ」運動ハ之ヲ支持セリ。

尙 Congregational and Christian Churches 並ニ前出「メソヂスト」教派及 Protestant

Episcopal 教派ハ何レモ蘇聯邦ヲ以テ最も完全ナル「デモクラシー」國家ナリト認メ居ルカ右

蘇聯カ自由及「デモクラシー」ノ敵タルヘキ「ナチ」獨逸ト不可侵條約ヲ締結セルカ故ニ何レモ

失望シ且之等團體内ノ共產黨「フェロー・トラヴェラー」等ハ一層然ルヘシト謂ハル。

Y.M.C.A.及Y.W.C.A.

共產黨、Young Men's Christian Association (Y.M.C.A.) 及 Young Women's Christian

Association (Y.W.C.A.) 内部穿孔工作並ニ其ノ效果ニ言及セザレハ宗教界ニ於ケル米國共產

黨ノ工作ニ關スル報告ハ完全ナリト云フ可カラス、右 Y.M.C.A. 及 Y.W.C.A. ハ共ニ

「プロテスタント」ノ支配スル團體ニシテ其ノ何レモ「キヤンソック」教徒ノ入會ヲ禁シ居ラサ

レトモ「キヤンソック」教徒ハ Y.M.C.A. 及 Y.W.C.A. 内ニ於ケル「プロテスタント」教徒ノ

優勢ヲ認メ居ルカ故ニ之ニ加入スル者少ナシ、而シテ Y.M.C.A. 及 Y.W.C.A. ノ「デイ

レクター」等ハ事實「キヤンソック」教徒ノ入會ヲ勸誘スル努力ヲナシ居ラス右ハ恐ラク「プロ

テスタント」ニ依ル Y.M.C.A. 及 Y.W.C.A. 支配力ヲ弱ムルナランカ爲ナル可シ。

Y.M.C.A.及ヒY.W.C.A.ハ共ニ共產黨「ヤング、コミュニスト、リーグ」並ニ American Student Union 及 American Youth Congress 等ノ外廓團體ト屢々協力活動シ居レリ、共產黨カ宗教殊ニ「プロスタント」ニ對スル攻撃ヲ巧ミニ潤色セルカ故ニ Y.M.C.A.及ヒ Y.W.C.A.ハ共產黨ノ政策ニ從フ上ニ何等ノ困難ヲ感セス、又共產黨ハ共產主義ニ對シ頑強ニ反對シ來レル「キャンソリツク」ノ勢力ヲ出來得ル限リ崩壊セシメ且其ノ信用ヲ失墜セシメントシテ「キャンソリツク」ニ對スル「プロスタタント」ノ嫉妬ヲ巧ミニ利用シ居レリ、Y.M.C.A.及 Y.W.C.A.ノ行政部幹部ノ地位ハ左傾教派團體若クハ American League For Peace and Democracy (A.L.P.D.)ノ如キ外廓團體内ニ於テ有力ナル黨「フエロー、トラヴェラー」ヲ以テ充タシ居リ又右幹部等ニシテ共產黨員ナル場合モ二三アリ。

(イ) 其ノ代表的人物ヲ左ニ掲ク  
左傾 Y.W.C.A. 幹部及主要人物

Margaret Forsyth (Y.W.C.A. National Board 員、同時ニ A.L.P.D.ノ會計係ニシテ又有力共產黨員ナリ)。

Marguerite Young (Y.W.C.A. National Board 員ニシテ同時ニ共產黨婦人委員ナリ)。

Louise Thompson (Y.W.C.A. National Board 員ナルカ依然 Y.W.C.A. 會員ニシテ目下共產黨婦人委員及黨全國委員ナリ)。

Mrs. John Finley (Y.W.C.A. National Board 海外部長、同女カ共產黨員ナルヲ否ハ不明ナルモ他面 American Committee for Non-Participation in Japanese Aggression ノ如キ共產黨外廓團體ノ活動事業ニ參加シ居レリ)。

(註) 右 American Committee for Non-Participation in Japanese Aggression ノ目的ハ支那援助ヨリテ寧ロ日本ヲ打殺シ、蘇聯ヲ強勢ナラシムル援助ヲナシモノニシテ其ノ主要人物左ノ如キ者ナリ。  
共產黨員—Margaret Forsyth, Philip Jaffe, Van Wyck Brooks (著述家) 及 Mrs. Lincoln Steffens (露ニ於テ Eila Winter ナリト知ラル)。  
「フエロー、トラヴェラー」—Reinhold Niebuhr, Frank Price (Nanking Theological Seminary ノ教師、現在ソ連ニ在リ) Maxwell Stewart 及 Rabbi Stephen S. Wise。以上ノ人物等ハ皆 Mrs. Finley ト協力活動ヲナシ居レリ。

Y.W.C.A. 内ニ於ケル其他ノ赤色分子ハ左ノ如シ

Eleanor Copenhaver 及 Alice Hanson (右兩名ハ Y.W.C.A. 産業部員ニシテ皆 Brookwood College ノ師ニシテ共產黨労働者學校ト關係マツタリ)。

(ロ) 左傾 Y.M.C.A. 幹部及主要人物。

Y.M.C.A. 行政部及共產黨間ノ關係ニ就キテハ前記 Y.W.C.A. ノ場合ニ於ケル如ク明瞭ナラサルモ Y.M.C.A. 亦共產黨政策ニ從フモノニシテ Israel Antler (共產黨全國委員) ノ如キ有力ナル黨員ノ演說會カ屢催サレ居レリ。

Y.M.C.A. 執行幹部ニシテ共產黨「シンバサイザー」トシテ知ラルル主要人物ハ左ノ如シ。  
George Fitch (支那ニ於ケル Y.M.C.A. 書記長)。

L. Newton Hayes (Y.M.C.A. 經營ニ係ル諸學校ノ「ディレクター」、「ロードアドバイザー」別「プロヴィデンス」市ニ在リ)。

A. McGill (Y.M.C.A. 幹部ノ一人、A. B. McGill ト稱スル別名ヲ以テ「ヒュー・マックス」詩ノ囑託記者及黨員トシテ知らレリ)。

要之「プロテスタント」宗派の一部は Federal Council of Churches of Christ in America に依り特ニ其所屬「教派 Protestant Episcopal Church 及 Methodist Church」に依り代表セラレ且 Congregational and Christian Churches 及 Y.M.C.A 並ニ Y.W.C.A に依り援助セララルコト前述ノ如クナルカ米國ノ宗教及經濟機構ニ對シ脅威ヲ形成スルモノナリ、即チ之等「グループ」ハ其ノ數百萬名ノ會員間ニ基督教信仰ヲ宣布スト言ハシヨリハ寧ろ共產黨員及「フェロー、トラヴェラー」等ニ依り運用セララルル巨大ナル機關ヲ形成スト謂フ方適當ナルヘシ。

教會團體内ニ於ケル黨「フラクシオン」ハ共產黨ニ依リ設立セララルル他ノ外廓團體内ノ全「フラクシオン」ト全ク同様ニ活動シ且黨ニ依リ支配セララルルモ他ノ「フラクシオン」ト異ナル點ハ左ノ如キコトナリ、即チ教會全體ノ大半ヲ支配スル「フラクシオン」ハ神聖ナル神名ニ隠レル「フェロー、トラヴェラー」ノ「團ナルコトナリ、然レ共之等宗教界ニ於ケル「フェロー、トラヴェラー」及ヒ黨「フラクシオン」主要人物等ノ共產黨ニ對スル關係カ世評ニ上ル場合ニハ共產黨ニ對スル彼等ノ重要性ヲ失フハ勿論ニシテ、故 Bishop William Brown ノ共產黨トノ關係ニ對スル世評カ高マリシ時其ノ教派ヨリ追放セラレシ事件ニ徴シテモ明カナリ。

尙同人ハ追放前數年間黨ニ對シ貢獻スル所アリタルカ更ニ黨ニ對シ四十萬弗ノ遺産ヲ殘セリ、現在「フェロー、トラヴェラー」トシテ定評アル宗教界ノ主要人物等ハ Dr. Harry Ward; Dr. Reinhold Niebuhr; Bishop McConnell; Reverend Hernan Reissig ナリ、然レ共右ノ如キ人物等カ外廓團體ノ活動事業ニ參加スル場合右外廓團體カ共產黨ト關係ヲ秘スルコトハ

漸次困難トナリツツアリ。

四、猶太教内ニ於ケル共產黨ノ工作  
猶太教團體内ニモ共產黨「フラクシオン」存在シ、米國ニ於ケル猶太教徒ヲ支配シツツアルカ、主要ナル團體ハ Union of Orthodox Jewish Congregations; Union of American Hebrew Congregations ニシテ右ノ外共產黨カ其ノ「フラクシオン」ヲ有スト稱シ居ル其他ノ猶太人團體ハ左ノ如ク。

Young Men's Hebrew Association; Zionist Organization of America; Young Judea, Inc.; Society for Advancement of Judaism; National Conference of Jews and Christians (猶太教徒及基督教徒間ノ相互了解ヲ計ル目的ノ下ニ右兩教徒ノ混淆ヨリ成ル一團)

(註)「プロテスタント」宗派及猶太教ノ教師及信徒ニシテ「フェロー、トラヴェラー」及ヒ共產黨「フラクシオン」部員トシテ活動シタル主要人物ヲ重複テ願ヒテ便宜上茲ニ一括列舉ス、勿論此ノ種人物ハ數百名ニ達スルキモ特ニ著名ナルモノニテ

テ列挙スル者ナリ。  
Bishop Francis J. McConnell; Dr. John Nevin Sayre; Professor George Counts; Dr. Reinhold Niebuhr; Bishop Jerome Davis; Professor Broadus Mitchell; Dr. Harry Ward; Dr. Samuel McCrea Cavert; George Fitch (Y.M.C.A.); Bishop Paul Jones; A. J. Muste; Professor Harry Overstreet; Reverend Alson J. Smith; Rabbi Stephen Wise; Professor John Fitch; Reverend William Lloyd Innes; Rabbi Edward L. Israel; Margaret Forsyth (Y.W.C.A.); Reverend William Sportford; Rabbi Jacob Frankel; Professor Paul Douglas; Reverend Harold Hatcher; Professor Arthur E. Holt; Sherwood Eddy; Reverend Herman Reissig; Reverend Allan Knight Chalmers; Dr. Harry B. Price; Reverend Alfred Schmalz; Reverend Russel Clinchy; Dr. Roswell P. Barnes; Reverend Alfred W. Swan; Reverend Hubert Herring; Professor William Kinpatrick.

第五、「フラクシオン」部役員

Jack Stachel 部長 (本人ノ詳細ニ關シテハ前出参照)



其ノ他ノ職員トシテハ前出労働組合委員中ニハ本部ノ一般的職員ヲ兼テ居ルモノト認メラルルモ其ノ他ハ不明ナリ。

尙地方各級支部ニハ Fractions Secretary 一名乃至數名アリテ管内外廓團體ニ潛入シ居ル「フラクシオン・ムーブメント」ヲ統制シツアルモ支部ノ正式役員トシテハ發表セラレ居ラス。

第六ノ黨「フラクシオン」ノ工作シツアル主要團體

黨「フラクシオン」ノ活動ニ依リ其ノ政策ニ若干ノ影響ヲ受ケ居ル團體及ヒ完全ニ支配セラレテ共產黨外廓團體トシテノ任務ヲ果シツアル團體ノ正確ナル數ハ不明ナルモ恐ラク數百ニ達スヘント稱セララルル處共產黨ノ支配力比較的大ナルモノニ付左ニ詳説スヘシ、尙左記團體中ニハ他ノ部ニ於テ一應ノ説明ヲナセルモノヲモ包含シ居ル處右ハ共產黨各部ノ活動力相互重複シ居ルタメ己ムヲ得サル儀ニシテ便宜上一括茲ニ裁録セリ。

(一) American Civil Liberties Union

本部事務所=81 Union Square, New York City  
部長=Dr. Harry F. Ward (全米) Rt. Rev. Edward L. Parsons; Dr. Mary E. Woolley; Lloyd K. Garrison (イリノイ州)  
B. W. Huebsch (Treasurer); Roger N. Baldwin (Director); Lucille B. Milner (Secretary)  
本部ハ「米國公民自由協會」トシテ「憲法」ノ保護ヲ主眼トシテ「言論」ノ自由ヲ主張スルモノナリ  
本部事務所=米國共産黨本部(ワシントン) 参照

(二) American Friends of the Soviet Union

本部事務所=461 Fourth Ave., New York City  
部長=Corliss Lamont (全米) Herbert Goldfrank (全米) Mr. Kournakoff (露邦)  
右ノトシテ露邦共産黨本部=Malcolm Cowley; A.A. Heller, Maxwell Stewart; Robert Dunn; Langston Hughes

(三) Amalgamated Clothing Workers (C.I.O.)

本部事務所=15 Union Square, New York City  
部長=Shirley Hillman (全米)  
本部ハ「縫製工友會」トシテ「労働組合」トシテ「労働者」ノ利益ヲ保護スルモノナリ  
本部事務所=Dorothy Ballance; Jacob Potofsky; Abraham Miller; Joseph Schlossberg

(四) American Association for Social Security

本部事務所=22 East 17th Street, New York City  
部長=Bishop F. J. McConnell, (American League for Peace and Democracy) Abraham Epstein;  
Rabbi Stephen S. Wise; Glenn Frank

(五) American Committee for Protection of Foreign Born

本部事務所=100 Fifth Ave., New York City  
部長=Rev. Herman F. Reissig (全米); James Waterman Wise (露邦); Hon. Emanuel Celler; Anna Damon;  
Prof. Gerge Counts; Isaac Shorr

(六) American Federation of Teachers (A.F. of L)

本部事務所=114 East 16th Street, New York City  
部長=Jerome Davis (全米) Mary Foley Crossman (全米) C. J. Rendley (露邦)  
本部ハ「教師連盟」トシテ「労働組合」トシテ「労働者」ノ利益ヲ保護スルモノナリ  
本部事務所=Jerome Davis (全米) Mary Foley Crossman (全米) C. J. Rendley (露邦)

(七) American Friends of the Chinese People

本部事務所=168 West 29th Street, New York City  
部長=Maxwell Stewart (全米); Margaret Forsyth; Prof. George Counts; Mrs. J. C. Guggenheimer; Julius Loeb (露邦)  
本部ハ「中国友好會」トシテ「労働組合」トシテ「労働者」ノ利益ヲ保護スルモノナリ  
本部事務所=Maxwell Stewart (全米); Margaret Forsyth; Prof. George Counts; Mrs. J. C. Guggenheimer; Julius Loeb (露邦)



以下各々 Regional Vice President として Donald Sullivan (Boston); Harry Whole (Chicago); Harry Martin (Memphis); Robert Canozzi (Seattle); Roger Irwin (Toronto)

以下各々 Vice President at large として Morris Watson (New York); William Farnon (Philadelphia); Philip M. Connelly (Los Angeles); L.L. Kenen (Cleveland); Julius Klyman (St. Louis)

本団體、新聞通信員及編輯記者等ノ組合ナルカスカル「ペンクラブ」組合ニ於テモ少数ノ共產黨員ニ依リ其ノ政策ヲ左右セリ居ル

尙本國記者ニ於ケル共產黨「ソラツシモン」部員ハ左ノ人物ヲ包含ス Carl Randau (New York World Telegram 紙記者); Cassidy (New York Daily News 紙記者)

(特) 註釋、各黨派幹部未詳載

14 Authors League of America

本部事務所=6 East 39th Street, New York City

本團體、米國內ニ於ケル著名ナル文筆家等ヲ包含ス文筆家ノ團體ナルカ、本團體内ニ於テ共產黨、フランクシモン、ノ首領ト目サレル。Joseph Freeman ナリ同人ノ League of American Writers 會員及「ジョン・リード」會員ナリ、本團體内ニ於ケル黨員ノ少数ナルモ支配的地位ニ在リ。

15 American Society For Race Tolerance

本部事務所=11 West 42nd Street, New York City

幹事=Mrs. Charles Kohler (本團體ノ指導者ニシテ「フエロ」・「アム・ユ」・「ナラント」想像キヤク)。本團體ハ小ナルトモ猶大人及「反フ・シム」方面ノ資金ニ依リ充分ナル資金ヲ有スル團體ニシテ主トシテ人類愛ヲ信奉スル自由主義者ニ訴フルヲ目的トス。外國生ノ赤化煽動者ノ擁護及南方ニ於ケル黒人平等權獲得運動ノ援助ニ關シ黨ノ支持ヲ受テ。

16 American Artists Congress

本部事務所=100 West 18th Street, New York City

本團體ハ共產黨員カ一九三五年 League of American Writers ノ設立ニ成功セル後間モナク同シク共產黨員ニ依リ設立セラレタル美術家ノ團體ナリ、本團體組織運動ニ關シ著名セル百七名ノ美術家中共産系出版物ニ關係セル主要美術家ハ左ノ如シ、

Art Young; William Siegel; William Gropper; Hugo Gallert; Russel Limbach; George Pickens; Joe Jones; Arnold Blanch; Gilbert Koche; Jacob Burck; Anton Refregier; Raphael Soyer; Nicolai Cikovsky; Mabel Dwight; Adolph Dehn; Mitchell Siporin; Peter Blume; Margaret Bourke-White; Eitaro Ishigaki

右ノ中 Gropper; Pickens; Jones 及 Siporin 及ハ黨員トシテ知らレ。其他ハ露出版物ニ對シ定期的に挿繪ヲ依頼セラルル囑託畫家ニシテ同黨ニ對シテ「シュアット」 Stuart Davis ハ本團體ノ書記長ナリモ現在モ然リヤ不明ナリ。

17 American Fund For Political Prisoners and Refugees

本部事務所=125 West 33rd Street, New York City

本團體ハ國内ニ於テ「不明」ナルモ共產黨ニ依リ支配ガラハ居ルモノト信ゼラル。

18 American Jewish Committee

本部事務所=386 Fourth Ave, New York City

幹部=Morris Waldman (書記長)

本團體ハ数千名ノ會員ヨリ成リ充分ノ資金ヲ有シ居ルカ目下歐洲ヨリノ避難民救済運動ニ從事シ居レリ、勿論本團體ハ獨伊ニテ國ノ政策ニ反對シ居ルモ、之ハ右ニ國カ猶大人排斥ナナスカ故ニシテ蘇聯ノ敵國ナルカ故ナラヌ。共產黨ノ影響ハアルモ未タ之ヲ支配スルニ至ラン。

19 Brotherhood of Sleeping Car Porters

本部事務所=217 West 125th Street, New York City

本組合ハ鐵道従業員組合ニ依リ強ク支配ガラハ居ル唯一ノ組合ナリ。其ノ組合員ハ全部黒人ニシテ其ノ或者ハ黨ノ支配ヲ受ケル National Negro Congress 會員及黨員ナリ、組合長 A. P. Randolph ハ又同黨ニ National Negro Congress 會長ヲ兼任シ居ル外黨ノ支部ヲ受ケル諸團體トモ關係シ居リ隠レタル黨員ナリト信ゼラル。

20 China Aid Council (American League for Peace and Democracy 所屬)

本部事務所=79 Fifth Avenue, New York City

本團體ハ A. I. P. D. ノ所屬團體ニシテ共產黨ノ宣傳機關ナルカ本團體ニ依ル資金ノ大部ハ直ニ反日宣傳運動ニ費サル、右取入ノ金額ニ對シ責任ナル検査行ハレサルモ支那人ハ其ノ一少部分ノミテ知ラサルニ過キスト稱セラル、A. I. P. D. ノ活動ヲ

指導メットレーン、総長及「ドロー」アラウラが本團體を支配シタルカ其ノ主要人物左ノ如シ。  
 Reinhold Nebuhr, Bishop McConnell, Rev. William Spofford, Maxwell Stewart, Dr. Max Yergan (外國生), 黑人  
 R. Rabbi Stephen S. Wise, Joseph Lash, Margaret Forsyth, James Waterman Wise  
 尚右ノ外左ノ如キ人物も黨ノ政策ヲ支持シテヤリ。  
 William E. Dodd (前駐米大使、本團體ノ支持者)、William E. Dodd, Junior (會長、右「ドッド」(息子)、「Oliver Haskell  
 「クニツター」) Janet Van Tyne (書記長) Haskell 及 Van Tyne 等實際上ノ活動ニ從事シ居ルモノニハ Dodd  
 父子ノ實際上ノ活動ニ關シテ左程重要ナル也。

(三) Congress of Industrial Organization (C.I.O.)

全國本部事務所-106 Connecticut Ave., N. W., Washington, D. C.  
 共產主義者C.I.O.組合内ニ在リテ活動シ居ルカ「C.I.O.系四十ノ組合中強度ニ共產黨ノ影響ヲ受ケ居ルモノハ左ノ  
 如シ。  
 National Maritime Union (會長 Joseph Curran); International Longshoremen's and Warehousemen's Union (會長  
 Harry Bridges); Transport Workers Union (會長 Michael Quill); United Cannery, Agricultural, Packing and Allied  
 Workers of America (會長 Don Henderson); Steel Workers Organizing Committee (S.W.O.C.) (右一部共產黨ノ指導者  
 Van A. Bittner (Western Regional Director of S.W.O.C.)); United Automobile Workers (U.A.W.) (右一部指導者  
 Richard Frankenstein); Amalgamated Clothing Workers Union (本組合内ニハ共產黨員數千名アリ) 會長 Sidney  
 Hillman (日本人又 Textile Workers Organizing Comm. 委員長サリ) 右ラニシテ共產黨員ニハ非サルモ餘儀ナリ。共產黨分  
 子ニ從フシテ活動シ居ルモノアリ。International Ladies Garment Workers Union (I.L.G.W.U.) (會長 David Dubinsky (共產  
 黨員ニ非ス)) 其他ノC.I.O.組合内ニハ各數名ノ黨員在ルモ共產黨ノ主力ノ前記六組合内ニ集中シ居リ。  
 尚右ノ外C.I.O.指揮ノ下ニ建築労働組合 (Building trade unions) ナリ。統制スル目的ヲ以テ最近出現セル Construction  
 Workers Organization Committee ノ會長ニC.I.O.會長 John L. Lewis ノ兄弟カ選ハタルカ右委員會ハ既ニ共產黨ノ  
 影響ニ依リ支配セラレ居ル也。

共產黨ハ又A.P.L.組合内ニ其ノ「ローゼン」及「フランク」所有シ居ルモC.I.O.系組合ニ對スルカ如キ未タ支配  
 カチ及ホシ得サルヲ「フランク」ノ労働組合委員ハC.I.O.ニ對シ黨ノ全力ヲ集中シテ之ヲ援助ス可ク且C.I.O.及  
 A.P.L.間ノ和解ニ對スル希望ヲ放棄ス「ドット」方針ナル也。

前記建築労働組合ニ於ケル「フランク」ノ全部ニ對シ Construction Workers Organization Committee ト提携活動スル  
 コトニ依リA.P.L.ノ支配權ヲ破壞ス「ドット」訓令ヲ發シ居ル也。

若シ右活動工作カ成功セバ建築労働者組合A.P.L.内ニ於テ鐵道従業員組合ニ次ク最大ノ組合ナラハA.P.L.ニ対テ極メテ  
 大打撃ヲナル可シ。

(三) Consumers Union of the United States

本部事務所-17 Union Square, New York City  
 幹部=Paul J. Kern (共産黨 National Lawyers Guild 副會長) A. J. Iserman; A. A. Randolph (National Negro  
 Congress 及 Brotherhood of Sleeping Car Porters 幹部、黒人黨員ナリ) 信ガラル) R. W. Dunn (書記); O. K.  
 Praenkel; Arthur Kallet; Heywood Brown (著名ノ「フロイド」ライター)。

以上ノ内黨員ナラサル者「フロイド」ライターナリ。  
 本團體ハ「消費者組合」ナル看板ヲ掲ゲ居ルモ其ノ組合員タル「消費者」ニ對シナス奉仕ハ二義的ニシテ共產黨ニ対シ  
 ナル商人若クハ製産者ノ「ホイコト」煽動ヲ主目的トス。而シテ右目的ノ達成ニハ直接「ホイコト」奨励法ニ依ラスシテ常該生  
 産者商人等ノ製産品ノ品質ニ關シ機關誌ニ依リ虚報ヲ傳フル手段ヲ執リツツアリ、而シテ本團體運動ハ紐育市以外ノ地方ニ於  
 テハ重要ナラズ。

(三) Council Against Intolerance In America

(1) 本部事務所-80 East 42nd Street, New York City  
 (2) 本團體ノ目的「ナル所」ハ米國ニ於ケル「ファジー」カクリン」派及反猶太人運動排撃闘争ニ在リ。「カクリン」反對及猶太人擁  
 護

調一0154

0258

- 護運動ニ関シ直接共産黨ト提携セサルモ本團體幹部内ニハ後述スル如キ著名ナル「フエロー・トラウエラー」四名及著名ナル黨員(黨全國委員員)一名存スルコトニ依リ本團體内ニ於ケル共産黨ノ勝手ハ容易ニ認識シ得ラルルコトナリ。
- (3) 團體及會員ノ性質ニ本團體ハA. I. P. D.カ共産系ノ團體ナリモ世間ニ曝露セラレテ以來何ニ之ニ三代ラシメントスル目的ノ下ニ共産黨カ設立セル團體ナリト認メラル。而シテA. I. P. D.ヨリ更ニ巧妙ナル組織ヲ有スルコトハ其ノ會員ニ著名ナル自由主義者ヲ含ムルニテラス、知名ノ「キヤトリック」教徒及各宗派ノ保守的政治家等ヲモ網羅シ居ルコトナリ。然レトモ團體内ニハ共産黨「フラクシヨナル」アリテ「フエロー・トラウエラー」ニ依リ支持セラレ居リ且看板トシテ用ヒラルル前記保守分子ヨリ優秀ナル自由分子多数アリ。
- (4) 活動領域ニ左ノ如キ露略的細領ヲ取扱ケ居レリ。即チ  
一、「フエロー・トラウエラー」擁護 二、宗教的及人種的偏見撤廢 三、米國主義精神ノ向上
- (5) 活動事業ニ活動事業ノ一トシテ調査局ヲ設立シテ米國內ニ於テ人種的宗教的偏見ヲ煽動スルカ如キ團體ニ關スル資料ノ集蒐ニ努ム。
- (6) 幹部ノ主ナル者「James Waterman Wise (調査局長、China Aid Council of A. I. P. D. 委員及 Friends of Soviet Union 委員、本人ハ左翼運動ノ首領トシテ知ラル S. S. Wise ノ「ウエラー」) William Weiner (本團體長、Independence Day Committee 委員ニシテ又共産黨全國委員員「International Workers Order-I. W. O. 委員ナリ」) 以上ハ共産黨「フラクシヨナル」部員ナリ。
- Robert Moss Lovett; Reinhold Niebuhr; Oswald Garrison Villard 等ハ重ナル「フエロー・トラウエラー」ナリ。
- 前記 William Weiner 及 James Waterman Wise ヲ筆頭トスル共産黨「フラクシヨナル」カ自由主義者及「フエロー・トラウエラー」等ノ援助ヲ得テ本團體ノ政策ヲ支配スルハ明ナリ、之等「フエロー・トラウエラー」等ハ職業的煽動家ニシテ彼等カ團與セル如何ナリ運動ヲ支配スルタメニ其ノ時間及勢力ヲ悉ク傾注シ得ルモノナリ。
- Hon. William E. Dodd; Harold L. Ickes; Rabb Stephen S. Wise; Mary E. Wooley; Governor Herbert H. Lehman 等ハ黨員ノ活動ヲ支持シテ「自由主義者」ナリ。
- Thomas E. Dewey (紐約州地方検事 District Attorney, New York); Carter Glass (聯邦上院議員); Bennett Champ Clark (聯邦上院議員); William Green (V. A. I. 会長); General Hugh Johnson (新聞論說執筆家); Monsignor John A. Ryan (著名ナル「キヤトリック」教徒); Alfred E. Smith (前紐約州知事); Grover Whelan (紐約世界博覧會長) 以上ハ保守分子ナリ。

(四) Cooperative League of U.S.A.

本部事務所=167 West 12th Street, New York City

右人物ハ皆事務繁忙ナル人ニシテ斯カル團體ヲ支配スル如キ實際ノ仕事ニ關係スル時間ヲ有セサルタメ單ニ其ノ名ヲ貸スニ過ぎ、然レトモ右人物等ノ名ハ本團體ノ活動ニ對シ相當ノ價值ヲ有ス。

(7) 蘇聯邦防衛ニ本團體ハ日獨伊反對ニ關シテハ全般的ニ共産黨政策ニ從フモノニシテ、蘇聯以外各國ニ於ケル宗教及人種偏見ニ對シ反對ノ聲ヲ擧ゲザラズ、若シモ保守分子ノ一人カ本團體ハ「ロイヤル」ニ於ケル宗教暴徒ヲ非難ス可キナリト論ゼンカ後ハ速座ニ反對過激分子及「フエロー」分子ヲシテ攻撃セラル可ク又本團體ノ政策カ露骨ナル親露ニ傾カン「キヤトリック」教徒及保守分子ノ間ニモナク脱退スルノ餘儀ナキニ至ル可シ。

本團體ハ蘇聯ノ主義カ「デモクラシー」ナリト高調スルニ雖モ本團體モ亦曝露セラルル場合ニハ再ヒ新團體ノ形成ヲ見ルナルベシ。

(五) Council For Social Action

本部事務所=289 Fourth Ave, New York City

「プロテスタント・チャーチ」ノ分派中左傾運動ニ關係深キ「メソヂヤニク・チャーチ」(Federal Council of Churches of Christ in America) ノ一構成分子及「コングレガーション」ナドトナリヌチャーチナルカ後者内ニ於ケル社會制度ニ關スル運動ノ發展ヲ見 達ニ Council For Social Action ノ設立ヲ見ルニ至レリ。此ノ所謂宗教團體ハ信仰問題ヨリハ寧リ資本主義顛覆運動ノ方ニ多ク關心ヲ有シ、共産主義「同一」新社會制度招來ノタメニ努力シツツアリ。廣範ナル「デモクラシー」ヲ口實ニシテ共産主義ヲ傳播シ以テ黨政策ニ忠實ニ協力シツツアルモノナリ。

本團體ノ指導ニ當リ居ル主要人物ハ次ノ如シ、 Herbert C. Herring (Director); Alfred Schnatz (Associate Director); Frank McCulloch; Ferry L. Platt; Harold Hatcher; Katherine Terrill; Marguerite H. Brog; Elizabeth Whiting

(12) Church League For Industrial Democracy

本部事務所 135 Liberty Street, New York City  
本團體は最近 Protestant Episcopal Church 内ニ於ケル左傾分子ノ團體ニシテ、事實上共產黨系 League for Industrial Democracy ニ屬スル團體ナリ。本團體ハ全般的ニ「コミンテルン」ヲ支持セサルモ、青年救済問題ニ於テ左翼運動ヲ指導スルヲ以テ、Rev. William B. Spofford 等。

(13) Descendants of the American Revolution

本部事務所 126 East 19th Street, New York City  
本團體ハ最近 Daughters of the American Revolution カ黒人聲樂家 Marion Anderson 等差別待遇セルニ刺戟セラレ、黒人ノ平等權受持ヲ極力シテ創設セラレタル團體ナリ。  
右事件ハ Daughters of the American Revolution ニ屬スル公會堂前記「ペンダーン」ノ音楽會堂トシテ使用スルヲ拒絶セルモノニシテ、各々「愛」ヨリ右團體ヲ反動的「ソサエティ」團體ナリト攻撃シ居タル。黨員ニ操縦セラレ居ル自由主義團體（之等團體員ハ多数）直チニ新聞誌設立ヲ決議シ、右新聞誌名ニ各黨アル米國傳統精神ヲ暗示スル如キ命名ヲ撰ビタルモノナリ。然レトモ前記傳統團體ヲ脱退シテ新聞誌ニ加入セル者ハ極メテ少シト謂ハル。本團體ノ目的トスル所ハ、黒人人間ニ於ケル共產主義ノ工作ニ資シ且共產主義ノ目的及米國建國ノ目的カ同一ナルコトヲ宣傳セントスルニ在リ。

(14) Redstart Press

本部事務所 80 Irving Place, New York City  
共產黨ノ通信機關ニシテ米國內ニ於ケル外語出版物約百、英語出版物約四百ニ對シ共產主義宣傳資料及労働問題ニ關スル共產主義的解釋ヲ下セル「レドスター」等ヲ發行スルモノナリ。尙詳細ハ、啓發宣傳部ノ項參照。

(15) Federation of Architects, Engineers, Chemists and Technicians (C.I.O.)

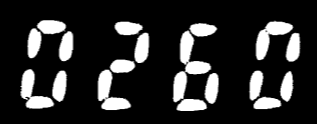
本部事務所 114 East 16th Street, New York City  
本團體ハ共產黨ニ依リ支配セラレタル「レドスター」等ヲ「愛」ヨリ極力シテ排シ、右團體ヲ「ソサエティ」トシテ、本團體ハ「C.I.O」ニ對シ更ニ露骨ナル左傾的政策ヲ主張シテ居リ。

(16) Garland Fund (American Fund for Public Service)

本部事務所 2 West 13th Street, New York City  
本財團ハ最初答給ナル青年左傾主義者「ガーランド」カ其ノ全資財九十萬弗ヲ左翼運動促進ノタメ寄附シ之ヲ基礎トシテ設立セラレタルモノニシテ、當初之チ「ガーランド」財團ト稱シタリ。設立當時ハ總額九十萬弗ノ株ノ形ナリシカ、現金ニ整理セシニハ際總額二百萬弗ニ上リタリ。現在之チ American Fund for Public Service 改名シ共產黨員及社會黨員ノ混合セル理事會ニ依リ支配セラレ居リ。設立當時ノ理事ハ左ノ如ク。  
Roger Baldwin; William Z. Foster (National Chairman of Communist Party); Lewis S. Gannett; Sidney Hillman; James Weldon Johnson; Prof. Robert Moses Lovett; Scott Nearing; Mary E. McDowell; Judah L. Magnes; Norman Thomas; Rev. Harry F. Ward; Morris L. Ernst; Walter Nelles.  
右ノ中過半数ハ依然理事ナル「ロバート W. Dunn」「ロマン」等ニ在リ。Benjamin Gladow「フレド K.」等ハ Freda Kirshwey「ロマン」ノ代理リ Clinton Golden カ幹部ニ就任シ居リ。尙前記二百萬弗ノ額米米國ノ社會、政治、經濟及宗教機構破壊ノ目的ヲ有スル諸團體ニ補助金トシテ供給セラレ來リ。

(17) International Labor Defense (I.L.D.)

本部事務所 112 East 19th Street, New York City  
本團體ハ共產黨ノ外郎團體ニシテ其ノ目的ハ左傾煽動家、外國生及一般ノ犯罪者等カ検束セラル場合、若シ聊カナリトモ階級的見地ヨリ辯護ノ餘地アル場合之ヲ法律上擁護シテ釋放セシメントスルニ在リ。  
一例チ「スコット」事件ニトリテ見ルニ、本事件ハ九名ノ黒人青年カ二名ノ白人少女ヲ凌辱セル廉ニ依リ死刑宣告ヲ受ケタルモノニシテ労働運動トハ何等關係ナキニモ拘ラズ I.L.D. ハ之ニ對シ運動資金供給及法律上ノ援助ヲナシ右事件ハ階級及人種迫害ノ犠牲ナリトシテ右黒人青年ノ擁護ニ當リ。ガーランド財團ハ毎年本團體ニ對シ四萬弗乃至二十萬弗ノ金額ヲ供給シ來ルカ過去十三年間ニ於テ「ガーランド」財團 American Civil Liberties Union 其他ヨリ本團體カ受領シ來レル總額ハ



二百六十萬弗ヲ起セル趣ナリ。  
 本團體ノ主要ナル幹部次ノ如シ、Vito Marcantonio (全國會長、聯邦下院議員)、William L. Patterson (第一副會長、共產黨員)、Anna Danon (書記長、共產黨員)、Louis Colman (書記長代理)、Robert Dunn (會計主任、共產黨員)、Rose Baron (囚人救済部長、共產黨員)、Sasha Small (宣傳部長、共產黨員)  
 執行委員會員ノ主要ナル者次ノ如シ、James Waterman Wise; Elizabeth Gurley Flynn; Max Bedacht; Joseph Pass; Clarence Hathaway 等  
 尙本團體ノ詳細ニ關シテハ米國共產黨外務關係報告(共ニ)參照

(三) International Ladies Garment Workers Union (I.L.G.W.U.)

本部事務所=8 West 16th Street, New York City  
 全國的幹部ノ主ナル者=David Dubinsky (C.I.O. 組合長ニシテ C.I.O. 幹部サツ、一九〇六年ヨリ一九〇九年ニ至ル頃「ミヤ」ニ於ケル左傾労働運動ニ關與セシメタルヨリ「聯邦」ニ歸セラレシモ脱出シテ米國ニ來リ左傾組合活動ニ從事セリ、共產黨方彼ノ目的ヲ支持スル場合ニハ之ト協力スルモ其他ノ場合ニ於テハ黨トノ提携ヲ拒絶シ居レリ、彼ハ其ノ組合ノ支配權擁護ニ熱心ニシテ黨方之干渉ハ「ミヤ」ニ於テハ其タシカニ反對シツツアリ、右ノ理由ニテ目下 C.I.O. 幹部特ニ共產黨系ノ分子ト對立シ居リ近ク本組合ヲ離レシムルハ「ミヤ」ヨリ脱退スルニシテ評セラレツツアリ、自身左傾的ナルモ自己ノ政策ニ關シテハ共產黨ノ傀儡トナラスニ決意力有ス、目下彼ハ「ローヌウヰルト」大統領ト對立ニシテ「ホライト」ハラスニ招待セラレ居レリ); Luigi Antonini (中央利人、左傾主義者ニシテ一九〇九年渡米シテ以來左傾労働運動ヲ提携シ居レリ); Julius Hochman (C.I.O. 中央副會長); Samuel Shore; Joseph Bresla

(四) International Publishers

事務所=381 Fourth Avenue, New York City  
 社長=Alexander Trachtenberg ニシテ彼ハ又全國委員ナリ本出版社ハ共產黨出版社中最モ主要ナルモノニシテ左ノ如キ黨ノ宣傳員等ニ依リ執筆ヨラレル出版物ノ大部ヲ印刷ス  
 Grace Hutchins, Mike Gold, John Stryak, J. S. Allen, Granville Hicks, Dr. Howard Salsan 等

(五) International Workers Order (I.W.O.)

(1) 本部事務所=80 Fifth Avenue, New York City  
 (2) 全國幹部=William Weiser (全國會長、黨全國委員會員)  
 其他本團體ノ幹部中黨員 Max Bedacht; Louise Thompson; J. R. Brodsky; Ann Stryak; Ben Gordon; Sam Pezner

(3) 總額=米國內ニ於ケル蘇聯式政治機構ノ實現及蘇聯邦支持。  
 (4) 勢力=米米ニ五二万ノ支部及七十五萬名ノ會員アリト稱セラレ共ノ中青年黨員二萬餘ヲ有ス。  
 (5) 資金關係=本團體ハ其ノ出支モ甚タシク多額ニ上リ居レリ左ニ共ノ一例ヲ掲ケ。

一九三七年一月一日ニ於ケル前年度ヨリ總額金額一〇二五、六九八弗九〇仙  
 一九三七年一ヶ年間ノ収入總額(但シ保險金、入會金及寄附金其他)一、二七六、六〇九弗五三仙  
 同年一ヶ年間支出總額一、〇〇〇、一三三弗二〇仙  
 同年十二月三十一日ニ於ケル差引殘額一、九二一、八六弗三三仙  
 同年ニ於ケル本團體所屬財產總額(但シ、株券、證券、抵當權及不動産等)一、三三三、五一四弗二六仙

本團體ハ「アロー」ウヰーカー紙ニ補助金を提供スル外「スエイン」内亂時ニ於テ左翼軍ニ多額ノ送金ヲナセリ

(六) Jewish Daily Freiheit

本部事務所=50 East 13th Street, New York City  
 本紙ハ猶太語ニテ印刷セララルル日刊新聞ナルカ共產黨經營ニ係ルハ二大日刊紙ノ一ニシテ「アロー」、ウヰーカー紙ト並ビ稱セラレ居レリ。

編輯幹部=M. J. Ogin; (編輯長、共產黨全國委員會員ニシテ又猶太人委員會、Jewish Commission 會長ナリ); Paul Novik (編輯次長、共產黨紐約支部委員會員)

(七) Jewish Peoples Committee Against Fascism and Anti-Semitism

本部事務所=133 Broadway, New York City  
 本團體ノ目的=全猶太人ヲ統制シテ「シヨニ」ニ抵抗セシムルニ在リ、黨ハ本團體ヲ支配シ居レリ。



本團體幹部及支持者間ニ於テ主要ナル共產黨員 Ben Gold (本團體ノ會長ナリ。著名ナル黨員ニシテ又毛皮關係C.I.O系組合ノ幹事ナリ) William Weiner (書記長。同人ノ International Workers Order 會長ニシテ又黨全國委員長ナリ) 其他ノ黨員 A. A. Heller; Mike Gold; John Spivak; Louis Weinstock; Joseph Brodsky; Corliss Lamont.

⑧ Labor Research Association

本部事務所 80 East 11th Street, New York City

本團體ハ黨所屬ノ調査機關ニシテ、其ノ目的ハ労働關係共產主義宣傳資料ノ蒐集ニ在リ、雇主カ共產黨ノ政策ニ反對スル場合、其ノ行為ハ労働運動ニ對スル反對ト見做サルヲ以テ共產黨所屬團體ハ斯カル雇主ノ反對ヲ常ニ監視シ、又斯カル反對ニ對スル效果の處置ヲ取ラシ居ルヲ常ニ注視スルコトカ本團體ノ任務ナリ、本團體ノ主要指導者ハ共產黨員 Robert Dunn 及 Grace Hutchins 等ナリ、本團體ノ特殊事業ハ雇主カ労働者ヲ搾取シ居リトノ論議セル労働状態ノ統計ニシテ斯カル虚報ハ絶クモ労働新聞及共產黨ノ宣傳文章等ニ供給セラレシマナリ。

⑨ League For Industrial Democracy

本部事務所 112 East 19th Street, New York City

① 沿革 本團體ノ前身ハ Intercollegiate Socialist Society ナルカ、右團體ハ大學及專門學校學生間ニ於ケル社會主義ノ宣傳目的ヲ以テ Jack London 其他ノメンバーニ左傾主義者等ニ依リ一九〇五年ニ創設セラレタリ。設立後間モナク大學專門學校知識階級者間ニ廣ク會員ヲ獲得シ其ノ勢力七二二校ニ及リ。當時ノ會員ノ過半数ハ自由主義者ニシテ社會主義ノ秘密ナル形式ヲ正直ニ信奉シ居タルモ本運動ノ幹部内ニ完全ナルコミンテルン主義者數名存在シ其ノ或者ハ後日米國共產黨ノ主要人物トナリ、設立當初ノ主要幹部中一名ノミカ社會主義者トシテ留ルモノニシテ之カ即チ「ノーマン、トーマズ」ナリ。當時ノ幹部ニシテ現在公然共產主義者トナルモノ次ノ如シ Robert Dunn; Alexander Trachtenberg (黨全國委員長) Helen Phelps Stokes

右團體ハ間モナク單ニ社會主義ニ興味ヲ有スルニ止ラザリテ「マルキシズム」トシテ公然論議スル程度ニ迄發展セリ、一九二一年右團體カ米國政府運動ニ關係スル「見方」ノ風評生ズタラズ其ノ名稱ヲ改メテ「共產主義」トシテ格印ヲ抹消スヘシトノ意見ニ傾キ League For Industrial Democracy ナクナリ。然レ共改名後ノ活動モ従前同様ニシテ青年赤化運動並ニ之カ強化ニ努メタリ。本團體ノ現在ノ幹部中ニシテ共產黨員及「プロロー、トラウ」等ナリ多數アリ。

特別ノ主要ナル著名ナル Robert Morss Lovett; (會計) John Dewey; James H. Maurer; Vladimir Karpavich; Alexander Meiklejohn; Vida Scudder; Helen Phelps Stokes (共產黨員) 以上執行委員 (Executive Directors)

⑩ League For Mutual Aid

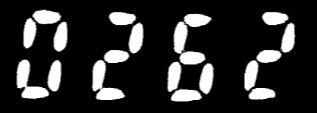
本部事務所 104 Fifth Ave, New York City

① 目的 本團體ハ各種ノ見解ヲ有スル左傾主義者ヲ統合シ相互扶助ヲ圖ル目的ヲ下シ、一九二〇年ニ組織セラレタルモノナリ。  
② 主要活動事業 (a) 政治犯及左傾煽動者等ノ援助 (b) 入米セル外國生ノ左傾煽動家等ニ對スル經濟的援助 (c) 就職部ヲ設ケテ左傾主義者ノ地位向上援助 (d) 金融部ヲ設ケ一時金融ヲ必要トスル會員ノ援助、會員約六百名ニ過キサントモ一ヶ年約七千弗ノ金融ヲナシ、命會費ハ一人一ヶ年五弗ニシテ其ノ外共產黨ニ對シ他ノ共產團體ト同様ノ負擔納付ノ義務アリ。  
以上本團體カ左傾主義者等ニ與フル援助ハ之等ノ者カ經濟的不安定ノメニ反動的職業ニ就職セントスルヲ以テ之ヲ未然ニ防止セントスルモノニシテ換言スレバ窮迫ノ極共產主義ヲ離ルルヲモ知ラサル人々ノ共產主義運動ニ對スル忠誠ヲ保留スルヲメノ團體ナリ。

⑪ League of American Writers

本部事務所 381 Fourth Ave, New York City

本團體ハ一九三四年四月迄種々種々全國大會カ開催セラレタル際ニ創設セラレタルモノニシテ右大會開催運動ノ主要人物ハ次ノ如シ Earl Browder; Michael Gold; Granville Hicks; Theodore Dreiser; John L. Spivak; Malcolm Cowley; Clarence Hathaway; Josephine Herbst; John Dos Passos; Paul Peters; Claire Sifton; Paul Sifton; Missyve J. O'gin; Alexander Trachtenberg; Ella Winter; Richard Wright; George Sclar; Robert Morss Lovett 其他多數ノ右主要人物中黨員カ大多數ヲ占メ居ルモノ明白ニシテ彼等ハ本團體ヲ今日迄支配シ續ケタリ。本團體ノ公表セル目的中ニハ「世界各國内ニ於ケル人民職權ヲ支持スヘシ」トノ一項アリ、會員ハ數百名ノ文筆家ヨリ成リ其ノ全部カ米國ニ於ケル左傾思想ノ





進展ヲ待約シ居レ。尙詳細ハ啓發宣傳部参照。

㉓ League of Women Shoppers

本部事務所=220 Fifth Ave., New York City  
本團體ハCollectivismノ觀念ヲ傳播スルタメニ一團體ナリ、婦人購買者等ニ對シ本團體カフル奉仕及情報ハ第二義的ノモノニシテ其ノ最も重要ナル機能ハ共產黨員カ商人、雇主及生産者等ニ反抗マテ開始スル一切ノ「ホイコット」運動ヲ支持スル事ナリ。

㉔ Methodist Federation For Social Service

本部事務所=150 Fifth Ave., New York City  
本團體ハ「メソヂヤン・チャーチ」内ニ於ケル左傾分子ニ依リ構成セラルルモノニシテ其ノ目的ハ「メソヂヤン」系ノ總ヘテノ教會ヲ統合スル如キ名ヲ使用スル事ニヨリ政治、宗教、社會、經濟及外交等ノ各方面ノ問題ニ關シ、教徒ヲ支離セントスルモノナリ。

㉕ National Committee For People's Rights

本部事務所=156 Fifth Ave., New York City  
主要人物=Rockwell Kent; Mike Gold; (Communist); Donald Ogden Stewart; S. J. Block; George Selles; Paul Stron; Theodore Dreiser  
本團體ハ其ノ名稱ヨリ想像セラルルカ如キ「民權」擁護委員會ニ非スシテ、共產黨員及其「プロフェロー・トラクター」米國政治

㉖ National Negro Congress

全國本部=717 Florida Ave., N. W. Washington, D. C.  
紐約本部=35 West 105th Street, New York City  
全副幹部ハ主要ナル者=A. Philip Randolph (代表、共產黨員); Max Yergan; Tityra Edwards; (以上三名副会長、且黨員ナリ) A. W. Barry; James Ford; Angelo Herndon (以上三名執行委員、且何レモ共產黨全國委員ナリ)。  
本團體ハ米國共產黨ニ對シ一九三六年二月市俄古ニ於テ設立セラレ爾來黨ニ依リ支配セラルル米國黑人團體中最大ノモノニシテ會員ハ三三、〇〇〇名ニ及ブ。  
本團體ハ黑人間ニ於ケル共同職權運動ノ中心機關ニシテ常に忠實ニ黨ニ從ヒテ、本團體内ノ最も主要ナル幹部等ハ又黨ノ幹部ナリ。

㉗ Negro Youth Congress

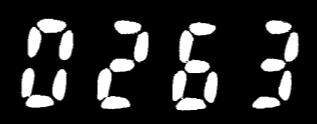
本部事務所=「ナショナル・ユース・コングレス」内ニ在リ。  
本團體ハ「ナショナル・ユース・コングレス」青年部ニシテ會員ハ三三、〇〇〇名ナリ。  
幹部ノ主要ナルモノハ「E. S. Edwards; W. F. Richardson; C. Columbus Alston; Gladys G. Randolph」尙詳細ハ共產黨外務部調査書共ニ中参照。

㉘ National Women's Trade Union League

本部事務所=247 Lexington Ave., New York City  
本團體モ共產黨系ノ團體ナリ。  
主要ナル幹部=Rose Schneiderman (黨員); Agnes Nestor; Clara Cook

㉙ National Urban League

本部事務所=1133 Broadway, New York City  
本團體ハ地方行政機關内ニ赤化工作ヲ企ツルモノニシテ其ノ工作ハ共產黨「シンパサイザー」ノ指揮ノ下ニ行ハル。



本團體ハ市當局ノ各部門内ニ於ケル左翼自由主義者ヲ支持シ機構内ノ重要ナル地位ニ共產黨員カ任命セラルル工作ヲナシ且之ヲ擁護スルモノナリ。右ノ適例トシテハ組青市マンタケ局長特別補佐ノ地位ニハ共產黨員 Simon Genson カ任命セラレタル事ナリ。本團體幹部中主要ナル共產黨関係ノ者次ノ如シ。Rev. L. H. Wood; W. C. Poletti; Roger Baldwin (The American Civil Liberties Union); Lester Granger; J. H. Hubert; Mary K. Simkhovich; A. Lefkowitz

(三) New Masses

共產黨ノ支配下ニ在ル週刊誌ナリ。詳細ノ詳報宣傳部参照。

(四) New School For Social Research

所在地=66 West 12th Street, New York City

本校設立經營資金、一連 J. P. Morgan; (銀行組合員) Thomas Lamont ノ妻ヨリ來ルモノナリ。同女ハ又著名ナル左傾主義者 Corlis Lamont (Friends of the Soviet Union 其他共產黨外圍團體ノ幹部) ノ賢母ナリ。本校ノ建物、約百萬ドルヲ投シタルラント思ハレル超「モダン」型ノ立派ナルモノニシテ授業ノ程度ハ一般「マルク」社主義理論ヲ修得セル左傾「インテリ」ノタメニ「ハーヴァード」及「ペンシブ」風ヲ加味セル社會革命方法論ヲ教フルモノナリ。

本校ノ教職ニ在ル主要人物ノ次ノ如シ。R. C. Tugwell (「ローズウェルト」政府當初ノ「ヒー、チヤール」メンバー、トランス「一人」); Roger Baldwin (American Civil Liberties Union 幹部、共產黨員); Newbold Morris (組青市會議長「ラカナム」市長ニ次ク重要ナル人物ナリ); Earl Browder (共產黨全國書記長); Alvin Johnson (隠レタル共產主義者ニミテ通俗雑誌「執筆者」); Basil Bass; Corlis Lamont

(五) National Student Federation

本部事務所=1410 H-Street, N. W., Washington, D. C.

本團體ハ過去ニ於テ共產黨青年外圍團體ト提攜活動ヲナシ來リ大學専門學校學生約十萬名ノ會員ヲ有スト稱スルモ右數字ハ誇張ナルベシ。今更 Miss Mary McKay ノ人物ニ關マテハ詳細不明ナルモ同女ノ指揮ノ下ニ活動ヲナス本團體カ共產黨ノ政策ニ忠實ニ服シ

タシタル事實ニシテ「ソビエト」共産主義ナリト云フ。The American Student Union; The National Student League; 本團體ヲ提攜活動ヲナシタル外圍團體、次ノ如シ。The American Student Union; The American League for Peace and Democracy; The American Youth Congress; The Young Communist League; The American League for Peace and Democracy.

(六) North American Committee to Aid Spanish Democracy

本部事務所=381 Fourth Ave., New York City

(1) 共產黨ノ關係=一九三八年五月米國共產黨第十回全國大會ニ於テ本團體ノ活動狀況ニ關スル報告カ本團體ノ全國會長 Rev. Hermann Reising (「メンサス」派ノ牧師ニシテ隠レタル共產主義者)ニ依リ爲サレタル事實ニ徴スルモ本團體カ共產黨ヲ如何ナル關係ニシテ「明白」ナリ。

(2) 本團體ノ目的=「ソビエト」國內ノ共產黨員援助ニ在リタルモ「ソビエト」左翼軍ノ慘敗ト同時ニ其ノ活動ハ幾分消滅セリ。然レ「ソビエト」尙國外ニ追放セラレタル「ソビエト」共產黨員ノ米國入國後之ヲ共產黨ニ入黨セシメ又ハ米國內ニ於ケル反「ソビエト」運動ニ利用スルモノトシテ努力セシム。

(4) 本團體ノ全國幹部=Bishop F. J. McConnell (The American League for Peace and Democracy 会長); Roger Baldwin (The American Civil Liberties Union 総長); Stanley M. Isaacs (組青「ペンシブ」局長); Simon Genson (組青「ペンシブ」書記長); Joseph P. Lash (組青「ペンシブ」書記長); Thyra Edwards (組青「ペンシブ」書記長); Reverend Hermann Reising (本團體会長); 若林半一 (組青「ペンシブ」書記長); Bishop Robert Padlock; A. P. Randolph (組青「ペンシブ」書記長); The National Negro Congress (会長); Paul Robeson (組青「ペンシブ」書記長); Rev. Guy Emery Shipley; Upton Sinclair; the Rev. William Spofford (組青「ペンシブ」書記長)

(七) People's Press

資産家ノ子弟ニミテ「エドワード」乃至「レバ」共産黨員トシテ活躍シタル Corlis Lamont 及 F. U. Field ノ共ニ出版ニ依リ經營セララルル左翼労働新聞ナリ。詳細ノ詳報宣傳部参照。

(八) Rand School of Social Science

一三六

所在地 East 15th Street, New York City  
 本校一九〇六年に開校セラレタルモノニテ社会主義運動及労働者組織ニ関スル指導者ノ教育養成ヲ目的トナセリ。登録學生ハ普通千名ニ及ビ一ヶ年ノ経費約七萬五千弗乃至十五萬弗ニ達ス。本校カ労働組織者等ニ對シ教育及指示ヲ與フル返禮トシテ、C. I. O.ヨリ寄附ヲ受ケルコトアリ。  
 本校ノ中ニ出版社アリテ社会主義ニ關スル多数ノ單行本「パンフレット」及本校ヲ中心トスル社会主義團體 Social Democratic Federationノ週刊機關紙 New Leaderヲ出版ス。  
 教授科目ニトシテ「マルクス」主義ノ社会経済學理論ナルカ世界大戦當時、本校ノ主要人場ハ政府濫殺陰謀ヲ犯セルモノニテ處刑セラル。本校ノ理事左ノ如ク。  
 Algenon Lee (校長) Dr. William E. Bohn (教育部長) Henry Apotheker (管理長)  
 教師ノ重ナル者左ノ如ク。  
 David I. Asche; Ethel Belamith; Karl Chworowsky; August Classens; N. B. Fagin; Esther Feidman; Louis Goldberg; Mordecai Grossman; Dr. Ernest Harms; Rebecca Jarvis; Bala Low (共産黨員); Adele Katz; Siegfried Lipschitz; Tony Sender (一九二〇年三月迄 Emanuel Steinノ前會員トアリキ)。  
 尙本校ハ親トロキ「派ナルカ故ニ最近一二十年間ニ於テ蘇聯及米國共産黨ノ政策ト反目スル傾向ヲ帯ヒ來レルカ教室内ニ於テモ蘇聯及共産黨ノ活動ヲ公然擁護非難シコトスルハ「罪」トシテ人類ノ最モ理想トスル所ハ「マルクス」社会主義其ノモノナリト教授シ居レリ。  
 特ニ獨逸不可侵條約締結後ハ米國共産黨及蘇聯ヲ攻撃スルモノト認メラル。

(辛)

Southern Tenant Farmers' Union (C. I. O. 加盟)  
 本部事務所 112 East 19th Street, New York City  
 本組合ハ最初 Workers Defense League (共産黨ニ依リ一部支配セラルル社会主義團體)ノ一委員會トシテ創設セラレタルカ後H. C. I. O.ニ加盟セリ。本組合ハ右ノ如ク社会主義團體階級ノ下ニ設立セラレタルモ、間モナク共産黨員ニ依リ侵蝕セリ目下ハ之ニ依リ支配セラレ居レリ。尤モ共産黨員ノ支配餘リニ強大トナリタルニ恐テ抱キ社会主義幹部ノ策動ニ依リ客年米C. I. O.ヲ脱シ獨立ノ組合トナレリ。

(癸)

本團體ノ幹部ハ共産黨員及社会主義者ノ混成ナルカ其ノ主要ナル者左ノ如ク。  
 Howard Kester; Norman Thomas (社会主義者); Reinhold Niebuhr (カトリック共産主義者); Donald Henderson (共産黨員); Roger Baldwin (共産黨員); Joseph Schlessberg; H. L. Mitchell; O.G. Villard; D.L. Clendenin; Sherwood Eddy  
 本組合ハ機關誌 (週報) Sharecroppers Weekヲ發行シタマフ。  
 Socialist Party, U. S. A.  
 (1) 本部事務所 11 West 17th St., New York City  
 (2) 主要幹部 Norman Thomas; Harry W. Laidler; David L. Clendenin; Frank R. Crosswain; Morris Shapiro  
 (3) 社会主義者及共産黨員ノ關係ニ社會主義者ハ「自ら」カトリック・マルクス・モ他面之「フエロ」トラゲ、ラールトシテ利用セント努メツツラス「理論」ノ「スターリン」ニ依リ解釋ヲ主張シ之ヲ攻撃スルモ他面之「フエロ」トラゲ、ラールトシテ利用セント努メツツアリ、即チ共産黨ハ社会主義者ヲ共同戦線重要分子ト認メ居ルタメ社会主義者ヲ支配セント絶エス努力スルモノニシテ其ノタメ社会党内ニ「常ニ」共産黨員存在シ社会主義者ヲシテ常ニ共同戦線内ニ於テ活動セシム可ク努力シツツアリ、多数ノ著名ナル社会主義者ハ共産黨員ト成レル事實ニ徹シ共産黨ニ依リ右ノ努力ハ成功セルモノト云フヘク米國ニ於テハ社会主義ハ小サクトモ共産主義ヘノ踏臺タルノ實證ヲ呈シ來レリ。  
 社会主義運動ノ主要人物中過去二十年間社会主義ニ忠實ニ踏留リテ活動シ來レル者ハ極メテ少数ナリ。社会主義ハ絶エス新黨員ヲ勧誘シツツアルモ之等新黨員ハ、二、三年間ノ後ニハ脱黨スルカ然ラサレハ更ニ進ミテ共産主義的全體主義觀念ヲ抱クニ至ルカカ路應ナリ。  
 (4) 社会主義及共産黨ノ抗争ニ社会主義運動カ現在静止ノ状態ニアルニ對シ共産主義運動ハ之カ精力ヲ吸收シテ成長スルノ觀アリ、社会主義ハ共産黨員カ社会主義運動ヲ健進シツツアルヲ悟リテ之ヲ憤リ且之トノ闘争ヲモ敢テ辭セサル態度ヲ示シツツアリ、然ルカ故ニ共産黨ハ著名ナル共産黨員ヲ社会党内ニ置クトキハ直ニ發見セラルルヲ以テ通常斯カル工作ニ用フル「フランクシヨ」部員ニ比シ比較的名ヲ知ラレサル、且多数ノ「フランクシヨ」部員ヲ置クモノナリ。  
 (5) 共同戦線ノ前途セル如ク社会主義ハ共産黨員ト多少其ノ目的ヲ異ニスルモ全般的ニハ共産黨ノ政策ト同一方向ニ進ミツツアル故共産黨「フランクシヨ」ニ依リ侵蝕ノ服従者ト規做ササル可カラス。

(丑)

Social Work To-day  
 失業救済、社会組織改造ヲ主張スル月刊誌ナリ。

(五) Scottsboro Defense Committee

本部事務所=112 East 19th St., New York City

編輯部員ニハ共產主義者ノ外社會主義者ヲ多數含ミ居ル處本來社會黨系ノ機關誌タリシモノカ共產黨員ノ侵蝕ヲ受ケタルニ依リ、

本團體ニ二名ノ白人少女ヲ凌辱セル九名ノ黒人青年擁護ノタメニ結成セラレタル團體ニシテ共產黨ニ依ル黒人並ニ左翼白人間ニ於ケル共同戦線團體トシテノ適例ナリ。本件ニ關心ヲ有セル共產黨員カ秘カニ希望セルコトハ彼等ノ工作カ南方ノ白人種ヲ激怒セシメテ黒人「リッチ」ノ輕率ナル行動ヲ犯サシメントスルニ在リ、若シ黒人ニ對シテ斯カル暴動ヲ起サハ黨員ハ之ヲ黒人工作ノ好機會ニ利用スルコトヲ得ヘキヲ以テナリ。

前掲九名ノ黒人青年カ犯行當時失業者ニモアラス又何レノ勞働團體ニモ屬セシコトナキニモ拘ラス本事件カ共產黨員及社會黨員其他九種ノ左翼團體ノ合同活動ニ依リ擁護セラレタルハ本件ニ關スル抗争カ南方ニ於ケル人種憎惡感ヲ煽動スル一手段ニ用レルカタメニシテ共產黨員モ社會黨員モ共ニ本事件カ結末ニ至ルヲ望マス本件ハ依然抗争中ナリ。斯ク如ク共產黨員ハ性的犯行ヲ勞働階級又ハ黒人種迫害ノ名目ニシテ擁護セルモノニシテ本團體ハ實ニ過去八年間黒人間ニ於ケル赤化煽動宣傳手段トシテ用ヒラレ來リ、本團體ニ加盟セル諸團體ハ左ノ如シ。

The American Civil Liberties Union; The International Labor Defense (Communist); The League for Industrial Democracy (Socialist ナリ); Communist ナリ; The Methodist Federation for Social Service; The Church League for Industrial Democracy; The Fellowship of Reconciliation; The National Committee for Defense of Political Prisoners; The National Urban League; The National Association for The Advancement of Colored People; The Untalan Fellowship for Social Justice

(六) Transport Workers Union (C.I.O.加盟)

事務所=153 West 64th St., New York City  
1947 Broadway, New York City

幹部=Michael Quill (會長、紐約市會議員、C.I.O.内ニ於ケル共產黨工作員中ノ主要ナルモノナリ); Harry Secker; Austin Hogan  
本組合ハC.I.O.ニ加盟シ且共產黨ノ支配ヲ受ケル團體ニシテ組合員ハ地下鐵、電車、バス上等ノ従業員等ヨリ成ル、共產黨員ハ會員中ノ一部分ニ過キサルモ會長、副會長及黨ブランクシヨム部員ハ本組合ヲ支配シ居レリ。

共產黨カ希望スル如キ一般ストライキ起ルニ及ム場合ハ本組合ハ「ストライキ」影響ヲ受ムルコト多キ紐約市及其他大都市ノ運輸機關ヲ停止セシム得ルカ故ニ共產黨ニ「ストライキ」極メテ重要ナル組合ナリ。

(七) United Christian Council for Democracy

本部事務所=150 Fifth Avenue, New York City

本團體ハ「プロテスタント」牧師間ニ於ケル左傾主義運動ノ最近ニ於ケル一結成ニシテ各種「プロテスタント」教派ノ左傾分子ニ依ル共同戦線カ完成セラレタルモノト言ヒ得可シ。

本團體ヲ構成スル諸團體ハ左ノ如シ。

(1) Methodist Federation for Social Service  
幹部=Dr. Harry F. Ward (American League for Peace and Democracy 會長); Bishop McConnell (The A. L. for P. D. 會長); Reverend Hermann Reissig (The North American Committee to Aid Spanish Democracy 會長); Dr. Reinhold Niebuhr (多數ノ共產黨所屬團體ニ於ケル「fellow traveler」)

(2) Church League for Industrial Democracy  
本團體ハ Protestant Episcopal Church 内ニ於ケル左傾分子全部ヲ含ムモノニシテ社會黨員及共產黨員ノ混成團體ナル League for Industrial Democracy 内ニ於ケル本團體ノ指導者、Reverend William Spofford 同、United Christian Council for Democracy 内ニ於ケル本團體ノ代表者ナリ。

(3) The Conference of Southern Churchmen  
本團體ハ南方ノ牧師間ニ於ケル左傾分子ノ團體ナルカ共、主要幹部ニ關シテハ詳細明白ナラス。

要スルニ本件團體ノ目的ハ「プロテスタント」左傾分子間ニ於ケル統制アル工作ニ依リ共產主義ヲ更ニ大規模且效果的ニ支持スルニ在リ。

(註) 右ノ外獨立セル「プロテスタント」左傾主義ノ一分派ニ The Council for Social Action of the Congregational and Christian Churches アリテハ共產黨ノ主義ニ近キ活動ヲナシ居ルコト既述セル所ナリ。

(六) United Office and Professional Workers of America (C.I.O.加盟)

本部事務所=112 East 19th Street, New York City
主要幹部=Lewis Merrill; Isabel Walker Soble; Alice F. Liverwright
本組合はC.I.O.加盟事務員組合ナルカ共産黨ニ強固ニ支離セル組合員中ニハ社会黨員モ多数アリ、本組合ノ幹部等ハ社会黨員ナリト公言シ居ルモ組合政策ノスルニ関シ共産黨ノ政策ヲ支持シ居レリ。
本組合ハ数百ノ製造會社、商社並ニ銀行内ニ組合員ヲ有ス(約四萬、中組合員内ノ分一萬六千)。之等ハ共産黨ノタメ情報蒐集ヲナシテアリ、即チ各種ノ大會社ニ從業シ且之等會社事務ノ機密ニ關シ得ル本組合ノ共産黨員等ハ事實上自己ノ會社ニ不利ナル「スパイ」的行動ヲサスモンナリ。選挙及「ストラテジー」等ニ關係アル事業計畫ニ參與スルコトニ依リ共産黨ニ對シ重要ナル役目ヲ勤ムルコトヲ得ク。

本組合ハ機關誌(月刊)UOPWA Newsヲ發行シテキリ。

(五) Workers Alliance

(1) 組合本部事務所=112 East 19th St., New York City
全國本部=1211 Eye St., Washington, D. C.
(2) 沿革=不景氣ノタメニ續出セル失業者群チ一大組合ニ組織シテ人民職線ニ使用スヘシト「U.S.コールド」訓令ニ基キ共産黨カ中心トナリ組織セラレタリ。斯カル方策ハ「ロシア」革命運動ノ基礎工作トシテ一九〇六年ニ既ニ用ヒラレタル趣ナルカ米國ニ於テモ共産黨ノ労働工作中心團體タル Trade Union Unity League(T.U.U.L.)ニ依リ一九三〇年頃 National Unemployed Councilsノ組織ヲ見、次ニ一九三六年右團體チ中心トシテ多數ノ全國失業者團體ノ統制ヲ見タリ。之即チ「ウァーキンズ・ユニオン」ナリ。
(3) 勢力=目下其ノ勢力ハ全國總會員八十萬名、地方「エグゼクティブ」二十五百ニ及ブ。
(4) 會員ノ種類=會員ハ失業者(但シ會費ヲ支拂ビ得ル者)及W.P.A.従業員ヨリ成ル。
(5) 綱領=現在ノ米國經濟組織ニ對シ一種ノ感業ヲサナニシ。
(6) 政治運動=米國共産黨支持 American Labor Party支持、現在、Democratic Partyヲ分裂セシメ全國的農民労働黨ヲ設立スヘシ。

現在ノ民主的政府ニ對スル本團體ノ態度ハ威嚇ノ一ニミミ投票ノ組織トシテ現金ノ報酬並ニ本團體チ失業者及W.P.A.従業員ヲ設立スヘシ。

員等ノ團體ノ交渉機關トシテ公認ノ「マゴノ」等ヲ約束セムニ居レリ。

(7) 全國幹部=David Lasser(全國會長、社会主義者ヲ稱ゾラル); Herbert Benjamin(書記長、兼會計主任、共産黨員); Paul A. Rasmussen(全國組織員); W. K. Patrick(第一副會長); Angelo Herndon(第二副會長、共産黨員); Charles Rossio(第三副會長); Sam Wiseman(第四副會長、共産黨員)

右ノ外幹部内ニ多數ノ共産黨員ナリ。尙詳細ハ米國共産黨外務團體調査(其ノ九)參照。

Workers Defense League

本部事務所=112 East 19th St., New York City
幹事=Norman Thomas(社会主義者); David Lasser(社会主義者); Powers Hapgood(書記); Freda Kirchway(書記); A. P. Randolph(書記); Paul Porter(書記); Robert Moses Lovett(fellow traveler); Jerome Davis; Harry Laidler; David L. Gladenin; A. Abramowitz
右團體ハ社会黨ニ屬スル一種ノ「擁護」團體ナルカ右ノ共産黨外務團體 International Labor Defenseニ對シ「目的」トシテ「I.D.」ト同様ナリ、然レトモ共産黨員ハ本團體ニモ徹底的ニ侵蝕ヲ進メシメシ、宛カモ共産黨カ共産黨及社会黨兩黨ノ擁護運動ヲ左右シ居ルカノ如キ觀ヲ呈シ居レリ。

(四) American Committee for Non-Participation In Japanese Aggression

教育家、教師、著述家、記者等多數ノ各士ヲ支持者及全國華僑會々ハミンチ等「マカ」各士、積極的ニ活動スルコトナリ、其ノ團體内ニ於テ顯著ナル左領牧師等次ノ如シ。Dr. Henry Atkinson(The Church Peace Union); Dr. Henry Smith Leiper(The Federal Council of Churches); Bishop Herbert Welch; William Scarlett; A. J. Moore(「ウチン」); 「トボク」(「フエド」); 「カスパー」(「カスパー」)等。
Dr. Reinhold Niebuhr; Dr. E. W. Lucecock; Dr. Frank Price
他ノ外務團體内ニ於テモ活動シテ左領牧師「ウチン」等、Dr. Reinhold Niebuhr; Dr. E. W. Lucecock; Dr. Frank Price
尙前駐米大使 William E. Dodd 及國務院顧問委員 Clark Eichelbarger 等本團體ノ各黨員トシテ、共産黨員 Margaret Forsyth(有力ナル共産黨員); Ella Winter(「ウチン」); Mrs. Lincoln Steffens(共産黨員); Philip Jaffe; Earl Leaf 等亦本團體ノ有力ナル役員ナリ、尙右「ブールジョーフ」既報ノ如ク「マカ」等ノ「マカ」等ノ幹部ニミテ親支反對

日宣傳ノ主要人物ナルカ同人ノ本團體ニ對スル關係カ密年來「ダイノコミ」ニテ曝露セラレタル爲同人ノ名ハ全國理事名簿ヨリ削除セラレタリ。

(四) Committee For Boycott Against Japanese Aggression

共產黨ニ依ル日貨「ボイコット」運動組織工作ハ黨員 Robert Norton ニ任セラレ居レリ。  
本團體ノ工作ハ勞働組合及婦人團體等ヲ支離シテ日貨「ボイコット」ノ決議ヲ爲サシムルニ在リ、其ノ具體的方策トシテハ先ツ Y.W.C.A.ノ如キ團體内ニ於ケル共產黨「フランクシヨ」員カ該團體ヲシテ日本組「ボイコット」ノ決議ヲ通過セシメ次イテ右事實ヲ出來得ル限リ廣ク宣傳スルモノナリ、同時ニ本團體ハ又日貨「ボイコット」ニ賛同スル各種團體ヨリ寄附ヲ募リ之ヲ富國及中米諸國內ニ於ケル日貨「ボイコット」宣傳費ニ宛テルモノトス、事實「ロバート・ノートン」ハ各年中諸國ニ數ク月滞在シテ反日「ボイコット」運動組織ヲ工作セリ。

(五) American Committee For Chinese War Orphans

戦争ニヨル支那兒童ノ慘メナル屍體或ハ傷者等ノ寫眞ヲ掲ケル宣傳文獻ヲ配布スルコトニ依リ一般米人ノ同情ニ訴ヘ且之ヲ利用シテ教會及「クラブ」等ニ於テ救恤金募集善會ヲ開催シ救恤金ヲ募集スルト共ニ同時ニ反日宣傳ノ目的ヲ達セントスルモノナリ。

(六) America Bureau For Medical Aid to China

共產黨支配ノ下ニ支那人ノ醫療基金ヲ募集スルモ其ノ大部ハ富國內ニ於テ共產黨ノ支那關係ノ宣傳費ニ宛テ居ル趣ナリ。  
本團ノ代表的人物ハ Dr. Walter Tudd ナルカ同人ハ嘗テ「瘧疾」ヲ「ミシヨナリ」トシテ支那ニ赴キタルカ其ノ間第八路軍ト密接ナル關係ヲ結ビ歸米後之ヲ絶對宣傳シ「シヤン」。

(七) The Church Committee For China Relief

本團體ハ「プロテスタント」十二數派ノ聯合ヨリ成ル The Federal Council of Churches of Christ in America ニ依ル支那難民救濟團體ナルカ前掲諸團體ニ比シテ黨ノ支配少ナシ。

右二十二數派ノ過半カ支那人救濟事業ニ各自從事シ居リタルヲ以テ右救濟運動ノ能率ヲ向上スル目的ノ下ニ本團體カ設立セラレタルモノナリ。故ニ救恤金ノ取扱ニ關シテハ前記諸團體ト異リ全部職權難民ニ送付シ居レリ、最近ノ報告ニ依レハ過去一

ケ年間ニ於テ既ニ送付セラレタル金額ハ二二三、六八一米弗ニ達セルカ右ノ外更ニ三三、八〇六弗カ追加撥金セラレタリ。  
現在ノ理事ハ Fred Atkins Moore ナルカ其ノ前任者ハ Dr. Wynn C. Fairchild ナリ。  
向 Bishop Francis McConnell, Reinhold Niebuhr 及 Reverend Herman Reising ノ如キ Federal Council of Churches 等ノ左傾牧師多數カ本團體ニ關係シ居レリ。然レ共之等「フエロー・トラダラー」ハ本團體ニ關スル限リ其ノ撥金ヲ共產黨ノ宣傳ニ流用スルコトヲ得サル趣ナルカ右撥金ニ際シ反日感情ノ醸成ニ努メツアルハ事實ナリ。

向米國人ニ依ル支那援助團體 United Council For Civilian Relief In China マルモンハ共產黨トハ全然關係ナシ。

第六項 啓發宣傳部 (Publicity and Propaganda Department)

本部ハ米國共產黨機構中最モ組織完備シ實ニ米國ニ於ケル各種宣傳機關中最モ效果的ナルモノノ一ナリト稱セラル。

而シテ本部ノ主要任務ハ文筆、演劇、「ラヂオ」、「シネマ」、美術、音樂其ノ他一切ノ文化手段ニ依リ黨員及「シンパサイザー」ノ指導啓發並ニ一般大衆ニ對スル宣傳ヲ行フニ在リ。

斯クテ本部ノ任務ハ黨ニトリ極メテ重要ナルヲ以テ其ノ根本方針ニ關シテハ絶ヘス政治委員會ニ於テ討議決定セララルコト勿論ナルカ更ニ右任務ノ遂行ニ當リテハ其ノ對象ニ應ジ「フランクシヨ」部、教育部、組織部、黒人部其ノ他各部ノ協力援助ヲ求ムル次第ナリ。

本部ノ主要職員ハ左ノ如シ。

Clarence Hathaway

部長 全國委員會及政治委員會ノ委員ニシテ黨ノ領袖中最モ有力ナル一人ニシテ「コミンテルン」ノ信任最モ大ナリト謂ハル。黨ノ機關紙「デーリー・ワーカー」ノ編輯長ナリ。本部ノ宣傳啓發問題ニ關シ同人ノ意見並ニ決定ハ部内ニ於テハ勿論政治委員會ニ於テモ大體同人ノ意見通り決定セララル趣ナリ。

Fred Brown

部長代理 事務局長、眞ノ姓名ハ「アイト」謂ハル。全國委員會委員ナリ。

Alexander Trachtenberg

出版關係ノ主任ニシテ又共產黨最大ノ出版機關タル「インターナショナル・パブリシヤイブ」社長ナリ。又全國委員會委員ナリ。

以下出版物、演劇其ノ他各種文化施設ニ對スル本部ノ工作振リニ付分説スヘシ。

第一、出版物關係工作

出版物ニ關スル本部ノ宣傳工作ノ根本方針ハ左ノ各項ニ要約スルコトヲ得。

- (1) 黨員若ハ黨直屬團體會員ノ指導教育ヲ主目的トスル出版物ノ發行。
  - (2) 「シンバサイザー」ノ指導乃至之カ獲得ヲ主目的トスル出版物ノ發行。
  - (3) 大衆啓發用宣傳出版物ノ發行。
  - (4) 「フランクシオン」部ト協力シテ黨カ關心ヲ有スル諸團體ヨリ發行セラルル出版物ノ編輯方針ノ指導支配。
  - (5) 黨關係以外ノ出版ニ對スル指導援助。
  - (6) 「シンバサイザー」文筆家ニ對スル工作。
  - (7) 新聞記者、文筆家等ニ供給スヘキ資料作成。右資料ハ情報供給ノ形式及口實ニテ黨ノ政策綱領ヲ押付クルモノトス。
  - (8) 蘇聯ノ内治外交問題ニ對スル米國輿論ノ趨向ニ關スル報告ヲ「コミンテルン」ヲ通シ蘇聯ニ供給スルコト。尤モ其ノ其提トシテ蘇聯ノ時事問題ニ關スル米國輿論ノ啓發ニ努ムルコトハ勿論ナリ。
- 右ノ方針ノ下ニ本部ハ黨ノ出版物ヲ發行スルト共ニ黨以外ノ出版物ニ對シ工作ヲシ居ルモノナル處右ハ單ニ定期刊行物ノミナラス多數ノ「パンフレット」、「レーフレット」書籍等ニ及フモノナルモ右種出版

物ヲ列舉スルコトハ殆ンド不可能ナルヲ以テ茲ニハ單ニ定期刊行物ニ付黨カ直接發行シ又ハ支配シ居ルモノト崇ラサルモノトニ分テ解説スヘシ。

一、共產黨ノ直接發行スル定期刊行物

- (1) 黨ノ出版物ハ單ニ黨員並ニ一般左翼分子ニ對スル教育ヲ目的トスルノミナラス蘇聯防衛ノ見地ヨリ一般大衆ニ對スル「ファシズム」反對、「デモクラシー」擁護ノ宣傳ヲ主要目的ノ一トスルモノナリ、而シテ右共產黨ノ黨是ニ基キ之等出版物ノ編輯方針ハ部長「クラレンス・ハザウエー」ノ立案ニ成ルト謂ハル而シテ右原則ハ黨以外ノ出版物ニ對シテモ指導目標タルコト勿論ナリ。
  - (2) 労働者ノ利益乃至労働運動ニ反對スルモノハ「ファシスト」ナリ。
  - (3) 雇主ハ凡テ「ファシスト」ナリ。
  - (4) 「デモクラシー」ハ「ファシズム」ヨリハ労働者ニトリ有利ナリ。
  - (5) 世界ノ「デモクラシー」諸國ハ糾合シテ「ファシズム」ヲ撲滅スヘシ、尙此ノ場合蘇聯ハ最モ進歩セル様式ノ「デモクラシー」國家ナリ。
  - (6) 共產主義（現在「デモクラシー」又ハ二十世紀ノ「アメリカ」主義ト潛稱ス）ノ實現カ労働者ノ幸福ヲ齎ス唯一ノ手段ナリ。
- 而シテ共產黨並ニ其ノ分身タル「ヤング・コミニスト・リーグ」及「ヤング・バイオニア」ヨリ直接出版セラルル新聞雜誌ニ掲載セラルル各論説ヲ檢討スレハ前記五原則ノ何レカヲ基調トシ且主要記事ハ大體直接「ハザウエー」ノ校閱加筆ヲ受クル趣ナリ。
- 又共產黨ニヨリ直接間接支配セラルル外國語ノ新聞雜誌ハ全米ニテ約九十種ノ多キニ上リ居ルモ右ノ

内先ツ直接黨ノ出版物ト認メ得ルモノハ本項ニ列記スヘキ二種ノミナル趣ナリ。  
又本項ニハ直接黨ノ出版物ニハ非スシテ「コミンテルン」又ハ外國ニ於ケル共產黨ニ依リ發行セラレ當  
國ニ於テ販賣セラルルニ過キサル新聞雜誌ヲ參考ノタメ列舉シ置キタリ。  
左ニ各種出版物ノ名稱、部數、購讀料等ヲ列記スヘシ。

Daily Worker

米國共產黨ノ機關紙ナリ、一九二四年創立、紐育市 50 E. 13th St. ノ黨本部ノ建物内ニ在ル後出 Daily Publishing Co. ヨリ出  
版セラル。「クラレンス・サウエー」カ編輯部長、Sam Don カ編輯部員ナリ。出版部數ニ付テハ報告隔々ナリ、實際ノ發行部數  
ハ一九三八年末現在三萬五千ナルモ出版部ノ發表ニ依レハ、全米ニテノ販賣部數五萬乃至七萬部ト稱セラル。尙現在十萬部ニ増  
加セシムル工作ヲ爲シツツアリ、之カ爲テ「ワーカー」及「サンデー・ワーカー」各數千部ヲ増版シ黨員ニ對シ強制的ニ前  
拂「ワーカー」ニ依リ安タ拂下ケ「一般ニ押賣セシメツツアリ。紙價ハ「ニュース・スタンダード」賣一部三仙、但シ黨員ニ對シテハ前拂  
「ワーカー」ヲ發行シ十二部二十五仙ニテ拂下ケツツアル由ナリ。

Sunday Worker

「ワーカー」附録ナリ。發行部數約五萬部ナルモ出版部ハ更ニ多數ニ稱シ居レリ。紙價、一部五仙、「サンデー・ワーカー」ニ付テ  
モ目下購讀料ノ増加ヲ圖リツツアリ。

右兩紙ノ購讀者數増加運動ハ共產黨カ本年十一月ノ紐育市會議員選舉ニ於テ「イスラエル・アマター」  
ヲ立候補セシムル意圖ナル趣ナル處「ワーカー」ヲ通シ黨ノ方針及「アマター」ノ意見ヲ選舉  
運動ノタメニ宣傳スル手段ニ利用セントスル目的ヲモ有スル趣ナリ。

Daily Record (前 Midwest Daily Record)

「ワーカー」ノ「ワーカー」紙ノ姉妹紙ニシテ市俄古ニテ發行セラル。「一九三七年創立、發行部數二萬ト稱セラルルモ事實ハ一萬カ正確ナ  
ルハナリ市俄古市中心トシ衣服及屠獸業地帯ノ労働者ヲ對象トス。日曜版ニハ「サンデー・ワーカー」附録ノ「マガジン」ノ複版ヲ添  
付ス。發行關係者 I. F. Buzen (editor); Jan Wichter (B. Manager); S. T. Hammettsmark (treasurer)。發行所 M. D. R.

Publishing Assn., 192 N. Clark St., Chicago

The People's World

583 Market Street, San Francisco. 「ワーカー」ノ姉妹紙ニシテ桑港ニテ發行セラル。一九三七年創立、發行部數約  
一萬。桑港地方ノ海運關係労働者並ニ「サクラメント」及「サンタ・クララ」地方ノ農業労働者ヲ對象トス。發行關係者 H. George  
(Editor-in-Chief); Al Richmond (Managing Editor); Vern Smith (Labor Editor); H. Kramer (Business Manager)

The Communist

米國共產黨ノ月刊機關紙ニシテ「ワーカー」ノ「ワーカー」同標黨本部ノ建物内ニテ發行セラル。編輯者ハ「アール・フワッダー」  
「マックス・グッチャー」。「ワーカー」ノ「ワーカー」ニシテ大體黨領袖ノ理論論争ノ宣傳記事ヲ掲載ス。  
發行部數一萬ト稱セラルルモ事實ハ更ニ小數ナルハリ購讀料ハ年二弗、一部二十仙ナリ。

National Issues

米國共產黨全國委員會ニ依リ黨本部ニ於テ發行セラルル月刊誌ニシテ、政治問題ニ關スル黨ノ主張ヲ掲載ス。本年一月ヨリ創刊セ  
ラレ現在主トシテ中立法改正問題及「フィンズ」諸國ニ對スル經濟制裁等國際關係ノ立法問題ニ關スル共產黨乃至蘇聯ノ主張ヲ掲  
載シ居レリ。更ニ労働法制其ノ他國內法制問題ヲ取扱フコト勿論ナリ。而シテ議會ニ提案申ノ關係法案ニ關シ黨ノ意見ヲ明確  
ニシテ讀者ニシテ議員並ニ政府方面ニ陳情工作ヲナシ惹起ス。編輯者ハ Gene Dennis ナリ。一部十五仙、年一弗二十五仙ナリ。

Party Builder

共產黨全國委員會組織部及教育部ト共同シテ年四回發行スル機關紙ニシテ、黨ノ組織強化、黨員ノ増加、黨ノ政治的地位向上等ニ  
關スル黨ノ主張乃チ方策ヲ闡明スルヲ主眼トス。編輯者 Rebecca Grecht。發行所 Box St., Station D, New York City.

The (Jewish Daily) Morning Freiheit

古代獨逸系猶太語タル Yiddish ニテ共產黨本部及 Morning Freiheit Publishing Co. ヨリ發行セラル。日刊紙ナリ。外國語版  
ノ出版ハ啓發宣傳部ヨリハ主トシテ教育部指揮監督ノ下ニ出版セラルルカ論說ノ内容ハ大部分ハ英文ヨリノ翻譯ナルヲ以テ其ノ  
意味ニ於テハ間接ニ本部ノ支配下ニモ在ル次第ナリ。本紙ハ猶太人工作ノ爲メ黨ノ機關紙ナリ。編輯部員ハ M. J. Orlin, H. I.  
Cottrel, コニチ社長ハ Simon Feldman 會計及庶務ハ Paul Novick ナリ。



発行部数四萬六千四百ト稱セラルルモ諸報ナルノミ。年購料十二弗ナリ。

**Eteapain**

共產黨本部 Finnish Workers Federation of U.S.A. ヨリ發行セラルル芬蘭語ノ日刊紙(但シ月曜日及休日ノ日ナ除ク)ナリ。社長、Carl Pavid、命語及庶務、Omni Kaartine、編輯部員、Richard Pesola、William Lahninen、T.N. Vuorela、John Wika、K.E. Heikinen 等ナリ。  
米國内ニ於ケル芬蘭語ノ移民カ全米ニテ約十四萬(内種別州、一萬七千)ニ過キサルニ拘ラス黨本部ニ於テ本紙カ發行セラレ居ル理由、判明セサルモ強ク地方ニ分在シ當該地方ニ於テ獨立ノ地方紙ヲ發行シ得ル實力ヲ有セサル爲本部ニテ發行シ地方ニ配布スルモノト想像セラル。

**Der Hammer**

ロシア Yiddish 語ニテ共產黨本部、Hammer Publishing Co. ヨリ發行セラル、月刊ニシテ猶大人工作ノタメ黨機關誌ナリ。編輯部員、M.J. Olgin、J. Sultan、K. Marmor、I.B. Balin ヨリ年購料一弗二十五仙、發行部数一萬四千ト稱セラル。

**Nalebn—New Life**

Ioor Association for Jewish Colonization in the Soviet Union, 799 Broadway, New York City ヨリ發行セラルル月刊誌ニシテ若父及子 Yiddish 語ニテ發行セラル。ロシア Biro-Bujan 自治地帯ニ國々露露僑民記事ヲ掲載シ居レリ。

**Deutsches Volksecho**

Pastorius Publishing Co., 20 Vesey St., Room 303, N.Y.C. ヨリ獨逸語ニテ發行セラルル週報ナリ、在米獨逸人特ニ避難民ニ對シテ工作機關ナリ。編輯部員、Stefan Heym ナリ。年購料一弗五十仙ナリ。

**Young Communist Review**

「ヤング・コムニスト・レビュー」月刊機關誌ニシテ「ヤング・コムニスト・レビュー」年長ノ十三歳乃至十八歳ノ年少主義者ニ對シテ教育情報ニ基テ論争理論ヲ教育スル目的ナリ。共產黨本部建物内ニ在ル National Council of Y.C.L. ニ依リ發行セラル。一部十仙、發行部数不明ナルモ Y.C.L. 會員數約二萬二千ニ對シテ「コムニスト・レビュー」編輯部員中ニハ左ノ如キ者ナリ。  
編輯部員 Joseph Sarobin、Francis Franklin, Gilbert Green, Angelo Herndon, Carl Ross, Celeste Strack, Henry

Winston, Joe Green

**Young Worker**

「ヤング・ワーカー・ユース」全國青年委員會月刊機關誌ニシテ教育及黨報ニテ發行セラル。編輯部員、Frank Carlson; Harry Hart; Edward Corey ナリ。

(註) 本誌ハ一九三九年ノ初ニ於テ廢刊セラレタリ。

**The New Pioneer**

「ヤング・ニュー・ピオニア」月刊機關誌ニシテ「ニュー・ピオニア」攻撃等ニ關シ十三歳以下ノ幼年者ヲ教育補助スル目的ノ各種記事ヲ掲載シ居レリ。New Pioneer Publishing Co., 80 Fifth Ave., N.Y.C. ヨリ發行セラル、編輯部員ハ明記セラレザルモ英語版ニシテ編輯部員、Martha Campion; Mary Morrow; Anna Carbiath; Ben Blake; Eleanor Clayman; Bert Grant 等ナリ。發行部数二萬五千ト稱セラル、年購料五十仙ナリ。

**The Communist International**

「コムニテル」執行委員會ノ月刊機關誌ニシテ英、露、佛、支、西、牙、語等ニテ出版セラル、英語版ハ米國共產黨本部内 Workers Library Publishers, P.O. Box 146, Station D, New York City ヨリ印刷發行セラル、編輯部員ハ明記セラレザルモ英語版ニシテ「アラバスター」、「ノックスター」、「フォーク」等ノ論説、又露、佛、獨、支、西、牙、等ノ共產主義者ノ論説ヲ掲載シ居レリ、英語版ハ一弗十五仙、年一弗十五仙ニシテ發行部数ハ極メテ少數ト認メラル。

**World News and Views**

従來 International Press Correspondence (Impecor) ト稱セラレタルモノニシテ蘇聯情報機關タル「タス」ノ情報ヲ編集スル週報ナリ。全世界ニ於ケル共產主義運動ニ興味アル毎週ノ事件ヲ取扱ヒ居レリ。倫敦ニテ發行シ各國ニ送付セラル、米國內ニ於テ一部五仙、發售數ハ多カラサルモ全米ノ新聞及雜誌記者ニ無料ニテ送付セラルル數ハ夥シキ數ニ達スル趣ナリ、蘇聯ノ宣傳手段ニシテ有力ナリ。

**U.S.S.R. in Construction**

蘇聯邦ニ於テ發行シ「アメリカ」及「ラック」ニテ通シ配布セラル。蘇聯ノ各種建設並ニ産業ノ發達狀況等ニ關スル説明寫眞ヲ掲

載セル豪華版ナリ、米國ニ於テ無料配布セラルモノ五千部、有料購置二千部ト認マラルル趣ナルカ年購置料四弗ナリ。

**Moscow News**  
「モスコ」ニテ發行シ「ブックニガ」通シ米國內ニ配布セラル大形ノ週報ナリ、「ソヴェット」治下ニ於ケル大衆ノ生活狀態ヲ誇張宣傳スルチ目トス。米國內ニ於ケル配布部數ハ五千部ト謂ハル。

**Sovietland**  
蘇聯人民ノ生活狀態及社會的出來事等ニ關スル記事寫眞ヲ掲載スル月刊誌ニシテ「モスコ」ニ於テ數種ノ外國語ニテ出版セラル。組テ一般新聞販賣店ニテモ販賣セラレ居ルモ購置部數ハ極メテ少數ナリ。但シ一般新聞社及共產黨幹部等ニハ無料ニテ配布セラレツツアリ。一部十五仙、年一弗五十仙ナリ。

**International Literature**  
「プロレタリア」ニ關スル記事、「マルキシズム」ノ批判、蘇聯文學ノ翻譯、「フアシズム」反對記事等ヲ掲載スル月刊誌ナリ。モスコニテ發行シ米國內一般新聞販賣店ニテモ販賣セラル。又本誌、「モスコ」ニユース、「ソヴェットランド」、「インターナショナル」、「ワタナシ」等ハ全米各地ニ散在スル Workers Bookshops ニテ入手スルチ得ルト共ニ「ブックニガ」ヲ通シ右四種ヲ一括シテ豫約スルチ得、右ニ關スル廣告ハ組テ「タイムズ」ヲ始メ各紙ニ掲載セラレ居リ。

**地方支部ノ發行スル「ビューレイン」及「フラクシオン」ノ發行スル秘密通信式「シヨツプ・ペーパー」。**  
此ノ種刊行物ハ黨員ニ對シ地方的具體的問題ニ關スル指導教育並ニ當該地方又ハ團體内ニ於ケル「シンパサイザー」ヲ獲得チ目的トスルモノナリ、從テ本來主トシテ「フラクシオン」部ノ管轄ニ屬スルモノナルモ、本部トモ關係アルチ以テ便宜上ニ括茲ニ説述スル次第ナリ。

共產黨ノ細胞組織タル「プランチ」及其ノ上級地方支部中ニハ「ビューレイン」式ノ簡單ナル週刊又ハ隔週刊紙ヲ發行スルモノ多シ、右ハ内容體裁トモ黨本部發行ノモノニハ比ヘカモ非ササルモ地方的具體的問題ニ重點ヲ置キ點ニ特色及存在理由アル黨關係正式ノ刊行物ナリ。

然ルニ右ノ外工場、組合、商社、學校、官公署、少數ノ新聞社内等ニ潛在スル少數ノ共產黨員ヨリ成ル「フラクシオン」カ所謂「Shop papers」ナル通信式ノ秘密新聞ヲ發行シ一般組合等ニ秘密配布シツツアリ、右ハ發行責任者チ明カニセス且其ノ内容ニモ多クハ過激ナル「アラ」チ目トスルモノナリ。本年春開催ノ共產黨全國委員會、爾後此ノ種ノ「シヨツプ・ペーパー」發行ヲ禁止スルコト決定シ關係方面ニ通達セルカ其ノ要旨ハ左ノ如ク傳ヘラル。

- (イ) 爾後共產黨ノ出版物ニハ責任アル共產黨支部名ヲ責任編輯者名及發行所名ヲ明記スルチ要ス。
- (ロ) 從來而會、工場、組合、學校、官公署等内ニ於ケル共產黨ノ「エージェンツ」又ハ共產黨ノ「グループ」等ニ依リ秘密ニ發行セラレ居タル「シヨツプ・ペーパー」ヲ廢止ス。
- (ハ) 右廢止ニ伴ヒ共產黨ノ機關刊行物ノ利用及地方上級支部發行ノ機關誌 (The Redwood Paper) ノ發達チ圖ルモノトス。本件「シヨツプ・ペーパー」廢止ノ根本理由ハ客年來下院「ゲイ」委員會ニ於テ大學、官公署内ニ於ケル共產黨「グループ」カ「シヨツプ・ペーパー」ヲ發行シツツアルコトヲ指摘非難セラレタルニ端ヲ發スルモノト認メラルルモ更ニ實質的ニハ米國共產黨ノ方針タル「ハ」的「デモクラシー」掲揚ノ精神カ「ニット」又ハ「グループ」等ノ過激分子ニハ充分了解セラレシテ之等「シヨツプ・ペーパー」ハ徒ラニ過激ナル革命的辭句ヲ弄シ爲メニ共產黨全體ニ對シテ非難ヲ招ク傾アルチ以テ今後共產黨員ノ刊行物ハ其ノ輕重チ問ハス出來ル限リ黨ノ統制下ニ置カントスルニ在ルハ明カナリ。更ニ他面之ニ依リ黨ノ機關紙ノ流布ヲ擴大シ且「プランチ」(約三千)及上級地方支部ノ成ルヘク多數チシテ地方的機關紙ヲ發行セシメントスルニ在リ、後者ノ方法ニ依ルトキハ「シヨツプ・ペーパー」ヨリハ遙カニ有力ニシテ且黨ノ方針ニモ容易ニ順應セル地方的機關紙ヲ發行シ得ル次第ナリ。

**二、黨以外ノ出版物ニ對スル工作**

本部ハ黨カ直接出版スル以外ノ出版物ニ對シテモ工作ヲ爲シツツアリ。而シテ其ノ方法トシテハ (一) 共產黨外廓團體ノ出版物ニ對スル如ク黨員又ハ「フエロー・トラヴェラー」ヲシテ編輯ニ當ランメ又資金援助等ニ依リ編輯方針ヲ完全ニ支配スルモノ及出版社自體ヲ支配スルモノ、並ニ (二) 記者及作家ニ對シ各種工作、トニ大別スルチ得ヘシ。

**左ニ分説スヘシ。**

(一) (A) 共產黨外廓團體ノ定期刊行物及黨ノ直接間接ノ支配ヲ受ケ居ル定期刊行物  
此ノ種出版物ヲ網羅スルコトハ殆ト不可能ナリ果シテ共產黨ノ外廓團體ナリヤ及黨ノ支配ヲ受ケ居ルヤ否ヤニ付テハ勿論異論アル場合多ク之ヲ斷定スルコト困難ナルモ一般ニ然リト認メラルモノノミ列

學スヘシ、尤モ右ノ内ニモ異論アルモノアリ得ヘキモ一應ノ概念ヲ與フルタメ茲ニ載録スル次第ナリ。  
〔英文ノモノ〕

Soviet Russia Today

「ソビエト・ロシア・トゥデイ」(651 Fourth Ave., N.Y.C.)ノ月刊機關紙ニシテ紐育市 114 E. 32nd Street ヨリ發行セラル、蘇聯労働者及蘇聯ノ發達狀況ヲ理想化シテ宣傳シツツアリ、材料ハ「アムトルグ」ヲ通シ直接蘇聯ヨリ送付セラルカ又ハ蘇聯ヨリ新タニ歸來セル旅行者ノ記事等ヲ主トス。編輯者中ニハ Myra Page, Edwin Seaver, A.A. Heller, Hays Jones 等アリ。本誌ハ紐育市内各新聞賣店ニテ十五仙ニテ販賣セラル、發行部數ハ二萬五千ト稱セラルルモ其ノ大部分ハ宣傳ノタメ無料配布セラレツツアル趣ナリ。

China Today

米國共產黨外敵團體タル「アメリカン・ソビエト・チャイニーズ・ビーアル」ノ月刊機關紙ニシテ紐育 138 West 23rd Street ヨリ發行セラル、共產主義乃至反「ファシズム」及蘇聯ノ見地ヨリ國民政府及支那大衆ノ對日抗爭ヲ取扱ヒ其ノ材料中ニハ直接蘇聯ヨリ來タリタルモノアリト謂ハル。尙客年來以來米國共產黨親支團體ノ活動ハ本誌及「アメリカン・ソビエト・チャイニーズ・ビーアル」ニシテハ「ソビエト・チャイニーズ・ビーアル」ノ二機關ニ集中セルカ如ク認メラルル處共產主義的色彩ヲ出來得ル限リ「カムフラージュ」シテ「中立派改正」トシ「カムフラージュ」問題ニ關シ巧妙ナル宣傳ヲ爲シツツアリ。編輯主任 Max Gramlich、編輯部員 E.A. Bisson; Philip J. Jaffe; M.S. Stewart, Robert Norton 及營業主任 Dorothea Toker ナリ、發行部數五千部ト稱セラルルモ大部ハ無料配布セラレ一部十仙、年一弗ナリ、本誌ハ多額ノ負債ニ陥リ居ル趣ナリ。

The Champion

「インターナショナル・ワーカーズ・オーガニゼーション」機關紙ノ一ニシテ青年中心トスル労働、娯樂、「ソボット」等ノ題ヲ取扱フ、發行部數不明。

New Masses

發行所 651 Fourth Avenue, New York City.  
本誌ハ左傾ト謂フモノリ、寧ロ自由主義ヲ長年月間披ヒ來ルルモ過去二、三年間ニ於テ其ノ編輯者等ノ共產黨ニ屬シ居ルコト

カ明白トナレリ、尙本誌ハ廣ク全米各社會層ニ亘リ購讀セラルル點、及英、佛、蘇、露等左翼刊行物中ニ米國ノ輿論トシテ引用セラルルコト多キ點、等ニ於テ共產黨系出版物中最モ有力ナリト謂ハル。發行部數ハ二萬八千ト稱セラル。一部十五仙ナリ、主要ナル編輯員ハ Granville Hicks (譯文); Crockett Johnson; A. B. Magli (譯文); Ruth McKenney (譯文); Joseph North, Samuel Sitten ナリ。  
執筆家及筆譯員ハ主要ナル者ニ Robert Forsythe (譯文)、Michael Gold; Marguerite Youngs (共產黨); Women's Commission (譯文); Richard Wright (譯文); Theodore Draper; William Gropper (譯文)トシテ數多シ。

Bulletin on the Soviet Union

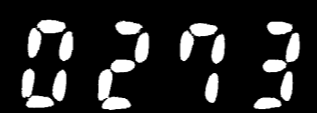
蘇聯文化宣傳機關タル American Russian Institute, Inc. (66 W. 45th St., N.Y.)ノ機關紙ニシテ月二回發行セラル、蘇聯ノ作家、藝術家ノ傳記、一般文化制度等ニ關スル簡單ナル記事ヲ載セ居ルモ大體小型三頁ノ通信式ノモノナルカ更ニ年四回大部ノ冊子ヲ附録アリテ發行ス、年購讀料二弗ナリ。

People's Press

發行所 1133 Broadway, New York City  
本誌ハ共產黨ナルモ共產黨ニヨリ經營者等ノ資金ヲ供給セラレ居ラシメテ個人經營ニ屬ス、斯クノ如ク共產黨出版物トシテハ變リタル状態ニ在ルハ相當ノ私財ヲ有スル左ノ二名ノ人物ニ依リ經營セラルルカ故ナリ、Corliss Lamont (「モルガン」銀行組合員「アーネスト・ラウンド」等ニシテ Friends of the Soviet Union 會長其ノ他ナリ)、E. V. Field (大資産ノ相續人ナルモ「フレンド・オブ・ソビエト」ナリ)、四人ハ又 Institute of Pacific Relations 幹部、極東問題顧問月刊誌 America ノ出版者兼編輯部長ニシテ親支反日宣傳ノ有力者ナリ。其ノ他ノ經營者及幹部ハ次、如シ、James Water Wise (譯文)、Friends of Soviet Union (譯文); R. S. Childs; Frank L. Palmer; Bella Freund; Wm. S. Wasserman (營業支配人、譯文)

Social Work Today (月刊雜誌)

發行所 112 East 19th Street, New York City  
編輯部員 Lewis Merrill; Mary Van Kleek; Lester Granger; B. Goldman; Stanley M. Isaacs (紐育市「ソビエト」誌)  
ソビエト共産黨員 Simon Gerson ナリ、社務長ニシテ「社会」;



本紙の論調は(1)社会事業若くは特権少ナキ者ノ世話ハ政府カナス可キニシテ個人ノ慈善事業ニ委スヘキニアラス。(2)政府救済事業費、養老年金等ヲ増加スヘシ。(3)世襲主義ハ永續的貧民階級ヲ産ミ出スモノニシテ健全ナル市民ニ寄生シテ徒食ナナス無職者ノ存在ヲ繼續スルモノナレハ速ニ之ヲ改ム可シ云々。

社会黨員及共産黨員ノ協力ニ本誌ハ純然タル社会黨系ノ雑誌タルコトヲ計セラレタルモ事實ハ社会黨員及共産黨員ノ合同事業トナレリ。之ハ前掲發行所ニ依リテ証明カナル如ク同一建物内ニ多数ノ共産黨系社会主義團體ノ本部アリテ殊ニ最近主要ナル二種ノ所謂擁護團體即 International Labor Defence (共産黨外郎團體) 及 Workers' Defense League (共産黨ニ支配セラルル社会主義團體ノ本部) 在リ、右ノ如ク同一建物内ニ於ケル社会黨員及共産黨員ノ接觸ハ右兩者ガ根本精神ニ於テ同一左傾主義ノ仲間關係ヲ有スルコト及兩者協力シタキ希望ヲ有スルコトヲ暗示ノ中ニ説明スルモノニシテ事實上右兩者ハ協力シテ共産黨ノ發展ノ爲ニ活動ミ居ルモノナリ。

World for Peace and Democracy

共産黨外郎團體中最強カナル American League for Peace and Democracy ノ月刊機關誌ナリ、從來 Fight 稱シミモ各年来同團體カグライヌ委員合ニ於テ共産黨ノ支配下ニ在リトノ非難アリシニ雖モ本誌ノ名稱ヲ變更セリ。反「ファシズム」、「テロラシ」擁護ヲ標榜スル右團體ノ機關誌ナルヲ以テ外交政策ニ關シテハ口、獨、伊ノ攻撃、之等諸國ニ對スル「ボイコット」及「エムパーチ」勸説、共同干渉及非中立的中立法ノ主張、國內的ニハ神交カフリン「其ノ他」ファシズム「論者」ニ對スル攻撃等ノ論議ヲ繼續シ居ル。National Executive Committee of the American League for Peace and Democracy, 288 Fourth Av., N.Y.C. ニモ發行セラル。

Western Workers Bulletin

第37 Grove Street ニモ發行セラルル西側労働者雜誌。編輯者ハ Lawrence Ross ナリ。

Southern Worker

Box 572 Birmingham, Ala. ニモ發行セラル。編輯者ハ James Malloy ナリ。

Voice of Action

414 713 Pine Street ニモ發行セラルル西側労働者雜誌。編輯者ハ Lowell Wakefield ナリ。

Voice of Youth

第37 Grove Street ニモ發行セラルル月刊誌ニシテアメリカン・スチューデント・デモクラシーノ機關誌ナリ。最近廢刊セラレタル也。

Champion of Youth

第2 East 23rd Street ニモ發行セラルル月刊誌ナリ。最近廢刊セラレタル也。編輯者ハ Morrie Schnapper; Irvin Keish; Joseph Cohen; John Ames; Roger Chase; Beryl Gilman; Janet Whitehead ナリ。

Labor Defender

既報「インクスターショナル・ユニオン」ノ月刊機關誌ナリ。編輯者ハ William L. Patterson (I. U. D. ノ執行委員) ノ一人ナリ。發行部數約四萬ヲ稱セラル。

Labor Unity

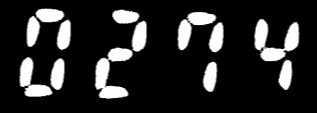
第8 East 11th Street ニモ發行セラルル月刊誌ナリ。編輯者ハ Pat Toohy ナリ。

The Arbitrator

第114 East 31st Street ニモ發行セラル。既報「アメリカン・シニヤル・リパティーン・ユニオン」ノ機關月刊誌ナリ。編輯者ハ William Floyd ナリ。

Pacific Weekly

Carmel, California ニモ發行セラル。編輯者ハ W. K. Bassett 及 Ella Winter (右者ハ共産黨員) Lincoln Stefons ナリ。



Economic Notes

後出 Economic Notes Labor Research Assn. (80 East 11th St., N. Y. C.) ニヨリ発行セラルル月刊誌ナリ。右開條ノ共産黨員 R. Dunn 及 Grace Hutchins ノ支配下ニ在リテ雇主攻撃、労働者補助資料ノ蒐集機關ナルカ本誌ハ其ノ結果ヲ取極メ労働系新聞及共産系作家等ニ供給スルモノナリ。而シテ共産黨本部ニシテ從來調査部 (Research Department) カマリタルモ同部ノ事業ハ大體本協會ニ依リ行ハレ、其ノ結果ヲ報告スル本誌ハ其ノ意味ニ於テ重要ナリ。一部五仙、年購費料六十五仙ナリ。

World Youth

World Youth, Inc. 115 Newbury St., Boston, Mass. ヨリ発行セラル。一部十仙、一ヶ年分購費料二弗ナリ。「ヤング・コミニケーション」ノ補助誌ナリ。

Working Women

共産黨本部建物の下に発行セラル。編輯者 Margaret Cowi ナリ。共産黨婦人部ノ支配下に在リ。

Illinois Labor Notes

National Research League (184 W. Washington St., Chicago) ニ依リ発行セラル。

Labor Challenge

National Unemployed Council (80 E. 11th St., N. Y. C.) ニ依リ隔月発行セラル。失業者ニ對スル「メサ」誌ナリ。

Industrial Worker

184 West Washington St., Chicago ニテ発行セラルル隔月誌ナリ。編輯者 Ralph Chaplin ナリ。(現在本誌発行中止セラレ、現マカテラツタ雑誌「アンチ・ナジ・フォーラム」)

Student Advocate

「メトリカニ・メチエー・メニオン」ニ依リ発行セラルル「リフレット」式宣傳文ナリ。

Consumers Union Report

「ロムニエー・ゴニオン」機關誌ナリ。

Industrial Worker

中巻 184 West Washington St. 月刊誌、編輯者 Ralph Chaplin ナリ。

The Militant

紐約市 144 Second Avenue ニテ発行、月刊誌。

The Student Outlook

紐約市 112 East 18th Street ニテ発行、月刊誌。編輯部員中ニハ John Blair (Tulare 大學教授)、Joseph Lash Howard Frisch (紐約市立大學教授)、John Harrington (「マールマン」大學教授)、John Rookwell (加州大學教授) 等マ。

Anti-Nazi Forum

紐約市 2 W. 46th Street ニテ発行。

The New South

「ラッシュ」派「ニュー・サウス」ニ依リ発行、月刊、Paul Crouch カ編輯員ナリ、同人ハ有力ナル黨員ニシテ農業關係組織員トシテ有名ナリ。

The United Farmer

中巻 184 West Washington Street ヨリ発行、週刊。

The High School Outpost

「ペン・ペン」ニ依リ発行、月刊。

The Workers Voice

市俄古ニ依リ発行、月刊。

The Red Pen

「ペン・ペン」ニ依リ発行、月刊。

The Farmers National News

311 Karback Rd., Omaha, Nebraska ニテ発行、月刊。

The West Front

419 12th St., Oakland, California ニテ発行、月刊。

The Irish Workers Voice

紐約市ニテ発行、週刊。

United Action

紐約市ニテ発行、週刊。

- Action 第37 Grove Street ニヨリ発行、月刊。
- Cooperatives 312 La-Salle St., Minneapolis ニヨリ発行、週刊。
- New York Metal Worker 雑誌中 The Associated Metal Workers (O・I・C) ニヨリ発行、週刊。
- Auto Workers News 3537 Woodward Ave., Detroit ニヨリ発行、週刊。
- Workers Age 月刊 (共産党ナツキ)。
- Dynamo 月刊。
- National Textile Worker 紐育市ニヨリ発行、月刊。
- Marine Workers Voice 紐育市ニヨリ発行、月刊。
- The Michigan Worker 3537 Woodward Ave., Detroit ニヨリ発行、週刊。
- The Oil Worker 「オイルワーカー」州「タルサ」ニヨリ発行、週刊。
- Gary Steel Worker 「ゲイリー」州「ゲイリー」ニヨリ発行、週刊。
- The Cleveland Unemployed Worker 「クローヴィン」州「クローヴィン」ニヨリ発行、月刊。
- Longshore Unity 「ロングショア」州「ロングショア」ニヨリ発行、月刊。
- Seaman's Lookout 紐育市ニヨリ発行、月刊。
- Minneapolis Worker 312 LaSalle St., Minn. ニヨリ発行、週刊。
- Veteran Rank and File 紐育市ニヨリ発行、月刊。
- The Packing House Worker 市戦古及「カンサス・ミネソタ」ニヨリ発行、週刊。
- The Railroad Worker 紐育市ニヨリ発行、週刊。

- The Negro Liberator 市戦古ニヨリ発行、週刊。
  - The Auto Worker 「オートルーパー」ニヨリ発行、月刊。
  - The Anvil 「アンビル」ニヨリ発行、月刊。
  - Southern Textile Bulletin 「サウス・カロライナ」州「ソウザンズ」ニヨリ発行、月刊。
  - Unemployment Review 紐育市ニヨリ発行、月刊。
  - New Order 月刊。
  - Recreational Leader Solidarity 月刊。
  - The Pilot 「パイロット」ニヨリ発行、週刊、編輯者 John Campbell ナリ。
  - The Wall Street Worker 共産黨「ウォール・ストリート」支部発行。
  - The Harlem Worker 共産黨「ハーレム」支部発行、週刊。
  - The Harvard Communist 「ハーバード」大学内支部発行、月刊及毎三月。
  - Revolt Box 141, Alfred Station, Detroit, Central Committee of the Revolutionary Workers League ニ依リ発行、月刊。米領米國ニ於ケル第四「インターナショナル」系ニヨリ米陸海空軍ニ對シテ的攻撃場ニ在ルヲ以テ、茲ニ列記メント、不通過ナルモ参考ノタメニ載録シ置ケリ。
- 〔外國語ノモノ〕
- 共産主義的論說ヲ若干ニテ掲載スル外國語定期刊行物ハ全米ニテ二千ノ多數ニ上ル趣ナルカ其ノ内共産黨カ直接材料ヲ供給スルモノハ左記(註)ノ語學別ノ約五百種程度ト稱スルモノアルモ(教育部「フネリン・ラングエーヂ・ビューロー」副主任 Paul Novick ノ言)、共産黨カ直接間接支配シツツアルハ更ニ少數ニシテ以下ニ記載スル八、九十種(註)ニナル趣ナリ、而シテ外國語新聞雑誌ノ編輯ハ共産黨教

育部ノ主管ニ属スルモ右ハ英文論説ノ翻譯ヲ教育部關係 Foreign Language Bureau ニ於テ指揮スルカ故ナリ、然レ共教育部ハ右指揮ニ當リ啓發宣傳部ト密接ナル連絡ヲトリ其ノ援助ヲ求メツツアリ、出版ヲ一括スル意味ニテ一應本部ノ項ニ掲載スル次第ナリ。

- (註1) Yiddish (100冊) German (100冊) Russian (11冊) Spanish (40冊) Italian (45冊) Polish (50冊) Chinese (10冊) French (110冊) Ukrainian (5冊) Finnish (1冊) Swedish (10冊) Greek (10冊) Romanian (10冊) Others (50冊)
- (註11) Alarm (Swedish, semi-annual); Amerikos Ziina (Lettish); Amtrakai Magyar Vilag (Hungarian, daily); Arbeiter Illustrerte Zeitung (German, weekly); Avanguardia (Portuguese); The African (monthly); Bollettino Di Informazione (Italian, monthly); Burevestnik; Contempo; Cultura Poletaria (Spanish); Darbenkio Balas (Lithuanian); Der Arbeiter (German); Desoperata (Romanian, weekly); Deutsche Volks Zeitung (daily); Die Volk Illustrerte (German); Doho (Japanese); East Harlem Reporter (Italian, monthly); Eij Elore (Hungarian, daily); El Martillo (Venezuelan); Empepo (Greek); Freie Arbeiter Stimme (weekly); Freie Jugen (German, monthly); Frente Popular (weekly); Funk (Jewish); Gegen Angriff (German, weekly); Hammer (monthly); Ilavatore (Italian); Empros (Greek, daily); Korean Telling Masses; La France d'Anjou'nai (French, monthly); Laive (Lithuanian, daily); La Production (Spanish); La Voz (Spanish, daily); Lodovny Denmark (Slovak, daily); L'Ouvrier (French Canadian); Lucha Obrera (Spanish); L'Unita Operaia (Italian, weekly); Mundo Obrero (Spanish, monthly); Naitebn (Jewish); Naisten Viiri (weekly); Neighborhood Szomszed; Neue Deutsche Blatter (German, monthly); Nor Askor (Armenian); Novy Mir (Russian, daily); Myagat (Hungarian); Ny Tid (Scandinavian); Novy Denik (Bohemian, Formerly Ohrana); O Brana (Czechoslovakian weekly); Organizational (Italian); Parvoar (Armenian, weekly); Penikki (Finnish); Proletarische Dering (monthly); International Workers Order; Radnik-Glasnik (Croatian, weekly); Rodo Shinbun (Japanese); Rovnost Lucha (Czechoslovakian, weekly); Rundschau (German, weekly); Russky Golos (Russian); Salvation Times (Chinese); Szananie (Bulgarian, bi-weekly); Signal (Norwegian-Danish, semi-annual); Signal (Jewish); Solidarity (German, monthly); Severian (Finnish); Terveist Worker; Torer (Finnish); Trybuna Robnicza (Polish); Tyolais-ahien (Finnish, weekly); Tyomies (Finnish, weekly); Uj Elore (Hungarian, monthly); Ukrainian News (daily); Ukraine Proletariat Writers and Correspondence Association Bulletin; Unita (Italian); Unsere Zeit (German, monthly); Under dem Banner des Marxismus (German, quarterly); Us Ilm (Estonian, weekly); Vanguard (Chinese); Vanguard (Portuguese); Vida O Brera (Spanish); Vilnis (Lithuanian, daily); Voice of Ethiopia

(weekly); Volkfront (German, weekly); Western Workers (Hungarian); Yngvaug (Jewish, published by International Workers Order);

(一) (B) 共産黨ノ直接間接支配ヲ受ケ居ル出版社

共産黨カ共産主義的又ハ黨ノ指導方針タル「カムフラージセル」デモクラシー乃至反「ファシズム」宣傳各種出版物ヲ容易ニ出版セシムルタメ、出版社ノ幹部ニ黨員ヲ入レ又ハ財政的支持ヲ與フル等ノ方法ニ依リ成ル可ク多數ノ出版社ヲ其ノ支配下ニ置キ又ハ少クトモ密接ナル關係ヲ結ハントスルハ當然ノ事トナリ、左ニ此ノ種ノモノト認メラレ居ル出版社ノ主ナルモノヲ列記ス可シ。

Daily Publishing Company

紐育市 50 East 13th Street, New York (共産黨本部建物内) 日 Compadaily Publishing Co. 4種(キヨモ各年下院「タイムズ」委員會ニ於テ英語ニ依リ支那「モロヒヤ」以來改称ナリ。「デーリー・メーカー」及「サンデー・メーカー」共ノ他共産黨宣傳冊子等ヲ發行ス。共産黨ノ經營ナリ。  
重役 K. J. Louis Engdahl; Irving Franklin; Alexander Trachtenberg (共産黨全國委員會) ナリ。資本金ハ僅カニ三十萬ニシテ三十株ニ分タス Isaac Shorr; Carl W. King 及 Fay Siegartel 各一株ハ株主ナルヲ發給シ十七株ハ America Magyar Newspaper, Inc. ナリ所有シ「モロヒヤ」後著ノ重役 Jacob Grossman; Ethel Beaver; Sylvia Halpert; Anna Sisman ニシテ又其ノ株主ハ Maxmilian F. Wessanek; Margaret Burke; Raben Mirrain; Isadore Szabally; William Weinstein (黨全國委員會員); Philip Avenberg; Harry Blake; Fay Siegartel; Joseph R. Brodsky; Jack Stachel (黨全國委員會及政治委員會員); 「プロパガンダ」部長) Isaac Shorr 等ナリ。右構成ニシヨリ得ル如ク後著カ持株會社トシテ實質上前著ヲ支配スルタメニ設立セラレタルモノナルカ新形式サトリタルハ勿論「デーリー・メーカー」紙カ出版法上ノ各種違反ヲ爲ス場合ニモ其ノ責任カ實質上ノ本體ナル後著トシ及メサル様仕組ミタルニ過キス。

Workers Library Publishing, Inc.

(紐育市 39 East 12th Street (共産黨本部建物内) 共産黨ノ各種「パンフレット」及宣傳書籍ヲ出版ス。)

International Publishers

紐育市 381 Fourth Avenue, New York  
共産黨ノタメ多数ノ「コンパチ」リフ「リット」資料等ヲ出版シ當最大ノ出版機關ナリ。Alexander Trachtenberg カ社  
長兼支配人ナリ。同人ニ付テハ前出參照。尙重役ニ A. A. Heller ナリ。同人ハ一八九一年「ロシア」ヨリ來米シ成功セル實業家  
ナルカ本會社ノ缺損補填ニ多額ノ支出ヲ爲シ居ル趣ナリ。同人ハ又 Jewish People's Committee Against Fascism and Anti-  
Semitism ノ創立者ノ一人ナリ。

New Pioneer Publishing Co.

紐育市 80 Fifth Avenue 「ヤンク・メイト」ニ「ア」機關誌「ニュー・マイオニア」其ノ他「パンフレット」類ヲ出版ス。

Working Women Publishing Co.

紐育市 50 East 13th Street (警察本部建物内) 「ワーキング・ウイメン」ナル定期刊行物ノ外共産黨關係書籍、「パンフレット」、雜  
誌類ヲ出版ス。共産黨關係ナリ。

World Syndicate Publishing Co.

紐育市 200 Fifth Avenue 蘇聯邦關係資料ノ出版及頒布ヲ目的トス。

New International Publishing Co.

紐育市 P. O. Box 119, Station D. 月刊雜誌 New International Magazine ノ外同種ノ刊行物ヲ發行ス。Max Schachtman 及  
Martin Abram ナ重役ナリ。

World Publishing Co.

市版古及書籍ニ同名ノモノ各一ナリ。更ニ中米及西米ニ於ケル共産黨關係主要出版社ナリ。

Vanguard Press

紐育市 Madison Avenue. 共産黨關係出版物ノミニ在ラサルモ共産主義、反「ファシズム」等ニ關スル高級書籍出版社トシテ知ラ  
ル。

American Russian Institute

紐育市 56 West 48th Street. 前述ノ如キ出版社ニハ非サルモ蘇聯邦關係宣傳物作者ニ對シ、材料並ニ資金ヲ供給援助スル點ニ  
於テ重要ナリ。

Booking Corporation

紐育市 155 Fifth Avenue. 出版社ニハ非サルモ蘇聯ニ於テ出版セラレタル各種文獻ヲ販賣ス。

Timely Records, Inc.

紐育市 1600 Broadway. 密音機及「リチャ」用宣傳「レコード」ノ作成、樂譜ノ印刷等ナリ。

(二) 記者及作家ニ對スル工作

共産黨ハ其ノ直接發行シ又ハ直接支配力ヲ及ホシ得ル出版物ニ止ラス労働者向ノ新聞雜誌並ニ更ニ一  
般資本主義的新聞雜誌ニ對シテモ共産主義乃至、蘇聯防衛反「ナチ」的宣傳ノ見地ヨリ之カ編輯方針ノ  
配ヲ企圖シツアリ而シテ之カ方法ハ各種作家團體ヲ内部的ニ侵蝕シ作家ヲ操縦スルニ在リ支其ノ顯  
著ナルモノニ付左ニ略説スヘシ。

(1) John Reed Club

本團體ハ米國ニ於ケル左翼藝術家及作家ノ革命的團體ニシテ米國初期ノ共産黨員ニシテ米國ヨリ蘇  
聯ニ追放セラレ同地ニテ客死セル John Reed ヲ記念スルタメ共産黨員ニ依リ組織セラレタルモ  
ノナリ、蘇聯ニ本部ヲ有スル國際的左翼文化團體タル Intl. Union of Revolutionary Writers. ノ米  
國支部ニシテ米國共産黨ト密接ニ協力シツアリ、特ニ共産主義宣傳、共産黨員ノ調査、逮捕反對、反  
共法案反對等ニ關シ共産黨ト共同戦線ヲ張り又共産黨領袖ハ本「クラブ」ノ經營スル作家及藝術家養  
成學校ノ學生ニ對シ講演ヲ爲シ其ノ他此種學校ニ對シ内面的ニ財政上ノ補助ヲ爲シツツアリト謂ハ



ル、又本「シラン」の後出 League of American Writers 其ノ他左翼演劇聯盟ノ組織等ニ大ナル役割ヲ演シタリ、本會員中著名ナル左翼作家左ノ如シ John Dos Passos; Lewis Mumford; Mary Heaton Vorse; Maxwell Bodenheim; Scott Nearing; Theodore Dreiser; Upton Sinclair; Sherwood Anderson; Carl Van Doren 等。又本會員中共産主義者ヲミテ著名ナルハ次ノ如シ Robert Dunn; Max Eastman; M. J. O'gin; William Browder; Alexander Trachtenberg

② League of American Writers

本聯盟ハ現在米國共産黨カ作家、劇作家、記者等ニ對シテ「ナチ」蘇聯擁護ノ宣傳ニ利用ミンアル最モ有力ナル機關ノ一ナリ。  
本聯盟ハ一九三五年四月「シオン・ロー・シラン」及米國共産黨カ主催セル革命作家全國大會ニ於テ結成セラレタリ、右聯盟ノ主催者ハ共産黨員、左翼作家、教育家等七十名ナルカ主ナルモノ左ノ如シ Earl Browder; Michael Gold; Granville Hicks; Theodore Dreiser; Edward Dahlberg; John Spivak; Maxwell Bodenheim; Thomas Boyd; Eyrshne Caldwell; Jack Conroy; Malcolm Cowley; Waldo Frank; Clarence Hathaway; Langston Hughes; Lewis Mumford; H. J. O'gin; John Dos Passos; Claire Sifton; Paul Sifton; Lincoln Steffens; Alexander Trachtenberg; Ella Winter  
本聯盟ハ Congress of American Revolutionary Writers ナル名稱ノ下ニ四月二十六日紐育市 Mecca Temple ニ於テ開催セラレ同會議ニ於テ文筆ニ依ル革命宣傳ノ常設機關ヲミテ League of American Writers ノ組織竝ニ John Reed Club ト同様に「モントー」International Union of Revolutionary Writers ニ所屬スルキョロトヲ決定セリ、而シテ右結成ニ對シ蘇聯其ノ他世界各地ノ同志ヨリ祝電ヲ

寄セタニ趣ナルカ著名ナルハ Johannes Becher 及 Anna Seghers (白田トウ) Phiyak; Gladkov; Treibkov; Dinanov 及 Aplein (蘇聯邦) 支那モリッ Anges Smedley; Madame Sun-Yat Sen 中國左翼作家聯盟等ナリ。

執行委員會及全國評議員會ニ選舉セラレタル者左ノ如シ Michael Gold; Malcolm Cowley; Granville Hicks; Josephine Herbst; Albert Maltz; Alexander Trachtenberg (共産黨全國委員); Maxwell Bodenheim; Van Wyck Brooks; Jack Conroy; Edward Dahlberg; Robert Moss Lovett (「アメリカン・リーグ」ノ「ア・ピンス・ア・ブ・ド・モト」副會長タル外二十五名ノ外廓團體ニ關係スル本年五月大統領ニ依リ「ツァーシ」島廳ノ高官トシテ任命セラレタリ); Grack Lumpkin; Lewis Mumford; Clifford Odets (共産主義的劇作家中最モ著名ナリ); M. J. O'gin (共産黨全國委員); George Sklar; Agnes Smedley; Lincoln Steffens; James Waterman Wise (Rabbi Stephen S. Wise ノ伴)。

會議ニ於テ名譽會員ニ選任セラレタル外國ノ左翼作家及共産黨員ハ左ノ如シ、Henri Barbusse; Romain Rolland; Ludwig Renn; Heinrich Mann; Maxim Gorky; Jacques Romain; Hu Lan Chi; Kirohata Kurawara; Rafael Alberti; Juan Marinello; Giovanni Germannetto  
本「リーグ」ノ會員タルハキ資格ハ其ノ作品カ出版セラレ又ハ雑誌、新聞、「ラヂオ」、劇場、活動寫真等ヲ通シ全國的ニ利用セラレツツアル作家ナルコトヲ要ス、而シテ本「リーグ」ノ目的綱領ハ左ノ如シ。

(イ) 米國各地ノ作家ヲ平和及「デモクラシー」擁護、「フシズム」及反動主義反對ノ全國的文化團體

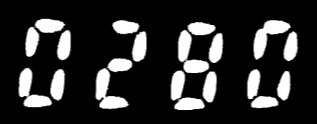
ニ糾合スルコト

(ロ) 文化擁護ヲ保障スルカ如キ政治的社會的制度的教育、思想及言論ノ自由ノ擁護  
 (ハ) 會員外作家ニ對シ本團體ノ主義綱領ヲ支持セシムルタメ之ニ援助ヲ與フルコト  
 (ニ) 左翼勞働組合特ニ自由職業及藝術家ノ組合支持。  
 (ホ) 文化擁護ノタメ米國ノ作家並ニ一切ノ進歩的勢力間ニ共同戰線ヲ樹立スルコト  
 (ト) 各國ニ於ケル人民戰線樹立ニ協力スルコト  
 他國ニ於ケル同様ノ作家團體ト協力スルコト

本聯盟ハ創立以來米國ニ於ケル作家ニ對シ反「ファシズム」、「デモクラシー」擁護ノ宣傳的筆致ヲ弄セシムル様壓迫ヲ加ヘツツアリ、斯クテ米國ノ作家ハ自力ニ依リテ原稿ヲ捌キ得ルモノ以外ハ欲スルト否トニ拘ラス、意識スルト否トニ拘ラス、反「ファシズム」宣傳員ニ墮セリ、即チ「ファシズム」ニ同情アルカ如キ筆致ヲ弄スル者ノ原稿ハ新聞、雜誌等ノ編輯者ノ多クハ本聯盟ニ加盟シ居ル關係上之ヲ利用セスシテ返却スルヲ以テナリ、右事情ハ本年六月初メ本「リーグ」ノ第三回大會ノ席上會長 D.O. Stewart カ「デモクラシー」ノ防波堤ニハ無數ノ間隙アリ、多數文筆ノ士カ其ノ鉛筆ノ先ヲ以テ之ヲ支ヘ米國ニ於ケル「デモクラシー」ノ没落ヲ防止スル要アリ、故ニ苟モ作家タルノ名ニ値スルタメニハ最少限度「反」ファシズム「タルヘキ事實ヲ作品ニ依リ認識セシムル要アリ、更ニ進ンテ「ニューデール」維持ノタメ一切ノ方法ニテ闘フコトハ各作家ノ任務ナリ」云々ノ言ニ依リテモ推知シ得ヘシ。

本聯盟ノ會員ハ現在米國有名無名ノ共產主義乃至左翼ノ作家及反「ナチ」作家並ニ本聯盟ノ眞目的ヲ知ラスシテ之ニ利用セラレ居ル作家例ヘン Pearl Buck 等ヲ含メ約七百名ヲ包含スト稱セラルル處著名ナル者左ノ如シ。

- Donald Ogden Stewart 會長、滑稽文學及小説家ニシテ現在「ハリウッド」ニ於ケル親戚、反「ナチ」宣傳ノ領袖ナリ。
- Theodore Dreiser 全然共產黨ノ道具ト化セリ、現在廢人同様ナル愚ナルカ共ノ著作ハ猶屢々共產黨ノ新聞雜誌ニ掲載セラル。昨年九月西班牙共產政府ニ招待セラレ同國ヲ訪問セリ。
- Ernest Hemingway 本「リーグ」ノ副會長、西班牙内亂中二年間同地ニ在リ「ローヤリスト」政府ノ立場ヨリ通信ヲ爲セリ。又書籍「Spain In Flames」ナル宣傳映画ヲ作成セリ。
- Ruth McKenney 「ヒト・マン・マン」記者、
- Upton Sinclair 在加州左翼作家、Epic News ナ發行ス。
- Leane Zugsmith 左翼大衆小説作家、
- John Hyde Preston 「The Liberals」ノ著者。
- Louis Bromfield
- Arthur Arent
- Pere Lorenz
- Mike Gold
- Clyde R. Miller Institute of Propaganda Analysis ノ理事。
- Van Wyck Brooks Connecticut Writers Conference 会長。
- Isabel Walker Soule 福音「ソーカーズ・スクール」ニ於テ非合法的宣傳用「パンフレット」著作術ノ講義ヲ爲シツツアリ。



Langston Hughes 副会長。  
Franklin Folsom 書記長。

Norman Corwin National Radio Broadcasting Systemノ理事。同Systemハ放送局ニハ非スシテ左翼「ラヂオ」放送局 Labor Station WEVD, Municipal Radio Station WNYC, 其他全米各地ニ散在スル地方的小放送局ニ對シ「プログラム」及戯曲ヲ供給スル機關ナリ。

George Asness Federal Radio Project 理事。

John Dos Passos 蘇聯ニ於テ革命劇作家「ブルジョア」中ニ入りテ研究ヲ重キ。一九二八年米國ニ歸ヘリ。共産黨ノ革命運動ニ關係シ其ノ間「The 42nd Parallel」"Nineteen Nineteen" "The Big Money"ニ左翼文學等ヲ著セルカ最近「Adventures of a Young Man」ヲ著セリ。右「トロキエニスト」臭味アリテノ批評ハマルモ「マルキシズム」宣傳文學ニシテ「レスタ・パラー」トナレリ。

John Steinbeck 昨年「The Grapes of Wrath」ナル社會問題小説ヲ著ヘリ。層有名トナレリ。右小説ハ明瞭ニ「マルキシズム」ノ立場ヨリ農業労働問題ヲ取扱ヒ居リ右小説ノ感化ヲ受ケ昨秋「ハリウッド」ニ於テ Helen Gahagan 会長トシ Steinbeck Committee to Organize Agriculture カ組織セラレタリ。右團體ノ主催ニテ約三百名ノ俳優、作家等ノ「インテリ」カ加州ニ於ケル移動労働者ノ現狀ヲ觀察シ之カ救済ヲ主張セリ。特ニ右觀察ニ參加セル活動寫眞劄記者ノ一人婦人ハ痛ク感動シ自分カ重役ノ一人トナリ居ル「パンク・オ・オ・アメリカ」ニ對シ同銀行ノ投資經營シツツアル農場ニ於ケル労働者待遇改善ヲ強ク要求セル経緯アリ。尙右小説ヲ映畫化スヘキ權利ヲ買取タル映畫會社ハ其ノ投資銀行ヨリ之カ映畫化ヲ抑止セラレ居リ右ニ關シ最近左翼演劇團體ト同ニ裸乳ヲ生シ居ル趣ナリ。尙右小説ハ本年六月ノ本「リーグ」會議ニ於テ絶賛セラレタリ。又同人ハ「Mice and Men」「Their Blood is Strong」等ノ有名ナル社會問題的「of social significance」作品ヲ有ス。又本聯盟ハ獨逸ノ猶太人作家ノ救援、「ナチ」政府攻撃、蘇聯防衛、共産主義ノ主張支持ヲ目的トシテ設立セラレタル國際的左翼作家協會タル Association of Writers in Defense of Culture ニ加盟セリ。右協會ハ一九三五年巴里ニ於テ第一回大會ヲ開催シ更ニ昨一九三八年ニハ西班牙「マドリッド」ニ於

テ大會ヲ催シタルカ米國ヨリハ Theodore Dreiser, Ernest Hemingway, John Steinbeck, Granville Hicks (「I Like America」ノ著者) 等カ出席セリ。又本年六月初旬「メキシコ・シター」ニ於テ世界大會ヲ催スヘキ旨昨年米墨國大統領「カルデナス」ニ依リ聲明セラレタリ。

而シテ右文化擁護作家國際協會ノ米國支部トモ稱スヘキ本聯盟モ亦六月二、三及四日間ニ互リ紐育市「カーネギー・ホール」及 New School for Social Science ニ於テ第三回米國作家大會ヲ開催セルカ其ノ議題中ニハ「米國ニ於ケル「デモクラシー」ノ擁護」、「反「ナチズム」ノ國家並ニ民族ト米國ノ協力」、「全體主義國家ヨリ亡命中ノ作家トノ協力」、「米國政府ノ反「ナチ」政策ノ支持」、「民主主義並ニ進歩主義者間ノ協力」、「人種偏見反對」、「社會立法反對論ニ對スル駁撃」等共産黨ノ内治外交政策ト歩調ヲ「ニシ居」リ、右會議ノ議事振中注意スヘキモノ左ノ如シ。

會長 D. O. Stewart

(イ)活動寫眞劄研究委員會ニ於テ作家ハ教育(宣傳)ノ手段トシテ活動寫眞ヲ乘取ル要アルコトヲ力説シ且委員會ハ蘇聯製「フィルム」等ヲ例ニシテ技術的討議ヲ爲セリ(ロ)全體主義反對主義ノ下ニ於テハ檢閲制度其他ノ制限ニ依リ眞ノ作家ノ自由ヲキナ理由トシテ作家ハ「デモクラシー」擁護、「ファンジズム」反對タルヲ要スヘキコトヲ強調セリ。

Thomas Mann 及 Edward Benes

「ナチ」政策ノ殘虐行爲ヲ詳細説明シ本作家聯盟カ單ナル文化團體ニ非スシテ反「ナチ」國際團體タル本領ヲ遺憾ナク發揮セリ。尙「メネッシ」演説ハ當地放送局 W. O. X. R. 一當地蘇聯旅行案内所「インツォーリスト」ヲメ毎水曜日旅行案内ヲ録音宣傳放送ヲ爲シツツ「ナチ」通シ「キースト」經由全歐ニ放送セラレタリ。

Langston Hughes 「トロコ共産黨員」本「リーグ」ノ副會長ナリ。獨逸ニ於ケル猶太人ノ狀態ヲ米國ニ於ケル「ニグロ」ニ比較ス。

Sylvia Townsend 英國共産系作家團體「English Assn. of Writers for Intellectual Liberty」ヲ代表シ演説セリ。

Louis Aragon 佛國共產黨新聞「Ce Soir」記者ニシテ International Writers Assn. for the Defense of Culture へ書  
 記ナリ。「讀者ヲシテ物ノ考方ヲ」提セムルコトハ作家ノ手法「ニテ自由ナリ。云々」ト述ハス居レリ。  
 又本會議ニ於テ避難中ノ作家ノ特別會議開催セラレタリ。主ナル参加者ハ Arnold Zweig; Oscar  
 Maria Graf; Klaus Mann (Thomas Man ノ作); Manfred George; Walter Schoenstadt; 等ナリ。  
 尙本會議ニ於テハ全體主義ノ犠牲トナリタル作家四十三名ノ「リスト」ヲ朗讀シ之ニ追悼ノ意ヲ表セ  
 リ。右四十三名中ニハ、西班牙ニテ死亡セル猶太系米人六、又英國共產主義者八名(内七名ハ猶太人)、  
 「ナチ」ノ迫害ニ悲觀シ自殺ヲ遂ケタル獨逸作家數名(内米國ニテ本年五月自殺シタル埃地利共產主  
 義者 Ernst Toller ハ曾テ Bela Kuhn (Bela Cohen) カ洪牙利ヨリ埃國ニ對シ赤化宣傳ヲ爲セル際  
 之ニ反對セル維納人數百名屠殺ヲ指揮セリト謂ハル)  
 尙獨逸ノ埃地利ヨリ避難シ來タル猶太人作家多數ハ本「リーグ」ノ會員トナリ居レリ、例ヘハ  
 Thomas Mann (German-American Writers Assn. 名譽会長) Heinrich Mann; Erika Mann; Lion Feuch-  
 wanger; Anna Zehfers; Ernst Toller (本年五月初旬自盡) Ludwig Renn; Egon Erwin Kisch 等多數  
 著名ノ作家アリ、此ノ種猶太人作家ニシテ「ナチ」政權ノ迫害ヲ受ケテ主トシテ蘇聯、佛蘭西、米國  
 等ニ亡命シ居ル有名ノ作家ハ約二百人ニ及ビ彼等ハ Union of German Writers Abroad ヲ組織シ互  
 ニ連絡シテ文筆武器ニ依リ「ナチ」政權攻撃ニ全力ヲ盡シツアリ。而シテ窮境ニ在リシ彼等ニ對シ  
 逸早ク職ヲ與ヘ生活費ヲ補助シ之ヲ利用セルハ蘇聯ナリト謂ハル。故ニ之等作家カ反「ナチ」ナルハ  
 勿論更ニ親蘇的ナルハ故アリト謂フヘシ。(Theodore Pivier; Bela Balazs; Willi Brodel; Prie-  
 drich Wolf; Erich Weinert; Johannes Becker 等ハ早キヨリ蘇聯ニ避難シ、且諸國ニ於テ失業シ居

ル同志ニ對シ原稿ヲ要求シ之ニ對シ生活費ヲ蘇聯ヨリ送付セリ)

本「リーグ」ノ反「ナチズム」文化闘争團體タル Association of Writers In Defense of Culture ノ加盟  
 團體トシテ米國ニ於ケル「ナチズム」反對、所謂「デモクラシー」擁護ノ文化宣傳機關タル關係上「ロ  
 ミンテラン」乃至蘇聯カ特ニ關心ヲ有スト認メラル、現ニ六月初旬本「リーグ」主催ノ第三回米國作  
 家大會ニ對シ蘇聯作家協會(The Union of Soviet Writers)ハ本「リーグ」ニ對シ祝辭ヲ寄セ「ナチ」  
 ノ侵略ヲ阻止スルタメニハ世界「デモクラシー」ノ覇者タル米國ノ作家ハ干渉主義ノ立場ヨリ輿論  
 ヲ指導スルノ任務ヲ遂行スルコトヲ確信ストテ激勵スルトコロアリ、右祝辭ノ署名者ハ左ノ如シ  
 E. N. Aseyev; V. E. Vishnevsky; V. E. Gerasimov; A. Y. Karavayeva; V. E. Katayev;  
 A. Y. Kornelchuk; J. Kupala; V. E. Lebedev-Kumach; A. Y. Mashayvili; P. E. Pavlenko;  
 E. L. Sobolev; A. Y. Tolstoy; A. Y. Fadayev; K. Fedin; M. Sholokhov  
 然レ共本「リーグ」ノ共產主義乃至左翼思想宣傳ニ對シ聯盟ノ内外ヨリ漸ク非難ノ聲出ツルニ至レ  
 リ。例ヘハ紐育「ボスト」記者 Dorothy Dunbar Bromley ノ如キハ本年六月ノ大會ニ於テ「ナチ」攻  
 撃ノミヲ行ヒ共產蘇聯ノ獨裁主義攻撃ヲ爲サルハ文筆者ノ態度トシテハ不當ナリト論セリ。  
 又最近本「リーグ」ノ設立者ノ一人ニシテ會員トシテ活躍スル Archibald Halesh カ大統領ニ依リ「ロ  
 ングレンス・ライブラリー」ノ司書ニ任命セラレタルニ對シ下院議員ニシテ「ダイス」委員會委員タル  
 Thomas ハ「マクリンシ」カ共產黨ノ「フェロー・トラヴェラー」ナリトシテ右任命ヲ公然反對セリ、又  
 其ノ際「ローマ」ハ同シク最近大統領ニ依リ Virgin Islands ノ公職ニ任命セラレタル Robert Henss  
 Lovett (「ボローア」各員タルト共ニ二十五ノ共產黨外席團體ニ關係スト謂ハル) 任命ニ反對シ大統領ノ任命スヘキ

公職ノ地位ニ共產黨系人物カ任命セラルルコト益々著シクナリツツアル事實ヲ指摘セリ。

(3) American Newspaper Guild

全國本部 = 1560 Broadway, New York City

共產黨「フラクシオン」工作ノ成功セル適例ニシテ米國新聞ノ「ニュース」誌ニ論調支配ノタメノ共產黨ノ主要工作機關ナリ。

本「ギルド」ハ一九三三年九月新聞記者及編輯部員ノ待遇改善、能力増進ヲ主要目的トシテ設立セラレタルカ漸次共產黨員ノ内部穿孔工作ニ依リ共產化シ一九三七年穩健ナルA・F・L所屬ヲ脱シC・I・O系ニ加盟スルニ至レリ。左ニ其ノ工作ノ主要ナル點ヲ擧クヘシ。

當初記者及編輯部員ノミヲ加盟セシメ居リタルモ共產黨ノ方針ニ基キ他ノ新聞關係従業員ニシテ他ノ組合ニ組織セラレ居ラサル一切ノ分子ノ加入ヲモ認ムルニ至レリ。事務員其ノ他使用人ノ加入數ハ記者及編輯部員ノ數ヲ遙カ凌駕スルコトナリ夫レ丈ケ共產黨員ノ工作ハ容易トナレリ。

更ニ黨「フラクシオン」部ノ内部工作ノ進捗ニ伴ヒ從前ニ於テハ餘リニ左翼的ナリトシテ加盟ヲ拒否セラレ來タリタル新聞社及雜誌社ノ「ユニット」ヲモ加盟セシムルコトトシ之ニ依リ先ツ紐育「ギルド」支部ヲ完全ニ支配スルニ至レリ。右ノ如キ左翼新聞又ハ雜誌ノ主要ナルモノハ「デリー・フーカ」紙、「ニュー・アセス」誌、「ニュー・リパブリック」誌、「ネーション」誌等ノ如シ。

斯クテ紐育支部ヲ完全ニ支配スルニ至リタル共產黨分子ハ更ニ全國本部ニ於ケル黨ノ支配ヲ確立スルタメ全米ヲ通シ紐育、市俄古其ノ他左翼勢力ノ強キ諸都市ニ於ケル新聞社加盟工作ニ更ニ拍車ヲカケタリ。而シテ加盟ヲ認メサル新聞社ニ對シテハ従業員ノ「ストライキ」及廣告主「ボイコット」

工作等ノ手段ニ依リ之ヲ威嚇シテ加盟ヲ認メシメツツアリ。

尙右ノ場合共產黨ノ政策乃至C・I・Oヲ不當ニ擁護シツツアリト稱セララルル労働調停局(N・L・R・B)及「ニュー・デール」政府當局者ハ此ノ種新聞社従業員ノ不當行動ヲ常ニ辯護シ來レリ。(之カ實例

ノ一、ニヲ擧クヘシ。市俄古「ヘラルド・エキザミネー」紙(「ハースト」系)ハ編輯部員其ノ他従業員ノ「ギルド」加盟ヲ承認セサルタメ廣告先ニ對スル「ビケット」ニ依リ廣告料ノ減收及労働團體ノ購讀阻止運動ノタメ經營難ニ陥レリ。又 Staten Island Advance 紙 Long Island Star 紙 New Jersey Ledger 紙ノ如キモ何レモ廣告先ノ「ビケット」ニ遭ヒ財政上著シキ被害ヲ蒙リタリ。最モ著シキ例ハ Wilkes Barre (Pen.) ニ於ケル一新聞社従業員ノ「ストライキ」ナリ。百八十日間休刊後「ギルド」側ノ勝利ニテ「ストライキ」解決セルモ之ニ依リ同新聞ハ間モナク獨立經營困難ニ陥レリ。

更ニ他ノ例ハ紐育「タイムズ」ナリ。同紙カ「ギルド」加盟従業員ニシテ共產黨員タル Fred Jaegerヲ敵首セル端ヲ發シ「ギルド」側ハ同紙ノ「オーブン・ショップ」側ヲ攻撃シ目下労働調停局ノ裁定ヲ受ケツツアリ。

彼上ノ如キ工作ニ依リ漸次「ギルド」内ノ共產黨員乃至「フェロー・トラヴェラー」ノ勢力増加スルニ至レルカ之等分子ハ黨ノ「フラクシオン」ノ基本方針ニ基キ「ギルド」ノ各種會合ニ全部出席發言スルニ

反シ通常ノ會員ハ不熱心ニシテ正規ノ會合ニモ出席セサル實情ナルヲ以テ常ニ會議ヲ「リード」シ「ギルド」ノ規約、工作方針等ヲ益々自派ニ有利ニ導キ來タリタルカ遂ニ本年夏桑港ニテ開催セラレタル全國代表會議ニ於ケル役員選舉ニ依リ共產黨分子ノ本「ギルド」支配ハ完成セリ。即チ從來本

「ギルド」ノ全國評議會ニ於ケル唯一ノ殘存セル保守分子タル Jonathan Eddy カ再選ニ落選シ其ノ

代リニ紐育「ギルド」ノ共産系書記長 Milton Kaufman カ執行副會長ニ選舉キラルルニ及ヒ本「ギルド」ノ役員ハ全部共産黨員乃至「フェロー・トラヴェラー」ニヨリテ占メラルルニ至レリ。新役員ノ顔觸左ノ如シ。

一七六

Heywood Brown (會長、創立者ノ一人ナリ。正式ノ共産黨員ニハ非サルモ「フェロー・トラヴェラー」ニミツキ且本「ギルド」ニ於ケル共産黨「フランク」ノ指導者ナル趣ナリ。現在紐育「ワールド・テレグラフ」紙ノ「カラムニスト」ナリ。更ニ本年五月同人ハ華府「カトリック」大學教授 E. J. Sheen ノ紹介ニテ正式ニ「カトリック」教會ニ入會シ一般ニ密異ノ感ヲ與ヘツツアルカ或ハ現下「カトリック」教會側ノ反共、反「ニュー・デール」的傾向ヲ緩和スルタメノ内部發揚ノ企圖ニ出ツルニ非スヤトモ認メラレ同人ノ「カトリック」改宗ヲ注目セラレ居ルニシテ) ; Milton Kaufman (執行副會長) ; Victor's asche (書記長兼會計) ; Donald M. Sullivan (國際聯絡) ; Harry Martin (同+) ; Julius Klyman (同+) ; Robert F. Camozzi (同+) ; Morris Watson (同+) ; William J. Farson (同+) ; Philip M. Connelly (同+) ; I. L. Kenen (同+) ; Harry Wohl (同+) ;  
尙右ノ外本「ギルド」ニ關係シ黨員又ハ「フェロー・トラヴェラー」トシテ知ラルル者次ノ如シ。 Jonathan Eddy (紐育「タイムズ」記者、「ロンドン」大學總長 N. M. Butler ノ甥) ; Ralph Thomson (紐育「タイムズ」) ; Evans Blake 通信社 I.N.S. ; Tom Cassidy (N. Y. Daily News) ; C. Randan (World Telegram) ; O. R. Pilot (N. Y. Post) ; "Red" Dolan (Herald Tribune) 等ナリ。  
本「ギルド」ノ全會員約三萬人中ノ大多數ハ共産主義反對乃至比較的保守的ナルニ拘ラス共産黨分子ノ支配力ハ當分繼續スルモノト認メラレツツアルカ其ノ主ナル理由ハ本「ギルド」カ C. I. O. ニ所屬シテ從來「ギルド」組織カ産業別労働組合式トナリタルコトニ在リト謂ハル。即チ一個ノ團體中ニ教育ノ程度、社會的背景及利害關係ヲ異ニスル各種階級ノ分子——事務員、會計係、記者、作家、編輯者等——ヲ混入組織スルニ至リタルタメ加盟新聞社内ノ「ユニット」ハ膨大トナリ會合ハ數組ニ分

チテ行フ必要ヲ生シタルカ右ハ共産黨分子ノ "divide and rule" 工作ニハ好條件ナリ。又一般會員ハ利害及趣味ヲ異ニスル雜多ノ分子ノ寄合世帯ニ熱意ヲ失ヒタルタメ出席率ハ益々悪クナリ常ニ出席活躍スル共産黨員及「フェロー・トラヴェラー」ノ發言權ハ愈々重要性ヲ加フルニ至レリ。斯クテ現在多數ノ新聞社「ユニット」ニ於テハ共産黨員乃至之ニ操縦セラルル分子ハ正式ノ會合ヲ開クコトスラセシテ會議代表ヲ指名シ得ル状態ニ在リト謂ハル。斯クテ共産黨分子ノ支配下ニ立チタル本「ギルド」ハ共産黨ノ指示乃至政策ニ順應シテ各種政治問題ニ關シ「ギルド」ノ意見ヲ決定シ、組合員ハ各自所屬ノ新聞社ノ論調、編輯方針等ノ上ニ於テ之カ實現ニ努ムヘキコトヲ期待セラルルモノナリ。政治問題ニ關スル本「ギルド」ノ工作ノ一例ヲ左ニ舉クヘシ。

本年六月十七日附 Editor & Publisher 誌ノ社説ニ於テ「ニュースペーパー・ギルド」カ「ニュー・デール」反對ノ新聞社特ニ南部地方ニ於ケル「ギルド」支部ヲ督勵シ「ストライキ」ヲ慫慂シツツアル處右ハ一九四〇年ノ選舉近ヅクニ從ヒ益々著シクナルヘシトノ風説ヲ掲載シ居レリ。而シテ本年五月中旬ノ「ヤング・コミュニティ・リーグ」大會ニ於テ「オール・ブラッダー」カ最先ニ「ルー・ズヴェルト」第三次候補支持ヲ聲明セシ事實ニ鑑ミ前記風説ハ本「ギルド」ト共産黨ト歩調ヲ一ニシ或ハ之カ支配ヲ受ケツツアル一證左ト認メ得ルト共ニ又尠クトモ共産黨カ希望スルトキハ此ノ種政治問題ニ付テモ本「ギルド」ヲ利用シ輿論ヲ操縦シ得ル可能性アルコトヲ知ルヘシ。又七月十一日「ニュースペーパー・ギルド」紐育支部會議ニ於テハ七月末桑港ニ於テ開催セラルル全國大會ニ出席スヘキ紐育市支部代表ニ對シ「ルー・ズヴェルト」大統領第三次立候補ヲ支持スヘキ訓令案ヲ決議シ更ニ右全國會議ニ於テハ第三次立候補支持ノ決議ヲ爲セリ。而シテ「ギルド」ノ意見ハ漸次會員タル記者、通信員ヲ通シ間接

一七七

ニ各新聞ノ編輯方針論調「ニュース」ノ取扱振等ヲ支持スル傾向増大シツツアリ Tom Cassidy (N. Y. Daily News); Carl Randan (World Telegram); Orson R. Pilot (N. Y. Post); "Red" Dolan (Herald Tribune) 等ノ顯著ナル例ナリ。又一般的ニ謂フモ本「ギルド」ニ加盟セル各新聞社、A.P., U.P., Int'l News Service; Press Radio Service 等ノ通信員並ニ記者ハ無意識的ニ本「ギルド」主義綱領ニ追隨スルコトニ依リ共産黨ノ代辯者トナリ「ニュース」並ニ論調カ共産黨ノ政策ト一致スルコトトナル次第ナリ。例ヘハ西班牙「ローヤリスト」政府支持、支那軍ノ「大勝利」、National Labor Relations Board 支持、労働運動ニ於ケル C. I. O 勝利等ハ各新聞社編輯部ノ同情的取扱ヲ受ケ、例ヘハ大衆、有利ナル「ヘッドライン」ヲ附セラル。反之日本ニ有利ナル記事ノ如キハ目立サル場所ニ平凡ナル見出ニテ掲載セラルルカ常ナル如シ。

(4) Federated Press (F.P.)

労働組合關係新聞、雜誌ニ對スル共産黨系宣傳「ニュース」供給機關トシテ最も重要ナリ。紐育市内赤色區域タル「ユニオン・スクエア」近クノ建物内(30 Irving Place, N.Y.C.)ニ一室ヲ借受ケ事務所トナシ年豫算二萬五千弗、缺損四千弗(一九三八年)程度ノ施設ニ過シサルモ、實際上ハ共産黨「アムトルグ」及 C. I. O ヨリ内密ノ補助ヲ受ケ居ル趣ナルト共ニ其ノ接受スル「ニュース」ハ共産黨員又ハ「フェロー・トラヴェラー」ヨリ無料ニテ供給セラルルモノ大部分ヲ占ムル關係上豫算ニ拘ラス比較的實質的ノ事業ヲ爲シツツアリ。

本會社ハ一九一九年市俄古ニ於テ創立セラル、創立ノ理由ハ同年ノ「スチール」業大「ストライキ」ニ際シ資本主義新聞カ公平ナル「ニュース」ヲ得サルニ憤慨シ労働者ニ同情スル三十二名ノ記者カ結束シテ本「ニュース・サーヴィス」ヲ起シタルニ起源ス、一九三八年六月社長ノ更迭アリタルカ前社長 Harold Coy ン「ニール・シャーシー」ノ Federal Writers Project 編輯員ニ任命セラレタルタメ従來同社ノ寫真部記者タリシ Marc Stone カ社長トナレリ。

本社ノ編輯方針ハ A. F. L 系、C. I. O 系及中立ノ理事ヨリ成ル理事會ニ依リ決定セラルル建前ナルモ實際上ハ右理事中ニハ隠レタル共産黨員多數アルト共ニ通信員其ノ他ノ使用人中ニハ多數ノ共産黨員アルタメ本社ノ編輯方針及社説ハ共産黨ノ主張ニ支配セラレツツアリ、約百名ノ全米各地ノ特志通信員カ本社ニ對シ無料ニテ宣傳的「ニュース」ヲ供給シ居リ蘇聯「タス」通信社ハ「モスコ」及支那ヨリ「ニュース」ヲ無料ニテ本社ニ供給シツツアリ。

本社カ宣傳資料及共産黨ノ立場ヨリセル「ニュース」解説ヲ配給シツツアルハ全米ヲ通シ英文定期刊行物四〇〇、外國文ノモノ一〇〇ニ達スル趣ナルカ右ノ内特約ニヨリ有料ニテ「ニュース」ヲ供給シツツアルハ約百五十ニ過キサル趣ナリ、而シテ右ハ大部分労働新聞ナルカ然ラサルモノトシテハ紐育「ポスト」、費府「レコード」、「ブリッチポート・ヘラルド」、「タイム」及「ニーズ・ウィーク」等ナル趣ナリ。

紐育本社ヨリハ日々「ガリ」版ノ「ニュース」ヲ發行ス、市俄古支社(編輯部長 E. J. Costello)ヨリハ毎週一回發行ス。

華府ヨリハ Harry Zon カ毎日論説ヲ寄稿ス、又「ハリウッド」ニテハ映畫俳優ノ「ゴシップ」乃至俳優作家ノ組織運動ニ關スル「ニュース」記事ヲ配布シ「ミネソタ」州「セントポール」ヨリハ農業關係「ニュース」記事配布ス。本社ノ「ニュース」ハ公平ヲ裝フモ結局共産黨ノ手先タルコトヲ最モ明瞭ニ證ス

ル事實ノ一ハ其ノ諷刺畫ナリ、Redfield (本名 Robert Forsy ニミテ「ニュー・フランス」ノ記者)、Jenger, Harold Magin 等ハ宣傳ノ諷刺畫ヲ多數加盟新聞ニ供給シツツアリ、特ニ右「ハロルド・マーギン」ノ代表的組合員家族ノ連續諷刺漫畫ハ毎日八十ノ労働新聞ニ掲載セラレツツアリ。他ノ赤化宣傳ノ事實ハ労働者ノ生活状態ニ關スル寫真ノ供給ナリ。右ノ原板寫真ハ各地方ニ於ケル加盟新聞社及 Wide World Photos, Inc. (組直「タイムズ」姉妹社) ヨリ供給ヲ受ケ本社ヨリ之ヲ各加盟新聞社ニ配給ス、無智ナル讀者ニ對スル宣傳方法トシテハ右諷刺畫及寫真ハ極メテ有效ナリ。

(5) Crusader News Agency

二十年前「ニグロ」解放ヲ目的トシテ創設セラレタル「ニース・サービス」ナリ、現在米國ニ於ケル約數百ノ「ニグロ」新聞雜誌ニ對シ「ニース」並ニ論說ヲ供給ス、而シテ「ニグロ」新聞ハ白人ニハ殆ンド讀者ナキヲ奇禍トシ共產黨ハ財政的援助ニ依リ本「ニース・サーヴィス」ヲ支配シ之ヲ通シテ前者多數ノ「ニグロ」新聞ヲ操縦シツツアリ、斯クテ本「ニース・サーヴィス」ヲ通スル共產黨ノ主張乃至宣傳ハ每週約百五十萬ノ「ニグロ」讀者ニ呼掛ケツツアル趣ナリ、即チ本「ニース・サービス」ハ共產黨ノ對「ニグロ」宣傳ノ最重要ナル機關ナリ。現ニ「ミニニツヒ」協定ニ對シ本「サーヴィス」特約各紙ハ何レモ共產黨系新聞同様「アビーズメント」ハ小國ノミナラス「ニグロ」其他殖民地民族ノ民主主義的要望ヲ壓迫スルモノナリトノ社説ヲ一様ニ掲ケタリ、日支事變ニ對シ日本攻撃、共產主義西班牙政府ノ擁護、「ニグロ」社會ニ於ケル「ナチ」獨逸ノ反猶太主義宣傳ノ攻撃等何レモ共產黨ノ主張ト軌ヲ一ニシ居ル趣ナリ。

(6) Federal Writers Project

聯邦政府ノ救濟事業ノ一部タル「フェデラル・ライターズ・プロジェクト」カ共產黨ニ操縦セラレ其ノ支配的幹部カ大部分共產黨乃至之ニ同情スル革命作家タルコトハ疑ノ餘地ナキ所トセラル。右ハ本「プロジェクト」主トシテ左翼革命作家ノ失業者カ安心シテ革命的的文化工作ニ従事シ得ル様之ニ職及定收ヲ與ヘンカタメ共產黨ノ外廓的文化機關タル John Reed Club 及 a League of American Writers ノ策動ニ依リ成立セル経緯ニ鑑ミ當然ノコトナリ。一九三五年前出「リーグ・オブ・アメリカン・ライターズ」ノ結成後間モナク共產黨、「ジョン・リード・クラブ」及「リーグ・オブ・アメリカン・ライターズ」ハ失業又ハ不況ノ作家救濟ノ運動ヲ起セルカ其ノ猛運動ニ刺激セラレ「リーグ・オブ・アメリカン・ライターズ」ノ有ニル強力ナル宣傳力ヲ「ニュー・デイル」ノ味方ニ引ツクルコトノ利益ヲ悟ル作家ニナリ之等作家ノ有ニル強力ナル宣傳力ヲ「ニュー・デイル」ノ味方ニ引ツクルコトノ利益ヲ悟ル作家ニナリ對スル政府救濟事業ヲ起スコトニ決定セル次第ナリ。而シテ失業作家及新聞記者ノ大部分ハ無能不良分子ナルモ失業ニ依リ益々資本主義制度ヲ呪ヒツツアル者ナルヲ以テ共產主義宣傳對象乃至之カ道具トシテ最モ有利ナルハ自明ノトコロニシテ共產黨カ之カ實現ニ努力セル所以ハ容易ニ了解シ得ラル、尤モ本「プロジェクト」ハ失業者ノ外「ジョン・リード・クラブ」及「リーグ・オブ・アメリカン・ライターズ」ノ有力會員モ多數教職ヲ得タリ。現在約一萬一千名ノ所謂作家ヲ養ヒ居レリ。而シテ本「プロジェクト」ニ雇備セラレ居ル有名ナル作家中ニハ Clifford Odets, Paul and Claire Siffon, George Siskar 等アリ。

本「プロジェクト」ノ役員ハ左ノ如シ。

Henry Alsberg (全副理事、左翼作家「イン」Int. Committee for Political Prisoners 幹部「一九三二年「阿姆斯特ダム」ニテ開催セラレタル共産主義的反戰會議 World Congress Against War 米國代表者ノ経歴ヲ有ス)



Carl Malmberg (組育支部理事)

一八二

「プロジェクト」ノ役員ハ兎モ角部内ノ有力者ハ共産黨員又ハ「フェロー・トラヴェラー」ニシテ「プロジェクト」ニ使用セララルル社會的不平分子タル作家及新聞記者等ニ對シ共産黨的主義綱領ニ依リ訓練シツツアリ。

而シテ本「プロジェクト」ノ主ナル事業ハ米國産業ノ發達、労働組合、「ニグロ」民族、移民、「アメリカン・インディアン」民族、州、都市ノ發達等ニ關スル歴史ノ編纂ニ在ル處共産主義者ノ内面的指導ニ依リ米國ノ歴史乃至制度ノ發達ヲ共産主義乃至左翼ノ立場ヨリ敘述シツツアリ。尤モ「ルーゼヴェルト」政府ノ「ニュー・ Deal」政策ハ右擡取ノ歴史ノ終結ヲ齎ラスモノトシテ之ヲ稱讚シツツアリ、從テ「ニュー・ Deal」ノ爲政者ハ右著作中自己ニ有利ナルモノヲ學校ノ標準教科書トシテ採用方ノ運動ヲ爲シツツアル程ナリ。

尙本「プロジェクト」 Workers Alliance ノ關係ハ Federal Theatre Project, Federal Art Project 並ニ他ノ一般土木事業等ノ聯邦救濟事業ニ使用セララルル者ハ労働者タルト自由職業者タルトヲ問ハス多クハ「ワーカーズ・アライアンス」ニ加入シ居リ、解職等ノ場合之カ絶大ナル保護ヲ受ケツツアリ。而シテ「ワーカーズ・アライアンス」ハ共産黨ノ徹底的内面指導ヲ受ケ居ルコト周知ノ事實ナリ。之等聯邦救濟事業ニ就業セントスル者カ共産黨員又ハ「フェロー・トラヴェラー」ナルトキハ本「アライアンス」ノ推薦支持ヲ得テ極メテ容易ニ採用セララルルモ然ラサル者カ正式ノ手續ニ依リ申込ムモ容易ニ採用セラレスト稱セラル。

又共産黨員ニ非スシテ採用セララルル者ト雖モ「ワーカーズ・アライアンス」ニ加入後共産黨ニ加入シ又ハ共産黨ノ方針ニ同情ヲ表スルニ非サレハ本「アライアンス」ノ十分ナル保護ヲ受ケ得サルノミナラス却テ聯邦救濟事業中直接宣傳ニ關係アル本「ライターズ・プロジェクト」、「フデラル・アイツ・プロジェクト」、「フデラル・セーヤター・プロジェクト」ニ對シテハ特ニ關心ヲ有シ今次議會ニ於テ W.P.A.ノ豫算削減ニ對シテハ強ク主張セサルモ文化關係救濟事業ノ豫算削減ニ對シテハ「ワーカーズ・アライアンス」ヲ通シ猛烈ナル反對運動ヲ爲セリ。

Federal Historical Records Survey Project

失業作家文筆業者等ヲ救済スル聯邦救濟事業トシテハ前記「ライターズ・プロジェクト」ノ外ニ本「プロジェクト」アリ、文化的聯邦救濟事業五部門ノ一ニシテ本來共産黨ノ運動ニ依リ設置セララルルモノナルモ實際ノ事業ニ關シ共産黨ノ工作ノ余地殆トナシト謂ハル。

本「プロジェクト」ノ事業ハ州、縣及市ノ公文書又ハ記録ヲ分類整理スルニ在リ、其ノ資料ノ取扱ニ當リ共産主義的立場ヨリ故意ニ取捨選擇スルコトハ或程度迄可能ナルヘキモ「ライターズ・プロジェクト」ト異ナリ歴史ノ編纂解釋ヲ行フニ非スシテ單ニ記録文書ノ存在、内容等ノ謂ハハ「インデックス」ヲ作成スルニ過キササルヲ以テ工作ノ余地尠キハ當然ナリ。尙此ノ種事業ハ個人企業ヲ以テシテハ經濟上殆ト不可能ニ近キモノナリト謂ハル。

尙本「プロジェクト」ノ役員ハ Luther H. Evans (全國理事長) George J. Miller (組育及「ニュー・デール」州理事)。

(7) Book and Magazine Guild

一八三

(A) 概 説

一八四

本組合ハ一九三五年「ニュースペーパー・ギルド」ト殆ント同時ニ設ケラレ一九三七年六月二日C.I.O.系 United Office and Professional Workers of American (U.O.P.W.A.) (一九三八年現在組合員全米二萬五千内紐育市一萬六千)ノ支部第十八區ト成レリ。前出「ニュースペーパー・ギルド」ト其ノ目的類似スルモ組織的ニハ關係ナシ。會員ハ目下約千名ナルカ編輯部員、出版部員ト外、書記事務員及發送事務員等ヲモ合ミ出版事業ニ於ケル全種類ノ従業員ヲ網羅スルモノナルカ之等ノ大半ハ又 Bookkeepers, Stenographers & Accountants Union ニモ加入シ居レリ。

本組合ハ極メテ巧妙ニ組織セラレ一般會員ハ組合ノ政策ニ關シ殆ント容喙ノ余地無ク本組合ノ標榜スル所謂「出版ノ自由」ナルモノハ赤色出版ノ自由以外ニ何等ノ意義ヲ有セスト謂ハル。本「ギルド」ノ表面ノ目的ハ一般労働組合同様ナルモ更ニ組合員ノ教育養成、出版ノ擁護ナルカ真ノ工作目標ハ「ニュースペーパー・ギルド」ニ對應シ雜誌其ノ他ノ出版物ニ關スル共産黨工作機關ナリ、即チ本「ギルド」ハ以下ニ示スヘキ幹部ノ人物ニ依リ明カナル如ク共産黨ノ完全ナル支配下ニ在リテ加盟組合員ヲ通シ關係出版社ノ發行物ヲ左右シ特ニ雜誌ノ論調ヲ共産黨ノ政策ニ追隨セシメントスルモノナリ。更ニ本「ギルド」ハ American League for Peace and Democracyニ所屬シ所謂「平和及デモクラシー」ヲ看板トスル黨政策ヲ熱心ニ支持シツニアリ。而シテ本「ギルド」内ニ Civil Liberties and Legislative Committee ヲ設ケ此ノ種工作及聯邦議會「ロビー」運動等ニ當ランシテ居レリ。要スルニ本「ギルド」ハ新聞以下ノ出版物ニ關スル共産黨工作ノ最も重要ナル機關ナリ。

尙機關紙トシテ Guild News ヲ發行シ組合員ノ指導ニ資スルト共ニ非組合員ニ對スル工作ニ利用ス。

(B) 事務所及幹部

本部事務所 289 Fourth Avenue, New York City (九階)

幹部及主要人物 (イ) 職員 Robert Josephi (会長); Lilian Price (總務書記長); Isobel Walker Soule 會計主任; E. A. The New Republic 編輯長; George Henry Soule, Jr. 妻ニミテ各種自由主義的定期刊行物ニ執筆スルヲ以テ名ヲ知ラル。

(ロ) 執行委員 六名ノ職員及七名ノ一般會員ヨリ成ルモノナルカ其ノ中前記三名ノ職員以外ニ執行委員ト想像セララルモノ左ノ如シ。

Quincy Howe (Simon and Schuster 出版社社員; The Living Age ノ前ノ前編輯長; 英國人ヲ嫌惡スルコト甚メシク "England Expects Every American To Do His Duty" ノ著者ナルキヤンサー); Tom Bevans (Viking Press 出版社社員); Philip Van Doren Stern (Simon and Schuster 出版社社員); Duane Berry (Dutton's 出版社社員); Thomas Wolf (Life 及 Time 誌ノ翻譯者); Sidney Jacob (Knopf 出版社社員); Joseph Sadow (Viking Press 出版社社員)。

(ハ) 其他ノ關係者及會員中ノ主要ナルモノ、Leane Zugsmith (小説家トシテ名ヲマシ); George Asness (「マヤ」放送原稿執筆家ニミテNBC及「ロイヤル」ノ「モーランサー」又 Mutual トモ關係マシ); Ruth Saller (本部事務員)。

(ニ) 出版業ニ關聯シ組合員ニ對シ社會主義的 (Social Significance) 課目ヲ講義スル教師ノ主要ナルモノ左ノ如シ。

一八五

Samuel Sillen; Jean Urtameyer (左派大衆詩人); Isidore Schneider (左派詩人); John Perry (米共産党「マンハッタン」誌誌長); Isabel Walker Soule  
*American Newspaper Guild*  
 Margaret Bourke-White; Heywood Brown; Lewis Gannett; Mrs. Franklin D. Roosevelt;  
 Dorothy Thompson  
*Screen Actors Guild*  
 James Cagney; Eddie Cantor; Joan Crawford; Clark Gable; Robert Montgomery  
*Musicians Union*  
 Benny Goodman; Rudy Vallee; Paul Whiteman  
*Screen Writers Guild*  
 Dorothy Parker; Donald Ogden Stewart  
*Authors League*  
 Fannie Hurst; Hendrik van Loon  
*Dynamists Guild*  
 Eugene O'Neill  
*Actors Equity Assn.*  
 Katharine Cornell; Noel Coward; Lynn Fontanne; Helen Hayes; Alfred Lunt  
 組合加盟ノ雑誌社  
 本「ギルド」ノ加盟ヲ認め居ル出版社ノ主要ナルモノ左ノ如シ。  
 Asia; Pacific Affairs (The Institute of Pacific Relations <近キ加盟契約妥結ノ由>); Consumers Union Reports;

The New Republic; The American Scholar; Theatre Arts Monthly (雑誌); Art and Sculpture; The Nation  
 尙左記出版社ハ未タ加盟シ居ラサルモ内部ニ本「ギルド」會員ノ「ユニオン」有キ。  
 Kropf; Simon and Schuster; Viking; Vanguard; Dutton; International; Modern Age; Dutton; Harcourt, Brace

第二、演劇關係工作

演劇關係方面ニ於ケル共産黨ノ關心ハ従業員ニ對スル待遇改善ハ第二次的ニシテ真ノ目的ハ舞臺ヲ通シテノ觀衆ニ對スル工作ニ在リ。共産黨ノ宣傳方針ノ主要ナル一點ハ同時ニ可及的多數者ニ呼掛ケ而モ共産黨ノ宣傳ナル事實ヲ労働者ニ感知セシメサルニ在リ、街頭乃至集會ニ於ケル演説ハ一般大衆ニ與ルシ。又特定ノ團體内ニ於ケル侵蝕工作ハ共産黨ニトリ最モ有力且成功シツツアル武器ナルモ右工作ハ對象ニ制限アリテ大規模且一般的タルヲ得ス。反之演劇乃至活動寫眞ヲ通シテノ宣傳ハ巧ミニ行ハルトキハ同時ニ不特定多數ノモノニ對シ感知セラルルコトナシニ極メテ效果のナル宣傳ヲナシ得ルモノナリ、右事實ニ着目シ「コミンテルン」乃至米國共産黨ハ現在演劇方面ノ工作ニ多大ノ努力ヲ傾倒シツツアリ。然レ共産本主義的劇場乃至俳優ニ依存スルコトハ財政上ハ勿論演劇ノ内容ノ見地ヨリスルモ上記ノ如キ共産黨ノ目的ヲ達成スルコト不可能ナルハ勿論ナリ、故ニ劇作ヨリ演出ニ至ル迄一切ヲ共産主義者乃至「プロレタリア」ノ手ニ依リ行フ要アリ。

(1) Workers Cultural Federation

一九三〇年蘇聯ニ於ケル革命的作家並ニ藝術家會議ノ開催セラレ一九三二年六月紐育市ニ於テ「New Masses」ノ記者 Mike Goldノ畫策ニ依リ百三十ノ労働組合、文化、政治、乃至社交團體

ノ會議ヲ開催シ其ノ結果 Workers Cultural Federationヲ結成スルニ成功セリ、而シテ當時「マイク・ゴールド」カ本「フェデレーション」ヲ結成スルニ當リ労働者劇場ノ如キモノヲ必要ナリトシテ擧ゲタル理由ヲ見ルニ「労働者劇場ハ「パンフレット」乃至演説會ノ手ノ届カサル労働者ニ工作スル一方法ナリ、即チ簡單且自然ナル方法ニテ多數ノ労働者ノ心ヲ捉フル手段ナリ云々」トアルカ如ク廿キ丸藥ノ形ニテ共産黨ノ宣傳ヲ大衆ニ行ハントスルモノナリ、更ニ「ゴールド」ハ本文化聯盟ノ使命ヲ敷衍シテ「文化ニ於ケル階級闘争ノ政策ヲ遂行シ、「フ、シズム」其ノ他反動主義ニ對シ一切ノ革命的團體ヲ公然支持シ、更ニ辯證法的唯物史觀ノ綱領ニ立脚スルコト」ヲ明言シ居レリ、右聲明ニ徴スルモ本聯盟ハ當初ヨリ共産主義宣傳ノ機關トシテ設立セラレタルモノナリ。

斯クテ本文化聯盟カ中心トナリ労働者ノ手ニ依ル労働者劇場カ經營セララルニ至リタルモ素人タル労働者ノ手ノミニテハ満足ナル演出不可能ナルヲ以テ共産主義乃至左翼作家並ニ演劇専門家ハ演劇教師及舞臺監督ノ役割ヲ演シタリ、労働者劇場運動當初ニ於テ斯カル役割ヲ演シタル著名ノ共産主義者ニハ Emjo Basshe; Sophie Fuman; Jasper Deter ノ如キアリ、特ニ J. Deter ハ後聯邦政府カ Federal Theatre Project 開設ニ際シ一局長ニ任命セラレタルカ之ニ依リ政府ノ資金ニ依リ共産黨ノ宣傳ヲナシ得ル地位ニ置カレタリ。

更ニ本運動ニ對シテハ前出「ジョン・リード、クラブ」會員タル左翼劇作家カ大ナル支持ヲ與ヘタリ、就中著名ナルハ Mrs. Hallie Flanagan ナリ、同人ハ現在「フェデラル、セヤター、プロジェクト」ノ全國會長ニ任命セラレ居ルカ米國ニ於ケル左翼演劇運動ノ元勳ナリ、尙詳シクハ「フェデラル、セヤター、プロジェクト」ノ項ニテ述フヘシ。

② New Theatre League

前記労働者文化聯盟ノ初期ニ於テ共産黨ハ演劇界ニ於ケル眞ニ優秀ナル俳優並ニ作本ノ支持ヲ確保スルコトニ努メタルカ遂ニ右聯盟ニ加入シ居ル優秀ナル俳優ヲ糾合シテ一九三五年 New Theatre League ヲ組織セリ、現在「ブレイクス」ハ 132 West 43rd Street, N.Y. ナリ、本「リーグ」ハ米國演劇界ヲ資本家ノ享樂機關ヨリ一般大衆ヲ對象トシテ最高ノ藝術的且社會的水準ニ發展セシメ更ニ戦争、「ファンシズム」及ヒ検閲制度反對闘争ノ中央機關タル目的ヲ以テ設立セラレタリ、本「リーグ」演出監督 Ben Erwin ノ言「本「リーグ」ハ一切ノ藝術ノ存在ノ基調タル「デモクラシー」ヲ支持ノタメ其ノ舞臺ヲ世評ヲ顧慮セス益々之ヲ十二分ニ利用スヘシ、本「リーグ」カ「Waiting for Lefty」、「Bury the Dead」、「Cradle will Rock」及「Plant in the Sun」ヲ上演セルハ右ノ趣旨ニ出ツルモノナリ云々」ニ依リテモ明カナリ、而シテ本「リーグ」ハ自ら上演スルノミナラス一切ノ共産黨系團體ニシテ「社會的意義」アル演劇上演ヲ希望スル左翼労働團體、學生團體、「ヤングコミニスト・リーグ」等ニ對シ上演ニ關スル技術的援助ヲ與ヘツツアリ。

尙本「リーグ」ハ俳優、監督、劇作家養成ヲ目的トスル New Theatre School (132 West 43rd St.) ヲ經營シ更ニ Theatre Workshop ナル月刊誌並ニ New Theatre News ナル新聞ヲ發行シツツアリ。

更ニ本「リーグ」ハ其ノ活動ノ一面トシテ Theatre Arts Committee ヲ組織セリ、右委員會ハ Cabaret 「Tag」ヲ經營ス、右「キャバレー」ハ米國ニ於ケル新規ノ試業ニシテ「ホテル」又ハ「カフェー」等ニ於テ資本主義制度乃至「ナチ」ヲ諷刺セル寸劇的「キャバレー」ヲ上演スルモノナリ、又「キャバレー」ノ外「ラヂオ」劇ヲ放送ス、更ニ本舞臺藝術委員會ハ月刊誌 T.A.C. ヲ發行シ劇論ノ内外外ノ社會、政

治、外交問題ニ關スル左翼の意見ヲ掲載ス。

T. A. C. の書記長 Hester Sondengard は、紐育市 Mercury 劇場ニ於テ「社會的意義」アル宣傳劇ノ上演ニ活躍シツアリ、「ソングダーガー」外 Frances Farmer; Artie Show (音譯); Tamara (蘇聯ノ女優ニシテ過去二年來米國劇界ニテ好評ヲ博シタマハル); Phoebe Brand; Robert Reed Raymond Massey; Katherine Locke; Bartlyell; Orson Wells 等ハ本委員會ノ活動ヲ援助シツマアリ。  
更ニ本委員會ハ西班牙避難民救助ノタメ紐育州知事「レーマン」、加州知事「オルソン」等ノ後援ニ依リ、C. B. S. ヲ通シ全米國放送ノ「ラデオ」劇ヲ上演セリ、右放送ハ Donoh Thompson; Eddi Carter; Walter Houston ノ如キ著名ノ士モ參加セリ、尙現在本委員會カ中心トナリ西班牙「デモクラシー」救済ノタメ League to Aid Spanish Democracy ヲ組織シ内相「イッキーズ」ヲ名譽會長ニ推シ居レリ。

(義ニ報告セル通り一九三八年九月佛國ヨリ入國セル邦人共產主義者佐野碩ハ保釋入國後本「リーグ」ニ關係シ西班牙古典劇ノ演出ヲ稽古ノ監督トナレル外 New Theatre League ノ教師トナリ又雜誌「AAC」ニ日本紙芝居諷刺ノ評論ヲ寄稿セリ、尙同人ハ在蘇中 Meyerhold ノ助監督タリシタメ米國左翼劇界ニ於テ相當高ク評價セラレ居ル趣ナリ)。

次ニ本「リーグ」ノ發展事情ヲ檢スルニ最初ハ労働組合ノ建物内ニテ上演セルカ其ノ成功スルヤ全米各地ノ營利的劇場ニ於テ上演スルニ至レリ、斯クテ本「リーグ」ハ専門ノ職業的俳優ト競争ノ地位ニ立チ、之ヲ壓迫スルニ至レリ、此ノ情勢ヲ利用シ本「リーグ」ハ之等職業的俳優トノ相互聯絡ヲ圖リ之ニ對スル脅威ヲ防止スルタメナル口實ヲ以テ本「リーグ」員ノ組織スル Actors Equity Association

ナル俳優組合ニ一般俳優、監督、劇作家等ノ加入方ヲ要請セリ、而シテ一般職業俳優等カ右俳優組合ニ加入スルニ及ヒ所謂共產黨ノ内面指導ノ手カ一般俳優監督等ニ伸ヒルコトトナリ、而シテ右組合ニ加入セル職業的俳優、監督及劇作家ニシテ一時失業スル者アルトキハ本組合ハ本「リーグ」ノ經營スル左翼劇場ニ之ヲ有利ナル條件ニテ使用シ恩ヲ賣ルニ努メ漸次劇界ニ「フェロー、トラヴェラー」ヲ擴大スルニ成功セリ、而シテ本「リーグ」ノ後援ニ依リ無名ノ地位ヨリ全米的ニ有名トナリ多額ノ收入ヲ得ルニ至タル俳優並ニ作家ニシテ現在尙共產主義ノ演劇方針ニ忠實ナル著名ノ者多クアリ、其ノ二三ヲ舉グヘン。

Clifford Odets

共產黨演劇運動ニ於ケル所謂 Social Significance ナシ強調スル劇作家ノ一人ナリ「Waiting for Lefty」ナル作ヲ著シ「踊有名トナレルカ現在共產黨員ニシテ同時ニ營利演劇場ノタメ劇作家トシテ一流ノ地位ニ在リ「Waiting for Lefty」ハ New Theatre League 労働者演劇團ニ依リ全米ニ亙リ數千回ノ興業ヲ續ク更ニ紐育、市俄古其ノ他大都市ノ普通劇場ニ於テ興業シ多大ノ成功ヲ收メタリ、本團ハ「タクシー、ストライク」ヲ取扱ヒタルモノニシテ結局「タクシー」運轉手ハ冷血ナル資本家ノ完全ナル奴隸トナリ居ルコトヲ諷刺セルモノナリ、此ノ劇ノ成功ニ刺戟セラレ全米各地ニ労働劇場カ勃興シ、通常ノ營利劇場ニ於テハ上演ノ見込ナカリシ共產主義宣傳劇カ多數執筆セラレ其ノ内優秀ニシテ成功スルモノハ普通劇場ニテ上演セラルルコトトナリ。

Paul Green

前記 Odets ノ劇ニ刺戟セラレテ間モナク「Hymn to the Rising Sun」ヲ著セリ、重罪犯監獄内ノ情景ヲ取扱セタルモノニシテ觀衆ニ對テ官憲並ニ對スル反抗氣分ヲ挑發スルチ目的トス。

Frances Farmer

「ワシントン」大學在學中蘇聯旅行ノ抽籤ニ當リ同地ニ旅行シ歸來後共產員トナリ本「リーグ」ノ援助ニ依リ映畫女優トナレリ。

Erwin Shaw 及 John Wexley

國民黨方共産軍討伐ヲ爲シテアリタル當時ノ支那ヲ取扱ハタル "Running Dogs" ナ著セリ。

Marc Blitzstein

"The Cradle Will Rock" ナ著セリ、鐵鋼業地帯ニ於ケル社會運動ヲ取扱ヒタルモノナリ。

Albert Maltz

"Private Hides" ナ著セリ、昔年ノ國防軍ノ兵士ガ「メトロライキ」暴動者ニ對シテ發砲命令ヲ拒否シ共産黨員トナル物語ナリ。

③ Federal Theatre Project

之ヲ成立ノ沿革ハ Federal Writers Project ト同様ニシテ「ルーズヴェルト」政府カ聯邦失業救済事業ヲ起スニ當リ演劇界ニ於ケル失業不分子ニ職ヲ與ヘ「ニュー・デール」宣傳ニ之ヲ利用セントスル意向ニ基クテ多シト謂ハル。然レ共、前出労働者文化聯盟及新劇聯盟ノ工作ニ依リ促進セラレタルハ明カナリ。

而シテ本「プロジェクト」ニハ文化聯盟及新劇場聯盟ノ成立並ニ育成ニ努力セル共産黨系幹部カ採用セラレ樞要ノ地位ヲ與ハラレタル者多數アリ。其ノ著名ナルハ J. Deeter; Mrs. Halie Flanagan; George Sklar; George Kondoloff; Elmer Rice; Philip Barber; Stephen Karnof; Al Saxe; Len Ward; Walter Hart; Morris Clarke; Tamaris; Ann Sokolow; Mordecai Gorelik; Morris Watson, 等ナリ。  
而シテ代表的役員ハ次ノ如シ。Mrs. Halie Flanagan (全國理事長) George Kondolf (總務主任) Bryan Roberts (ラヤオ部長)。就中本「プロジェクト」ニ共産主義化ニ重要ナル役割ヲ演シツツマハル Mrs. Flanagan ナリ。仍テ同人ニ付キ略説スヘシ。

Mrs. H. Flanagan (全國理事長)

前出労働者文化聯盟ノ元勳ニシテ本「プロジェクト」成立ト共ニ當時 W. P. A 長官、現商務長官 Harry Hopkins ノ推説ニ依リ大統領ニ依リ本「プロジェクト」ノ局長ニ任命セラレ更ニ本年初メ全國理事長ニ任命セラレタリ。  
「フナガハ」ハ一九二五年以來 Vasar College ニ於テ演劇講座ヲ擔當セルカ Guggenheim Foundation Scholarship ヲ受ケテ一九二六年ヨリ二七年ニ至リ歐洲各國(蘇聯ヲ含ム)ノ演劇事情ヲ觀察セリ。歸來後 "Sifting Scenes" ナル報告書ヲ出版セルカ二百八十頁中一四七頁ヲ蘇聯邦及其ノ劇場ノ讚美ニ費セリ。而シテ同書ニ於ケル蘇聯劇場論ハ體テ其ノ儘「フナガハ」セキター「プロジェクト」ノ指導精神トナリ居ルモノト認メラル。即チ同書ニ於テ「モスコウ・アート・セキター」監督 Meyerhold ノ言トシテ記録セラレ居ル「演劇ハ「パン」ニシテナル砂糖ノ衣ニハ非スシテ根柢ノ中ニ投セララルル酵母ナリ云々」ナル蘇聯ノ演劇政策ハ同女史カ一九二七年夏「ブキア」ニ於ケル「フナガハ」サマ・セツシヨニ於ケル閉會ノ辭ニ於テ「社會的重要性ヲ追求スルコトニ依リ我々ハ劇場ヲ「パン」ノ周囲ノ砂糖衣ニハ非スシテ「パン」其ノモノヲ發酵セシムル酵母トラシムルコトヲ得ハシ云々」ト述ヘ居ルニ依リテモ知リ得ヘシ。  
「フナガハ」女史ハ蘇聯ニ於テ革命演劇運動ノ重鎮 Meyerhold (本年五月頃「バーツ」セラレタリト評アリ)ニ師事シ其ノ左翼演劇ニ感化セラレ歸來後前記ノ報告書ヲ發表シタル次第ナリ。而シテ右報告書ハ同女史カ一九三八年下院「ゲイス」委員會ニ於テ陳述セルカ如ク單ナル蘇聯劇界ノ忠實ナル報告ニ止マラス又同時ニ同女史ノ劇ニ關スル意見ヲ表明セルモノナリ。而シテ右意見ニ基キ米國労働者演劇運動ヲ指導シ之ニ共産主義思想ヲ注入スルニ努メ來リタルカ本「フナガハ」セキター「プロジェクト」カ成立スルニ及ヒ之カ指導者ニ任命セラレタル次第ナリ。同女史ノ右經歷ハ本「プロジェクト」ニ共産主義的傾向並ニ共産黨乃至蘇聯トノ内面關係ヲ説明スル上ニ最モ雄辯ナリトセラル。  
要スルニ米國ニ於ケル労働者演劇運動並ニ「フナガハ」セキター「プロジェクト」ハ主トシテ同女史ヲ通シ「モスコウ・アート・セキター」ニ模倣シツツアリト謂フモ過言ニ非ス。而シテ同女史カ現在本「プロジェクト」ノ全國理事長トシテ同「プロジェクト」ノ目的使命ヲ説ク所ハ「モスコウ・アート・セキター」ノ目的並ニ社會觀ト符節ヲ合スルモノト稱セラル。  
尙右ノ外本「プロジェクト」ノ使用人ハ共産黨ノ支配スル「ワーカーズ・アライアンス」ニ加入シ之カ保護ヲ受クルト共ニ他面其ノ指揮命令ニ服從セシメツツアルコト、他ノ聯邦救済事業關係従業員ノ場合ト同様ナリ。現ニ本年六月六日下院「ゲイス」調査委員會ニ於テ會テ共産黨員トシテ「ワーカーズ」

アライアンス」役員タリシ C. H. White: Mrs. F. Dutz 及ヒ現在「フェデラル・セクター・プロジェクト」ノ監督ノ一人タル C. Walton ノ證言ニ徴スルモ「ワーカーズ・アライアンス」ハ共産黨ニ依リ支配セラレ、更ニ「ワーカーズ・アライアンス」ハ各種聯邦救済事業ヲ内部的ニ支配シツツアル趣ニテ大紐育市ニ於ケル救済事業ヘノ就職者ハ大部分「ワーカーズ・アライアンス」ノ手ヲ經ル趣ナリ、殊ニ「セクター・プロジェクト」ニ關シ其ノ傾向著シク使用人ノ九割ハ曾テ演劇ノ經驗ヲ有セスシテ W. A. ノ斡旋ニ依リ雇傭セラレタル趣ナリ。

而シテ約七九〇〇名ノ人員ヲ雇傭シ紐育、桑港、デンヴァー、費府、「ボストン」、「シアトル」、「ポートランド」、市俄古、「シンシナチ」、「クリーヴランド」、「ロスリン」、「バファロー」、「デトロイト」シラキユーズ、「マイアミ」、「マンチエスター」、「ボートランド」(「ミネソタ」州)、「ジャクソンヴィル」、「タンバ」、「ニューワーク」、「ニューオリンズ」ノ全米大都市ニ常設劇場ヲ有シ其ノ他巡回興業ヲ加フルトキハ全米ニテ毎日約五十ノ劇場ヲ開場シ居レリ。從テ其ノ影響ハ甚大ナリ。

然ルニ本議會ニ於テ一般的ニ聯邦救済事業ノ豫算削減殊ニ「フェデラル・セクター・プロジェクト」廢止ヲ議決セルタメ關係者、同情者(活動俳優「Fauliah Bankhead」ノ如シ。同人ノ父ハ下院議長、叔父ハ上院議員)、共産黨諸團體カ猛烈ナル復活運動ヲナシタルモ遂ニ成功セス、六月三十日限り閉鎖セラルコトナレリ。尤モ關係従業員ハ他ノ救済事業ニ吸收セララルカ或ハ演劇組合乃至興業主ノ金融ニ依リ獨立シテ興業ヲ續クルコトナル見込ナリ、兎モ角設立以來過去數年ニ亘リ公費ヲ以テ共産黨乃至蘇聯ノタメノ宣傳ヲ爲シツツアリタル本「プロジェクト」ハ遂ニ閉鎖セララルニ至リタルカ他面本「プロジェクト」ニ從業中左翼宣傳劇ノ教育ヲ受ケ且興業的ニ自信ヲ得タル多數左翼俳優ハ

今後獨立シ又ハ他ノ營利劇場ニ雇傭セラレテ宣傳工作ヲ續クルモノト認メラル。更ニ又「ワーカーズ・アライアンス」(失業労働者組合ニシテ聯邦救済事業關係従業員ニ對スル共産黨ノ工作機關ナリ)ハ其ノ加盟員カ所屬スル労働組合(主トシ C. I. O 系ナルモ A. F. L 系モ若干アリ)ヲ動員シ來議會ニ於テ本「セクター・プロジェクト」ノ復活運動ヲ試ミツツアリ。

第三、活動寫真關係

活動寫真關係トシテハ米國共産黨ノミナラス「コミンテルン」カ米國ニ於ケル宣傳手段トシテ活動寫真ニ重要性ヲ置キ蘇聯製「フィルム」ノ配給並ニ蘇聯防衛又ハ「ファシズム」攻撃ヲ主題トスル「フィルム」ノ製作ヲ指導援助スル目的ニテ當地ニ設立セラレタルモ職員投資等ノ關係上事實上ハ蘇聯ノ機關タル Ankin Corporation, Inc. 及ヒ之カ傍係會社タル Garrison Film Distributors, Inc. 等ニシテ、之ニ關シテハ茲ニ蘇聯乃至共産黨ノ宣傳「フィルム」製作ニ關聯スル共産黨ノ工作即チ活動俳優並ニ作家操縦シテハ等ニ付キ解説スヘシ。

現在共産黨ハ Screen Actors Guild (11 West 42nd Street, N.Y.C.) ノ内部的支配ニ依リ右目的ヲ遂行シツツアリ。

即チ本「ギルド」ハ大映畫會社殆ント全部ヲシテ百%「タローズド・ショッパ」ヲ受諾セシムルニ成功シタリ、斯クテ男女俳優ハ組合加入ヲ強制セララルコトナリ、從テ共産黨ノ支配スル組合規則ニ拘束セラレツツアリ、例ヘハ俳優ハ何レモ労働者ノ利益ニ反スルカ如キ「フィルム」ノ製作ニ從事スルコトヲ組合規則ニ依リ禁止セララルカ、右規則ハ更ニ「ファシズム」擁護ノ惧アル「フィルム」ニ付テモ適用セラレ、其ノ結果先般「ナチ」攻撃「フィルム」タル米國ニ於ケル獨逸「スバイ」ノ活動ヲ映畫化スル際關係俳優

優ハ「ナチ」突撃隊並ニ「ヒトラー」ノ役割ヲ演スルコトヲ好マツリシタメ之ヲ納得セシムルニ困難ヲ感シタル程ナリト謂ハル、又「ギルド」加盟ノ「ハリウッド」著名ノ俳優五十名ハ「ナチ」反對、共產主義的「デモクラシー」擁護ノタメ Declaration of Democratic Independence ナル宣言ニ署名シ之ヲ全米ニ撒布シ「ナチ」及樞軸諸國ノ進行ヲ阻止スルタメ右宣言ニ全米ニテ二千萬人ノ署名ヲ集ムルニ努メタリ、(本年春ノコトナリ)尤モ右署名者中真ノ共產黨員ハ少数ナルコト勿論ニシテ大部分ハ共產黨ノタメニ利用セララルルニ過キス、著名ナル關係俳優ハ左ノ如シ Joan Crawford; Myrna Loy; Pat O'Brien; Rosemary Lane; Joan Bennett; Ann Sheridan; Paul Muni (共產黨員); Rosalind Russell; James Cagney; Fay Bainter; Priscilla Lane; Miriam Hopkins; Claude Rains; Bette Davis; Groucho Marx; Alice Faye; Ben Hecht; Jack and Harry Warner; Roland Young; John Ford; Frank Tuttle; Nunnally Johnson (共產黨員); Ira Gershwin; Dick Powell; Frances Farmer (共產黨員); Melvyn Douglas; Edward G. Robinson

然レ共活動寫眞ニ依ル共產主義宣傳ニ對スル重大ナル障害ハ多数ノ州ニ於ケル「フィルム」ノ檢閲制度ナリ。檢閲局ノ職員中ニハ「キリスト」教ノ立場ヨリ共產主義絕對反對ナルモノ多数アリテ監視ノ目ヲ張リツツアリト謂ハル、仍テ「フィルム」ニ於ケル共產主義ノ宣傳ハ極メテ巧妙ニ「カムフラージ」セラ見レ其ノ結果一般大衆ハ不知不識ノ間ニ反「ナチ」、全體主義國家ニ對スル共同干渉等共產黨ノ主張ニ感化セラレツツアリ。

尙一九三六年 Samuel Boedenstein ナル者共產黨宣傳部長「ハザウー」ノ代表者トシテ活動寫眞關係工作ヲ命ゼラレ現ニ「ハリウッド」ニ於テ俳優、監督、作家間ヲ工作シ十本ニ一本ハ必ラス宣傳的「フィルム」ノ製作ニ成功シツツアリト謂ハル。

尙、共產黨ノ活動寫眞ニ依ル宣傳工作ニ付テハ「フィルム」會社圖書ヲ併セ盡照

尙活動寫眞ニ對スル共產黨ノ支配ハ別項左翼作家團體ト密接ナル聯絡ノ下ニ行ハレツツアリ、右ハ一九三九年六月初旬紐育市ニ於テ開催セラレタル米國作家聯盟、(「リーグ・オブ・アメリカン・ライターズ」)ノ第三回會議ニ於ケル活動寫眞筋書問題ノ關係者會議ニ於ケル D. O. Stewart ノ演說ニヨリテモ明カナリ、即チ「教育」ノ手段トシテ活動寫眞ヲ把握スルコトハ作家ノ任務ナリト謂ヘルカ同人ノ「教育」トハ「反「ナチ」、共產主義的「デモクラシー」ノ宣傳」ニ在ルコト勿論ニシテ斯カル所謂教育的「フィルム」トシテ「Confessions of a Nazi Spy」、"Blockade (西班牙共產黨政府ノ宣傳)"、"Marie Antoinette (蘇聯製ノ「フィルム」タル「New Gulliver」同様王室ヲ嘲笑セルモノ)"、等ヲ意味ス、更ニ同人ハ「ハリウッド」ニ於ケル進歩的團體(例ヘン Hollywood Anti-Nazi League ノ如シ)ノ重要性ハ作家、俳優及監督カ映畫中ニ自己ノ希望スル「メッセージ」ヲ自由ニ含マシメ得ルト共ニ、映畫ヲ反動目的ノタメ又ハ反動團體ニ依リ利用セララルルコトヲ防止シ得ルニ在リト謂ヘルニ徴スルモ作家カ活動寫眞ヲ如何ニ重要視シ且之ヲ宣傳ノ具ニ利用シツツアリヤ知リ得ヘシ。

前記 Hollywood anti-Nazi League ハ共產黨外廓團體ニシテ會員約六千名、内二百五十名ハ「リーグ・オブ・アメリカン・ライターズ」會員ニシテ「ハリウッド」ニ於テ活動寫眞並ニ「ラヂオ」放送用ノ宣傳的筋書ノ作成ニ専念シツツアル趣ナリ。

第四、「ラヂオ」關係  
 (一) 共產黨ノ利用シツツアル「ラヂオ」網



米國共產黨ハ早ク「ラヂオ」ヲ通シ共產主義宣傳ヲナシ來タレリ。  
 National Broadcasting Co. (共「コナル・ブロードキャスティング」ハ七十六放送局「レッド・ネットワーク」ハ六十放送局ナリ)。  
 Columbia Broadcasting System (八十放送局ナリ) Canadian Broadcasting System (連絡ス) Mutual Network (主要放送局 WOR ナン六十ノ放送局ナリ) W. O. R. ニューヨーク及紐育ニ放送施設ナリ「ニーターク」ノ施設ハ Banaberger (デパートメント・ストア) 又紐育ノ施設ハ Macy 及 H. G. S. (デパートメント・ストア) 之ヲ所有ス。ノ四大全米的「ラヂオ」網ハ赤化宣傳ニハ比較的警戒シ居ルハ事實ナルカ猶「ニース」解説者、諷刺家、講演者等ハ所謂共產黨ノ「メッセージ」ヲ密ニ挿入スルニ成功シツツアリ、然レ共、共產黨カ宣傳ニ利用シツツアルハ小規模ノ獨立放送局ナリ。然レ共比較的大規模ノモノニシテ特ニ共產黨ノ具トシテ利用セラレツツアルハ紐育市ノ放送局 WNYC ナリ。  
 WNYC ハ共產黨員ヨリ、「民衆ノ放送局」ト稱セラレツツアリ、紐育市營ニシテ勿論營利目的ヲ有セズ、其ノ經營方針ハ文化及教育ノ増進ニ在リ、而シテ文化的方面ニ於ケル主タル活動ハ音樂ノ放送ナリ、教育方面ニ於テハ共產主義乃至左翼思想旺ンナル「ハンター」女子大學、紐育市立大學(學生ノ七割ハ猶太系)、私立紐育大學(共產黨外廓團體タル「ナシヨナル・スチュデント・ユニオン」ノ温床)ノ援助ヲ受ケツツアリ。  
 Morris Novik カ放送局長ニ任命セラレテ以來 WNYC ハ益々所謂「Progressive Front」的「プログラム」ヲ採用スルニ至レリ、(同人ハ常勤放送局トシテ知ラルル WEVD ノ「プログラム」主任ヨリ抜擢セラレタルナリ) 例ハ市政ニ關スル從來ノ「プログラム」ノ如キハ之ヲ削除シ之ニ代フルニ社會主義ノ功罪ニ關スル大學々生ノ討論ヲ以テセリ、蘇聯「インテリ」ノ旅行宣傳放送ヲ認メタルモ同人ナリ。

共產主義者ハ本放送局ヲ極度ニ利用シツツアル處然モ無料優秀ナル音樂放送ノ故ヲ以テ聽衆ヲ確保シツツアリ、共產黨ハ本放送局ヲ以テ資本主義的獨占ヨリ「ラヂオ」ヲ奪取シ之ヲ大衆ノ共有物タラシムル企圖ヲ試験臺ニ利用シツツアリト思ハルカ實ニ彼等ハ「空園」ノ「ソヴェト」化、即チ一切ノ「ラヂオ」ノ施設ヲ蘇聯宣傳ニ開放スルコトヲ終局ノ目的トシ居リ、斯クテ始メテ「ラヂオ」カ教育、文化及自由ノ助成機關トシテ最大能力ヲ發揮シ得ルコトヲ主張シツツアリ。  
 右事情ニ鑑ミ紐育市會ハ再三互リ共產主義的放送「プログラム」ノ審査ヲ要求セリ。就中當地蘇聯旅行案内所「インテリ」ノ放送ハ單ナル旅行案内ニ止マラス共產主義宣傳ノ事實餘リニ明瞭ナルカメ反共並ニ愛國團體ヨリノ反對猛烈ヲ極メ遂ニ之カ放送ヲ停止セリ。仍テ「インテリ」ハ現在毎水曜日午後九時半ヨリ十五分 WXXR (紐育市 Bengdorf-Goodman 「デパートメント・ストア」カ主トシテ所有シテシト謂ハル。斯クテ「インテリ」ノ放送ハ同局ヲ通シ「メー」州ヨリ「アラスカ」ニ互リ二百三十五局ニ依リ伸張セラレツツアリ。而シテ「インテリ」ノ「プログラム」ハ「インテリ」ノ「ビューロー」ニテ立案「レコード」ニ納メタル上 Travel Club (Chebides Publishing House, West 14th Street, New York City) ニ依リ經營セラレ世界旅行案内月刊ヲ發行ス。ヲ通シ無料ニテ配給セラレツツアリ。  
 右ノ外共產黨外廓各種機關ニシテ主トシテ WNYC 局ヲ通シ「ファッシュ」反對ノ宣傳ニ「ラヂオ」ヲ使用シ居ルモノハ極メテ多シ、例ハ「演劇關係」部ニテ説明セル Theatre Arts Committee ノ如キハ其ノ著例ナリ。又表面共產黨トノ關係ヲ否認シ居ルモ其ノ活動ヨリ見テ外廓機關タルコト明瞭ナル「アメリカン・リーグ・フォー・ピース・アンド・デモクラシー」ハ十回連續ノ「ファッシュ」攻撃ノ「ラヂオ」劇ヲ

放送セリ。本年ニ入り同「リーグ」ハ七回「ラデオ」劇ノ放送ヲナセリ。又之ヲ「レコード」ニ收メテ全米各地ノ小「ステーション」ヨリ無料放送ニ使用スルノ外共産黨支部ノ會合又ハC・I・O勞働組合ノ「クラブ」等ニ於テ之ヲ利用シツツアリ。單ニ共産主義ノ宣傳ノミナラス後述スルカ如ク「ピケント」、「ボイコット」運動等ニ勞働者ヲ糾合スル上ニ「ラデオ」ノ大ナル效用ヲ見出シタル爲共産黨並ニ其ノ外廓機關ハ各重要工業都市ニ勞働組合専用放送局ヲ設置シ、又ハ既存ノ放送局ヲシテ勞働者ノ聲ヲ代辯セシムルニ努メツツアリ。此ノ種放送局ハ勿論小規模ノモノニシテ一般「ラデオ」愛好者ハ容易ニ之ヲ採リ當ツルコトヲ得サル趣ナリ。紐育市ニ於ケル此ノ種放送局ハNEVD (W. Eugene V. Debs) ナリ。又WB NX 及市ノ放送局 WNYC 等ハ一切ノ便宜ヲ與ヘツツアリ。其ノ他勞働放送局ハ「ホストン」、「ボツバグ」、「チャールズトン」、「サツアナ」、「ニューオールリンス」、「桑港」、「ボートランド」、沙市、市俄古、「セント・ルイス」、「デンツァー」、「ダラス」、「フォート・ワース」等ニ在リ。

(二) 共産黨ノ「ラデオ」操縦工作  
 共産黨カ「ラデオ」操縦上最モ努力シ居ルハ「ラデオ」關係作家ノ組合化ナリ。而シテ途ニ Radio Writers Guild of the Authors League of America, Inc. 6 East 39th Street, N.Y.C. 組織ニ成功セリ。C・I・O系組合、「オーサーズ・リーグ・オブ・アメリカ」ノ「部門」ニシテ會員數一七〇餘名ナリ。本「ギルド」ハ最近左ノ三ヶ條ノ綱領ヲ公表セリ。(イ) 作家ヲ保護シ且勞働組合ノ利益ヲ與フルコト。(ロ) 「ラデオ」作家ニ對シ權利意識ト自負心ヲ有スヘキ作家タル自覺ヲ與フルコト。(ハ) 放送局幹部ニ對シ「ラデオ」作品ハ文學ニシテ説教ニ非サルコトヲ了解セシムルコト。  
 要之本「ギルド」ハ「ラデオ」作家ヲ糾合シ放送「プログラム」ニ最大限度迄「社會的意義 Social Signifi-

cacaヲ注入セシメ且放送局幹部ニ對シ放送原稿ニ干渉セシメサルタメ組織セラレタルモノニシテ、今ヤ「フリー・ランサー」ハ本「ギルド」ニ加盟スルコトヲ餘儀ナクセラレツツアリ。又本「ギルド」ニ加入セル「ラデオ」作家ニ對シテハ共産黨經營ノ「ワーカース・スタイル」ニ於テ劇ニ依リ宣傳的「メッセ」ジヲ傳ヘ且出來得ル限り之ヲ「カムフラージュ」スル方法ニ關スル講座ニ出席スル便宜ヲ與ヘ居レリ。共産主義的「ラデオ」作家ノ主要ナルハ Arsh Oboler ナリ、最近「ラデオ・ドラマ」ヲ書キ下シ六月十日ヨリ十三週間ニ亙リ N.B.C. ノ「レッド・ネット」ヲ通シ放送セララルコトナレリ。右ニ關シ六月十一日附「サンデー・ワーカー」紙ハ之ヲ激賞宣傳シツツアリ。Oboler ハ市俄古大學卒業後「ラデオ」劇ニ興味ヲ抱キ其ノ最初ノ作品「Rich Kid」カ「ラデオ」興行者 Rudy Vallee ニ依リ Freddie Bartholomewヲ主役トシテ演出成功シテ以來有名トナレリ。後「ハリウッド」ニ赴キ「ラデオ」筋書並ニ活動寫眞筋書者トシテ左翼作家ノ間ニ有名トナレリ。同人ノ作品ヲ好ンデ賞演シツツアル俳優ニハ Joan Crawford; Walter Huston; Edward Robinson; Don Ameche; Maurice Evans; Henry Fonda; Brian Aherne; Bette Davis 等アリ、尤モ之等俳優全部カ左翼宣傳劇ナルコトヲ意識シテ協力シツツアリト謂ヒ得サルハ勿論ナリ。  
 尙本年六月初ノ「リーグ」オブ・アメリカカン、ライターズ「第三回會議」ニ於ケル「ラデオ」作家討議會ニ於テ Oboler ハ自己ノ作品ノ放送用「レコード」ヲ使用シ、「ラデオ」作家ノ活動ノ餘地大ナルコトヲ説明セリト謂ハル、尙其ノ際 Phil Cohen (聯邦交通委員會「ラデオ」關係職員) Evan Roberts (「フニテラル」セクター「プロシット」ノ「ラデオ」部職員) モ討議ニ參加セリト謂ハル、而シテ右討議ニ關聯シ「デリー、ワーカー」紙ハ Oboler ノ實績ニ徵スルモ「ラデオ」作家ハ如何ニ大ナル役割ヲ演シ得ヘキガヲ知ルヘク、更ニ活動寫眞

界ニ於ケル "Juarez"、劇界ニ於ケル "Abe Lincoln in Illinois"ノ如キ左翼宣傳作品ノ絶大ノ好評ニ鑑ミ最近ハ一般廣告業者モ此ノ種左翼「ラデオ」劇ヲ廣告ニ使用スル傾向顯ハレ來タレリ、云々ト論シ居レリ、更ニ作家ノ外「ラデオ」關係技術者 American Communications Ass'n. (10 Broadway, N.Y.C.)モ組合ニ組織セラレタリ、會員數八千名ナリ、而シテ技術者ハ共産黨ノ立場ヨリ放送「プログラム」ノ内容ニ干渉スルニ至レリ、例ヘハ本年五月 M.B.C.ノ華府放送局ニ使用セラレ居ル音響技術者ハ上院議員「ナイ」ノ放送演説ヲ獨伊日等全體主義ヲ辯護シ、親米の干渉主義ヲ攻撃セルヲ以テ故意ニ雑音ヲ混入シ右演説ヲ妨害セリ、而シテ右ハ天候ノ關係ナリト説明セルカ「ナイ」議員ハ當時ノ天候及他ノ放送局ノ實情ヲ調査セル結果右ハ明カニ故意ノ妨害ニ基クモノナリト確信ノ下ニ主務官廳タル聯邦交通委員會ニ對シ審査ヲ要求セリ、但シ右調査ノ結果妨害ノ事實明瞭トナリ當該技術者カ解雇セラレコトナラハ「ラデオ」關係技術者組合又ハ更ニ作家組合モ共同シテ一般的「ストライキ」ヲ以テ應酬スルコトトナルヘク關係當局モ慎重ナラサルヲ得サル次第ナリ、是レ本組合カ事實上強制的ニ組織セラレテ以來ノ傾向ニシテ且共産黨カ之カ組織ヲ企テタルモ此ノ種效果ヲ狙ヒタルカ爲ナルコト勿論ナリ、又「ラデオ」作家及技術者以外「アナウンサー」其ノ他事務職員ハ C.I.O系ノ United Office Workers Radio Divisionニ組織セラレ居レリ、更ニ共産黨ハ「ラデオ」無料使用ノ便宜ヲ與ヘラレ、「ブラウダー」ヲ始メ黨ノ幹部ハ民主黨、共和黨領袖同様放送ノ自由ヲ與ヘラレツアルノミナラス更ニ労働「ストライキ」ノ場合ニハ「ラデオ」ヲ通シ組合側ノ立場ヲ有利ニ宣傳シ又ハ労働組合員ニ對スル行動ノ指令ヲ與ヘタルコトアリ、例ヘハ一九三六年二月「オハイオ」州「アクロン」ニ於ケル Goodyear Rubber Co.ノ「ストライキ」、又一九三五年十月二十九日ヨリ三六年二月四日迄九十九日間

ニ亘ル太平洋沿岸海員組合大「ストライキ」ノ場合ノ如シ、特ニ後者ノ場合ニ於テハ C.I.Oハ「ラデオ」ニ依リ一般大衆ニ訴フルト共ニ海員關係以外ノ労働組合ヲも煽動シ海員關係者三萬七千名ノ外全太平洋岸ニ亘リ罐詰工場、農場及木材等ノ労働者數千名ヲ之ニ捲込ムニ成功セリ、共産黨ハ又「ラデオ」カ反共、反「デモクラシー」團體ニ依リ利用セラレルコトニハ一切ノ反對ヲナシツツアリ、特ニ電報、手紙又ハ「ビケット」等ニ依リ關係放送局ヲ威嚇シ遂ニ此ノ種「プログラム」ヲ「ドロップ」スルニ成功セシメツツアリ、神父「カフリン」ノ日曜放送カ共産黨、猶太人團體等ヨリノ反對妨害ニ依リ轉々トシテ放送局ヲ變ヘサルヲ得サルカ如キハ其ノ著例ナリ。

(三) 「フェデラル・セクター・プロジェクト」ノ「ラデオ」部

聯邦救濟事業ノ一タル演劇「プロジェクト」ニハ「ラデオ」放送部アリ、主トシテ紐育市放送局タル WNYCヲ通シ「ラデオ」放送ヲナシ多ナル宣傳效果ヲ擧ケツツアリタリ。同「プロジェクト」ノ「ラデオ」部全米ノ主任ハ Evan Roberts ナリ。然レ共本年六月三十日「セクター・プロジェクト」閉鎖ト共ニ「ラデオ」部ノ職員ハ「フェデラル・ミュージック・プロジェクト」又ハ「フェデラル・ライターズ・プロジェクト」ニ移管セラレルコトナレリ。

第五、美術ニ對スル共産黨ノ工作

「リーグ・オブ・アメリカン・ライターズ」ノ設立後共産黨ノ工作ニ依リ畫家及彫刻家ノタメ American Artists Congress, Inc. (100 West 13th Street, New York City)カ設置セラレタリ、而シテ右設立ヲ首唱セル藝術家一〇七名中ニハ左記ノ如キ共産黨系出版物ニ諷刺畫、挿畫、寫眞等ノ寄稿者アリ、 Art Young; William Siegel; W. Gropper; Hugo Gallert; Russel Limbach; G. Picken; Joe Jones;

Arnold Blanch; Gilbert Roche; Jacob Burek; Anton Befreier; Rafael Soyfer; Nicolai Cikovsky; Mabel Dwight; Adolph Dehn; Mitchell Siporin; Peter Blume; Margaret Bourke-White; 石垣榮太郎等。

初代ノ會長ニハ Stuart Davis カ選舉セラレタリ、共産黨ハ右「コングレス」ノ設立ニハ工作セルモ失業藝術家ノタメノ政府救済事業 Federal Arts Project ハ共産黨ノ別段ノ工作ヲ待タスシテ開設セラレタリ、即チ政府ハ「リーグ・オブ・アメリカン・ライターズ」等共産黨系ノ壓迫ニ依リ文筆失業者救済事業開始ト同時ニ藝術家ノ救済事業ヲ起シ「モーターズ Federal Arts Project 創設ノ際ニハ Federal Writers Project, Federal Music Project, Federal Historical Records Survey Project ノ外 Federal Arts Project ヲ含ミタルヲ以テナリ。

斯クシテ政府ハ失業藝術家ニ對シ仕事ヲ與フルコトニ依リ、更ニ共産黨ノタメ宣傳機關ヲ供スルコトトナレリ、即チ共産黨ハ聯邦救済事業ニ使用セララルル藝術家ヲモ「アメリカン・アーティスト・コングレス」ニ加入セシメ、右「コングレス」ヲ通シ政府事業關係藝術家ノ作品ヲ共産化シツツアリ、例ヘハ職ヲ待チツツアル空手ノ労働者又ハ棉花地帯ニ於ケル小作人ノ肖像畫等カ最モ屢々選ハラルル畫題ナリ。「フニデラル・アート・プロジェクト」ハ屢々聯邦又ハ公共建造物ノ壁畫作成ノ仕事ヲ與ヘラレタルカ多クハ惡趣味ノ宣傳繪畫ニシテ物議ヲ醸シツツアリ、其ノ有名ナルハ Museum of Modern Art; Coit Memorial Tower; Abraham Lincoln High School; Rikers Island Penitentiary; Department of the Interior Bldg., WPA World's Fair Bldg. Rockefeller Center Building 等ナリ。

然レ共「ロックフラー・センター」ニ關シ共産黨ハ宣傳的壁畫ノ作成ニ失敗セリ、其ノ経緯ハ會テ初代ノ「ロックフラー」カ墨國人壁畫家 Diego Rivera (「トロッキー」ノ友人) ヲ備ヒ壁畫ヲ畫カシメタル處極端ナル革命場面ヲ畫キタルヲ以テ之ヲ撤回セシメタルコトアルカ、當主「ジョン・デー・ロックフラー」カ本「プロジェクト」ニ更ニ壁畫ノ仕事ヲ與ヘタリ、共産黨分子ハ此ノ機ヲ逸セス會テ「リヴ・ワー」カ失敗セル宣傳畫ヲ作成セント試ミタルモ「ロックフラー」ノ檢閲嚴重ヲ極メタルタメ右計畫ヲ斷念セサルヲ得サルニ至レリト謂ハル、又前記「アブラハム・リンカーン・ハイスクール」ノ壁畫中極端ナル部分ハ一般ノ抗議ニ依リ削除セラレタル趣ナリ。

然レ共前記内務省新廳舎ノ壁畫ハ共産黨ト雖モ満足スルカ如キ宣傳作品タル趣ナルカ之カ作成ノ任ヲ與ヘラレタルハ William Gropper ナリ、同人ハ共産黨系畫家ノ第一人者ニシテ「デューラー・ワーカー」紙ノ諷刺畫家ナリ。

又前記紐育博覽會ニ於ケル WPA 館ハ本「プロジェクト」ノ作品ヲ以テ埋メラレ居レリ、而シテ其主題ハ大體何レモ「ニュー・デール」殊ニ WPA ノ宣傳ナリ、即チ多數ノ失業者カ WPA ニ依リ饑餓ヲ免カレツツアルコトヲ強調シツツアリ、尙 WPA 館内ニハ右ノ外 Eric Mose ノ資本主義制度ヲ非難セル大型壁畫アリ、空屋トナレル工場ノ外ニ一人ノ労働者カ空手ヲ膝ニ置キテ坐リ居リ、其ノ背景ニハ彼ノ妻子ノ憐レナ姿ヲ畫キ出シ居レリ。

又本「プロジェクト」ハ「フニデラル・ライターズ・プロジェクト」ノ著作物ノ挿繪、「フニデラル・セヤター・プロジェクト」ノ舞臺裝飾及其ノ興行物ノ廣告「ポスター」等ノ仕事ヲナシツツアリ。本「プロジェクト」ニハ畫家ノ彫刻家モ雇備セラレ居ルカ其ノ數並ニ宣傳價值少ナシ、然レ共其ノ宣傳的彫刻作品ハ學校、圖書館、大學等ニ飾ラレ居レリ、又「アブラハム・リンカーン」ノ醜惡ナル大型

彫刻品カ紐育萬博場内ニ飾ラレタルモ一般市民ノ抗議ニ依リ共產黨系ノ反駁的抗議ニ拘ハラス博覽會當局ハ之ヲ撤回スルノ餘儀ナキニ至リタル経緯アリ。

現在約二千名餘ノ所謂美術家ナルモノカ本「プロジェクト」ニ雇傭セラレ居ル處其中ニハ全然美術ニハ無經驗ナリシモノ多數アル趣ニテ之等カ政府ノ費用ニテ始メテ繪畫彫刻等ヲ製作スル次第故未熟ナル技術ヲ「カムフラージ」スルタメニ觀念的作品ニ趨リ、概シテ其ノ作品ハ見ルニ堪エサルモノナル趣ナリ、而モ之等カW.P.A主催ノ美術展覽會ヲ催シ他ノ真劍ナル藝術至上主義者ノ作品展覽會ヲ資本主義ノ走狗トシテ非難シツツアリ。其ノ顯著ナル例ハ一九三七年紐育市「グリニチ・グイレッヂ」ノ貧困ナルモ獨立心強キ美術家カ「ワシントン・スタニア」ニ於テ街頭展覽會ヲ催セル際之ヲ「ビケット」シ其ノ作品ヲ毀損セル事件ナリ。

本「プロジェクト」ノ事業中ニハ更ニ室内裝飾アリ、紐育市 30 Bush Street, Brooklynニ於テハ室内裝飾班カ共產黨ノ外廓團體タル「Tenants Union」ト協力シ、紐育市管「アパートメント」約二千五百ノ室内裝飾ヲナシツツアリ、紐育市ニ於ケル他ノ一班ハ「William Housing Unit, Graham Avenue, Brooklyn」ニ於テ客年十月ヨリ作業シ居リ、且「Hand Book for Tenants」ヲ發行シ聯邦救濟事業關係労働者カ政府又ハ市ノ經營ノ住宅ヲ與ヘラレタル場合之ヲ如何ニ裝飾スヘキヤノ指針ヲ與ヘツツアリ。

最後ニ本「プロジェクト」ノ事業トシテ美術展覽會アリ、全米ニ互リ展覽會ヲ催シ本「プロジェクト」關係者ノ宣傳的作品ヲ展示シ且美術ノ講義ヲ行フ、右講義ハ共產主義宣傳、「フアシズム」攻撃ノ好機會タルコト當然ナリ。

本「プロジェクト」ノ主要職員ハ左ノ如シ。

Holger Cahill (全國理事長); Audrey McMahon (全國副理事長); John Benson (蘇聯建築部監督); Burgoine Diller (蘇聯班主任); Elizabeth Constrap (展覽會班主任)

右職員ハ何レモ共產黨ナリトノ確證ハナキモ「プロジェクト」内ニ於ケル共産分子ノ庇護ニ努メツツアル事實ニ鑑ミ共產黨ノ手先乃至之カ「シンパサイザー」ト謂フコトヲ得ヘシ、尙第七六議會第一會期中 W.P.A.豫算削減セラレタルタメ、他ノ「フェデラル・プロジェクト」ト共ニ「フェデラル・アート・プロジェクト」モ事實縮少ノ危険ニ陥リ關係者及共產黨ハ之レカ防止ニ必死ノ運動ヲ續ケ現状ヲ維持シ得ルコトトナレリ。

### 第六、音樂關係

#### (一) 概説

共產主義者ハ音樂ト雖モ之ヲ宣傳ノ具ニ利用セント努メツツアリ、現ニ蘇聯ニ於ケル Massolov, Shostakovich, Mayhuss, 佛蘭西ノ Honeggerノ如キ作曲家、所謂左翼音樂家ナルモノハ創作ニ成功セリト謂ハル。

米國ニ於ケル左翼音樂家ハ右蘇聯ノ音樂ヲ模倣シ左翼音樂ノ創作ヲ試ミツツアルモ「シアズ」ニ對シ商業的ニ競争シ得サルコト勿論ナルヲ以テ此ノ種作曲家ハ何レモ後出「フェデラル・ミュージック・プロジェクト」ニ雇傭セラレ政府ノ費用ニ於テ之ヲ試ミツツアル外未タ成功ヲ收メ得サル状態ニ在リ。

尙當國ニ於ケル左翼音樂家トシテ有名ナルハ黑人 Paul Robeson ナリ。同人ハ大部分蘇聯ニテ生活シ白系露人ト結婚シ唯偶々「コンサート」興行ノタメニ米國ニ歸リツツアリ、從テ同人ハ米國左翼音樂界

ト蘇聯トノ聯絡員ノ役割ヲ努メツツアリト謂ハル。

(一) Federal Music Project

Mr. Mayforth (前任者 Nicolai Sokoloff 辭職後全國理事長代理タリ)、Horace Johnson (親育市支部ノ理事メリ) 音樂「プロジェクト」ハ文化的聯邦救濟事業中共産黨ノ宣傳カ最モ困難且效果渺キモノナリ。

一九三五年創設以來現在迄四年間二一八四名ノ作曲家カ二一五四篇ヲ作曲セリ、其ノ曲ハ概シテ蘇聯ノ音樂ニ倣ヒ「社會的意義」アル「テーマ」例ヘバ米國獨立戰爭、南北戰爭ノ愛國者、「アンクル・サム」禮讚等ヲ選ビ居レリ。

然レ共文學、劇場、繪畫等ノ場合ト異リ、音樂ノ分野ニ於ケル共産黨ノ宣傳ハ技術上未タ殆ント問題トナリ居ラサル趣ナリ。

而シテ本「プロジェクト」ニ養ハレ居ル多數ノ失業音樂家ハ殆ント無數「コンサート」、「オートケストラ」ヲ催シ大衆ヲ慰メ又ハ WNYC 通シテ放送シ數百萬ノ貧者、子供、老兵等ニ音樂鑑賞ノ機會ヲ與ヘツツアリ、更ニ又「ラヂオ」ヲ通シ多數ノ同好者ニ音樂教授ヲモナシツツアリ。

第七項 教育部 (Education Department)

第一、概 説

教育部ハ「フラクション」部及啓蒙宣傳部ト共ニ黨内ノ三大主要部トシテ知ラレ其ノ活動範圍ハ極メテ廣汎ニ互ルモノニシテ共産黨本部内教育部關係職員ハ「ワーカーズ・スクール」ノ従業員ヲモ併セテ約三十名ノ常雇員及多數ノ臨時雇員ヲ擁シ居レリ。

共産主義ノ理論及工作ニ關シ一般黨員ノ指導教育及一般文化及教育施設ヲ通シテ共産主義乃至共産黨

ノ内政外交上ノ方策、綱領ノ宣傳ヲ主要任務トス、而シテ右任務遂行ノため、左ノ如キ工作ヲナシツツアリ。

- (1)、「ワーカーズ・スクール」及「ワーカーズ・クラス」ノ經營、(2)、外國語「ビューロー」及「クラブ」ノ經營 (第八項外國語「ビューロー」參照)、(3)、「ワーカーズ・ブックショップ」ノ經營、(4)、大學専門學校内ニ於ケル赤化運動、(5)、中等學校及實業學校内ニ於ケル「ヤング・コミュニスト・リーグ」ノ工作援助。

第二、構 成

一、概 説

諮問補佐機關トシテ教育委員會 (Educational Committee) アルモ教育ノ仕事ハ餘リニモ廣汎ニ互リ、部長一人ニテハ採配ニ困難ヲ感スルタメ部長ト並ンテ更ニ二名ノ領袖ヲ置キ左ノ如ク分擔統轄セシメツツアリ。

- (1) 中等學校大學及専門學校内ノ工作 (Israel Anter 之ヲ司ル)
- (2) 英語ヲ解セサル外國生ニ對スル外國語ニ依ル工作 (M. J. Ogin 之ヲ司ル) (第八項外國語「ビューロー」參照)

- (3) 右以外ノ教育部ノ活動 (部長 Alexander Bittelman 之ヲ司ル) 而シテ「ワーカーズ・スクール」、「ワーカーズ・ライヴ・イラリ」等其ノ一部ナリ。

二、教育委員會

本名義ノ委員會ハ黨本部ノ外各區各州及各市ノ支部ニモ存在ス、但シ多クノ場合區支部書記カ委員會ノ事務ヲ處理ス、但シ委員會長ハ男女ニ拘ラス學校教師、教授若ハ同様ノ地位ニ在ルモノヲ當テ居レリ。

委員會ハ當該地域内ニ於ケル黨員ト當ニ密接ナル聯絡ヲ保チ黨員ニ對シ共產主義文獻研究ノ指導援助ヲナシ、若シ黨員カ英語ヲ解セサル場合ニハ之等黨員間ニ語學「クラブ」或ハ語學「グループ」ヲ組織シ黨員各自ノ母國語ニ依ル文獻ヲ與フルモノトス、而シテ之等文獻ハ外國「ビュロー」ノ援助ヲ受ケテ教育部本部ニテ編纂スルモノトス。  
右ノ外學校内ノ共產主義ノ傳播ヲ擔任スル「ヤング・コミニスト・リーグ」委員等ト連絡シ學生ノ赤化機關タル學生「クラブ」或ハ學生「グループ」等ノ團體ヲ指導援助スルモノナリ。

三、教育部主要人物

(一) 教育部本部及主要工作機關ノ幹部

- Alexander Bittelman (教育部長、「ワーカーズ・スクール」ワーカーズ・ブククシヨナル其ノ他ノ教育部ノ活動事業ノ全國的總指揮者ナリ、米國共產黨全國委員會委員、米國共產運動主要人物十數名中ノ一人ナリ)
- Dr. Abraham Markoff (ワーカーズ・スクール全國監督、米國共產黨全國委員會委員、教育部長「ビッテルマン」ノ主要補佐ニシテ全米ニ於ケルワーカーズ・スクールヲ監督シテ擔當ス)  
(註) 同人ハ痼疾不可侵條約締結直後八月二十九日心臓痙攣ニテ紐育市一停車場ノ「プラットフォーム」ニテ死亡セリ)
- William Wessel (ワーカーズ・スクール教師)
- Ethel Smith (ワーカーズ・スクール全國監督代理、尙過去ニ於テ左ノ如キ經歷ヲ有ス National Women's Trade Union League 立法部書記、La Follette-Wheeler Campaign Committee 委員、League of Women's Voters 委員、National Consumers League 委員、Conference for Progressive Political Action 全國執行委員會委員)
- Sadie Van Veen (婦人教育家、詳細ハ黨婦人部參照)
- Grace Hutchins (ワーカーズ・スクール諮問委員會、International Labor Defense 會計主任、詳細ハ黨婦人部參照)

Paul Coslov (「ヤンタスマン」秘書)

Lawrence Ryan (視察官、本人物ノ眞疑不明ナリ)

(二) 外國語「ビュロー」關係主要人物

第八項外國語「ビュロー」ノ部ニテ述フヘシ。

(三) 一般學校内ニ於ケル工作ノ主要人物

- Israel Antler (主任、共產黨紐育州部長、米國共產黨全國執行委員會委員、過去ニ於テ左ノ如キ經歷ヲ有リ、一九三三年ヨリ四年迄第三「インターナショナル」執行委員會委員、同人著「マンフレット」ハ蘇聯ニ於テ發行セラレタリ、共產系 Unemployed Council 全國書記長、一九三〇年入獄、League of Struggle for Negro Rights 會員)
- David Lurie (「アマター」補佐ニシテ「ワーカーズ・スクール」教師)

(四) 其ノ他ノ主要人物

- A. B. Magill (教育部關係出版物ニ關スル一般補佐、「ワーカーズ・スクール」教師、文章家ニシテ「ニュー・ワーク」誌編輯員、過去ニ於テ左ノ如キ經歷ヲ有リ、「インターナショナル・マンフレット」執筆家、「シヨック・ワード」編輯員、一九三〇年 International Revolutionary Writers 會議ニ米國代表トシテ出席ス、「International Literature」寄稿家、Revolutionary Writers Federation 會員、一九三二年「Soviet Russia Today」囑託執筆家、米國共產黨第七區週刊機關新聞「Michigan Workers」編輯員、一九三〇年紐育「ワーカーズ・スクール」教師)

第三、具體的工作狀況

一、「ワーカーズ・スクール」

「ワーカーズ・スクール」中或モノハ共產黨ニ依リ又或モノハ「インターナショナル・ワーカーズ・オーダー」(I.A.O.)ニヨリ經營セラレ居ルモ右兩者共、共產黨ノ指揮監督ノ下ニ在リ、多クノ場合同一教師カ兩者ニ教鞭ヲトルヲ普通トス。

最近一ケ年ノ間ニ於テ全國ノ「ワーカーズ・スクール」諸校ニ學籍ヲ置キン學生數ハ約二萬名ニ達セルカ過半數ハ黨員若クハ「ヤング・コミュニスト・リーグ」員ナリ。

「ワーカーズ・スクール」カ未タ設立ラ見サル小都市ニ於テハ其ノ管内ノ教育委員會ヨリ指定セララル教師ニ依リ「ワーカーズ・クラス」ヲ組織ス、之等「クラス」ハ大部分無料若クハ名目ノミノ授業料ヲ徴セル。

「ワーカーズ・スクール」及「ワーカーズ・クラス」ニ於ケル教授ハ單ニ共產主義乃至人民戦線ノ理論ノ外労働ニ對シ「サボタージュ」工作坐込「ストライキ」、「ストライ」方法等ノ教育ヲモ行フ。

左ニ「ワーカーズ・メーター」ノ所在地ヲ列舉ス。

NEW YORK CITY AND VICINITY:—NEW YORK.—65 E. 12th St., 615 E. 140th St., 1761 Washington Ave., 804 614 W. 177th St., 2109 Arthur Ave., 288 E. 174th St., 135 Simpson St., 1310 Lafayette Ave., 1400 Boston Road, 2700 Bronx Park East, 1334 Southern Boulevard, 792 Tremont Ave., 1013 E. Tremont Ave., 1149 Stratford Ave., 3451 Gies Place 1801 Bryant Ave., 492 E. 109th St., 67 W. 109th St., 66 E. 104th St., 100 Avenue B, 48 Sheriff St., 25 Montgomery St., 226 Throop Ave., 66 Manhattan Ave., 390 South Second St., 92 South Tenth St., 1026 Dekalb Ave., 1865 Plkin Ave., 571 Saratoga Ave., 608 Stone Ave., 149 Sutter Ave., 464 Bristol St., 257 Schenectady Ave., 982 Sutter Ave., 982 Sutter Ave., 508 New Jersey Ave., 60 E. 95th St., 1163 Lenox Road, 1373 43rd St., 1109 45th St., 2006 70th St., 2072 Bath Ave., 1830 Shilwell Ave., 3159 Coney Island Ave., 2709 Mernaid Ave., 5615 Avenue L, 1 Fulton Ave., 2700 Bronx Park East, 108 E. 14th St.

MASSACHUSETTS:—42 Verona St., Roxbury; 88 Hawthorne St., Chelsea; Crescent and Summer St., Brockton, 417 Cross St., Malden; 105 Shirley Ave., Revere; 1 Main St., Peabody; 74 Wildwood St., Dorchester, 357 Charles St., Dorchester; 24 George St., Lynn; 919 Washington St., Boston.

CHICAGO, ILL.:—8308 Crystal St., 1290 South Karlov St., 2853 W. Division St., 1224 South Albany Ave., 3507 W. Lawrence Ave., 561 E. 55th St., 3332 Greenhaw Ave., 1342 N. Levitt St., 3245 W. Armitage Ave., 1564 Honnan Ave.

CLEVELAND, OHIO:—1410 Kinsman, 926 E. 106th St.

MILWAUKEE, WIS.:—1558 12th St.

WASHINGTON, D. C.:—509 G St., NW.

WAUKEGA, N. ILL.:—McCans Grove.

PITTSBURGH, PA.:—649 Grant Ave.

ST. PAUL, MINN.:—344 N. Exchange St.

SEATTLE, WASH.:—302 Maritime Building

ROCKFORD, ILL.:—1015 3rd Ave.

PHILADELPHIA, PA.:—1314 Walnut St., 901 Ritner St., 2456 N. 30th St., 1137 N. 41st St.

DETROIT, MICH.:—9148 Oakland, 2543 Grand, 8622 12th, 15326 Meureland, 17429 Brush, 11718 Dexter St.

HARTFORD, CONN.:—111 Barbara St., 1100 Albany Ave.

NORFOLK, VA.:—East Freeman St.

YOUNGSTOWN, OHIO:—307 N. Walnut

LANCASTER, PA.:—4131 Green St.

DULUTH, MINN.:—4 East First St.

MINNEAPOLIS, MINN.:—10 South Tenth St.

ROCHESTER, N. Y.:—443 Ormond St.

SAN FRANCISCO, CALIF.:—463 Hayes St.

LOS ANGELES, CALIF.:—2074 Brooklyn Ave., 3654 Walnut Ave.

BALTIMORE, MD.:—1206 E. Baltimore St., 2043 W. North Ave.

NEW JERSEY:—584 18th Ave., Newark; 1067 E. Jersey St., Elizabeth; 743 Main St., Passaic; 3 Governor St. Paterson; 7 Union St., Trenton.

BUFFALO, N. Y.:—760 Main St.

RICHMOND, VA.:—301 N. First St.

DENVER, COLO.:—1450 Lawrence St.

WILKES BARRE, PA.:—325 E. Market St.

「ワーカーズ・メーター」

(1) 書籍類ノ販賣

共産黨ノ出版又ハ斡旋ニ係ル書籍「パンフレット」ヲ販賣スルヲ主目的トシ全米主要各市ニ互リ總數六十一ノ「ブックション」有アリ。



之等「ブック・ショップ」は名目上私人ノ經營トセラレ居ルモ、其ノ實過半數ハ教育部ヨリ提供セラルル資金ヲ表面上私財トスルモノニシテ從ツテ教育部ノ監督及支配ノ下ニ在ルモノナリ。若シ都市小ニシテ私營ヲ裝フニ都合悪シキ地ニ於テハ「ブック・ショップ」ヲ置カヌ黨支部カ之ニ代リ同一文獻ヲ同一値ニテ販賣シツツアリ。

右「ブック・ショップ」ノ販賣ニ係ル印刷物ハ黨本部ヨリノ出版物ノ外ニ黨員及「フェロー・トラヴェラ」ノ著書並ニ世界各國ノ共產黨主要人物等ニ依ル浩瀚ナル文獻等ヲモ含ミ居レリ。

(2) 回覽圖書

「ブック・ショップ」大半ハ回覽圖書館ヲモ併セ經營ス、右ハ貧困ナル勞働者ノタメニ高價ナル書籍利用ノ便ヲ計ルニ在リ。

(3) 所在地

左ニ六十一ノ所在地ヲ掲シ。

- 115 1/2 W. Heron St., Aberdeen, Wash.; 39 E. Market St., Room 304, Akron, Ohio; 501 a N. Entaw St., Baltimore, Md.; 2475 Bancroft Way, Berkeley, Calif.; 1907 N. 5th Ave., Birmingham, Ala.; S. Beach St., Boston, Mass.; 751 Chippewa St., Buffalo, N.Y.; 119 Hamilton St., Butte, Mont.; 19 Dunstan St., Cambridge, Mass.; 304 Federal St., Camden, N. J.; 200 W. Van Buren St., 1526 E. 57th St., Chicago, Ill. (77) 540 Main St., Cincinnati, Ohio; 1522 Prospect Ave., Cleveland, Ohio; 522 Mining Exchange Building, Denver, Colo.; 218 Youngerman Building, Des Moines, Ia.; 2810 Clifford St., Detroit, Mich.; 28 E. First, Duluth, Minn.; 319 Bridge St., Grand Rapids, Mich.; 315 1/2 South Elm St., Greensboro, N.C.; 652 N. Western Ave., Hollywood, Calif.; Merdan Life Bldg., Rm. 401, Indianapolis, Ind.; 226 1/2 Spring St., 241 1/2 Brooklyn Ave., Los Angeles, Calif.; 521 State St., Madison, Wis.; 914 North Parkton Ave., Milwaukee, Wis.; 651 Third Ave., South, Minneapolis, Minn.; 216 Halsey St., Newark, N. J.; 38 High St., New Haven, Conn.; 139 Charles St., New Orleans, La.; 50 E. Thirteenth St., New York City (C. P. headquarters); 491 Tenth St., Oakland, Calif.; 129 1/2 W. Grand Ave., Oklahoma City, Okla.; 301 Karbach Block, Omaha, Neb.; 201 Market St., Patterson, N. J.; 104 South Ninth St., Philadelphia, Pa.; 508 Count Pace, Pittsburgh, Pa.; 323 Southwest Salmon St., Portland, Ore.; 335 Westminster St., Providence, R. I.; 205 State St., Racine, Wis.; 224 N. Ninth St., Reading, Pa.; 205 N. Second Ave., Richmond, Va.; 1024 Sixth St., Sacramento, Calif.; 3592 Franklin Ave., St. Louis, Mo.; 26 E. Fourth St., St. Paul, Minn.; 74 West First, South, Salt Lake City, Utah; 625 E. Street, San Diego, Calif.; 170 Golden Gate Ave., 1699 O'Farrell St., 15 Embarcadero, San Francisco, Cal.; 224 West Sixth St., 208 W. Sixth St., San Pedro, Calif.; 208 West Cannon Perido, Santa Barbara, Calif.; 701 Pine St., Seattle, Wash.; 114 North Bernard, Spokane, Wash.; 601 Tower Ave., Superior, Wis.; 1004 Tacoma Ave., Tacoma, Wash.; 214 Michigan, Toledo, Ohio; 509 G. Street, NW, Washington, D.C.; 114 E. Federal St., Youngstown, Ohio;

三 Workers Library Publishing Company

「ブック・ショップ」ニ於テ販賣セラルル文獻ハ主マニ「Workers Library Publishing Company」ニ依ッ出版發行セラルルモノニシテ右ハ共產黨本部建物内ニ在リ、P. O. Box 148, Station D, New York; 35 East 12th Street, New York。而シテ右出版會社ハ黨トハ獨立セル營利會社タルノ形式ヲテリ居ルカ右ハ本會社毎年ノ缺損ヲ黨會計ニ直接責任ヲ負ハシメザル趣旨ニ出テタルモノナリ。

尙右出版會社ハ其ノ出版物ヲ米國共產黨經營ノ五圖書館ニハ原價ニテ供給ス。

右五圖書館ハ次ノ五大都市ニ在リ、紐育市、「ピッツバーグ」市、「デトロイト」市、桑港。

右ノ中紐育本部ニ在ルモノカ最大ニシテ約二萬冊ヲ所藏シ黨員ノ閱覽ニ供セラル。然レ共之ハ回覽圖書ニ非ザルタメ貸出ヲ絶對ニ禁止シ居レリ。

四、中等學校、大學及専門學校内ニ於ケル活動

一般中等學校、大學、専門學校内ニ於ケル共產黨ノ工作ハ過去二ケ年間ニ於テ驚クヘキ程急激ナル進展ヲ遂ケタルカ全國ニ亘ル之等諸校内ノ學生及教師等ニシテ共產主義者又ハ極左分子ト見做サル者約一萬五千名其ノ内約五千名ハ十八歳前後ノY. C. I. 員ナル趣ナリ。

教育部ノ本分野ニ於ケル活動ハ Israel Antler 指揮ノ下ニ Y・C・L・ト密接ナル提携ヲナシ居ルカ  
Murray Byne (Y・C・L 前教育部長) John Franklin (Y・C・L 組織員) 及 Leo Rifkin ハ「アムター」ヲ援助  
シ居レリ、而シテ右ノ外更ニ Joseph Cadden (「メソカン」ヘイス「コンメン」前書記長) 及 Edward E.  
Strong (黒人青年左傾運動指導者) 等モ熱心ナル工作員ナリ。

而シテ學内工作ノ方法ハ他ノ外廓團體ニ對スルト同様「フラクション」工作ニシテ之等學校内ニ Y・C・  
L 及黨ノ細胞又ハ支部ヲ設置スルモノナリ。

左ニ學校内ニ於ケル共産黨ノ工作方法ニ關シ略説スヘシ。

米國教育界ニ對スル共産主義ノ影響ハ一部ニ考ヘラレ居ル如ク少數ノ急進的教授ニ限ラレス労働組合  
運動ニモ對比スヘキ強キ組織的發展ヲ遂ケ今日其ノ勢力ハ米國ノ各級學校ヲ革命教育ノ道場トシテ使  
用シ居ル、「マルクス」主義教授及學生ノ追放スラ阻止シ得ル有様ナリ。

共産主義者等ハ夙ニ「マルクス」主義教授及教師カ單獨ニテハ所謂「荒野ニ叫フ聲」ニ過キスシテ結局  
大學専門學校等ヨリ追放セララルニ過キカリシ事實ヲ知り之カ當然ノ對策トシテ労働組合ノ「細胞組  
織」ノ方法ニ則リ教育者ノ組織化ニ着手セリ、當時既ニ教授及教師ノ有力團體「三アリアルカ共産黨  
」黨員タル多數教育者ヲシテ右諸團體ヲ内部的ニ支配セシムルニ成功セリ、又右ノ場合正規ノ黨員ノ  
外更ニ多數ノ「シムム」カ之ヲ援ケタルハ勿論ナリ。

共産主義者ノ内部穿孔ノ爲選ビタル既有ノ教育者團體ハ左記ノ三ナリ、(1) The American Federation  
of Teachers (a) The Teachers Union (a) The American Professors Association

右ノ内共産黨ノ内部的支配カ最も成功シタラン The Teachers Union 及 The American Federation

of Teachers ノ二ナリ、右ハ「ボラツ」等ニ團體カ單ニ大學教授ノミナラス、ヨリ多數ノ「ハイニス」  
ル「教師」ヲ包含シ居ルニ因ルモノナラン。

共産黨カ全米ノ教師及學生ニ對スル工作ニ利用セル急進的教育者中ニハ左記ノ如キ共産主義者及「シ  
ムム」トシテ。 Professor Granville Hicks, Harvard; Professor Jerome Davis, Yale; Dr. John Dewey,  
Columbia; Professor Paul Douglas, University of Chicago; Professor Robert Morse Lovett, University of Chicago;  
Professor William H. Kilpatrick, Teachers College, Columbia University; Professor Broadus Mitchell, Johns  
Hopkins University; Professor George Counts, Columbia; Professor Henry R. Mussey, Wellesley College (women);  
Professor John R. Commons, University of Wisconsin; Professor Harry A. Overstreet, College of the City of New  
York; Dr. Everett Dean Martin, People's Institute; Professor Jesse Holmes, Swarthmore College (women); Dr.  
Abraham Harris, Howard University; Professor William Laiserson, Antioch College; Dr. Henry R. Linville,  
ex-President, American Federation of Teachers.

(注) The American Federation of Teachers、長谷川キキ、Jerome Davis 教授ハ「ホーム」大學ヲ組織シ退治々組合運動  
及共産主義宣傳運動ニ没頭シ居レリ。

右ノ他ニ重要ナル者左ノ如シ。

Professor John Ise Kansas 及 Maryland、聖大寺ニ於テ組織キ「シムム」 Professor Francis A. Henson, Yale, S.  
Ralph Harlow, Smith College (women); A. J. Muste, Brooklyn College (Communist); Dr. Reinhold Niebuhr,  
Union Theological Seminary Dr. Harry F. Ward, Union Theological Seminary Bishop Francis J. McConnell,  
Union Theological Seminary Harry Laidler, lecturer at the Brand School; Dr. Hallie Flanagan, Yassar (women's college)  
(有名ナリ婦人「シムム」ナリ) Dr. Flanagan ハ「ローズマリア」大統領シヨット The Federal Theatre Project、急進シシヤトシ  
タリ)

其ノ他枚舉ニ違アラス。特に下級學校ノ教師ニ多シ。

0304

之等教授及教師ノ急進的運動ハ、教育部三部長ノ一ナル Israel Anter ニ依リ指揮セララル、又時ニ應シテ他ノ部モ此ノ米國教育界ノ各部門ニ於ケル 共產主義勢力ノ組織化ニ協力ヲ求メラレタルカ Jack Stachel 指導ノ下ニ在ル「フラクシオン」部カ先ツ既存ノ教授會及學生會等ニ潛入シ之ヲ内部的ニ支配スル工作ヲナシタルカ如キ、又ハ外國「ヒューロー」ノ M. J. O'gin カ事アル毎ニ有力ナル支援ヲ與ヘツツアル如キ其ノ例ナリ。

教育界ニ於テ赤化工作カ一度教師側ニ於テ完全ニ組織化セララルヤ學生ノ心ヲ毒スルノ容易ナリシハ當然ナルヘク、斯ノ如クニシテ數年ヲ經ルヤ大學専門學校等ニ入學スル頃ニハ既ニ急進主義教育ノ洗禮ヲ受ケタル者少カラサルニ至リ大學ニ於ケル左翼學生組織化ノ機運熟スルニ至レリ、當時社會主義ニ發足セル學生團體トシテ The Student League for Industrial Democracy アリタルカ相當左翼的ナリシ團體ハ共產主義運動ノ最初ノ足場トシテ利用セララルコトナリ、結局共產黨ノ「フラクシオン」工作ノ進捗ニ伴ヒ同團體ニ對スル支配權ハ社會主義者ノ手ヲ離レ共產主義者ノ手ニ歸シタリ、他方共產黨ハ殆ト共產主義者ノ「ミヨリ成」(大多數)既ニ「The Young Communist League」ノ「メンバー」タリキ) National Student League ヲ組織シタリ。

其ノ後一九三五年十二月二十八日ヨリ二十九日ニ亘リ「オハイオ」州「コロンバス」ニ於テ開催セラレタル前記兩學生團體ノ合同大會ニ於テ兩者ノ合併議決セラレ新團體ノ幹部ハ舊團體ノ最モ急進的ナル分子ノ「ミヨリ」構成セララルコトナレリ、此ノ新學生團體ハ「The American Student Union」ニシテ右ハ完全ナル共產主義團體ニシテ而モ米國ニ於ケル最モ有力ナル學生團體ナリ、毎年四月二十二日ニハ其ノ大會開催セラレ單ニ其ノ強キ團結力ヲ誇示スル爲「ストライキ」及「デモンストレーション」ノ決議ヲ

ナシ又ハ「ソマツシズム」反撃及ヒヨリ大ナル教育ノ自由ノ要求ヲ決議スルコト常ナリ、其ノ他彼等ハ年中共產主義ノ爲ノ活動ヲ續ケ屢々「ピケット」及共產黨ノ大衆示威運動等ニ參加スルコトアリ。

此ノ A.S.U. 全米殆ント總テノ大學専門學校及ヒ多數「ハイスクール」ニ支部ヲ有スト稱シ居リ其ノ主ナル役員左ノ通。

Joseph P. Lash (Executive Secretary, City College of New York (米農工「米國」及「米農」); Robert E. Lane, (President, University of Illinois); (President, Organizational Secretary, Swarthmore, Member of the YCL, the American League for Peace and Democracy); Lloyd James, (Director of Publications, University of Chicago); Agnes Reynolds (Treasurer, Yassar); Britton Harris, (Assistant Treasurer, Wesleyan).

地方支部書記長

Kenneth Born (University of Kansas, Mid-West district); Howard Lee (College of the Ozarks, Southern district); Louis Burnham (City College of New York, Eastern district).

中央執行委員

Kenneth Born (U. of Kansas), Ruth Brodie (Carnegie Tech.), Robert Buckles (Purdue University), Jack Chasson (University of Los Angeles), Clifton Davenport (Wesleyan), Teri Grosso (Smith), Robert Hurfaut (Cornell), Lloyd James (University of Chicago), Frances Jones (Barnet), Robert E. Lane (Harvard), Joseph Lash (City College of New York), Manuel Manfield (City College of New York), Florence Meyers (Wayne University), Agnes Reynolds (Yassar), Sol Rossner (Temple), Al Rubio (University of Illinois), Charlotte Russell (Iltander), Boone Schirmer (Harvard), Katherine Scudder Oliver Stone (Wesleyan), Celeste Strack (University of California at Los Angeles), Mary Symons (Oberlin).

「インスター」の學生ニシテ本團體ノ役員タル者ノ内、氏名判明セル少數ノ者左ノ通  
Nolan Bell (Central High, Cleveland, Ohio), Cornelia Brangman (Windsor High, New York City), Evelyn Elkin  
(Central High, Detroit, Mich.), L. Wolfie (New Haven High, New Haven, Conn.)  
一九三八年四月二十四日附 Sunday Worker 抵NY・C・Lカ本團體ノ主タル指導啓蒙者ナル旨ノ論評  
ヲ掲載セリ。

A・C・Uカ米國內ニ於ケル有ユル主要ナル教育施設ニ其ノ「メンバー」ヲ有スルト稱スルハ誇張ナル  
ヤモ知レサルモ左ニ列舉ノ諸學校及其ノ他凡百ノ諸專門學校及「インスター」等ニ其ノ代表者ヲ有シ  
居ルハ確カナラ事實ナリ。

City College of New York, Wellesley College (women), New York University, University of  
Kansas, Brooklyn College, Smith College (women), Columbia University, Wesleyan College,  
Harvard University, Oberlin College, Yale University, Wayne University, Princeton University,  
Ohio State University, University of Chicago, Southern Methodist University, University of Cal-  
ifornia, University of Louisville, Purdue University, University of Virginia, University of Cal-  
ifornia, Antioch College, University of Wisconsin, Temple University, Carnegie Tech., DePaul  
University, University of Pittsburgh, University of Minnesota, Swarthmore College (women),  
Oregon University, Yassar College (women), Los Angeles Junior College, YMCA College of  
Chicago, Cornell University, Hunter College, Union Theological Seminary, Michigan State College,  
University of Michigan, Syracuse University, Northwestern University.

尙大學中共産黨ノ支配ヲ受クルト最大ナル「ロンドン」大學ナリ、同大學ハ從來「モルガン」大學  
ト稱セラレシモ最近ニ於テハ寧ロ左翼ノ勢力強クナレリ、其ノ一理由又ハ原因ト認メラルル「モス

コー」大學トノ間ニ教授交換制ヲ有スルコトナリ、而シテ大學附設ノ教員養成所ノ卒業生ハ米國東部  
地方ノ中以上ノ都市ニ於ケル各種學校ニテ教鞭ヲトリシニアリテ之等教師カ同大學ニテ習得セル左翼  
思想ノ傳播力ハ驚クヘキモノナリト稱セラル、特ニ「ロンドン」大學教授 Coons ハ交換教授トシテ  
「モスコ」ニ赴キタル左翼的人物ナルカ National Education Association ノ内部ニ於テ同協會ヨリ出  
版セララル全米中等學校ノ補助讀本ノ編纂ニ内面的ニ關係シ居ル趣ナリ、而シテ右補助讀本中ニハ無  
神論、佛蘭西革命ヲ例ニトリ革命ノ煽動等ノ論說ヲ包含シ居レリトテ聯邦議會ノ問題トナリタルコト  
シ。

尙紐育市内ニ於ケル大學及專門學校ニシテ共産黨「ヤンシ」コミソニスト「リーグ」ハ「ブラタシモン」  
ヲ有スル主ナルモノ參考ノタメ左ニ列舉ス。

American Academy of Dramatic Arts (Both) American Radio Institute (C.P.), Biblical Seminary in  
New York (C.P.), Cathedral College (Both), College of Pharmacy (Both), Columbia Institute of  
Chiropractic (C.P.), Columbia University (Both), College of the City of New York (Both), Cooper Union  
(Both), The Delahanty Institute (Both), Ethical Junior School (C.P.), Finch Junior College (註「本誌」  
女子部卷一ノ「本誌」)  
First Institute of Podiatry (Both), General Theological Seminary (Both), Graduate  
School for Jewish Social Work (C.P.), Hebrew Teachers Training School (C.P.), Hebrew Technical  
Institute (C.P.), Henry George School of Social Science (Both), Hunter College (Both), Jewish Theolo-  
gical Seminary (Both), Jewish Workers' University (Both), National Bible Institute (C.P.), N. Y.  
College of Music (C.P.), N. Y. University (Both), N. Y. Institute of Advance Dental Technology  
(Both), N. Y. Law School (Both), N. Y. School of Social Work (C.P.), N. Y. School of Textile

Technology (Both), Onida Institute (C.P.), Paine-Hall School, Inc. (C.P.), The Rand School (C.P.), Stevans Institute of Technology (Both), Teachers College (C.P.), Teachers College, Lincoln School (C.P.), Technicians Institute (C.P.), Training School for Nurses (C.P.), Union Theological Seminary (Both), Yeshiva College (Both).

(註) Both A.C.P.及Y.C.I.

五、外國語「ビュロー」ノ運営。

六、外國語刊行物ノ編纂及外國語刊行物ニ對スル資料供給。

(註) 右五及右六ニ關シテハ第八項外國語「ビュロー」部ニテ詳説スヘシ。

#### 第八項 外國語「ビュロー」又ハ委員會

第一、概 説

米國ニ於ケル外國生レノ米人即チ第一世移民ノ數ハ千四百萬餘、紐育州ノミニテ三百萬ヲ超ユル多數ニ上リ居ル處隨テ其ノ内ニハ多數ノ無産左翼分子アルト共ニ、一般的ニ論スレハ就職ノ斡旋及權利擁護等ノ點ニ於テ縁故關係ニ乏シキモノナレバ共產黨ノ工作對象トシテ最適ノ分子タルハ明カナリ、事實米國共產黨成立以前ニ於テ之等外國生レハ社會黨内ニ於ケル左翼分子トシテ活躍シ、黨ノ成立ニ貢獻シ現在ノ黨幹部中ニモ外國生レ系多數アルハ前出沿革ノ部ニ於テ述ヘタル通ナリ。

特ニ「ヒットラー」ノ擡頭以來、獨、埃、伊、「チッコ」等ヨリ避難シ來タル猶太人ハ反「ファシズム」運動ノ見地ヨリ共產黨ヲ支持スヘキ條件ヲ具備スルモノナリ、斯クテ米國共產黨カ外國生レニ對シテ關心ヲ有シ特別工作ヲナスハ當然ノコトナリ、而シテ外國語「ビュロー」ハ現在語學別ニ依リ十四種ニ分タレ居レリ、其ノ主タル工作ハ外國語ニテ出版セラルル定期刊行物ニ對シ供給セラルヘキ資料

譯、宣傳「パンフット」ノ翻譯等、啓發宣傳部關係事務ニ關スル進言及援助、外國生レノ黨員乃至勞働者ニ對シ英語並ニ黨ノ主義方針ヲ教育宣傳スヘキ外國語「クラス」乃至「クラブ」經營並ニ外國生レニ對スル組織部及「フテクシン」部ノ活動ニ關シ助言援助スル等、苟クモ、英語ヲ解セサル之等外國生レニ對スル共產黨各部ノ工作ヲ補佐スルモノナリ、依テ黨ノ機構トシテハ教育部ノ一部トナリ居ルモ便宜上獨立ノ一項ヲ設ケテ茲ニ解説スル次第ナリ。

前記十四ノ外國語「ビュロー」ハ左ノ如シ。

Jewish Bureau (or commission), German Bureau, Greek Bureau, Spanish Bureau, Hungarian Bureau, Russian Bureau, Italian Bureau, Ukrainian Bureau, Croatian Bureau, Lithuanian Bureau, Polish Bureau, Finnish Bureau, Chinese Bureau, Scandinavian Bureau.

#### 第二、機 能

##### 一、一般的機能

外國語「ビュロー」ハ一切ノ外國語「グループ」ニ對スル黨ノ活動方針ニ付キ政治委員會ヲ始メ關係各部ノ諮問團體タル機能ヲ主トスルモ、更ニ翻譯、外國語「クラス」ノ運営等ノ實務ヲモ爲ス。

左ニ其ノ主要機能ヲ列擧スヘシ。

- (1) 各部門ノ部長若クハ政治委員會等ニ對シ各外國語「グループ」ニ關スル情報ヲ供給ス。
- (2) 特定ノ外國語「グループ」ニ對シ必要ト認メラルル特定ノ工作ニ關シ意見具申ス。
- (3) 啓發宣傳部ヨリ發行セララルル外國語「グループ」用刊行物一切ニ關シ意見ノ具申及翻譯編纂ノ援助ヲナス。此ノ種外國語出版物ニ關シテハ左記ニ、外國語ニ依ル共產系出版物ノ部參照アリタシ。

(4) 教育部カ外國語「クラス」及外國語「クラブ」ヲ組織經營スルニ當リ補佐ス。  
 (5) 組織部カ或所定ノ外國語「グループ」ニ接觸工作ヲナス場合之ニ對スル最上ノ手段ヲ進言シ其ノ工作ヲ補佐ス。

(6) 翻譯事業。  
 外國語「ビューロー」翻譯事業左ノ如シ。

(イ) 共產黨直營又ハ其ノ支配ノ下ニ在ル外國語新聞其他ノ定期刊行物ニ對シ宣傳資料ヲ準備供給ス。  
 (ロ) 米國內ニ存在スル約七百種ノ外語新聞ニ對シ大量ノ宣傳資料ヲ「ニュース」若クハ論說等ノ形式ニテ供給ス、而シテ之等外國語新聞ハ共產黨ノ直接支配ノ下ニハ非サルモ屢々黨ニ有利ナル宣傳資料ヲ使用シツツアリ。

(ニ) (ハ) 外國ニ於テ出版セラルル論說、「パンフレット」、單行本等ニシテ共產黨ニ有用ナルモノヲ英譯ス。  
 Workers Library Publishing Company ヨリ發賣シ又ハ外國語「グループ」用トシテ使用セラルル外國語ニテ書カレタル「パンフレット」、小冊子、會報等ノ原稿ヲ準備ス。

(一) 定期刊行物  
 二、外國語ニ依ル共產黨出版物ニ對スル補佐

當國內ニ於ケル外國語新聞及定期刊行物ハ約二千種以上ニ上リ居ルカ其ノ内公然共產黨直營ノ新聞二種、黨カ直接支配シ居ル刊行物八十九種及單ニ資料ヲ供給シ居ルモノ平均約七百種アル趣ナリ。右共產黨直營ノ外國語新聞ハ紐育ニテ發行セラルル左記「イーディッシュ」語ノ新聞ナリ。  
 The Morning Freiheit (日刊、發行部數四六、四〇〇)、Der Hammer (月刊、發行部數一四、〇〇〇)

黨カ直接發行セラルル外國語新聞ニ及ホス共產黨ノ影響ノ程度ハ一樣ナラス、例ヘバ伊太利語日刊新聞 L'Unita Del Popolo (紐育發行、部數約一四、〇〇〇)ニ於ケル如ク社説ノ方針ヲ殆ント完全ニ支配スル場合モ有リ、又「ポルトガル」語日刊新聞 Novo Sviat (紐育發行、部數約三〇、〇〇〇)ニ於ケル如ク、單ニ共產黨ノ政策ノ一部ヲ採用スルニ過キサルモノモアリ。尤モ新聞其他ノ定期刊行物ニシテ確定的ニ共產黨ト認メラルモノト單ニ黨ヨリ宣傳資料ヲ供給セラレ之ヲ一部分使用スルモ實際ハ共產黨ナラサルモノトノ間ニ確然タル區別ヲ設クルハ不可能ナリ。關係外國語「ビューロー」ハ斯カル區別ヲナサスシテ其ノ發送帳簿ニ記載セラレ居ル刊行物ニ對シ一樣ニ宣傳資料ヲ送付スルモノナリト謂ハル。

教育部カ外國語「ビューロー」ヲシテ翻譯セシメタル資料ヲ供給スル外國語刊行物數ハ左ノ如シ但シ右ハ大約ニシテ正確ナル數字ハ固ヨリ之ヲ知り得ス(尙詳細ハ啓發宣傳部ノ項參照)  
 Yiddish (100), German (100), Russian (12), Spanish (60), Italian (75), Polish (50), Chinese (10), French (20), Ukrainian (5), Finnish (15), Swedish (10), Greek (10), Lett (15), Roumanian (20), Others (50).

(二) 「パンフレット」類

教育部カ英語未熟ノ「グループ」ニ對スル工作ノ一ハ「パンフレット」發行ノ手段ニ依ルモノニシテ各國語ニテ編纂セラルル數種ノ「パンフレット」及宣傳「ビラ」ヲ定期ニ發行スルモノナリ。而シテ之等刊行物ハ外國語「ビューロー」ニ於テ主トシテ翻譯ス。本年五月發行ニ係ル出版物ハ「パンフレット」二十五種、宣傳「ビラ」小冊子及研究文獻等三十三種アリ。選舉期以外ノ期間ニ於テハ毎月平均右ノ同程度ノ出版物カ發行セラルル趣ナリ。各外國語ニテ出版セラルル「パンフレット」部數ハ關係黨員及「シンバイザー」ノ數ニ比例スルモノナリ。

German (25,000), Yiddish (25,000), Czech (15,000), Spanish (10,000), Italian (10,000), Polish (5,000), Rumanian (2,000), Finnish (2,000), Swedish (2,000), Chinese (2,000), Lett (2,000), French (1,000), All Others (500 each).

第三、一般的構成

各語學「ビュロー」ハ黨本部ニ於ケル全國「ビュロー」ノ外特定外國生レノ多數住居スル地方ニ於ケル支部内ニハ當該語學「ビュロー」ヲ設置スルモノトス。

全國的語學「ビュロー」(又ハ委員會ノ局員又ハ委員)ハ全國委員會ニ依リ任命セラル、"デイストリクト"又州支部「ビュロー」局員ハ關係全國的「ビュロー」ニ依リ任命セラル。「セクション」支部「ビュロー」局員ハ「デイストリクト」又ハ州支部「ビュロー」ニ依リ任命セラル。黨本部内ニ於ケル十四ノ外國語全國「ビュロー」ヲ統轄スル幹部ハ左ノ如シ。

Moissaye J. Ogin (教育部外國「ビュロー」主任、教育部ニ於ケル外國語ニ依ル工作ノ總指揮者ナリ。又後説スル如ク猶太人「ユネロー」又ハ猶太委員會ノ長タリ、「イーテシ」語新聞 Morning Freiheit 編輯長、全國委員會等ニシテ共產黨ノ猶太人「ユネロー」工作ノ重鎮タリ、同人自身「ロシヤ」生ノ猶太人ナリ。

尙過去ニ於テ左ノ如キ經歷アリ、Soviet Russia Today、チ始メ各種共產系機關紙及誌寄稿家、一九三二年 New School for Social Research ノ教師、紐育「ソーカーズ」スクールの執行委員、飛鳥飛行家接待委員、「ジョン・リッド・クラブ」員。

Paul Novick (Ogin ノ助手、約四十歳、米國共產黨、紐育州執行委員會員、一九三八年別立法部職員ニ共產黨ヨリ立候補セリ、七ヶ國語ニ通ス。同人ノ事務所ハ共產黨本部建物ノ六階ニ在リ)。

John Ballam (Novick 配下ノ員ニシテ「メンフレット」印刷物検査係ナリ)。(註) 右人物ニ關シテ眞疑不明ナリ。

Anthony Ribando (紐育州ノ本部ニ於ケル左傾労働者指導ノ主要人物ニシテ又黨紐育區支部執行委員會ニ於ケル有力者ナリ、同人著「伊大和語」"マンフレット"多數アリ)。

Michael Davioff (Ogin ノ補佐ニシテ「ウクライナ」一九三八年共產黨ヨリ或公職ニ立候補セリ)。  
Rubin Schuman ("Morning Freiheit" 紙社ニ於ケル Ogin 編輯補佐、紐育ノ猶太人社會ニ於テハ極メテ著名ナル人物ナリ)。(註) 右二名ノ人物ニ關シテ眞疑不明ナリ。

Harry Raymond (Ogin ノ補佐ニシテ「ソーカーズ」スクールの教師、米國共產黨幹部、過去ニ於テ左ノ如キ經歷アリ、一九三〇年煽動運動「メネ」"メネター"「フイナナー」等ヲ共ニ入獄アリ、一九三〇年 Metal Workers Industrial Union 組織員)。  
Michael Wasilia (語學「ソーン」監督係)。(註) 右人物ニ關シテ眞疑不明ナリ。

第四、各種外國語全國「ビュロー」構成

以下略記スヘキ各種外國語「ビュロー」ノ全國本部ハ何レモ共產黨本部教育部内ニ在リ。

1. Jewish Bureau (Jewish Commission)

幹部及ヒ主要人物、 Moissaye J. Ogin (全國局長、前出) H.I. Othrell (執行書記長) 局員十七名中主要人物左ノ如シ、 Benjamin Gold (紐育共產黨及支部役員)、 Ephraim Schwartzman (the Jewish Workers Club 会長)、 William Weiner (全國委員)、 Louis Weinstock (紐育ニ於ケル労働組合工作指導者)、 Louis Budenz (The Midwest Daily Record 編輯)、 Manny Greenblatt (New York District Committee 委員)、 Mike Gold (The Daily Worker 職員)、 Israel Amber (全國委員會)、 Milton Melzer (The Young Communist League 会長)、 米國ニ於ケル猶太人ハ四百萬ヲ超エ且殆ンド全米ニ散在スルタメ本「ビュロー」ハ全米二十五區全部ニ互リ「デイストリクト・ビュロー」及多數ノ「セクション・ビュロー」ヲ有シ、外國語「ビュロー」中最モ重要ナルモノナリ、本「ビュロー」ノ活動中特ニ注目スヘキハ Jewish Workers Club ノ組織ナリ。本「ビュロー」ハ又各種ノ人種偏見反對運動ニ關係シ來レリ、執行書記長ノ命アレハ何時ニテモ集會

ヲ開クモ、定期集會ハ一週一回ノ趣ナリ。

二二八

一、 German Bureau (German Commission)

幹部 V.L. Hans (全國局長) Ruth Schwartz (本「ビューロー」執行書記長ナキタメ同女カ單ニ事務ニ携ハリ居ルニ過キス)。

局員七名ノ内主要ナル人物次ノ如シ。 M.J. Ogin (他部) Alexander Bittelman (全國委員長) William Weinstone (同前) Greta Paik (紐育州支部婦人委員會委員)

本「ビューロー」ハ月一回ノ集會ヲナス。

三十五區中多數ノ區ニ於テ「ドイツトリクト・ビューロー」ヲ有ス。

三、 Greek Bureau (Greek Commission)

本「ビューロー」ハ他ニ比スレハ最小且最重要ナラサルモノニシテ一定セル事務所ヲ有セス、僅カニ五區ニ於テ「ドイツトリクト・ビューロー」ヲ有スルニ過キス、局員三名ニシテ月約一回ノ集會ヲナス、 Dave Harrison カ全國局長ナルカ之ハ本名ニ非スシテ共產黨内ニ於テノミ使用シ居ル名ナリ、其ノ他ノ局員ニ關シテハ詳細不明ナリ。

四、 Spanish Bureau (Spanish Commission)

本「ビューロー」ハ相當重要ニシテ十六區支部内ニ「ドイツトリクト・ビューロー」ヲ有ス。幹部及ヒ重要ナル人物ハ左ノ如シ。 Carl Vadro (全國局長) Joseph Figueredo (全國副局長兼執行書記長代理「ボスタ」ニ在ス)。

尙其他ノ局員トシテ左ノ如キ人物擧ケラレ居ルモ眞疑不明ナリ。

John Sirgo (紐育州共產黨支部委員會) Salvatore Sartomere (「ヤンク・コミニスト・リーグ」會員)

五、 Hungarian Bureau (Hungarian Commission)

本「ビューロー」ハ局員五名ヲ有シ十二區支部内ニ「ドイツトリクト・ビューロー」ヲ有スルニ過キサルモ紐育及ヒ「ピッツバーグ」ニ於テ極メテ有力ナリ。

幹部其他重要ナル人物ニ關シテ次ノ如キ情報アルモ眞疑不明ナリ。 John Hirsch (全國局長) A.R. Luden (「ヤンク・コミニスト・リーグ」會員)

六、 Russian Bureau (Russian Commission)

本「ビューロー」ハ十四區支部内ニ「ドイツトリクト・ビューロー」及ヒ多數ノ「セクション」支部内ニ「セクション・ビューロー」ヲ有ス、局員六名ヲ有シ月約一回ノ集會ヲナス。

幹部及ヒ主要ナル人物次ノ如シ。 Carl Brodsky (全國局長、紐育州共產黨支部委員會) Alexander Trachtenberg (全國委員會員ニシテ極メテ有力ナル黨員ナリ、前部) Sylvia Kirscher (紐育州婦人委員會委員)

七、 Italian Bureau (Italian Commission)

本「ビューロー」ハ局員七名ヨリ成リ二十五區ニ於テ「ドイツトリクト・ビューロー」ヲ有シ又多數ノ「セクション・ビューロー」ヲ有ス。

幹部及ヒ主要ナル人物次ノ如シ。 Peter Cacchione (全國局長、黨全國委員會員、反 National Trade Union Commission 委員) Rose Harris

尙其他ノ局員トシテ左ノ如キ人物ニ關スル情報アルモ眞疑不明ナリ。 Josep Carlotti (Cacchione ニ次ク主要ナル人物ニシテ「イリノイ州共產黨支部委員會員ナル由) Emil Costello (「ウイスマン」州ニ在住シ主要ナル労働組合工員ナリ)

二二九



八、Ukrainian Bureau (Ukrainian Commission)

本「ビューロー」ハ僅カニ二名ノ局員ヨリ成リ十八區ニ互リ「テイストリクト・ビューロー」及「紐育」ニ於ケル  
ル多數ノ「セクション・ビューロー」ヲ有ス。

主要人物次ノ如シ。 Walter Didyk (全國局長、「ウクライナ」人社合ニ於ケル主要人物ナリ)、「Wasy」Trichy (局長  
ニ次ク主要人物ニシテ紐育ニ在住)。

本「ビューロー」ニハ一定セル事務所ナク又定期集會ノ規定ナシ。

九、Croatian Bureau (Croatian Commission)

本「ビューロー」ハ五名ノ局員ヨリ成リ十區ニ互リ「テイストリクト・ビューロー」ヲ有スルニ過キサレモ  
ノニシテ且特別ノ重要性ヲ有セス一定セル事務所ナク、又定期集會ノ規定ナシ、全國局長トシテ Emil  
Hryshko ノ名擧ケラレ居ルモ眞疑不明ニシテ其他ノ局員ニ關シテモ何等ノ情報ナシ。

十、Lithuanian Bureau (Lithuanian Commission)

本「ビューロー」ハ六名ノ局員ヨリ成リ二十區ニ互リ「テイストリクト・ビューロー」ヲ有スル比較的重要  
ナル「ビューロー」ナルモ一定セル事務所ナク、郵便物受付ハ International Publishing Company 氣付  
トナリ居ル趣ナリ。

幹部及ヒ主要人物次ノ如シ。 Roman Laelyk (全國局長)、「Theodore Motorney (紐育市共產黨支部委員)」、  
Alexander Trautenberg (モ局員ナラント謂ハルルモ不明ナリ。其他局員ニ關スル情報ナシ)。

十一、Finnish Bureau (Finnish Commission)

本「ビューロー」ハ局員五名ヨリ成リ十二區ニ互リ「テイストリクト・ビューロー」ヲ有ス。

幹部次ノ如シ。 Dr. Ostop Hryeay (全國局長、「紐育」ローカリズム「スクール」教師、以前「コミンネア」ノ黨事業ニ  
關係マシタリ)、「Carl Paivio (「フィンランド」語機關統計社)」、「Onni Kaartinen (「同紙」書記長及會社)」。

十二、Chinese Bureau (Chinese Commission)

本「ビューロー」ハ局員九名ヨリ成リ十三區ニ於テ「テイストリクト・ビューロー」ヲ有ス毎月一回集會ヲ  
開ク趣ナリ。

幹部及ヒ主要人物次ノ如シ。 Henry Wong (全國局長、「ロンドン」大專職員)、「Ch'ao-ting Chi (輸東ニ於テ  
支那人文筆者トシテ知ラル)局員九名中ニハ支那人以外ノ局員ヲ若干含ミ居ル處右ハ Robert Norton 及「ア  
ール・ブラウダー」ナリト謂ハル、「ブラウダー」カ果シテ正規ノ局員ナリヤハ未タ不明ナルモ同人ハ會  
テ支那ニ於テ工作セル關係上支那通ヲ以テ自任スルト共ニ支那ニ關シテハ特ニ興味ヲ有シ居ル趣ニシ  
テ免ニ角支那語「ビューロー」ノ會合ニハ出來得ル限リ出席スル趣ナリ。

十三、Scandinavian Bureau (Scandinavian Commission)

本「ビューロー」ハ局員九名ヨリ成リ、二十六區ニ互リ「テイストリクト・ビューロー」ヲ有ス、月一回ノ集  
會ヲナス。

幹部及ヒ主要人物次ノ如シ。 George Waldman (全國局長)、「M.J. Oigin (他出)」、「Joseph Colomb (極メテ  
熱心ナル黨員ナリ)」、其ノ他ノ局員ニ關シテハ詳細不明ナリ。

第九項 「エフォート」部 (Effort Department) ヌハ (Group)

第一、概 説  
黒人部、教育部若クハ「フラクション」部等一般ノ部ト比較スル場合其ノ組織及工作方法ヲ異ニスルモ

他部門ト獨立ノ組織ヲ有スルカ故ニ本項ニ於テハ便宜上一獨立部門トシテ取扱フモノナリ、然シ共黨内ニ於テハ通常「エフ・オート・グループ」若クハ簡單ニ「E・G」ト稱シ居ル趣ナリ。

事實上本部門ハ黨内ノ秘密結社ニシテ或意味ニ於テ米國共産黨カ有スル軍隊ナリト稱スルヲ得ヘシ、部員ハ教練若クハ制服着用等ハ爲ササルモ訓練宜シキヲ得タル戰闘團體ナリ、即チ黨内他部門ニ於テ見ラルル如キ普通ノ書記局若ハ委員會等ノ形式トハ異リ後述スル如キ軍隊的機構ヲ有シ居レリ。

E・Gノ主ナル任務ハ黨ノ他ノ部局ノ合法的活動ノ補足強化ノタメ「ビケット」ノ施行、「ボイコット」強要等ヨリ更ニ進ンテハ蘇聯防衛又ハ革命促進等ノタメ國內攪亂ノ必要起ル場合ニ於ケル非常手段トシテ米國重要産業組織ノ主要通信運輸機關「サポタージ」乃至破壊工作等ノ研究、準備及實施ニ在リ(後出参照)。而シテ之カ實施竝ニ工作ノ責任者ハ極度ニ秘密主義トナリ居ルカ最高指導權ヲ有スル「エフ・オート」部ハ政治委員會ニ依ル根本方針ノ決定ニ從フハ勿論關係各部ト内密ノ連絡ヲトリ其ノ協力ヲ得ルト共ニ蘇聯ノ通商機關ニシテ同時ニ工業情報機關トシテ知ラルル「アムトルグ」會社ノ優秀ナル技術員及「サポタージ」等ノ工作員ノ内面的援助指導ヲ受クルモノナリ。

「フレンジム」排撃問題ヲ一例ニトリ解説スレハ啓發宣傳部カ新聞、演劇、「ラヂオ」等ニ依リ又「ブラクシヨ」部カ關係外廓團體ヲ内部的ニ操縦シ決議ノ通過等ニ依リ日獨伊攻擊運動ヲ實施スルニ對シE・Gハ大使館又ハ領事館前ノ「ビケット」組織、日獨伊商品ヲ販賣スル商店ニ對スル「ビケット」、船舶ニ對スル貨物ノ積卸反對運動等ヲ組織施行スルニ在リ。

更ニ「スペイン」内亂ノ事件ニ徴スルニ赤軍ノ爲ノ宣傳及議會ニ於ケル「ロビー」運動ハ啓發宣傳部「ブラクシヨ」部及法制部等ニ依リ夫々ノ分擔ニ應ジ實施セラレタルモ右赤軍ニ對スル軍需品購入輸送ヲクシヨ

竝ニ「International Brigade 兵士募集(旅券ノ偽造ヲ含ム)等ノ不法工作ハ専ラE・Gニ依リ行ハレタリ。現ニE・G部長「ロバート・マイナー」ハ一九三八年ノ數ヶ月ヲ「スペイン」赤軍内ニ過セリ。

殊ニ今次ノ獨蘇不可侵條約ノ締結ニ依リ將來米蘇關係カ惡化スルカ如キ場合米國共産黨ノ蘇聯防衛的工作ハ從來準備ノミニテ表面ニ表ハレサリシ本部ノ活動ヲ中心トスルニ至ルモノト認メラル。兎ニ角有事ノ際ニ於ケル共産黨ノ國內攪亂工作特ニ軍需工場、交通通信機關「サポタージ」等ノ計畫ニ對シテハ米國朝野モ漸ク其ノ危険性ノ重大ナルヲ認メ司法當局及陸海軍當局ハ之カ對策ヲ考究シ居リ且米國下院非「アメリカニズム」調査委員會ニ於テモ共産黨ノ活動ニ關シ一兩年前ヨリ調査ヲ進メツツアル次第ナリ。

### 第二、構成

#### 一、部員

##### (1) 部員ノ資格

E・G部員タルノ資格ハ黨員若クハY・C・L員タル可キ制限アルモ黨員若クハY・C・L員全部カE・G部員タルヘク強制セララルニ非スシテ各自ノ希望ニヨルモノナリ、然ルカ故ニ之ヲ志願セサル者ハ絕對ニE・G部員ニ強制セララルコトナシ。E・G部員タルノ條件ハ常ニ命ニ應ジテ「ビケット」ヲ施行シ「ストライキ」ニ參加シ其ノ他毆打ヲモ入獄ヲモ敢ヘテ辭セサル意思力強キ者タルヘク同時ニ又口ヲ緘シテ唯默々ト命ニ應スル者タラサル可カラストナシ

##### (1) 部員及ヒ他部門ノ關係

E・Gノ幹部及一般部員ノ過半數ハ青年男女ニシテ彼等ハ同時ニ黨内他ノ部門關係事業ニモ活動シ

居ル者多シ。

(3) 部員数

E・G部員ハ約一萬名ニシテ其ノ中黨員六千名、Y・C・L員四千名有リト謂ハル。而シテE・G部員ハ關係ニ於テハ右黨員及Y・C・L員ハ共產黨及Y・C・Lノ區別ナク同一團體トシテ行動シツツアリ。

右一萬名ノ部員中約二千名ハ紐育ニ在リ、其他比較的多數ノ部員カ活動シ居ル都市ハ「デトロイト」「ピッツバーグ」、桑港及ヒ市俄古ノ諸市ナリ。婦人ハ全國ヲ通シ約二千名アリテ男子ニ比シ闘争意識旺盛ナリト謂ハル。尙E・G部員ハE・G部内ニ於ケル功績ニ應シ黨内他部内ニ於テ拔擢セララル可性アリト謂ハル。

二、機構

(1) 軍隊式機構

(a) 「セクション」E・G隊

全國ヲ通シ諸都市ニ於ケル各「セクション」支部内ニ五名乃至五十名ヨリ成ルE・G有リテ之等各「セクション」統率者ヲ指揮官「キャプテン」ト稱ス、之等指揮官ハ本部長「マイナー」ニ對シテノミ即チ全國本部ニ對シテノミ責任ヲ有ス。

(b) 大都市E・G隊

然レ共若シ或都市カ「セクション」以上ニ分タレ且E・G部員多數ニ及フ場合ハ指揮官(Captain)有リテ該市内ノE・G全員ニ對シ指揮權限ヲ有ス。

(c) 全國本部及ヒ地方間E・Gノ聯絡

全國本部ニハ「カード」式ニテ全米ニ於ケルE・G部員名簿完備セラレ居ル越ナリ、全國本部ハ或特殊活動ヲ爲サントシテ通常ノ手段ニヨルヲ欲セサル場合E・G部員ヲ使用スルモノニシテ「ストライキ」及「ピケット」ノ施行其ノ他各種示威運動ニ出ツル場合ノ如シ。

地方E・G指揮官等ハ突發事故以外ニハ文書、電報若クハ電話ニヨルE・G全國本部ヨリノ訓令若クハ許可ナクシテ其ノ揮下ノE・G團體ヲ使用スヘカラサル旨ノ訓令ヲ與ヘラレ居ル越ナリ。

三、事務所及幹部

(1) 全國本部事務所

黨本部建物内ニ在リ。

(2) 幹部

(a) 本部事務所ニ於ケル幹部

Robert Minor (E・G部長)

全國ニ互ル本E・G活動ノ總指揮ヲ爲シ全國(執行)委員、政治委員、政治委員ニシテ共產黨内ニ於テ極メテ重要ノ地位ヲ占ムル人物ナリ。「スベイン」赤軍ニ對シ米國ニ於テ輸出禁止トナリ居ル軍需及數百萬弗ノ購送ノ工作ヲ爲セルハ主トシテ同人ナリト謂ハル。尙過去ニ於テ左ノ如キ經歷アリ。文筆家、歐洲大戦出征中ノ米國軍隊内ニ「ホルシ」イニズムヲ傳播セリ。一九二八年 International Labor Defense 全國執行委員、同年「デーリー・ワーカ」紙ノ編輯長トシテ Zona Gale ノ子分。David Gordon (別名 Goronofsky) ノ書キタル風俗雑誌「アメリカー」ヲ出版セルヲ始メタル。一九三〇年編輯行爲ノ故ニ六ヶ月入獄。一九三三年 National Mooney Council of Action 及「U. S. Congress against War 會」一九三四年 Friends of the Soviet Union 全國執行委員等「League of Struggle for Negro Rights 會」等。

Herman Levine

E.G.内ニ於ケル「マイナー」補佐主任、黨組育支部書記長代理ニシテ一九三八年十一月共產黨ヨリ紐育州上院議員ニ立候補セリ、又同年紐育ローカリズム・スクール教師、同人ハ「Y.C.I.重要人物タリシ Dave Doran (ヘンシル・ヴァーノ州 Y.C.I.幹部「スベイン」赤軍中ニ於テ客年五月戦役セリ、死後反「フンサム」闘争ノ英雄トシテ宣傳セラルト協カシテ州「ハイン」赤軍援助ニ赴ケル四人ノ志願兵團 Abraham Lincoln Battalion 其他ノ軍隊ヲ組織派遣セルカ共ノ際「スベイン」共產政府ノ在紐育領事館ト密接ナル聯絡ノ任ニ當リト謂ハル。

Ernest Moore (G.G.部員「マリー」ローカ「編輯補助員、啓發宣傳部員。過去十ヶ年間南「コロライナ」州共產黨ノ主要人物ナリキ。

Richard Wright (G.G.監禁「ヒュー・マン」誌寄稿家、嘗テ黒人ニ關スル論文ニ對シ Guggenheim Fellowship 賞ヲ受ケタリ。E.G.ニ於ケル現在ノ職務ハ市文「セリモン」E.G.全國本部ノ訓令ニ服従シツマルヤ否ヤテ巡視スルニ任ジト謂ハル。

Gilbert Green (Y.C.I.全國會長共ノ他、公然本部運動ニ参加スルコトナキモE.G.内ニ於テ部長「マイナー」ヲ援助シツルハ「ソート」稱サラル。

Clarence Hathaway (啓發宣傳部長其他、前記「グリーン」同様ナリ。

(b) 地方E.G.内ニ於ケル重要人物

John Gates (紐育市E.G.指揮官、「テリー」ローカ「紙」ノ職員ニシテ「スベイン」赤軍内ニ數ヶ月ヲ過セルコトナリ。「ヤン・ホム」ニシテ「最近號」ニ「スベイン」情勢ニ關シ執筆セリ。

James Lerner (紐育E.G.指揮官代理、American League for Peace and Democracyノ青年主要人物、黨教育部執行委員「セー」The Workers Library Publishing Co.發行、「Youth Demands Peace」ノ著者。

Sasha Small (G.G.全國婦人指揮者、International Labor Defense 宣傳部長、黨婦人部組織員。二年前製鐵「ストライキ」ニ際シ自覺シキ活動ヲナセル人物ニシテC.I.O.婦人部ヲ率ヒテ數回闘争ニ参加セリ、數冊ノ著書アルカ Workers Library Publishing Company 發行、「Women In Action」ニ共「ナリ」。

Lilian Juno (E.G.紐育市婦人指揮者、紐育市「ハイン」セリモン「幹部、一九三八年紐育市ノ或公職ニ立候補セリ。

Rudy Ellis (Y.C.I.紐育州執行委員副會長)

Sam Banks (Y.C.I.紐育州書記)

Harry Mayor (紐育市「ローカリズム・スクール」教師政治經濟學者)

Mae Weiss (黨教育部大學專門學校支部ニ於ケル主要人物、Y.C.I.「ホワイ」州組織員、「Happier Days for American Youth」ノ著者)

Carl Ross (Y.C.I.全國本部執行書記、「ヤン」ローカ「運動」ノ首領、Y.C.I.ノ現職ニ就ク以前ニハ「ミキ」州ニ於ケルY.C.I.ノ主要人物ナリキ。

Hazel Dawson 北「キャロライナ」州機業地帯ニ於ケルE.G.婦人指揮者、一九三八年「サン」タイカリス「法」ニ關シテ拘禁セラレタリ、同年ノ米國共產黨全國大會ニ於ケル主要演説者、猛烈ナル階級闘争論者ニシテ「コロライナ」州ニ於ケルC.I.O.機業組合組織ニ於ケル主要人物ナリ。

Anna Burlak (Rhode Island) (詳細ハ黨婦人部ノ項參照)

Emma Tenayuka (Texas) (詳細ハ黨婦人部ノ項參照)

第三、國內擾亂工作ノ主要目標、方法及ヒ具體的先例

一、擾亂工作三大目標及方法

一旦有事ノ際前述ノ如ク米國共產黨カ擾亂工作上ノ主要目標トスル所ハ運輸機關、通信機關及鐵工場ナルカ運輸機關ノ擾亂ハ陸上ニ於テハ主トシテ「Transport Workers Union (CIO)」又海上輸送ニ關シテハ National Maritime Workers Union ヲ何レモ内部的ニ支配スルコトニ依リ之カ實施準備ヲ爲スモノニシテ紐育近傍ノ陸上ニ於テハ既ニ之カ用意アリト稱セラル、全國通信機關ノ擾亂工作ハ Postal Telegraph Co. 従業員ヲモ含ム通信従業員組合ヲ内部的ニ支配スルコトニ依リ主トシテ之ヲ實施セン

トスルモノナルカ更ニ目下「ウエスターン・ユニオン」ニ迄進出シ居リ且其ノ支配スル組合ニ通シテ船  
舶内ノ「ラデオ」技師等ヲモ左右スルニ努メツツアリ、尙右工作實施セラルル場合ニハ數週間ニ亘リ一  
齊ニ通信事務ヲ混亂ニ陥ルコトヲ得ヘシ。

又鐵工業ニ關シテハ The Steel Workers Organizing Committee (C.I.O.)ニ依リ鐵工業「ストライキ」  
ヲ施行シ之カ運行ヲ停止セムトスルモノナルカ萬一右ニ失敗スル場合ニ、「サボターヂ」ニ依リ其ノ目  
的ヲ達成セントスルモノナリト謂ハル。

右特別工作ノタメノ具體的方法トシテ長期間露見スルコトナク企テ來レハ組織的ニ配置セラレタル  
特殊ノ「エーゼント」制度ニシテ彼等ハ黨員相互間ニシテモ其ノ存在ヲ知ラルコトナク數年間其ノ職  
務ニ忠實ニ従事シ來レリ、以下「エーゼント」ノ種別及組織ニ關シ略述ス。

(1) 工場内ニ於ケル「エーゼント」

鐵工業「サボターヂ」煽動「エーゼント」ノ過半数ハ米國東部工業地域即チ紐育、「ペンシルヴァニア」  
及「オハイオ」ノ三州ヲ含ム三角地帯内ニ存在スト稱セラル。又西沿岸地方ニモ多數アリテ隣接州ニ  
擴大シツツアリ。「イリノイ」、「コネクタイカット」及「マサチューセツト」ノ三州ニモ多數ノ「エー  
ゼント」存在ス。

工場内ニ於ケル「エーゼント」ニ Permanent Undercover Agent 及「主要フラクション」(Leading  
fraction)ノ種類アルカ皆「ワーカーズ・スクール」ニ於テ周到ナル訓育ヲ受ケタル隠レタル「エー  
ゼント」ニシテ當該地方ニ於ケル E・G 指揮官ノ命令ノ下ニ行動ス。

(a) Permanent Undercover Agent ハ 共產黨ノ 攪亂工作ヲ更ニ鞏固ナラシムル爲ニ各重要工場内ニ

少クトモ一名宛配置セラレ居ルモノニシテ共產黨トノ關係ニ就キテハ當該地方支部 E・G 指揮官  
以外何人モ之ヲ知ル者無シ。又組合員少數ナル工場ニ於テハ他ノ注意ヲ避クル爲故意ニ組合活動  
トノ關係ヨリ遠サカル場合ヌラ有リ。但シ彼ハ當該地方ニ於ケル黨支部 E・G 指揮官ニ對シ定期  
的報告ヲナス義務アリ。

(b) 主要「フラクション」(Leading fraction) ハ「スバイ」及「サボターヂ」煽動等ノ仕事ヲナスモノニ  
シテ當該地方ニ於ケル E・G 指揮官ヨリノ訓令ヲ嚴格ニ守リテ活動スルモノナリ、其ノ特殊ノ環  
境ニ應ジ自ラ隠レタル「エーゼント」ナリ組合ノ組織援助若クハ「ワーカーズ・スクール」入學勸  
誘等ヲ爲ス。

而シテ右「エーゼント」ニ與ヘラルル指揮官 E・G ノ訓令ハ permanent undercover agent ヨリノ進言  
及情報ニ基キ發セラルルモノナリ、假令右「エーゼント」カ發覺暴露セララル場合アリトモ Perm-  
anent Undercover Agent ハ 絕對ニ露見ノ怖ナキ地位ニ在レハ黨ノ攪亂工作ハ何等停滞スルコト  
ナク依然繼續セララルル仕組トナリ居レリ。

次ニ掲クルハ「サボターヂ」ニ關スル「ワーカーズ・スクール」教授科目ノ一部ナルカ之ハ聯邦議  
會調査委員會ノ報告ニ依ル。

- 1 「ペンキ」内ニ異質ヲ混シテ其ノ剝脱及腐蝕ヲ生セシムル方法
- 2 發電機内ニ蓄音機ノ針ヲ落ス效果
- 3 油ニ鋼鐵ノ紛末ヲ混シテ軸承ヲ毀損スル方法
- 4 注油ヲ懈怠スルコトニヨリ軸承ヲ燒磨セシムル方法

5 蒸氣管ヲ燒廢セシムル最上ノ方法  
 6 聯輪機ノ操縦ヲ不可能ナラシムル方法  
 (2) 商船内ノ「エーゼント」

船ノ大小ニ拘ラス一船上ニハ少クモ隠レタル「エーゼント」一名若クハ組織員一名又ハ兩者存在スルモノナルカ工場其他ニ於ケル「エーゼント」同様之等隠レタル「エーゼント」ハ當該地方ノB・G指揮官以外何人モ之ヲ知ル者ナシ、之等「エーゼント」モ亦其ノ職務ニ充分ノ訓育ヲ受ケ且嚴格ナル規律ニ柔順ニ服従スルモノナレハ商船内ニ於ケル「サボターヂ」ノ效果ハ甚大ナルヘン。右ノ如ク海陸ニ亘リ米國共産黨ノ「サボターヂ」ヲ準備シ居ルハ労働組合内ニ於ケル共産黨ノ活動カ決シテ労働者ノ待遇改善ノ爲ニ行ハルルニハ非スシテ蘇聯外交政策ノ利益ヲ計ル爲ノ一段トシテ使用セントスルニ過キサレコトヲ證明スルモノナリ。

二、「サボターヂ」ノ實例

- 共産黨煽動ニ依ル「サボターヂ」ノ實例若干ヲ左ニ掲ケテ參考ニ供ス。
- (1) 「コネクティカット」州「ニュー・ロンドン」ニ所在スル潜水艦造船所工場 The Electric Boat Company 内ニハ共産黨ノ秘密細胞アリテ米蘇關係悪化ノ場合ニハ直ニ工場能率破壊ヲ準備シ居ル趣ナリ。
  - (2) 一九一九年紐育「ブルックリン」ニ於テ電車従業員ノ大「ストライキ」アリタル際共産主義者等ハ之ヲ革命化セント試ミタルモ組織未タ鞏固ナラザリシカハ失敗ニ歸セリ。
  - (3) 一九三一年ヨリ三二年ニ亘リ米國不景氣ノ結果トシテ失業者三百萬ニ及ヘル際共産黨ハ巧ニ失業者群ヲ組織シテ、華府ヘ向ヒ「ハンガー・マーチ」ヲ施行シ「ホワイト・ハウス」ニ迫レリ。當時ノ大統領

領「フーヴァー」ナリシカ黨員ハ之ヲ以テ佛國皇帝ヲ攻撃シタル佛蘭西革命ニ擬シ、「革命既ニ勃發セリ云々」ト「モスコ」ニ打電セルモ軍隊ノ猛襲ニ會ヒテ退却セリ。尙共産黨ハ之ヲ證明スルタメニ軍隊トノ衝突ヲ撮映セル「ニュース・リール」映畫ヲ「モスコ」ニ送付セリ。

(4) 紐育ニ於ケル the Consolidated Edison Co. 従業員等ノ「ストライキ」期間中共産黨「エーゼント」ハ示威ノ目的ヲ以テ露見スルコトナキ「サボターヂ」ノ一例トシテ紐育市ヲ中心トスル大區域ヲ三時間餘ニ亘リ暗黒化セリ。尙右犯人ハ聯邦、州及地方當局ノ嚴重ナル探索ニ不拘途ニ不明ナリキ。

(5) 一九三五年「ウイスコンシン」州「ミルウォーキー」市ニ於ケル「トラック・ストライキ」ノ折官憲ニ依リ、押收セラレタル共産黨ノ機密書類ニハ右「ストライキ」ヲ全國ニ亘リ施行シテ之ヲ以テ内亂勃發ノ動機ト爲サントスル指示カ詳細ニ記入セラレ居タル趣ナリ。尙右計劃ハ諸大都市ノ重要道路ニ交通遮斷ノ柵ヲ設ケ電話及ヒ電信、「ラヂオ」放送局ヲ乗取リ更ニ鐵道、公共建築物、官廳、郵便局及内國稅務署等ヲ占領シ大統領ヲ始メ其ノ他ノ閣僚ヲ捕縛スヘシ云々ト記サレタル趣ナリ。

(6) 共産黨ハ又 The Brotherhood of Railway Trainmen 及「ボーター」ノ組合ヲモ支配シツツアリ。シタルカ一米國汽船カ米國人避難民救助ニ赴カントスル時其ノ出港二日ノ遅延ヲ見、又其ノ他二隻ノ商船モ同様ニ遅レタリ。右ハ海員等カ戰區通過ヲ理由トシテ貨銀値上並ニ二百五十弗ノ「ボーター」ヲ要求セルカ爲メニシテ之等海員ハ皆共産黨ノ支配ヲ受ケル National Maritime Workers Union ノ組合員ナリキ。

然ルニ船主側ノ拒絕強硬ナリシカハ右組合長 Joseph Curran ハ共産黨本部ノ指示ニ從ヒ同組合ニ

調一0154

0316

對スル一般米人ノ反感ヲ高メサル様戰區ヨリ米國人全部カ引上ケル迄右闘争ヲ延期スルコトシ  
先ツ船員等ニ命ヲ下シテ任務ニ就カシメタリ。

第十項、政 務 部 (Political Department)

第一、概 説

本部ハ大統領、聯邦議會及地方各種議會議員、州知事、司法官等聯邦及地方政府公職ノ選舉問題ヲ主  
要任務トシ更ニ勞農黨組織其ノ他共產黨ノ一般政治運動ヲ主管ス。

而シテ選舉ニ關シテハ共產黨ノ候補者ヲ指名シ又ハ他ノ政黨ノ候補者中黨及外廓團體ニ於テ何レヲ支  
持スヘキヤヲ決シ選舉「スローガン」及綱領ヲ作成シ選舉運動ヲ指揮スルモノトス、尤モ右各事項ニ關  
シテハ夫々他ノ各部特ニ「フラクシオン」部、啓發宣傳部、「エフポート」部等ノ援助ヲ受クルモノトス、  
而シテ本年五月「ヤング・コミニスト・リーグ」會合ニ於テ「ブラウダー」カ「ルーズヴェルト」第三期立候  
補ヲ聲明セルカ右ハ黨書記長トシテ當然ソコトナカラ又同時ニ此ノ種問題ハ政務部長トシテ彼ノ直接  
主管事項ナリ。

尙本部ニハ諮問機關トシテ全國政務委員會 (National Political Commission) アリ (黨ノ最高執行機關  
タル政治委員會 (Political Committee) ト混同セラルヲ要ス)。本委員會ハ政治委員會委員其ノ他各部  
地方ノ有力者ヲ併セ二十名ヨリ構成セラレ不定期ニ會合シ選舉期ニ於テ週ニ二、三回モ會合スルコト  
アル趣ナルカ選舉ナキ時期ニ於テハ月二回「ブラウダー」ノ召集ニ依リ會合スルコトナリ居ルモ地方  
ノ者ハ多クハ書面ニテ報告スル趣ナリ。

又地方各級支部中州支部 (但シ黨員少ナキ地方ニ於テハ二、三州ヲ包含スル「デストリクト」支部ト

ス) 市又ハ郡支部ノ大部分又及若干ノ「セクション」支部ニハ Political Secretary ヲ置キ本部又ハ直上  
級支部ニ對シ當該地方ノ狀況ヲ報告セシムルト共ニ本部ノ意見決定セルトキハ之ニ基キ選舉ニ關スル  
黨支部及外廓團體ノ工作ノ中心トナルモノトス、而シテ之カ諮問機關トシテ州支部ニハ State Pol-  
itical Commission アリ、州政務委員會ノ委員會ハ州政務書記カ「ブラウダー」ノ同意ヲ得テ指名スルモ  
ノトス、其ノ人員ハ州ニ依リ異ナルモ紐育州政務委員會ハ十五名ヨリ成ル。

第二、組 織

Earl Browder (部長) 本部内ニハ其ノ他二、三ノ補佐アリ。

次ニ本部ニ附設セララル全國政務委員會 (N. P. Commission) ハ左記二十名ヨリ構成セラレ、黨主要  
各部及ヒ地方ノ代表ヲ網羅シ居ル處右ノ内ニハ政治委員會 (Political Committee) ノ委員ノ大部分カ  
包含セラレ居レリ。

- × Earl Browder (政治部長) × M. J. O'gin (猶大人委員會委員長) × James Ford (黒人部部长) × C. Harshaway (勞働組合委員長)
- × William Weiner (I. W. O. 會長) × V. L. Hans (郵遞委員會委員長) × Roy Hudson (勞働組合委員長)
- × G. H. Green (C. P. I. 會長) × Jack Stachel (「マラツマン」部委員長) × Margaret Cowl (婦人委員會代表)
- × Israel Antler (紐育州支部長、紐育州中心ニシテ東部地方ヲ代表ス) × William Schneiderman (加州支部書記長、加州「ヤウチ」州「ロッキンガム」州ヲ代表ス) × William Dunne (第三十區支部長、「ロッキンガム」加州「ロッキンガム」三州以外ノ西部諸州ヲ代表ス) × William Weinstone (「ロッキンガム」州支部書記長、中米諸州ヲ代表ス) × Andrew Brown (第十七區支部長「マヨラ」南部地方ヲ代表ス) × William Gebert (組織部代表) × Louise Thompson (黒人婦人代表) × Granville Hicks (作家代表、「ヒューマン」記者ナリ) × Alexander Bitelman (教育部代表) × Herbert Benjamin

(失業者團體代表、ジョー・カーズ・ブライアン、書記長兼會計)  
(×印子附セルハ政治委員兼委員ナリ)

尙右正規委員ノ外左記ノ者ハ屢々本委員會ノ會議ニ出席シ議事ニ參加スル趣ナリ。

Michael Gold (「テラー・ブライカー」) Grace Hutchins (教育部) Marguerite Young (婦人部) Seyneur Waldman (「ヒューマン」) H. I. Cottrell (猶太人委員會) Carl Brodsky (「ロイヤル」人委員會) W. L. Patterson (I. L. D. 及「黒人部」) Angele Herndon (「C. C. P.」)

次ニ紐育州政務委員會委員ハ左ノ如シ。  
Israel Amter; Isidore Begun; Charles Krumbein; William E. Browder; Simon Gerson; Paul Norick; Rose Wortis; Peter Cacchine; Carl Vedro; Sam Banks; Max Steinberg; Sadie Van Veen

第三、米國共産黨ノ政黨運動

米國共産黨ハ來ルヘキ一九四〇年ノ大統領選舉ニ於テ永年待望セル民主黨分裂ヲ招來シ同時ニ「ニュー・ディール」派民主黨員ト米國選舉民ノ約三分一ヲ占メ労働組合ヲ主勢力トスル急進分子トノ合同ニ依リ農民労働黨(共産黨ハ農民カ「ルーズヴェルト」ノ「ニュー・ディール」政策ヲ支持スヘキコトヲ期待ス)ヲ組織センコトヲ希望シ居ル處右ノ希望ハ來ルヘキ大統領選舉ニ對スル鋭キ分析ニ立脚スルモノナリ。即チ彼等ハ彼等自身ノ大統領候補ニテハ勿論當選ノ望ミナキヲ知り、民主黨ニ對シヨリ廣汎ナル支配權ヲ得ルカ然ラスンハ之ヲ分裂セシムルカノ二途ノ一ヲ選フコトニ方針ヲ決定シ居ルモノナルカ現下ノ政情ニ對スル分析及之ニ適用セントスル方略左ノ如シ。

抑々南北戦争(一八六一—一八六五年)以來民主黨候補トシテ大統領ニ當選シタルモノハ「クリーヴ

ランド」、「ウイilson」及「フランクリン・デイ・ルーズヴェルト」ノ三名ニ過キス。而シテ前二者ハ各第一任期、第二任期ノ場合共ニ一般投票ニ於ケル得票數少數ナルニモ拘ラス選出セラレタリ。從ツテ「ルーズヴェルト」ハ南北戦争以來選舉民多數ノ得票ヲ以テ當選セル最初ノ民主黨大統領ニシテ且之以來民主黨ハ米國ノ多數黨トナレリ。

共産主義者ハ南北戦争以來「ルーズヴェルト」出現迄少數黨ノ地位ヲ脱シ得サリシ民主黨ノ大統領候補カ保守派ナリシ場合ハ必ス特ニ慘メナル失敗ニ終リタル事實ヲ指摘シ民主黨ノ唯一ノ「チャンス」ハ社會政策的又ハ急進的政綱ヲ採用スルニ在リト結論シ居レリ。(唯一ノ例外ハ「クリーヴランド」ノ再選ニシテ彼ハ其ノ第一任期ニ於テ既ニ保守派トナリ居タルモ政界ノ非常ナル混亂ノ爲當選スルヲ得タリ)。

又彼等ハ一九二九年乃至一九三三年ノ危機ニ依リ民主黨及ヒ共和黨内ノ分解作用ナカリセハ民主黨ノ地盤ハ本來全國選舉區ノ三分一ニ達セザルモノニシテ右以上ノ勢力ヲ占ムルニ至リタルハ要スレハ共和黨内ノ進歩的分子及急進的ナル第三黨運動トノ合同ヲ結成セルニ因ルモノト信ス。

又一九二二年ノ大統領選舉ニ於テ共和黨ノ「セオドア・ルーズヴェルト」ハ共和黨ヨリ離脱シ彼自身ノ「進歩派共和黨」ヲ組織シタルカ之ニ對シ本來ノ共和黨ヨリ「ウイilson」(當選)他ニ社會黨側ヨリ一名夫々立候補シタリ、此ノ選舉ニ於テ「タフト」ノ得票ハ全投票ノ四分一ニ達セサリシニ「セオドア・ルーズヴェルト」ハ三分一ヲ獲得スルヲ得タル處若シ「セオドア・ルーズヴェルト」カ社會主義者及其ノ他ノ急進分子ト合同シ居タランニハ右以上ノ得票ヲ以テ或ハ「ウイilson」ヲ破リタルヤモ知レストハ共産主義者等ノ指摘スルトコロナリ、而シテ右ニ依リ彼等ハ今尙共和黨内ニ



進歩的ナル小數派存在シ之等ハ民主黨内ノ自由主義的一派ニ合流セシメ得ヘク若シ斯ノ如キ結合カ社  
會主義者及共產主義者等ノ急進派ノ支持ヲ得ハ民主黨又ハ共和黨ノ保守派ニテモ對抗シ能ハサルヘシ  
ト結論ス。而シテ更ニ米國ノ選舉民ハ大體平均セル三ツノ「グループ」即チ政策ノ如何ヲ問ハズ常ニ民  
主黨或ハ共和黨ヲ支持スル者各三分ノ一ヲ占メ残り三分ノ一ハ一ノ政黨ニ執着スルコトナク又時ニ應  
シ第三黨運動ヲ起シテ其ノ欲求(多クハ急進的ナル)ヲ最モ効果的ニ表現セントスルカ如キ者ナリト  
觀測シ居レリ。

二四六

蘇テ民主黨ハ現ニ分裂ノ危機ニ際會シ居リ來ルヘキ一九四〇年ノ大統領選舉戰カ一九三二年及一九三  
六年ノ場合ト大イニ異ル複雑セル様相ヲ呈シ居ル所以ナルカ右分裂ハ共產黨側ヨリノ干渉ナクモ恐  
ラク實現スヘシト認メ來ル處、之迄民主黨ノ内訌ハ多クハ大統領候補者選出ノ黨大會ニ於テ解消セラ  
レ居リ一旦大統領候補指名セララルヤ黨ヲ擧ケテ之ヲ支持スルコト常則ナリシモ今回ハ若シ民主黨カ  
現副大統領「ジョン・ガーナー」ノ如キ保守主義者ヲ指名スルカ如キコトアランカ、「ルーズヴェルト」大  
統領ハ其ノ急進的ナル「ニュー・デイル」支持者及ヒ労働者及ヒ農民層ヲ率キテ第三黨運動ヲ起サンコ  
トハ充分期待セラレヘキトコロニシテ共產黨ハ斯ル事態ノ發展ニ備ヘ「ルーズヴェルト」カ民主黨ヲ組  
織スル場合労働階級ノ投票ヲ必要トスヘキヲ見越シ労働組合運動内ニ其ノ勢力ヲ扶植シ來レリ。若シ  
右ノ如キ民主黨ノ分裂ヲ實現セハ共產黨ハ「ルーズヴェルト」及ヒ其ノ第三黨政權ヲ完全ニ支配シ得ル  
地位ニ立ツニ到ルヘシ。

來ルヘキ大統領選舉ノ結果トシテハ  
(一)「ルーズヴェルト」カ民主黨候補者トシテ當選スル場合

(二)「ガーナー」ノ如キ保守派民主黨員カ民主黨候補者トシテ當選スル場合  
共和黨候補者カ當選スル場合

(三)「ルーズヴェルト」カ「農民労働黨」ノ如キ第三黨ノ候補者トシテ當選スル場合

右四ツノ場合ノ外考ヘ得ナル處其ノ中共産黨カ積極的ニ支持ヲ與フル場合ハ(一)及(四)ノ場合ニ限ラ  
ルヘク結局「ルーズヴェルト」個人カ彼等ノ考慮ノ中心ナリト認メラル。而シテ共產黨ニトリ(一)ヨリ

モ(四)ノ場合カヨリ好マシキハ勿論ナルモ「ルーズヴェルト」カ民主黨ノ指名ヲ得ル可能性ハ大イニア  
リ、其ノ場合第三黨ヲ組織シテ「ルーズヴェルト」ニ反對スルノ無益ナルコトヲ充分承知シ居ルヲ以テ  
結局之ヲ支持スル用意ヲ爲シ居ルモノナリ。

現在民主黨内ニ於テ相對峙スル兩派ハ「Garner-Glass-Wheeler」保守派及ヒ「ルーズヴェルト」ノ「ニュー  
デイル」派ナルカ保守派ハ優レタル組織體制ヲ有シ且其ノ勢力ニ於テモ優勢ナリ、「ニュー・デイル」派  
ハ黨内ニ於ケル組織體制ハ強力ナルモ其ノ主要勢力ハ一般民衆ノ支持及ヒ二大政黨以外ノ第三選舉民  
「グループ」トノ聯合ヨリ成ルモノナリ。

一九四〇年ノ選舉ニ於テ民主黨カ若シ「ニュー・デイル」ヲ充分ニ代表スル聯合候補者及ヒ綱領ヲ以テ臨  
ムナラハ勝利ヲ占ムルハ殆ント確實ナランモ、若シ保守派ノ希望ニ添フヘキ候補者及ヒ綱領ヲ以テ臨  
ム場合ハ慘敗スルヤモ知リス又共和黨ノ自由派カ若シ同黨ノ外部ニ聯合ヲ求ムルナラハ右ハ「ルーズ  
ヴェルト」ノ「ニュー・デイル」派トナルヘク此ノ聯合ハ「労働農黨」(Garner-Labor Party)ノ名ニ於テ運動セ  
ラルヘシ。

一方民主黨ノ保守派カ共和黨ノ自由派若クハ保守派ノ何レカニ助力ヲ求ムルハ現在ニ於テハ望ナシト  
二四七

云々得ヘシ、何故ナラハ共和黨ノ自由派ハ既ニ「ルーズヴェルト」ノ「ニュー・ Deal」派ト殆ント選フト  
コロナク從テ共和黨ノ保守派カ假令 Garner-Glass-Wheeler 派ト聯合スルカ如キ場合ハ共和黨保守派  
ノ勢力弱リタルコトヲ黨外ニ向ヒ告白スルト同様ニシテ且兩黨保守派ノ聯合ハ兩黨自由派ノ聯合ヲ凌  
駕スルカ如キ勢力ヲ糾合スルコトハ不可能ナラント推容セラルルカ故ナリ。

(註) 第三者ノ立場ヨリ「ルーズヴェルト」ハ兩黨保守派ノ聯合ハ「ルーズヴェルト」ノ「ニュー・ Deal」派及極左翼一切ノ聯合ヲ打破シ得  
シト想像セルモノトス。現在ニ於テハ斯ル合同ノ實現ハ期待シ得ラレス。

然ルカ故ニ大部分ノ局面ノ展開ハ一九四〇年ニ於ケル大統領及ヒ副大統領候補者ヲ決定スル爲ノ民主  
黨委員會ノ結果ニ基クモノト謂ヒ得ヘシ。

前掲二大政黨ヲ除ク三分ノ一ノ選舉民ハ米國共產黨ニ支配セラルル左傾分子ナルカ之等ハ Hoover-  
Dewey-Taftノ統治下ニ在ル共和黨保守派ノ候補者及ヒ綱領ヲ支持シ之ニ投票スルノ希望ナク又他面  
民主黨ノ保守派 Garner-Glass-Wheeler ヲ支持スル意思ナシ。仍テ結局民主黨委員會ニ於ケル「ニュー・  
Deal」派ノ勝利ヲ希望スルカ、若シ右カ實現セラルル場合ハ一戰ヲモ交ヘスシテ退却スルカ、然ラサレ  
ハ夫レ自體ノ新黨樹立運動ヲ爲スヘキカノ二途何レカヲ選ハサルヘカラサル處新黨組織ノ場合ハ恐ラ  
ク「ルーズヴェルト」ヲ指導者ニ推スナルヘシ、然ルカ故ニ選舉民ノ三分ノ一ヲ占ムル左傾分子ハ民主  
黨委員會ニ於ケル「ルーズヴェルト」派ノ勝利ヲ期スルタメニ工作ヲ爲スモ他面斯カル勝利ノ見込未タ  
確實ナラサルヲ以テ Garner-Glass-Wheeler 派ニ敗北スル萬一ノ場合ニ備フルタメ「ルーズヴェルト」  
首班トスル第三黨ノ工作ヲモ準備セサルヘカラス、斯クテ共產黨ハ「ルーズヴェルト」カ民主黨委員會  
ニ於テ敗北シ止ムナク勞農黨ヨリ出馬スルカ如キ場合ニ處スルタメ第三黨運動ヲ支持スル目的ヲ以テ

目下ノ勞働組合内ニ於ケル共產黨ノ全勢力ヲ糾合シツツアリ。

以上述フル所ハ來ルヘキ選舉ニ對スル共產黨ノ觀測及方針ナリ。

而シテ共產黨カ自己ノ候補者ヲ有セザリシ場合ニ大政黨以外ノ候補者ヲ支持シ勝利ヲ博シタルコト  
屢々アリ、紐育ニ於ケル「アメリカン・レーバー・パティ」及ヒ「ミネソタ」州ニ於ケル勞農黨其他共產主  
義ノ盛ナル地方ニ於ケル此ノ種第三黨支持ノ共產黨ノ政治運動ハ從來相當ノ成績ヲ擧ケ來タルモ概  
シテ地方的意義ヲ有スルニ過キサル場合多數ナルモ兎モ角共產黨ハ第三黨運動作戰ニ依リ二大政黨ト  
對抗シテ全國的選舉ニ於テ充分勝利ヲ博シ得ヘシトノ確信ヲ得ルニ至レリ。

共產黨カ第三黨運動ニ依リ二大政黨ヲ打破シ來レル實例中主要ナルモノヲ左ノ掲ケテ參考ニ供スヘ  
シ。

(1) 一九三八年「アメリカン・レーバー・パティ」ノ候補者トシテ紐育ヨリ聯邦下院議員ニ立候補セル  
Vito Marcantonio 選舉ニ際シ共產黨ハ殆ント全部之ニ投票セリ、尙右「マールカントニオ」ハ A. I. P.  
ヨリ出馬セルモ事實ハ隠レタル共產黨員ニシテ共產黨外團體 International Labor Defense ノ全  
國會長ナリ。

(2) 他ノ適例ハ一九三八年ノ紐育州知事選舉ニ於テ行ヒタル選舉運動ナリ、コノ時ニハ選舉前ヨリ民  
主黨ノ「レーマン」及ヒ共和黨ノ「デューイー」二名カ最モ有望ニシテ白熱戰ハ殆ント二名間ニ於テノ  
ミ行ハレタリ。共產黨ハ内心「デューイー」ノ勝利ニ歸スルヲ怖レタレトモ自身候補者ヲ有セス且 A.  
L. P. ヲ立候補セシムルモ勝利ノ見込ナカリシヲ以テ前掲二名ノ内「レーマン」ヲ選ビテ之ヲ支  
持セント決意セリ。茲ニ於テ共產黨指揮ノ下ニ A. L. P. ハ「レーマン」ヲ自黨ノ候補者トシテ之ヲ支

持スルコトナリ、「レーマン」ハ自黨ノ民主黨ノ外A.L.P.ニ投票スル左傾分子ノ支持ヲ得テ僅少ノ差ニテ「デューイー」ヲ打破スルヲ得タリ、事實「デューイー」ハ「レーマン」カ民主黨ヨリ受ケル投票ヨリ多數ヲ共和黨ヨリ受ケ居タレハ若シ「レーマン」ニ右ノ如キ左傾分子ノ支持ナカリセハ彼ハ慘敗シタルヘクA.L.P.ヲ通シテ工作シタル共產黨ノ戦術ハ斯クノ如クシテ勝敗ヲ決スルコトナレリ。

(3) 「ミネソタ」州ニ於テモ共產黨ハ數年間勞農黨ヲ通シテノ工作ニ成功セリ。保守派カ同州ニ於テ共產黨ノ支配力ヲ打破シ得タルハ漸ク一九三八年州知事選舉ニ於テ共和黨ノ敗退ヨリカ左傾派ノ知事 Olson ヲ打破セルコトニ依ル。然レ共右ニ依リ一時勢力ヲ失セリトハ云ヘ「ミネソタ」州ニ於ケル共產黨ノ政治勢力ハ依然旺盛ナリ。

(4) 共產黨ハ目下紐育市當局内ニ勢力ヲ占メ且市會ヲ支配セントスル計畫ノ下ニ工作ヲ進メツアリ。即チ次ノ市會選舉ニ於テ共和黨員ノ出馬ニ同意スル五萬名ノ署名ヲ求ムル工作中ナルカ共產黨依ニリ推舉セラレ居ル紐育市會議員立候補者名ハ左ノ如シ。

- Israel Amter (紐育州共產黨支部長——「マンハッタン」區)
  - Isidore Begun (紐育州共產黨支部委員——「ブロンクス」區)
  - Paul Crosbie (共產黨「リキーンズ」區支部長——「リキーンズ」區)
  - Peter Cacchione (共產黨「マンハッタン」區支部書記長——「アルブロンク」區)
- 右人物ノ内何レカノ當選セル場合ニ、紐育市會内ノA.L.P.議員ト共ニ左傾分子合同派ヲ形成スルナラン。紐育市會内ノA.L.P.議員トシテ有名ナルハ Michael Quill ナルカ彼ハA.L.P.ヨリ出馬シテ

市會議員ニ當選セル共產黨員ニシテ同時ニ又C.I.O.加盟組合「Transport Workers Union (T.W.U.)」ノ組合長ナリ。紐育全市ノ運輸機關ハ凡テ右組合ニ依リ完全ニ支配セラルルカ故ニ市會議員トシテ Quill ハ二重ノ役目ヲ有スルモノニシテ市當局ニ對シ右組合ノ要求ヲ貫徹スル上ニ都合ヨキ立場ニ在リ。

要スルニ米國共產黨ハ民主黨左翼及現存スル第三黨運動ヲ出來得ル限リ支配スルニ努ムルト共ニ他面民主黨ヲ結局ニ於テ瓦解セシメ其ノ後ニ全國的勞農黨ヲ建設セントスル計畫ヲ有シ居ルモノナリ。

第四、聯邦議會及政府諸機關内ニ於ケル共產黨ノ勢力乃至工作

一、聯邦議會内ニ於ケル共產黨ノ「ロビー」運動  
米國共產黨ハ聯邦議會内ニ自黨ヲ代表スル議員ヲ有セス。且又當分ニ選出シ得ヘキ見込ナキヲ以テ聯邦議會ニ對スル其ノ影響ハ間接的ニ依ラサルヲ得サルモノナリ。然シ其共產黨ハ他面ニ於テ其ノ外廓團體及ヒ之ト關聯アル諸團體ヲ通シ蘇聯防衛ノ見地ヨリ「ロビー」運動ヲ爲シ得ルモノナリ。即チ政治部、「フランクシオン」部、立法部ハ各種團體内ニ在ル共產黨「フランクシオン」ヲシテ陳情ノ電報及書翰ヲ上下兩院議員ノ机上ニ堆積セシメ以テ其ノ主張ヲ通サントスル戦術ヲ用ヒツツアリ。而シテ右陳情カ純正ノ「デモクラシー」及ヒ非共產主義的團體ヨリ發セララルルカ如キ印象ヲ與フルタメ該運動ヲ指導スル「フランクシオン」ハ極力裏面ニ隠ルルモノナリ。右戦術ノ一例トシテ對日「エムバーゴ」陳情ヲ舉ケ得ヘシ。日本カ「侵略國」ナリトノ前提ニ基キ日本ニ對スル軍需品及ヒ主要商品ノ「エムバーゴ」ヲ主張スル陳情書カ第七十六聯邦議會ノ第一會期ニ提出セラレタルカ右運動ノ指揮者ノ共產黨「フランクシオン」ニシテ表面ノ主催團體ハ American League

For Peace and Democracy ナリキ。而シテ右陳情ハ五千萬ノ米國人ヲ代表スルト稱セラルル處右ハ全ク虚構ノ誇張ナルモ兎モ角斯ク新聞ニ掲載セラレ其ノ宣傳目的ヲ達スルヲ得タリ。更ニ右陳情運動ハ共產黨其他如何ナル右翼團體トモ關係ナキ多數團體ニ依リテモ支持セラレタルヲ以テ下院議員中ノ多數カ五千萬ノ要求ト誤信シ之ヲ過當ニ評價スルコトアルハ已ムヲ得サルトコロナリ。

右運動ハ「フラクシオン」部員(前衛工作員)ニ依リ各種團體ノ幹部及一般會員ニ巧ニ接觸シテ其ノ署名ヲ得ルコトニ依リ達成セラレタルカ、斯クノ如クシテ署名ヲ得タル場合ニ於テモ右ハ單ナル個人的支持ニハ非シテ其ノ屬スル團體ノ支持ナリト見セカクル手段ヲ弄セルモノニシテ事實團體ヲ代表スト稱スル署名カ團體ヲ代表スル權限ナキ普通ノ會員ニ依ル場合モアリタリ。

右ト全ク同様ノ手段ニ依リ共產黨「フラクシオン」及ヒ外廓團體ハ書翰及ヒ電報ニ依リ聯邦議會議員各員ニ對シ「プレッシャー」ヲ加フルモノナルカ知名ノ士及ヒ所謂「デモクラテイツク」諸團體ノ名ヲ之ニ連ネシムル工作ヲ爲シツツアリ、斯ル運動ノ結果議員中共產黨ノ政策ニ協力スル者多數生シタルカ若シ右運動ノ黒幕カ共產黨タルコトヲ知ラハ之ト協力スル者ハ殆ント無カルヘシ、尤モ共產黨員ハ外廓團體若クハ自由主義團體等ノ共產黨ト關係アリト非難セラルル場合斯ル非難ヲ爲スモノニ對シ反共的又ハ「フラクシオン」的ナリト逆襲スルコトニ依リ之カ非難ヲ容易ニ封シ得ル次第ナリ。

聯邦議員ニシテ殆ント共產黨員ニ近キ者ハ Vito Marcantonio ナリ、同人ハ第七十六回聯邦議會ニ始メテ紐育市ヨリ民主黨員トシテ選出セラレタルカ其ノ際民主黨及ヒ「アメリカン・レーバー・パーティー」ト同様共產黨ノ支持ヲ受ケ居リ、隠レタル共產黨員ナリト一般ニ認めラレ居レリ。

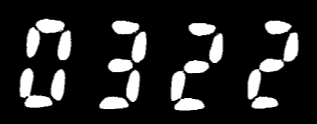
共產黨系團體及ヒ其他左傾團體ノ活動ヲ默認シ又ハ政治的ニ安全ナリト認めララルル場合ハ之ト協力ス

ルコトヲ辭セサル下院議員ハ約七十五名有リ。之等ノ多クハ大都市選出議員ニシテ共產黨カ各種外廓團體ヲ通シ選舉ノ妨害ヲナシ得ルコトヲ知悉シ居レリ。

又左傾主義者等ニ依リ「組ミシ易シ」ト認めラレ居ル顯著ナル上院議員ハ La Follette, Pepper 及ヒ Minton 等ナリト謂ヘル。

二、政府諸機關及ヒC・I・O内ニ於ケル左翼猶太人

現在ノ社會機構ヲ破壊シ新世界ノ建設ヲ終局ノ目的トスル共產主義ト猶太人トハ現制度ヲ混亂ニ陥レ之ヲ破壊スル工作ノ關スル限リニ於テハ本來自然ノ同盟關係ニ在リトハ一般ニ主張セラルルトコロナルカスカル主義上ノ問題ハ之ヲ別トスルモ從來「ヒットラー」カ蘇聯及猶太人ノ共同ノ敵タル關係ニ於テ共產黨及猶太人カ相互ニ援助利用ノ關係ニ在リタルハ當然ノコトナリ。然レ共右前提ヨリ直ニ一切ノ猶太人特ニ政府部内ノ猶太人カ凡テ共產黨ノ政策ヲ辯護乃至支持スルモノナリト斷スルハ勿論早計ナルモ他面之等猶太人ノ大部分ハ「ニュー・デール」政策ノ實施ニ依リ採用セラレ概ネ之カ熱心ナル信奉者ナルヲ以テ從テ右政策支持ヲ現在ニ於ケル黨是ト爲シ居ル共產黨ト一脈相通スルトコロアルハ當然ナリ、現ニ政府ノ有力ナル地位ニ在ル數百名ノ猶太人中ニハ共產黨ト判然タル關係アル團體ニ屬スル者多數有ルハ事實ニシテ政府ノ左翼政策ノ攻撃者カ之ヲ猶太人ニ歸スル根據モ右事實ニ基クモノナリ、而シテ例ヘハ政府救濟事業(W.P.A及ヒP.W.A)内ニ於ケル共產黨員ノ活動及ヒ其ノ勢力「ルーズヴェルト」政府カ寛大ニ默認シ來レルモ右事實ニ基クモノナリト主張ス、又 National Labor Relations Board 及労働者カC・I・O内ニ於ケル共產黨員ノ活動及ヒ其ノ勢力ヲ看過シ居ル所以モ亦然リト爲ス。



又C・I・O内ニ於テ一般猶太人及ヒ猶太人黨員カ比較的多数存在シ殊ニ其ノ組織員及幹部ノ地位ニ多数アルコトハ反猶太運動ニ攻撃ノ資料ヲ提供スルモノナリ、尤モ官公吏ノ地位ニ在ル猶太人ニ對シテ國人ノ大部分ハ公正ナル態度ヲトリ確證ナキ限リ共產黨ト關係アリトノ断定ハ差控フル傾アリ。

要スルニ政府内ノ猶太人總數カ米國內ニ於ケル其ノ全人口ニ比シ遙カニ多数アルコト及偶々共產黨内ニ於テモ其ノ全國本部及各州支部主要人物等ノ六〇%、全黨員數ノ約半数カ猶太人ナルコトカ相俟テ世間ノ疑惑ノ因ヲ爲スモノナリ。

二五四

反猶・反共團體タル「シルバー・シアーツ」ハ政府諸機關及ヒC・I・O内ニ於ケル知名ノ猶太人ノ氏名ヲ印刷配布シ之等人物カ共產黨ト關聯アルヲ暗ニ仄カセルカ之等政府内ノ猶太人カ總ヘテ共產黨ニ關係アリト斷スルハ不當ナルモ他面大體ニ於テ之等ノ多数ハ「ニュー・デール」支持ノ外共產黨ノ根本的政策ノ一タリシ反「ファシズム」政策ニ對シ共鳴、援助若クハ使喚シツツアリト見テ大過ナカルヘシ、又C・I・O内ノ猶太人ニ關シテハ大體ニ於テ共產黨ノ政策ニ追隨シツツアリト斷シテ可ナルヘシ。

左ニ前出政府諸機關及ヒC・I・O内ニ於ケル主要猶太人ヲ參考迄ニ列舉スヘシ。尙左記諸氏ノ地位ニ多少異常ナルヘシ。

EXECUTIVE

Bernard M. Branch ("Unofficial President" New York financier and "economist"); Samuel I. Rosenman (Justice New York Supreme Court 或 補 Mr. Roosevelt's personal attorney); Judge Robert Marx, Cincinnati (political adviser); M. Malvyn Fertig (President Roosevelt's counsel when Governor of New York)

TREASURY  
Henry Morganthau (Sic) Jr. (Secretary of the Treasury); H. S. Klotz (assistant to the secretary); Jacob Viner (Assistant Secretary); Harris F. Mises (technical assistant); Sidney R. Jacobs (assistant commissioner); George Haas (Director of research and statistics); Aaron Director (assistant director, research and statistics); Boris

Kostelanetz (Special Assistant United States Attorney); Joseph Greenberg (chief, division of bookkeeping); Melvin R. Loefman (chief, division of accounts); Eli Frank Jr. (chief counsel, Customs Bureau); Louis Simon (Supervising architect); Joseph Zroker (assistant director, research and statistics); Anna M. Michener (assistant to assistant director, research and statistics); Joseph W. Schereschewsky (Medical Director, Public Health)

JUDICIARY

Justice Louis D. Brandeis (Supreme Court); Prof. Felix Frankfurter; Justice, (一九三二年、Vienna 出生。一九〇九年、ウィーンに於テ「カントニウム」ニ於テ法學博士。Sacco-Vanzetti 及び Moorey 裁判、法學顧問。American Civil Liberties Union, へ會シテ「ズリン」法學博士。總合監獄監事。聯邦行政裁判官。radicals ナル「スラム」に於テ。露米大衆運動會) Justice Benjamin N. Cardozo (sic) (Supreme Court); Judge Julian W. Mack (United States Circuit Court of Appeals); Judge Morris A. Soper (United States Circuit Court of Appeals); Judge Samuel Mandelbaum (United States Court, New York); Judge (sic) G. M. Moscovits (United States Court, New York)

STATE DEPARTMENT

Dr. Herbert Feis (economic adviser); Leo Paolovsky (special assistant to Secretary of State); David A. Salmon (Chief, Division of Communications and Records); Joseph E. Jacobs (Chief, Office of Philippine Affairs); Jacob A. Metzger (assistant legal adviser)

DEPARTMENT OF LABOR

C. Wyzanski Jr. (Solicitor General); Frances Jarkowitz (administrative assistant to Secretary); Isador Lubin (Commissioner of Labor Statistics, also vice chairman, Central Statistical Board); Jacob Pearlman (senior economist, Bureau of Labor Statistics); Boris Stern (industrial economist); Anna Weinstock (Commissioner of Conciliation); Dr. W. N. Polakov (consulting engineer); A. D. H. Kaplan (consumer's survey project); Mrs. C. M. Becker (assistant director, Division of Labor Standards)

DEPARTMENT OF COMMERCE

Louis Donneratsky (Chief, Division of Information); R. R. Nathan (Chief, Income Section, Bureau of Forestry and Domestic Commerce); A. J. Hirsh (chief clerk, Bureau of the Census)

DEPARTMENT OF AGRICULTURE

Mordecai Ezekiel (economic adviser); A. C. Bachrach (Chief, Litigation Section); Joseph A. Becker (statistician, Bureau of Agriculture Economics); R. R. Kaufman (Administrator Commodity Exchange Administration)

DEPARTMENT OF THE INTERIOR

Nathan R. Margold (Solicitor General); Norman Meyers (Assistant Solicitor General); Felix S. Cohen (Assistant Solicitor General); F. L. Marx (Assistant to the Secretary); E. K. Berlew (budget officer); Ernest Greening

11頁



(Director, Division of Territories and Island Possessions); W. E. Zouch (Chief, Planning Division Subsidence Homesteads); Rachel Barker (Indian Bureau); Philip H. Cohen (Office of Education, educational radio projects); David Segal (consultant, office of education); J. P. Abel (Comparative Education Division)

DEPARTMENT OF JUSTICE

Harold Nathan (Assistant Director of Investigations); Paul Freund (Assistant Counsel); A. Hiss (Assistant Solicitor); I. H. Lavin (special assistant to Attorney General); Max Spelke (Special assistant to Attorney General); E. E. Chafetz (special assistant to Attorney General)

IN THE CONGRESS

Samuel Dickstein (Representative, N. Y., 12th district, Chairman Immigration and Naturalization Committee, Chairman Committee Investigating Un-American Activities, Member Claims Committee, Member, Indian Affairs Committee, Member, Revision of Laws Committee); Sol Bloom (Representative, New York, 19th District, Chairman Sub-Committee on Lobbying, Member Foreign Affairs Committee, Member, Committee Investigating American Retail Federation, Director, George Washington Bi-Centennial Committee, Director Constitutional Sesqui-Centennial Commission); W. A. Shoych (Representative, New York, 14th District, Chairman, Patents Committee, Member, Civil Service Committee, Member Merchant Marine Committee); W. M. Citron (Congressman-at-Large, Connecticut); H. P. Koopmann (Representative, Conn., 1st District, Member, Banking Reorganization Committee); A. J. Sabath (Representative, Illinois, 5th District, Chairman, R. E. Bondholders Trust, Chairman, House Judiciary Committee); Leon Seals (Representative, Pennsylvania, 1st District); Henry Ellenbogen (Representative, Pennsylvania, 38rd District).

LEGAL COUNSEL FOR CONGRESSIONAL COMMITTEES

Adele Springer (Senate Commerce Sub-Committee); Carl Miner (Senate Commerce Sub-Committee); Max Lowenthal (Congressional Committee on Security Practices); Meyer Krushner (Congressional Committee on Mortgage Bonds, etc.); Max D. Steuer (Congressional Committee on Mortgage Bonds, etc.); Samuel Becker (Special Commission Investigating A. T. & T.); Franz Bear (Director, Senate Committee Investigating Amalgamation of Races, etc. Anthropologist); Abraham S. Weber (Budget Director); Meyer Levy (New York State Committee of U.S. Sesqui-Centennial Constitution Celebration); Irving Lehman (Associate Judge of Court of Appeals); Irwin Untermyer (Justice, Appellate Division); E. Lozansky (Justice, Appellate Division); Albert Cohen (Justice, Appellate Division); Samuel Roseman (Formerly M. Roosevelt's personal attorney); Ferdinand Pecora (Justice of New York State); Aaron J. Levy; Alfred Frankenthaler; Julius Miller; Bernard Sheintag (Justice New York); Aaron Steiner (Justice, New York State); Isador Wasservogel; Harry Lewis; Meier

Steinhilck (Justice, New York State),  
DIPLOMATIC SERVICE

W. C. Bullitt (Ambassador to France)  
(附) Bullitt の秘書は J. H. B. 氏。彼は 1937 年 12 月に在任中に死去した。彼の死後、Bullitt の秘書は J. H. B. 氏に引き継がれた。L. A. Steinhardt (Minister to Sweden, Nephew of Samuel Untermyer); Fay Desportes (Minister to Bolivia, Cousin of Bernard Baruch); Ferdinand L. Meyer (Minister to Haiti);

WORKS PROGRESS ADMINISTRATION (WPA)

Jacob Baker (assistant administrator); CIO organizer of federal Morton Milford (special assistant); Albert Abramson (State Administrator, Maine); Lester Herzog (State Administrator, New York); David Weintrub (director, National Research Project); Irving Kaplan (associate director, research project); Harold L. Posner (assistant director, research project); Emanuel Levin (speakers bureau); W. Polakof (staff engineer); W. Siegel (Federal Art Project); Lincoln Kerstein (Federal Dance Project); H. G. Alshberg (Federal Writers Project); Joseph Ginit (Assistant manager, field division service projects); Phyllis Pearlman (publicity director, New York); Nikolai Sokolof (Federal Arts Projects, New York); Edith Handler (associate director, Consumer Survey Project, New York); Mrs. L. Nathan (assistant director, Consumer Survey Project, New York); Miss E. Sherman (assistant director, Consumer Survey Project, New York); David Schatzor (Consumer Survey Project, New York, allocation department); Mrs. K. Ronsky (Consumer Survey Project, New York, teaching department); Miss R. Eisner (Consumer Survey Project, New York, statistics); A. D. H. Kaplan (administration); Morris Watson (Federal Theatre Project); Boris Gladin (Federal Theatre Project); M. Blankfort (Federal Theatre Project); Manuel Essman (Federal Theatre Project); Meyer Levin (Federal Theatre Project); A. C. Stern (air pollution survey, New York); Max Walinger (Writers' Project, New York State director); Lew Levinson (Writers' Project, New York, 雑誌「作家」の編集長); Murray Nathan (Administrator, New York Division for Physically Handicapped); George Kondolf (Director, Federal Theatre Projects, New York); Irving Mendall (Living Newspaper Project, New York); Leon Henderson (economist, Member Democratic National Committee).

FEDERAL ADVISORY COUNCIL

Howard A. Loh (F.R.S., Philadelphia Division); W. Lichtenstein (secretary)

PUBLIC WORKS ADMINISTRATION (PWA)

Benjamin V. Cohen (General Counsel National Power Policy Committee, Felix Frankfurter の秘書); Benjamin V. Cohen (General Counsel National Power Policy Committee, Felix Frankfurter の秘書); Time 1.

Division); R. D. Kohn (Assistant Director, Housing Division); H. A. Berman (Chief Counsel, Housing Division); A. K. Stern (Administrator); Leo L. Holsbein (Administrator); Nathan Strauss (Administrator, Housing Administration)

**SOCIAL SECURITY BOARD**  
A. J. Altmeyer (Chairman, also member National Youth Administration); W. Joseph Cohen (assistant to chairman); Louis Resnick (Director of Information); A. H. Aronson (Director of Personnel); Isadore S. Falk (principal medical economist); Dr. A. Steinbach (administrative specialist); Mrs. Anna M. Rosenberg (Director, New York Regional Office); Mrs. Lillian S. Pess (assistant director, New York Regional Office)

**NATIONAL RELATIONS BOARD**  
W. Morris Lelerson (Chairman); Estelle S. Frankfurter (administrative assistant); Benedict Wolf (secretary); Mrs. B. M. Stern (assistant executive secretary); David I. Sapos (consultant and chief economist, very radical); Abraham L. With (counsel); Milton Handler (couns, special assistant to Attorney General); W. Maslow (counsel); Nathan Witt (assistant general counsel); Benjamin Gordon (attorney); Frank Bloom (examiner); George Kanenow (labor conciliator); C. N. Faldelson (Regional Director, Georgia); Benjamin Schauffler (Regional Director, Maryland); Jacob Bilicoff (Regional Director, Pennsylvania); A. H. Myers (Regional Director, Mass); David A. Moskowitz (regional counsel, New York); W. Seagel (examiner)

**TENNESSEE VALLEY AUTHORITY (TVA)**  
David Eli Lilienthal (Director and General Counsel); Bernard Frank (Chief Forester); Bernard I. Rose (Secretary).

**THE NRA**  
NRA (The National Industrial Recovery Act) Felix Frankfurter (Director); Herbert Strauss (Assistant Administrator); Leverett S. Lyon (Assistant Administrator); Sol A. Rosenbalt (Director of Compliance); M. Creditor (Control Officer); Leon Henderson (economic adviser, now member Democratic National Committee); Morris Greenberg (Deputy Commissioner); Dr. Alexander Sachs (Chief Research Division); Dr. Maurice Karp (personnel expert); Stanley Posner (senior statistician); Meyer Turin (Assistant Counsel); G. J. Feldman (attorney, Division of Review); Isaac Nahum Stone (administrative member, Code Authority); Benj. F. Berman

(member, Labor Studies Section); Max Lerner (Adviser, Consumer Division, now editor of The Nation); Lucian Koch (Member, Consumer Division); Rose Schneiderman (Member, NRA Labor Advisory Board, RED); Stanley Hillman (Member, NRA Labor Advisory Board); Dr. Lee Holman (Member, NRA Labor Advisory Board); Joseph Brodinsky (Member, Labor Advisory Board); H. G. Silverman (Chief statistician); Henry F. Wolf (Administrator, New York State); Morris Greenberg (Deputy Administrator, New York State); Iden Golden (Secretary, Regional Board, New York); Milton Gladston (Counsel, Code Authority, New York).

**SECURITIES AND EXCHANGE COMMISSION**  
Milton Katz (executive assistant to Chairman); David Saperstein (Director of Trading); Sherlock Davis (Assistant Director of Trading); Paul Gouurrich (Director, Research Division); David Schenker (Chief Counsel, committee investigating investment trusts); Milton Kroopf (assistant counsel); David Golden (associated committee investigating investment trusts); Paul Gouurrich (Director, Research Division); David Schenker (Chief Counsel); Abe Fortas (assistant counsel committee investigating bond firms); Jacob Graber (Assistant General Counsel); E. F. Tancer (trial attorney); Samuel H. Levy (attorney); Harry Haller (attorney); Eugene A. Levinson (assistant attorney); C. S. Stern (attorney); Leo J. Sherman (accountant investigator); Abraham N. Davis (Assistant director of Trading); R. W. Goldschmidt (financial economist); Leon Cohen (attorney);

**NATIONAL EMERGENCY COUNCIL**  
Johns Graber (Director for Kansas); R. J. Wiseman (Director for Maine); E. Freed (Director for Oregon); Louis E. Kerstich (Vice president, William Fiere's Sons Co., Boston Department store); Sidney J. Weinberg

**BUSINESS ADVISORY COUNCIL, DEPARTMENT OF COMMERCE**  
U. S. TARIFF COMMISSION  
A. Manuel Fox (Commissioner); Louis B. Balif (Chief, Smuggling Division); Louis Brownlow (Chairman, President's Committee on Administrative Management); Isaac Leo Scharfman; Dorothy C. Kahn (Chairman, Public Employment and Relief Committee)

**FEDERAL EMERGENCY ADMINISTRATION OF PUBLIC WORKS**  
M. W. Strauss (publicity director); Abel Wolman (State Director, Delaware)

**COMMODITY CREDIT CORPORATION**  
Samuel H. Sabin (Assistant secretary; also secretary, Export-Import Bank, director RFC)

**FEDERAL EMERGENCY RELIEF ADMINISTRATION**  
Emma Chenapp (supervisor of statistics)

**SCIENCE ADVISORY BOARD**  
Milton J. Rosenau (member);

**FEDERAL ALCOHOL CONTROL ADMINISTRATION**

E. Greenbaum (chairman)  
 PRISON INDUSTRIES REORGANIZATION ADMINISTRATION  
 Joseph N. Ullman (board member); B. E. Oppenheim (assistant director)  
 NATIONAL YOUTH ADMINISTRATION  
 C. H. Tausig  
 FEDERAL COMMISSION ON APPRENTICE TRAINING  
 Clara Beyer (assistant director)  
 FEDERAL PRISON INDUSTRIES, Inc.  
 Sam A. Lewishohn (director)  
 FEDERAL COMMUNICATIONS COMMISSION  
 Ben S. Fisher (assistant counsel)  
 GOVERNMENT PRINTING OFFICE  
 Morris Kantrowitz (technical director)  
 MEXICAN CLAIMS COMMISSION  
 Edith M. Levy (secretary)  
 NATIONAL POWER POLICY COMMITTEE  
 J. David Wolfson (executive secretary)  
 GENERAL ACCOUNTING OFFICE  
 David Neumann (Chief, Claims Division)  
 NATIONAL RESOURCES COMMITTEE  
 Morton Wallesen (chairman, Third District)  
 RESETTLEMENT ADMINISTRATION (Transferred to Department of Agriculture)  
 Lee Pressman (General Attorney, also chief attorney of the CIO); M. Oppenheim (acting general counsel);  
 Max J. Wasserman (director, Finance Division); M. E. Gilford (director, Information Division); Mrs. D. M.  
 Beck (Regional Administrator, Eastern States, resigned); Samuel J. Finkler (assistant)  
 FEDERAL APPOINTEES  
 Albert Goldman (Postmaster N. Y. C.; former Bronx politician)  
 PUERTO RICO RECONSTRUCTION ADMINISTRATION  
 Moses D. Huberman (special legal adviser); Samuel Neshover (Rural Rehabilitation Division); Louis Breslaw  
 (auditor)  
 INTERSTATE COMMERCE COMMISSION

Irving L. Koch (Chief Examiner); Max Lorents (Director of Statistics); B. H. Meyer (Commissioner)  
 NATIONAL ADVISORY COMMISSION FOR AERONAUTICS  
 H. F. Guggenheim (member); Sidney M. Karas (member)  
 RAILROAD RETIREMENT ADMINISTRATION  
 Jerome N. Frank (RFC counsel; Former general counsel, AAA, and leader group of radical Washington at-  
 torneys); A. G. Silverman (chief economist); Harry Shulman (special counsel)  
 FEDERAL RESERVE BOARD  
 Emmanuel Goldenweiser (Director of Research)  
 FEDERAL RESERVE BANKS  
 J. David Stern (Philadelphia director; Owner of Philadelphia Record and New York Evening Post)  
 FARM CREDIT ADMINISTRATION  
 W. Irving Myers (Governor; Commodities Credit Corporation, Director 農産物・農産物・農産物)  
 農産物・農産物); C. C. Jacobson (FCA Director, Regional Agricultural Credit Division); M. I. Fox (FCA chief  
 examiner)  
 CIVIL SERVICE COMMISSION  
 Ismar Baruch (Chief, Personnel Division); Joseph Spilman (assistant, Personnel Division); Jacob H. Weiss  
 (assistant chief examiner); Morris Weisberg (attorney and examiner)  
 ELECTRIC HOME AND FARM AUTHORITY  
 Emil Schramm (President)  
 "LESSEE LIGHTS."  
 Charles Michelson (Przyluska) (press agent and publicity expert for National Democratic Committee); Harris  
 Samogisky (member, Delaware Valley Tercentennial Commission); A. Hurwitz Monat (private secretary to  
 secretary of the Senate); Irving Gordon (assistant clerk to Senate legislative counsel); Cora Rubin (secretary  
 to Senator Borah); Ben Stern (secretary to Senator Van Nuys); Ben Hardman (secretary to Senator Graves);  
 Sidney Schachtin (assistant clerk, House Committee on Immigration); Benjamin Schwartz (Bureau of Animal  
 Industry, Department of Agriculture).  
 NEW YORK CITY  
 (La Guardia is only part Jewish); Fiorella H. LaGuardia (Mayor. See American Hebrew, Jan. 12, 1934, Half  
 Jew); Nathan Frankel (Mayor's legal counsel); Stanley M. Isaacs Borough President of Manhattan 米穀商  
 Simon Gerson 米穀商の巨頭 米穀商の巨頭  
 IN NEW YORK STATE



Herbert H. Lehman (Governor); Nathan R. Sobel (counsel to the Governor); Abraham L. Borus (Deputy State Controller); Henry Epstein (Solicitor General); Sol Ullman (Assistant Attorney General); Reuben A. Lazarus (Assistant Corporation Counsel); Leon A. Fishel (Senate Research Council); Rose Schneiderman (Secretary, State Department of Labor); 米橋隆正 (State Planning Board); Robert Moses (State Council of Parks; also Park Commissioner, New York City); Benjamin J. Radin (State Mortgage Commission); Jacob Mannikoff (Deputy Tax Commissioner); Sigmund Solomon (Superintendent, U.S. Assay Office. Appointed by President Roosevelt); Democratic electors, 1896 Electoral College, New York State (David Dubinsky, Sidney Hillman, Max Zaritsky, Nathan Hirsch).

#### THE CONGRESS FOR INDUSTRIAL ORGANIZATION (JEWS IN THE CIO) ORGANIZERS AND ATTORNEYS. (Compiled from news items in the daily press and from other sources.)

Lee Pressman (general counsel); H. Resettlement Administrator, Department of Agriculture); Sidney B. Hillman (National Committee, H Head of the Amalgamated Clothing Workers); David Dubinsky (National Committee); Max Zaritsky (National Committee); Nathan Margold (Department of the Interior); Jacob Baker (organizer, Federal Employees, also assistant administrator WPA); Isidor Nagler (organizer, automobile workers); Julius Hochman (organizer, automobile workers); Meyer Adelman (organizer, automobile workers); Dick Frankenstein (organizer, automobile workers); Jay Lovestone (organizer, automobile workers, ex-CP Head); Maurice Sugar (attorney, automobile workers Very radical); Samuel Sandberg (N. E. Organizer, automobile workers); B. J. Danich (Regional Director, Ohio); Meyer Pearlstein (Regional Director, Southwestern U.S.); Paul Ruseen (Sub-director, Steel Workers Organizing Committee); E. J. Lever (Sub-director, Steel Workers Organizing Committee); Robert Cantor; Morris Mallinger, Joel Heilman, Abe J. Ierman (New Jersey); Israel Brestein (Blair Owen) (Morris Field, Leo Paris--New Jersey); Nat Kaplan (Nat Ganley), N. S. Davidow, Milton Arons (New Jersey); D. B. Shortal (attorney); William Weinstone, (Communist); Samuel C. Waldbaum, Paul Galzer, Jack Stachel (Pennsylvania); C. S. Golden, Rose Wortis, Rose Stein (Pennsylvania);  
(Weinstone, Stachel 及び Rose Wortis 及び Rose Stein 等は「シオニスト」の組織に属する)  
J. J. Laver, Nathan Cowan (Pennsylvania); Samuel Handelman (Ohio); Clarinda Michelson (New York); Sidney Grant (New England attorney); Harold Katan (American Communication Association); William Lefrow (American Communication Association); Alexander Hoffman (Cleaners and Dyers Union); R. M. Sentman (The White Collar Union); Murray Nathan (Bookkeepers, stenographers and Accountants); Abraham Flaxer (State, County and Municipal Employees); Leo Wolmann (Amalgamated Clothing Workers); Hyman Blumberg (Textile Workers); Ben Gold (Fur Workers, 非ユダヤ系シオニストの組合に所属する)。

#### 第十一項立法部 (Legislative Division)

##### 一、概説

本部ハ聯邦議會ニ現ニ提出セラレ居ル各種法案ヲ検討シ之ニ對スル共產黨ノ態度ヲ決定シ又ハ各種政策遂行上必要若ハ有益ト認メラルルカ如キ法律案提案問題ヲ研究シ政治委員會ノ同意アリタルトキ「エフェクト」部、「フラクシオン」部ト協力シテ議會工作ヲ行フモノナリ、然レ共其ノ主タル任務ハ法律顧問部ノ如キモノニシテ實際ノ工作ハ「エフェクト」部及「フラクシオン」部ニ依リ行ハルコト多ク從テ本部ノ職員ハ少数ナリト謂ハル。

更ニ本部ニシテ諮問機關トシテ Legislative Committee 附設セラレ、各部及其産運動ノ法律部面ヲ擔任ス外廓團體ノ幹部ヲ委員トシ各方面ノ意見ヲ集メ又ハ之トノ連絡ニ資シツアル趣ナリ。

##### 二、職員

Gene Denis (部長、同ハ又全國委員會議員ナリ)

Mildred Egan (本部ノ華府出張事務所ノ主任ニシテ議會中ニハ勿論議會閉會後ニ於テモ立法關係ノ情報蒐集及工作ニ當リ居ルナリ。尤モ同人館ニ華府事務所ノ存否ニ付テハ未ダ「ナショナル・アクト」ヲ論ナシ)

Saul Waldbaum (政府在住ノ辯護士ナルカ C. I. O. ノ顧問辯護士ニシテ議會中ハ前記華府出張所に在リテ工作スト謂ハルカ

部ニシテ「エフェクト」ノ論ナリ)

尙前記 Legislative Committee ノ委員ハ左ノ如シ

Darl Browder; Clarence Hathaway; Ray Hudson; M. Olgin; A. Trachtenberg; Herbert Benjamin (Workers Alliance); R. Minor; I. Anter; W. L. Patterson (Int'l Labor Defense); Grae Hutchins; James Ford; William Gebert

三、National Lawyers Guild (全米辯護士組合)

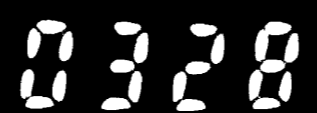
聯邦並ニ州議會ニ於ケル立法工作ニ關スル立法部ノ活動ハ主トシテ本「ギルト」ヲ通シテ行ハレツツアリ、全米辯護士組合ノ内部支配ノ工作ハ他ノ共產黨外廓團體ニ對スルト同様「フラクシオン」部ノ工作ニ基クト大ナルモ現在ニ於テ共產黨ノ立法工作ハ立法部カ「フラクシオン」部又ハ「エフオート」部等ト連絡シ本組合ヲ表面ニ立テ遂行セラレツツアリ、依テ左ニ本組合ニ關シ略説スヘシ。

全米辯護士組合ハ事實上共產黨ニ依リ操縦セララルル團體ナルモ左ノ如キ米國法曹界著名ノ人物ヲ理事トシ表面ハ非共產團體ノ如ク裝ヒ居レリ、William Harmon Black (前紐約州大審院判事) Leon Green (ノースウエスタン大學法律部長) Charles F. Amidon (前判事) Forrest Bailey (American Civil Liberties Union ノ会長) International Labor Defense (前記) James J. Morrison (在「ルイジアナ州」) Tulane 大學法律部教授 Mitchell Franklin (本「ギルト」會長ハ市俄古ノ Morton Weinberg 副會長 Tulane 大學法律部教授 Mitchell Franklin ニシテ書記長ハ Vera Deane ナリ。

最近ノ調査ニ依レハ本「ギルト」ハ會員三、五〇〇名ヲ有シ本部ヲ華府ニ置キテ對議會政治工作ヲナシソノ支部ヲ米國內大都市、例ハシ桑港、クリーブランド、市俄古、シアトル、ボストン、オークランド、「ニューオーレアンズ」、「デトロイト」、「ニューワーク」等ニ置キ居レリ。

一般ニ辯護士カ「コミュニスト」タリ得ルトハ考ヘ難キモ米國共產黨カ左記ノ如キ活動分野ニ於テ法律ニ通曉スル會員ノ必要ヲ痛感シ居ルハ疑フヘカラサル事實ナリ。即チ共產黨ノ活動ニ對シテ禁止令ヲ發動スルカ如キ反動的判事ノ威赫ト闘ヒ「ピケット」ノ權利ニ對スル合法的妨害ヲ除去スルカ如キ法案ヲ起草シ労働組合トノ協定ヲ破ルカ如キ雇主ト戦ヒ、或ハ反動的法案ノ通過ヲ阻止スル爲華府並ニ各州議會ニ於テ政治工作ヲナスカ如キ場合ニ於テ有能ナル法律家ヲ要スルモノナリ。左傾法律家ハ「ニュー・デール」ニ反對スル法案ノ通過ヲ阻止セント努メ居リタル共產黨ノ計畫ヲ支持シ來タリシカ右ハ米國共產黨「イリノイ」州支部ノ立法部書記ナル「ジャック・マーチン」(Jack Martin) カ今年八月ヨリ Communist 誌上ニ寄セタル記事ニ照シテ明カナリ。

『第六十一回』イリノイ州議會ハ最近ニ於ケル最も進歩的ナルモノノ一ナリキ。同議會ニ於テハ労働團體側及民主黨系議員ノ主張ハ未タ會テナキ程一般議員ノ注意ヲ惹キ左翼分子ハ共和黨提出ノ反動的法案ノ否決ニ成功セシカ右ハ「A.P.L.」、「C.I.O.」ノ協調的行動並ニ他ノ左翼團體間ニ於ケル未曾有ノ結束ニ基キタルモノナリ。尙民主黨ハ主トシテ「ニュー・デール」ノ趣旨ニ基キ一致シタル政策ノ遂行ニ努力セル結果 New Deal Democracy ハ目覺シキ勝利ヲ博スルニ至レリ。右勝利ノ主ナルモノハ労働組合ヲ金縛リニスルヲ目的トセル Lantz Bill ニ始メ一九四〇年選舉ヲ目標トシ New Deal 攻撃ノ手段トシテ左傾運動彈壓機關ヲ設立セントスル Collins Bill 別名 Little Dies Bill、低廉ニ住宅ヲ提供スルヲ目的トセル聯邦政府住宅建造案ヲ無力ニセントスル法案等ノ否決並ニ養老金ノ増額、労働者補償金増加及向フ一年六ヶ月間ノ救済金ニ當ツル七二、〇〇〇、〇〇〇弗豫算獲得ニ成功セルコト等ナリ。而シテ右豫算ノ獲得カ「ニュー・デール」側ノ勝利ナル以上左翼側ノ勝利ナリト云フヘシ云々



「イリノイ」州政府ノ財政ヲ破綻セシムルカ如キ右「勝利」ハ同州ニ於ケル「N.L.G」ノ活動ノ結果ニシテ且「マーチン」カ略述セル左ノ如キ「N.L.G」ノ綱領ト一致スルモノナリ。

綱領 概略

立法ノ形式竝ニ方法ヲ考慮スルニ當リテハ左ノ諸點ヲ重視スヘシ。

(イ) 「A.F.L.」「C.I.O.」「Railroad Brotherhood Workers Alliance」ノ如キ團體ノ法案ヲ支持スルタメニハ一致協力セル行動ヲ必要トス。而シテ斯ル一致的行動ハ會議、各團體代表ノ結合、政治工作、或ハ決議案等ヲ通シテ得ラルルモノナリ。

(ロ) 有能ナル辯護士ヲ委員長或ハ顧問トスル立法委員會ヲ各團體ニ設置シ立法運動連絡ヲ凡テノ團體中ニトラシメ選舉民ヲシテ常ニ聯邦並ニ州議會ノ議員ニ所要法案ノ通過ヲ請願スル手紙電報或ハ決議文ヲ送ラシムルコト、而シテ立法委員會々議ニ於テ繼續委員會ヲ設ケ絶エス法案通過運動ヲナシ民衆大會或ハ代表會議ヲ開ク外一般ニ左傾的立法運動ヲ繼續シ且各團體本部ニ報告ヲ送ラシムルコト。

曾テ「N.L.G」内ニ於ケル共產分子ノ勢力ニ對抗シ、自己ト見解ヲ同シクスル會員ヲ率ヒテ同「ギルド」ヲ脱退スヘシト脅カセル紐育州大審院判事「Pecora」ハ今年二月市俄古ニ開カレタル「N.L.G」大會ニ於テ「余ハ余ノ名前ト地位カ共產主義者ニ利用セラレ居ル事ヲ悟リ始メタリ」ト公表シ遂ニ反共闘争ヲ開始セシカ更ニ同大會中十分ニ審議セシメテ決議案ヲ通過セシメ且委員ノ選舉ヲナサシメタルトコロニ共產戦術ノ存在ヲ看破シ有能且人格有ル法官並ニ辯護士ヨリナルニモ拘ラス「N.L.G」ノ「モスコ」ノ指令ニ從ヒ居レリ」ト攻撃セリ。

當時新聞紙上ヲ賑ハセン彼ノ辛辣ナル攻撃ハ「New York City Municipal Service Committee」委員長ナル「Paul Kern」(註)ノ否定スル所トナリシカ「ペコーラ」ハ斯ル否定ヲ無視シ一切ノ共產分子ヲ「N.L.G」ヨリ脱退セシムルコトヲ要求セル結果彼ハ全米ノ法曹界ヨリ反共分子ト呼ハルルニ至レリ、明カニ左傾分子トハ云ハレナルモ自由主義者トシテ知ラレ居ル法律家連ハ「ペコーラ」ヲ名譽毀損罪ニ問ハント脅カセシカ右ノ内ニ名ハ「N.L.G」副會長「Franklin」及書記長「Morrison」ナリキ。「カルフォーニヤ」ニ於ケル左傾的分子ニ操ラレ居ル州議會議員ハ各種ノ左傾的法案、労働規則ヲ船舶業者、地主、映畫製作者、工業家等ニ押しツケント努力シ尙聯邦議會ニ於テハ加州選出議員ニシテ且「N.L.G」ノ委員ナル「Byron Scott」並ニ「フリン」州選出議員「John M. Coffey」(「タコヤ」出身)ヲシテ對議會政治工作ヲナサシメシカ右ノ内「ロフイー」ハ「League for Peace and Democracy」ノ會合等ニ立法問題ヲ説明スル辯士トシテ人氣ヲ有ス。

尙紐育州議會ニ活躍シ居ル「N.L.G」ノ會員ハ「Frank Monaco; Nathaniel Minkoff, Salvatore De Mattea 及 Gerard F. Mugrosso」等ナリ。

斯クシテ左翼法律家ハ米國共產黨ノ活動ニ重要ナル役割ヲ演シ居ルカ右ハ「N.L.G」三、五〇〇名ノ會員中極少數ノ共產分子カ黨ノ方針ニ從ヒテ「N.L.G」ヲ操縦シ居ルカ故ナリ、尙「N.L.G」ノ政策ニ關シ「William Z. Foster」ハ一九三八年九月號「The Communist」中ニ「共產黨ト、自由職業者(The CP and the Professional)ナル論文ヲ載セ居ルカ大要左ノ如シ。

「共產黨ニ屬スル自由職業者ハ一般會員ノ經濟的竝ニ政治的収益ヲ組織的ニ擁護スルヲ以テ主眼トシ凡ユル種類ノ協會、「ギルド」労働組合等ニ加入シ、夫々自己ノ所屬スル職業團體ノ闘争方針決定並ニ

其ノ遂行ニ參劃スヘシ。

尙右ノ如キ闘争ニ當リテ自由職業團體ハ常ニ一般大衆トノ聯絡協調ヲ忘ルヘカラス、強固ナル組織ヲ有シ且共產主義の見解ヲ有スル自由職業團體ハ演説、執筆、財政的援助、共産精神ノ鼓舞及選舉後援等ノ手段ニヨリテ一般大衆ノ闘争ヲ助ケ得ヘキ重要ナル立場ニアルモノト謂フヘシ。

共産黨内ノ自由職業者ニトリテ最モ重大ナル任務ハ一切ノ自由職業團體ヲ大衆ニ接近セシムルコトニアリ、即チ黨ニ屬スル醫師ハ聯邦政府ノ衛生計畫ノ第一線ニ立チ辯護士ハ大衆ニ無料ノ法律的援助ヲ與フルタメニ戦ヒ、教員ハ現在ノ教育制度ヲ更ニ民衆化シ俳優ハ劇場ヲ民衆化シ文藝作家ハ文學及平易ナル政治論文ヲ大衆ニ提供スルカ如キ事之ナリ、共産黨自由職業者ハ夫々自己ノ從事スル職業ノ技術並ニ理論ヲ發達セシメ且革命化スルカ如キ重要ナル任務ヲ有シ凡ユル職業ノ分野ニ於ケル反動的分子ニ對シ頭腦的武器ヲ以テ制裁ヲ加ヘサルヘカラス、斯クシテ共産黨ノ教育家ハ「マルクス」主義ノ見地ニ基キ教科書並ニ歴史ヲ改編シ醫師ハ醫界ニ新方法ヲ紹介シ「The American Medical Association」(政治的ノミナラス醫學的ニモ反動的ナリ)、辯護士ハ從來ノ微臭キ資本主義的法律概念ヲ打破シ且現在ノ法律史ヲ書き替ヘサルヘカラス」云々

上述ノ如ク「N.L.G」ニ屬スル有能著名ナル法官並ニ辯護士ハ「ギルド」内ニ於ケル極ク少數ノ共産分子ニ操ラレテ黨ノ方針ヲ遂行スルカ如キ行動ヲナシ又銀行法ヲ「マルクス」主義ニ一致スルカ如ク書き替ヘ來リタルカ恐ラク彼等ハ米國ノ法廷ソノモノマデモ大ナル影響ヲ與ヘ居ルモノト云ハルヘシ。

(註) Kernハ從來極々左傾的ナリト非難ヲ受ケ居リシカ紐育市「マンハッタン」區長ノ補佐役トシテ共産主義者シモン・カーソンニテ任命シテ從來特ニ共産主義者ナリト非難ヲ受ケルニ至レリ。

第十二項 農業部 (Farm Department)

一、概 説

米國ニ於ケル農業ノ重要性ニ鑑ミ共産黨カ農民特ニ小作人並ニ農場労働者ニ對スル工作ヲ忘却セサルハ當然ノ理ナルカ現在ノ處共産黨ノ工作中最モ失敗ニ終レル部面ナリト稱セラル、但シ若干工作ノ成功セルハ南部地方ノ小作人及西部地方ニ於ケル果實採集移動労働者ニ對スルモノニシテ數十ノ此種農民組合内ニ共産黨「フラクシオン」ヲ設定シ居ル趣ナリ。

農民並ニ農場労働者間ニ於ケル共産黨員ハ現在約三千名ト稱セラレ其ノ數多カラサルモ他面右黨員ハ以下ニ示スカ如キ全米各種農民關係組合、聯盟(其ノ會員總約二十萬)内ニ於テ「フラクシオン」の活動ニ依リ内部的ニ支配シ之等團體ヲシテ共産黨ノ政策綱領ニ追隨セシムルニ努メツツアルヲ以テ農業關係ニ於ケル共産黨ノ勢力ヲ過小ニ評價スルコトモ當ラサル次第ナリ。

二、事務所及役員

全國の本部

形式上ハ在紐育全國本部内ニ在ルモ事實上ハ在市俄古「イリノイ」州支部内ニ在リ、紐育ニ於テハ組織部ノ一部ニ書記一名ヲ置キ必要ナル通信ヲ處理セシムル程度ニ止マルモ部長「ドナルド・ヘンダーソン」ハ大概月一回、來紐シ、政治委員會ニ對シ報告協議ヲ爲スト共ニ「フラクシオン」部長、啓發宣傳部長等ト工作上ノ打合せモノトス。

農業部ノ構成左ノ如シ。

Donald Henderson (部長、且農業關係ノ最強カナル組合「ナル・C・I・O」系 United Cannery, Agricultural, Packing,

and Allied Workers of America の會長ニシテ中米農業地帯ニ於ケル農業部組織員ナリ、同人ハ右資格ニ於テ組織全國本部「ラテンアメリカ」部内労働組合組織委員ナリ、同人ハ又過去ニ於テ次々如キ經歷アリ、一九三三年赤化工作ノタメニコロンビヤ大專  
經濟教授ノ職ヲ勤メタル。World Congress Against War 米國委員、National Student League 全國書記長ニシテ「Student Review」 寄稿家、American Committee for Struggle Against War 書記長、U. S. Congress Against War and Student Congress Against War 委員、一九三三年 American League Against War and Fascism (現在「A. L. A. W. F.」) 書記長、Friends of Soviet Union 全國委員等也。

Elmer Johnson (寄稿「インディアン州」) 郡支部長トシテ本部ノ工作ニ當リ居リシモ現在「ユニオン」シニア州「ライオン」チオスター「ニ在リテ本部ノ工作ヲ支持シツツアリ、現ニ本年八月中旬紐約ニ開催ノ「テモクラシー」擁護教育會議」(Congress on the Education for Democracy) 第十六回會議ニ於テ農民教育ノ必要ヲ力説シ居ベリ。

Rebert Hall (「インディアン州」支部書記長、全國委員會議員ニシテ又「アラバマ」州「マイミシガム」市ニ在ル小作人組合 (Share-oppers Union) ニ於ケル組織員ナリ)

Whitaker Chambers (本來寄稿宣傳部ノ仕事ニ屬スル文章ニ依ル啓蒙ニ當リ居リ多数ノ農業關係定期刊行物ノ寄稿家、"Can you hear their voices" ナル農民煽動作「著者」 Cotton Pickers Union ノ組織員ナリ)

Lem Harris (農業問題ニ關メテ共產黨的論說家ニシテ「寄稿」 United Farmers League ノ書記タリシトナリ)

Al Murphy (「インディアン州」Share-croppers Union ノ役員ニシテ黑人小作人間ノ工作主任ナリ、同人ハ又 National Council of the National Negro Congress 役員ナリ)

Caroline Decker (農業労働者組織員トシテ知ラル)

三、農業關係外團體

前記ノ如ク「ラテンアメリカ」ヲ通シ農業部ノ支配ノ下ニ在ル農民組合農場關係労働者組合等ノ主要ナルモノ左ノ如ク。

- Tobacco Workers Industrial Union (headquarters Richmond, Va.); Union Farmers League (national headquarters, Robert Hall, sec. 1622 H. Street, Washington); Farmers Union of Oklahoma (Andrew Oja-Oklahoma City, Okla.); Nebraska Farmers Holiday Association (Lincoln, Neb.); Spencer Cooperative Society (New York); Connecticut Valley Farmers Association (New Haven, Conn.); Central Cooperative Wholesale (Superior, Wisconsin); Continental Congress of Workers and Farmers (Moxley Bldg., Clinton St., Chicago, Ill.); Cooperative League of the United States (167 West 12th St., New York City); Finnish Workers and Farmer League (Minneapolis); National Cottonners League (166 Fifth Avenue, New York City); National Farmers Holiday Association (national headquarters, Washington, D.C.); Workers and Farmers Cooperative Unit Alliance (Box 571, Superior, Wisconsin); Alabama Farmer Protective Association of Arkansas (Little Rock, Ark.); Farm Association of San Juan Basin (Dove Creek, Farmers Protective Association of Florida (Victor Eikelan, Sec., Zephyr Hills, Florida); Small Home Colorado); Farmers Protective Association (Birmingham, Ala.); Kentucky Farmers League (Pleasantwood, Montana); New League (Beulah, Michigan); Minnesota Farmers League (1639 Linden Avenue, Minneapolis, Minn.); Minnesota and Land Owners League (Westville, Ill.); Montana United Farmers League (Pleasantwood, Montana); New Jersey Youth Farm Committee (Virginia, Minn.); North Dakota State Committee for Action (Ashbel Ingersoll, Sec.-Flaxton, North Dakota); Ohio Farmers League (Leosha, Ohio); Oklahoma Farmers Organization (New-alla, Oklahoma); Farmers Protective Association of Oregon (Portland, Oregon); South Dakota Farmers League Sisseton, South Dakota); Texas Farm Association (Breckenridge, Texas); Washington State Committee for Action (Eatonville, Washington); Cotton Pickers Union (Memphis, Tennessee); Negro Farm Workers Industrial Association (Chattanooga, Tenn).

第十三項 黑人部 (Negro Department)

第一、概説

米國總人口ノ約一割ノ多数ヲ占メ且社會的、經濟的及政治的差別ヲ受ケ現狀ニ對シ一般的不滿ヲ抱キ居ル黑人種カ共產黨ノ社會革命工作上最モ有望ナル對象ノ一タルハ當然ノ理ナリ、斯クテ米國共產黨ハ早クヨリ黑人工作ニ努力シ來レリ。然レ共、共產黨ノ不斷ノ努力ニモ拘ラス黑人工作未タ豫期ノ成績ヲ舉クルニ至ラス、黨首脳部ニ於テハ多数黑人ヲ共產黨ノ支配ノ下ニ組織スル可能性ニ關シ悲觀的

見解ヲ有スルニ至レルモノ多数アル趣ナリ。而シテ其ノ原因ト認メラルルハ(1)黒人種ノ理想主義的情熱缺如、(2)黨及關係組合ノ政策ハ自然白人本位トナリ黒人ノタメノ工作ハ常ニ第二義的トナラサルヲ得サルコト等ノ人種又ハ米國社會事情ノ基本の特色ニ基クモノニシテ縱テ共產黨ノ入黨勸誘工作ニ依リ一時入黨セシメラレタル黒人ハ間モナク共產黨ノ政策カ自己ノ直接的利益擁護ニ不熱心又ハ無能力ナルコトヲ發見シ黨費ノ支拂ヲ繼續スル興味ヲ失フニ至ル次第ナリ。是レ黒人間ニ於ケル新規入黨者ノ多数ナル割合ニ黨員カ増加セサル所以ナリ。然レ共全米一千二百萬ノ黒人ハ支配階級ニ對スル一般の反抗心ノ外人種の復讐心ナル要件ヲ具備シ居リ、他日社會革命等ノ場合ニハ最モ恐ルヘキ潛勢力タリ得ルヲ以テ共產黨トシテハ現在比較的不成功ニ拘ラス工作ノ手ヲ緩メ居ラサルコト勿論ナリ。而シテ其ノ工作ノ大綱ハ先ツ北米ニ於ケル所謂三角地帯ノ黒人ノ組織ニ重點ヲ置キ工作困難ナル南部地方ノ黒人ニ關シテハ右北部地域ノ工作進捗ニ伴ヒ漸次之ニ追隨セシメントスルニ在ル趣ナリ。

第二、黒人工作綱領

黒人部及之ニ附設セララルル黒人委員會ハ「フラクション」部「ヤング・コミュニスト・リーグ」啓發宣傳部等ノ支持ノ下ニ各種黒人關係團體ノ内部穿孔工作ヲ行ヒツツアルカ具體的工作方針ハ左ノ如シ。

(1) 北米三角工業地帯ニ於ケル黒人ノ組織

紐育「デトロイト」及「ピックバーグ」ノ三市ヲ頂點トスル三角形内ニ包含セララルル工業地域内ニ於ケル黒人ハ其ノ教育程度、職業、社會意識等ニ於テ南部及其ノ他ノ地方ニ於ケル黒人ニ比シ階級意識比較的發達シ居ルヲ以テ之ヲ對黒人工作ノ基調トシテ専ラ之カ組織化ニ努メツツアリ、而シテ南部地方ノ一般黒人團體ニ對シテハ之ニ追隨セシメントスル方ナリト謂ハル。

(2) 南部地方ニ於ケル黒人學校ニ對スル工作

南部地方ニ於ケル一般黒人ハ無知蒙昧ニシテ社會の意識ナク且餘リニ貧困ニシテ共產運動、其ノ他社會改造運動ニ參加スル餘力ナシ、右事實ハ共產黨カ Southern Farmers' Union 其ノ他ノ特殊團體ヲ組織シ之ヲ革命工作ノ一ニ利用セントノ多年ノ工作カ一モ成功セサリシ體験ヨリ認識スルニ至レルモノナリ。仍テ現在共產黨ハ南部地域ニ關シテハ白人ト黒人ノ學校カ分立シ居ルヲ奇貨トシ黒人學校ニ對スル工作ニ重點ヲ置クニ至レリ。而シテ南部ニ於ケル黒人大學及主要中等學校内ニハ何レモ共產黨「フラクション」ヲ設置スルニ成功セリ。而シテ本工作ニ關シテハ黒人委員會ノ外ハ「フラクション」部「ヤング・コミュニスト・リーグ」ノ援助ヲ受ケツツアルハ勿論ナリ。

尙共產黨「フラクション」工作ノ最モ成功セル大學ハ左ノ諸校ナリ。

Trucker Institute (「トッカー」州、黒人大學) Straight University (在「ニーター・ホリンス」黒人大學) Booker T. Washington University

(3) 人種的差別撤廢ノ主張

James S. Allen (黒人部ノ出張組織員ニシテ作家兼講演家) 著 "Negroes in a Soviet America" ハ共產黨ノ黒人工作ノ教科書トシテ用ヒラレ居ルカ本書ニハ「米國ニ於ケル勞働政府建設ノ第一歩ハ黒白人種ヲ隔離スル差別的法律ノ撤廢ニ在リ、然ラハ米國ノ人口ハ數年ナラスシテ黒白人種ノ混合ヲ來スナラン云々」トアリ。而シテ黒人部ハ黒白人種間ノ障壁ヲ破壊スル第一ノ手段トシテ右兩人種ノ離婚ヲ奨励シ居レリ。

尙共產黨カ黒白人ノ平等化ヲ主張シ居ルハ之ニ依リ黒人ノ自負心ニ諷リ之カ甘心ヲ買ハントスルト

共ニ、本件カ容易ニ實現シ得サル問題ナルニ鑑ミ之ニ依リ却テ白人ニ對スル反抗心ヲ刺戟シ革命工  
作ニ利用セんとスル一石ニ爲式戰略ナリ。

(4) 各種黒人團體ニ對スル内部穿孔工作

黒人カ人種的理由ヨリ一般的ニ特殊獨立ノ團體ヲ組織シテ行動スル實情ニ鑑ミ共產黨トシテハ以上  
諸方針ノ遂行ニ當リ此ノ種團體ノ内部浸潤ニハ特ニ關心ヲ拂ヒツマナリ。  
而シテ主要團體ハ左ノ如シ。

- National Negro Congress (會長 A. P. Randolph、全國本部 717 Florida Ave, N. W. Washington, D. C.)
- National Association for the Advancement of Colored People (會長 I. Maximilian Martin)
- Negro Youth Congress (會長 W. F. Richardson、全國本部 717 Florida Ave, N. W. Washington, D. C.)
- Southern Negro Youth Congress (會長 E. E. Strong、全國本部 Birmingham, Alabama)
- League to Aid the Educated Negro (會長 A. K. Chalmers、全國本部 35 East 12th Street, New York City)
- Scottsboro Defense Committee (會長 Theodore Bassett、全國本部 423 West 156th St, New York City)
- League of Professional Negroes (會長 Charles Woodson)
- All Southern Conference for Civil and Trade Union Rights (會長 Howard Kester、副會長 Lee Burns、  
副會長 James Dembrowsk、本部事務所 Chattanooga)
- International Trade Union Committee of Negro Workers (會長 Charles Woodson)
- League to Aid the Negro Tenant Farmer (會長 Memphis, Tennessee)

第三、黒人部ノ構成

黒人部ニハ之カ諮問補佐機關トシテ黒人男子委員會及黒人女子委員會ヲ設立シ居レリ、而シテ之等委

員會委員中ニハ同時ニ本部ノ職員ヲ兼任シ居ルモノ多數アリ、又本部關係事務ヲ處理スルタメ地方支  
部内ニ黒人委員會ヲ設立スルモ右ノ黒人ノ多數居住シ居ル地方ニ限ラレ三十五區中十五區ニ過キサル  
趣ナリ。

左ニ解説スヘシ。

(一) 本 部

James Ford (部長、黨内ニ於ケル黒人主要人物ニシテ全國委員會及政治委員會ノ委員ヲ兼テ極要ノ地位ニ在リ、過去ニ於テ  
左ノ如キ經歷ヲ有セリ、一九三二年共產黨ヨリ副大統領ニ立候補セリ、アラバマ州ニ於テ製鐵業労働者ノ子ニ生レ早クニ  
白人ノ壓迫ヲ脱セント努力セリ、サウスイーランドニ於ケル黒人大學 Fisk University、卒業シ歐洲大戦ニモ参加セリ、  
League of Struggle for Negro Rights 幹事、一九三八年「ボク」ニ於ケル Red International Labor Union Congress  
ニ米國代表者トシテ出席セリ、Negro Bureau of the Trade Union Unity League 幹事、International Trade Union  
Congress of Negro Workers ノ組織員ニシテ第一回書記長、米國共產黨主要人物十名中ノ一人、Trade Union Unity League  
全國委員會、United States Congress Against War 委員、彼ノ指導原理ハ其ノ著「The Negro and the Democratic  
Front」ニ明ニ示レ居ル處、シテ「シクロ」民族ヲシテ「モクラチイク」フロントニ向ヒシメ白人共產黨員カ其ノ權益ヲ増進スル  
ニト同時ニ黒人權益ノ擁護ニ協力セサル可カラサルヲ説ク。而シテ黒人ニ對スル平等權ノ闘争カ C. I. O. ニ深ク根ザルヲ説  
キ C. I. O. ヲ支持セシメントス、又黒人間ニ國際平和及反「ファシズム」運動ヲ組織シツマナリ。

- Angelo Herndon (部長兼「ヤンク」モドニ「ロー」前副會長ニシテ黒人青年部ニ對スル工作ノ中心人物ナリ。)
  - Harry Haywood (黒人部組織部長ナリ、又黒人男子委員會委員ナリ。)
  - James S. Allen (黒人部組織員、作家)
  - Miss Claudia Jones (書記)
- 其ノ他以下ニ述フル男女各黒人委員會員ノ多數ハ本部ノ事務ヲ援助シ居ル趣ナリ。
- (1) 黒人男子全國委員會 (National Negro Men's Commission)

黨内ノ他ノ委員会ト同様諮問團體ナルカ其ノ會員ハ黨黒人部員ノ大多数ニ依リ構成セラル。

其ノ主ナル幹部及主要人物ハ左ノ如シ。  
William L. Patterson (會長) National Negro Congress 幹部及 International Labor Defense ノ副會長ナリ。尙同人  
ハ過去ニ於テ左ノ如キ經歷ナキ。 National Scottish Committee of Action 委員、共產黨中央執行委員、Sacco-Vanzetti  
National League 員、National Mooney Council of Action 員、(「ソート・ロウ・カール」紙ノ寄稿家  
Angelo Herndon (譯會長「ソート・ロウ・カール」編輯長也)  
左記ハ何レモ委員ナリ。

James W. Ford (「ソート・ロウ・カール」幹部)  
Henry Winston (前部)

Theodore Bassett (Upper Harlem Section ノ幹部)

A. W. Berry (Lower Harlem Section ノ幹部ナシ、"キャメラン"市ノ幹部ナルカ不明ナリ)

Cyril Briggs (英州) "ソート・ロウ・カール"支部幹部、尙過去ニ於テ League of Struggle for Negro Rights 幹部、"ソート  
"ニ本籍ナキ、"Liberator" ノ編輯長等ノ經歷ナリ)

Harry Haywood (Southern Tenant Farmers' Union 幹部、教育ナル文筆家兼新聞記者ニシテ黒人地帯ヲ遊説シテ黒人亦  
在ニテ、黒人部組織部長、尙過去ニ於テ League of Struggle for Negro Rights 幹部、"ソート・ロウ・カール"紙ノ寄稿家  
等ノ經歷ナリ)

Langston Hughes (League of Negro Writers 幹部、左翼文筆家ニシテ左ノ如キ經歷ナリ。一九三二年共產主義研究ノ  
タメ蘇聯ニ赴キ黒人代表者ノ一、The Defense of Political Prisoners 全国委員会委員、Scottsboro Unity Defense  
Committee 委員、"ソート・ロウ・カール"編輯長、International Union of Revolutionary Writers 委員、International Litera-  
ture 寄稿家、Revolutionary Writers Federation 委員、Workers' Cultural Federation 委員、一九三三年日本ヨリ送還セラ  
レタリ。League of Struggle for Negro Rights 委員、一九三四年ソート・ロウ・カール支部)

Richard Wright (黨組織工作ノ寄稿家ナリ)

Edward E. Shroig (Southern Negro Youth Congress 會長)

(2) 黒人婦人全国委員会 (National Negro Women's Commission)

本委員会ハ全国婦人委員会ノ一部門トモ稱シ得ヘク黒人婦人工作ニ關シ一般婦人委員会及黒人部ト  
密接ナル關係ヲ有スルモ便宜上黒人部ノ項ニテ解説スルモノナリ。

Louise Thompson (極メテ有力ナル委員ナリ)

Maude White (委員、詳細ハ婦人部参照)

(二) 地方支部

全米國三十五區(ディストリクト)中十五區ニ於テハ區支部内ニ黒人委員会ヲ設置シ居ル趣ナリ。  
判明シ居ル點ハ左ノ如シ。

第二區 (Theodore Bassett 委員長)

第三區 (Cyril Briggs 委員長)

第五區 (不明)

第七區 (R. N. Bates 黒人組織員)

第八區 (Claude Lightfoot 委員長)

第十六區 (Paul Crouch、黒人ノミナラス一般組織部員、尙同人ハ最近「アラバマ」州「バーミング  
ト」ニテ農民工作機關紙 The New South ノ編輯ニ轉セラレタリ)

第十七區 (Andrew Brown 委員長)



- 第二十區、(Homer Brooks、黒人組織員)
- 第二十一區、(Bud Reynolds、黒人組織員)
- 第二十三區、(不明)
- 第二十四區、(Charles Graham、委員長)、(Frank Alden、黒人組織員)
- 第二十五區、(Tom Masterson、黒人組織員)
- 第二十九區、(Martin Dewey、黒人組織員)
- 第三十三區、(不明)
- 第三十四區、(Earl Dixon、委員長)

第十四區 婦人委員 (Women's Commission)

第一、概 説  
 黨婦人部ト稱セララルコトアルモ正確ニハ黨婦人委員會 (Women's Commission) ニシテ黨全國本部内ニアリ。

婦人委員會ハ黨ノ活動方策決定ニハ參與スル權限ナク單ニ之ニ對スル諮問團體及實施團體トシテノ役割ヲ演スルニ過キサルモノニシテ黨ノ一般部、全國委員會、政治委員會並ニ州區「セクション」委員會等ノ活動ヲ補助シ且之ヲ指導スルヲ目的トス。

一九三八年六月二日附「デーリー・ワーカー」紙上ニ掲載セラレタル共產黨全國大會ノ報告ニ依レハ婦人黨員ハ三三%ヲ構成スル趣ニシテ共產黨ハ偏セサル意見ニ依リテ黨ヲ統禦スルニハ婦人ノ職業、要望、活動等ヲ黨ノ政策ニ反映セシムルコト必要ナルモ、然リトテ婦人ノミノタメニ一部ヲ設置スルハ

適當ナラサルヲ以テ所謂「婦人委員會」ナルモノヲ設置セリ。

一般婦人黨員ハ皆男子黨員ト同様其ノ能力ニ應ジテ或一部門ニ割當テラレ其ノ餘暇ヲ黨ノ活動ニ捧クル義務アルカ、更ニ自己ノ屬スル「ブランチ」内ニ於ケル婦人委員會ニモ屬スルモノニシテ其ノ内顯著ナル活動ヲナス者ハ當該「ブランチ」ノ婦人委員トシテ推舉セラレ更ニ其ノ貢獻ノ大ナルモノハ上級支部ニ於ケル婦人委員會員ニ推サルモノナリ。

婦人委員會ハ第三項ニ於テ後述スル如ク「フラクション」部トノ提携活動ヲナスモノナルカ其ノ場合男子部ヨリモ一般ニ好成績ヲ收メ居レリ。特ニ多數ノ婦人團體ヲ支配スルニハ絶對必要ナリト謂ハル。故ニ婦人委員會ハ黨内ニ在リテハ婦人問題ニ關スル特殊諮問機關トシテノ役割ヲ演スルト同時ニ黨外ニ在リテハ男子黨員ノ有セサル特殊能力ヲ發揮シテ「フラクション」部ノ活動ヲ補助スルモノナリ。

以下其ノ機構及任務ニ就テ述フヘシ。

第二、構 成

一、婦人委員會ノ機構

婦人委員會ノ機構ハ全國婦人委員會 (黒人婦人ニハ獨立委員會ヲ設ク) 地方區、若クハ州婦人委員會、市、若クハ郡婦人委員會ヨリ成ルカ全國婦人委員會ヲ除ク外、委員ハ無給ナリ。以下各委員會ニ關シ左ニ略述ス。

(一) 「ブランチ」婦人委員會

「ブランチ」内ニ於ケル婦人黨員數七名以内ノ場合ニハ婦人黨員ハ全部委員トナル。但シ七名ヲ越スル場合ニハ半年毎ニ集會ヲ開キテ五名ノ委員ヲ選拔ス、委員會ノ集合ハ不定期ナリ。

(二) 「セクション」婦人委員会

「各」ブランチ」ノ婦人代表者各一名及選舉ニ依ラサル補充委員各一名ヨリ成ルモノニシテ毎月一回集會ヲ開クモノトス。

(三) 市又ハ郡婦人委員会

各「セクション」ヨリノ婦人代表者各一名及選舉ニ依ラサル補充委員各一名ヨリ成リ每週一回集會ヲ開クモノトス。

(四) 州及區婦人委員会

各市、郡（或ハ「セクション」）或ル場合ニハ「セクション」カ一郡以上ニ互ル場合アリ）ヨリノ婦人代表者各一名及選舉ニ依ラサル補充委員各一名ヨリ成リ月一回集會ヲ開クモノトス。

(五) 全國婦人委員会

前述セル所ノ委員会トハ委員選抜ノ方法ヲ異ニシ二十名ノ委員ヨリ成ルモノニシテ、右二十名ハ共產黨全國大會出席ノ婦人代表者ニ依リ隔年毎ニ指名セラル。右二十名ノ婦人ハ政治委員同様再選ヲ認メラルル處婦人代表者ニ依ル投票ヲ支配スルコトニ依リ何時迄モ委員ノ地理ヲ維持スルコトヲ得ルモノナリ。右二十名中數名ハ婦人委員会ノ活動ニ對シ黨ヨリ俸給ヲ受クルモ過半数ハ黨ノ常職員ニシテ黨内他部門ノ職員トシテ定給ヲ受ケ居レリ。  
又黒人婦人ニ付テハ本委員会ノ一部門トシテ黒人女子委員会アリ右ニ關シテハ黒人部ノ項参照アリタシ。

左ニ判明シ居ル委員ニ付キ略説スヘシ。

Ella Reeve ("Mother") Bloor

全米會長、黨全國委員ヨリ兼テ共產黨ニ於ケル婦人ノ元老ナルカ最近若年ノ故殆ト活動シ居ラス。尙過去ニ於テ左ノ如キ經歷ヲ有ス。米國共產黨及 United Farmers' League 創設者ノ一人、World Congress Against War 國際本部及米國委員。

Margaret Cowl

National Director、共產黨婦人部活動ノ事實上ノ執行理事ニシテ黨ヨリ俸給ヲ受リ、黨ノ領袖「カラム・マイン」ノ妻ナリ。共產黨全國委員ヨリ兼テ外僑部ナル講演家ニシテ多數ノ婦人運動ニ活躍シ居レリ、例ハ Women's International League for Peace and Freedom—本部、150 Fifth Avenue—ノ指導的地位ニ在。

Sadie Van Veen

紐育區婦人委員会々長、コイスラエル・ムスターノ妻、講演家文筆家ニシテ黨教育部ノ事業ニモ關係ス、又前出 W. I. L. P. F. (150 Fifth Avenue) ノ幹部ナリ。命同女ヲ過去ニ於テ Workers Library Publishers 及 New Pioneer 誌等ノ爲ニ筆ヲ執リシ事アリ、紐育「ローカリス・スクール」ノ講師、一九三三年 International Labor Defense District No. 2 ノ書記タリシ事ナリ。

Pauline Ragen

舊テ共產黨ヨリ紐育州上院議員ニ立候補セルコトアリ、「フランクソン」部ノ活動ナル部長、Women's Association of the National Jewish Congress (221 West 5th Street) 内ニ於テ活動シ居レリ。本名ニ付テ判明セシ。

Gienna Clark

市俄古市ニ在住シ「イリノイ」地方區婦人委員会々長タリ、「フリーカリス・アライアンス」全國執行委員タリ本名ニ付テハ判明セシ。

Ann Burlak

「ロード、アイランド」州「プログ्रेस」ニ在住シ、「ロード、アイランド」州婦人委員会々長タリ、黨全國統制委員会ニシテ舊テ一九三八年ニ共產黨ノ綱領ヲ以テ副知事ニ立候補セルコトアリ、「エフ・オート」部ノ地方主要人物ナリ。

Elizabeth Flynn

Assistant National Director、紐育ニ在住ス、講演家及文筆家トシテ全國的ニ知ラルル教育部員ナリ、尙過去ニ於ケル經歷左ノ如シ「アメリカン・シユイル、リパブリカン、ユニオン」全國執行委員、「カーラント、ファンク」理事、Industrial Workers of the World 組合員ニシテ其ノ運動及「サッコ、ヴァンゼット」ノ集會ニ關係シ數度收監セラレタリ、「Sabotage」ノ著者ナリ、「ソビエト、ソヴェエト、ユニオン」ノ賛助員。

Rose Wortis

書記、紐育ニ在住ス、全國委員、労働組合委員會 (Trade Union Committee) ノ書記ヲ兼ネ一九三八年ノ共產黨全國大會ニ於テ同委員會員タリ。

Irene Browder

「モード」ヲラマダーノ妻ニシテ紐育ニ在住ス。

Maudie White

紐育、ハーレム、セグシヨシノ婦人委員會々長、黨全國委員、黒人部及出版宣傳部ニ於テ活動ス。

Elba K. Chase

一九三八年「ニュー・マンシヤ」ニ於テ共產黨ヨリ知事ニ立候補セリ、多クハ紐育ニ在リテ啓蒙、宣傳ノ活動ヲナシ居レリト謂ハル、本名ニ付テハ判明セス。

Lena Davis

「ニュー・マヤミー」州「ニュー・オーーク」ニ在住シ、「ニュー・ジャーシー」州婦人委員會々長タリ。

Florence Cooke

紐育「クインズ」支部婦人部長、一九三八年ニ公職ニ立候補セリ。

Marguerite Young

紐育在住ノ著述家ニシテ「ニュー・マックス」誌ノ寄稿家、數年間、其ノ良人 Seymour Waldman ト共ニ華府ニ於ケル「アト」

「ソーカー」紙通信員トシテ活動セリ、「ハザワ」モエイト親交アリ、啓蒙宣傳部員。

Emma Tenayuca

「テキサス」州共產黨支部長兼「テキサス」州婦人部々長、南西部地方ニ於ケル婦人關係工作員、「エフ・オート」部地方主要人物ニシテ紐育ニ殆ト來ラヌシテ毎月開催セララルル全國婦人委員會ニスラモ缺席ナリト謂ハル。

Dorothy McConnell

紐育ニ在住シ American League for Peace and Democracy 内ニ於ケル主要共產黨員タリ、著述家ニシテ「Women, War and Fascism」其他單行本及「マン・ボッタ」數冊ヲ著セリ。

Ann Barton

紐育ニ在住スル教育部員ニシテ「Mother Bloor」ノ傳記作者ナリ。

Grace Hutchins

紐育市婦人委員會々長、教育部員、著述家、American League for Women in Public Office (110 East 42nd Street) 創設者ノ一人ナリ、尙過去ニ於テ「インスターナショナル・パンフレット」、「レーパー・デイツ」誌、「ニュー・メイカー」誌等ニ執筆ス Labor Research Association ノ職員及「ジョン・リード・クラブ」員タリシ事アリ。

Jenny Johnstone

「マンハッタン」市ニ在住シ西部「ペンシルヴァニア」地方區委員會々長ナリ、C. I. O. ノ有力ナル補佐機關 Steel Workers League 組織員ノ一人ナリト報セララル、尙右團體ハ製鐵職工ノ妻女等ヨリ成ル一團體ニシテ製鐵「ストライキ」ノ際ニハ激甚ナル活動ヲナセリ。

Sasha Small

紐育ニ在住スル「フラクシヨ」部員ナリ、著述家。「エフ・オート」グループ内ニ於ケル主要婦人ノ一人ナリ、詳細ハ「エフ・オート」グループノ項參項

二、婦人委員會ノ任務



- (a) 各自活動区域内ニ於ケル婦人問題ニ關シ報告並ニ活動方策ノ進言。
- (b) 新婦人黨員勸誘。
- (c) 婦人黨員ヲシテ黨ノ事業ニ活動セシムル工作。
- (d) 各種關係部門内ニ於テ生ズル問題ニ關シ婦人ノ立場ヨリノ進言。
- (e) 啓發宣傳部内ニ於ケル婦人委員ニ對シ同部ヨリ發行セラルル婦人問題資料編纂ノ援助。
- (f) 政治委員會ニ對シ全國一般婦人問題及黨内婦人問題ニ關スル活動方策ノ進言。
- (g) 全國ヲ通シ「フラクシオン」部トノ提携活動ヲナスカ特ニ「フラクシオン」部内ニ於テ左ノ如キ二ノ手段ニ依リ活動ス。

(イ) American League for Peace and Democracy ノ如キ黨カ支配若シハ支配セント欲スル男女混合ノ團體内ニ於テハ婦人委員會員「フラクシオン」部員トシテ工作ス。

(ロ) 黨カ支配若クハ支配セント欲スル多數ノ婦人團體ニ於テハ婦人委員會員ハ多クノ場合其ノ創設者若クハ幹部ノ一人トナリテ活動スルモノナリ。

第三、黨婦人委員會ノ支配ヲ受ケル諸團體

全國婦人委員會カ主トシテ又「フラクシオン」部其他各部ト提携シ全部的又ハ一部のニ支配シツマハ團體名ヲ左ニ掲ゲン。

- American Women's Baptist Foreign Mission Society (152 Madison Avenue, New York City); Women's Trade Union League (247 Lexington Ave., New York City); Women's League for Palestine, Inc. (1860 Broadway, New York City); Women's Amer. Opt. (212 Fifth Avenue, New York City); Women's Union (63 W. 21 St., New York City); Federal Employees Union (1472 Broadway, New York City);

第十五項 青少年部 (Youth Division)

青少年ニ對スル共產黨ノ工作ハ既報ノ通「ヤング・コミニunist・リーグ」ヲ中心トシテ行ハレツツアルモ右「リーグ」ノ根本方策ノ決定並ニ右方策ノ實施ヲ内面的ニ指導援助シ且共產黨ト右「リーグ」トノ連絡調整ヲ計ルタメ共產黨本部内ニ青少年部ヲ設ケタル次第ナリ。然レ共本部ノ事務ハ主トシテ共產黨ト「ヤング・コミニunist・リーグ」トノ連絡ニシテ事實上右「リーグ」ノ役員カ本部ノ職員ヲ兼テ居リ右「リーグ」カ本部ヲ構成シ居ル如キ觀アリ。現ニ共產黨ニハ特ニ青少年部ナルモノハ存在セス、右「リーグ」ハ即チ之ナリトノ説モアリ。更ニ前記根本方針ナルモノハ政治委員會ニ依リ決定セラルルモノニシテ「ヤング・コミニunist・リーグ」全國會長「ギル・グリーン」ハ之カ委員トナリ居レリ。

要スルニ本部直接青少年工作ノ實施ニハ關係セス、右ハ専ラ「ヤング・コミニunist・リーグ」ヲシテ司ラシメ單ニ「ヤング・コミニunist・リーグ」、「ヤング・パイオニア」、「アメリカン・スタヂェント・ユニオン」、「アメリカン・ユース・コンGRES」等ノ青少年赤化機關ノ根本方針決定及之カ實施ニ關シ側面ヨリ援助スルニ過キス。尙右青少年工作機關ハ本部ノ外更ニ教育部婦人部黑人部等ノ援助ヲ受ク



ルコト勿論ナリ。

本部、役員中判明シ居ルハ左ノ如シ。

Gilbert Green (部長、ロンドン・ロンドン・リーグ会長、共産黨全國委員會及政治委員會委員等ニシテ少壯黨員中屈指ノ有力

キヤ)

Angelo Herridon (Former Vice-Chairman of Y.C.L.)

Carl Ross (National Public Relations Secretary of Y.C.L.)

Henry Winston (National Administrative Secretary of Y.C.L.)

Celeste Strack (National Student Director of Y.C.L.)

Joseph Lash (「マニョカン・スナード・チヤント・ロンドン」書記長及「マニョカン・チヤント・ロンドン」幹部)。

調一0154

0339